APPENDIX
ECHONET 機器オブジェクト詳細規定

Release D

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

目次

第１章 本書の概要 1-1

第２章 機器オブジェクトスーパークラス規定 2-1

２．１ 動作状態プロパティ 2-4
２．２ 設置場所プロパティ 2-4
２．３ 規格 VERSION 情報プロパティ 2-7
２．４ 異常発生状態プロパティ 2-7
２．５ 異常内容プロパティ 2-7
２．６ メーカコードプロパティ 2-１０
２．７ 事業場コードプロパティ 2-１０
２．８ 商品コードプロパティ 2-１０
２．９ 製造番号プロパティ 2-１０
２．１０ 製造年月日プロパティ 2-１０
２．１１ プロパティマッププロパティ 2-１１
２．１２ 識別番号プロパティ 2-１２
２．１３ メーカ異常コードプロパティ 2-１３
２．１４ 電流制限設定プロパティ 2-１３
２．１５ 節電動作設定プロパティ 2-１４
２．１６ 遠隔操作設定プロパティ 2-１４
２．１７ 積算運転時間プロパティ 2-１４
２．１８ 現在時刻設定プロパティ 2-１５
２．１９ 現在年月日設定プロパティ 2-１５
２．２０ 瞬時消費電力計測値プロパティ 2-１５
２．２１ 積算消費電力計測値プロパティ 2-１５
２．２２ 電力制限設定プロパティ 2-１５

第３章 機器オブジェクト詳細規定 3-1

３．１ センサ関連機器クラスグループ 3-1
３．１．１ ガス漏れセンサクラス規定 3-3
３．１．２ 防犯センサクラス規定 3-5
３．１．３ 非常ボタンクラス規定 3-7
３．１．４ 救急用センサクラス規定 3-8
３．１．５ 地震センサクラス規定 3-１０
３．１．６ 漏電センサクラス規定 3-１２
３．１．７ 人体検知センサクラス規定 3-１４
３．１．８ 来客センサクラス規定 3-１５
３．１．９ 呼び出しセンサクラス規定 3-１７

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．１．１０ 結露センサクラス規定 3-19
３．１．１１ 空気汚染センサクラス規定 3-20
３．１．１２ 酸素センサクラス規定 3-21
３．１．１３ 照度センサクラス規定 3-22
３．１．１４ 音センサクラス規定 3-23
３．１．１５ 投函センサクラス規定 3-25
３．１．１６ 重荷センサクラス規定 3-26
３．１．１７ 温度センサクラス規定 3-27
３．１．１８ 湿度センサクラス規定 3-28
３．１．１９ 雨センサクラス規定 3-29
３．１．２０ 水位センサクラス規定 3-30
３．１．２１ 風呂水位センサクラス規定 3-31
３．１．２２ 風呂沸き上がりセンサクラス規定 3-33
３．１．２３ 水漏れセンサクラス規定 3-34
３．１．２４ 水あふれセンサクラス規定 3-35
３．１．２５ 火災センサクラス規定 3-36
３．１．２６ タバコ煙センサクラス規定 3-38
３．１．２７ CO2 センサクラス規定 3-39
３．１．２８ ガスセンサクラス規定 3-40
３．１．２９ VOC センサクラス規定 3-42
３．１．３０ 差圧センサクラス規定 3-44
３．１．３１ 風速センサクラス規定 3-45
３．１．３２ 臭いセンサクラス規定 3-46
３．１．３３ 炎センサクラス規定 3-48
３．１．３４ 電力量センサクラス規定 3-50
３．１．３５ 電流値センサクラス規定 3-52
３．１．３６ 水流量センサクラス規定 3-54
３．１．３７ 微動センサクラス規定 3-55
３．１．３８ 通過センサクラス規定 3-57
３．１．３９ 在床センサクラス 3-59
３．１．４０ 開閉センサクラス 3-60
３．１．４１ 活動量センサクラス規定 3-62
３．１．４２ 人体位置センサクラス規定 3-64
３．１．４３ 雪センサクラス規定 3-66
３．２ 空調関連機器クラスグループ 3-67
３．２．１ 家庭用エアコンクラス規定 3-69
３．２．２ 換気扇クラス規定 3-91
３．２．３ 空調換気扇クラス規定 3-92
３．２．４ 空気清浄器クラス規定 3-94
３．２．５ 加湿器クラス規定 3-96
３．２．６ 電気暖房機クラス規定 3-99

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．２．７ ファンヒータクラス規定 3-１０２
３．２．８ 業務用パッケージエアコン室内機クラス規定 3-１０６
３．２．９ 業務用パッケージエアコン室外機クラス規定 3-１１９
３．３ 住宅・設備関連機器クラスグループ 3-１２３
３．３．１ 電動ブラインド・日よけクラス規定 3-１２５
３．３．２ 電動シャッタークラス規定 3-１３０
３．３．３ 電動雨戸・シャッタークラス規定 3-１３５
３．３．４ 電動ゲートクラス規定 3-１４０
３．３．５ 電動窓クラス規定 3-１４４
３．３．６ 電動玄関ドア・引戸クラス規定 3-１４９
３．３．７ 散水器（庭用）クラス規定 3-１５３
３．３．８ 電気温水器クラス規定 3-１５５
３．３．９ 電気便座（温水洗浄便座・暖房便座など）クラス規定 3-１６４
３．３．１０ 電気錠クラス規定 3-１６７
３．３．１１ 瞬間式給湯器クラス規定 3-１６９
３．３．１２ 浴室暖房乾燥機クラス規定 3-１７４
３．３．１３ 住宅用太陽光発電クラス規定 3-１８２
３．３．１４ 冷温水熱源機クラス規定 3-１８５
３．３．１５ 床暖房クラス規定 3-１９０
３．３．１６ 燃料電池クラス規定 3-１９５
３．３．１７ 蓄電池クラス規定 3-１９９
３．３．１８ 電気自動車充放電器クラス規定 3-２０９
３．３．１９ エンジンコージェネレーションクラス規定 3-２１８
３．３．２０ 電力量メータクラス規定 3-２２２
３．３．２１ 水流量メータクラス規定 3-２２４
３．３．２２ ガスメータクラス規定 3-２２７
３．３．２３ ＬＰガスメータクラス規定 3-２２８
３．３．２４ 分電盤メータリングクラス規定 3-２３４
３．３．２５ スマート電力量メータクラス規定 3-２４４
３．３．２６ スマートガスメータクラス規定 3-２５５
３．３．２７ 一般照明クラス規定 3-２６２
３．３．２８ ブザークラス規定 3-２７２
３．４ 調理・家事関連機器クラスグループ 3-２７３
３．４．１ 電気ポットクラス規定 3-２７５
３．４．２ 冷凍冷蔵庫クラス規定 3-２７７
３．４．３ オーブンレンジクラス規定 3-２８７
３．４．４ クッキングヒータクラス規定 3-３０１
３．４．５ 炊飯器クラス規定 3-３０６
３．４．６ 洗濯機クラス規定 3-３０９
３．４．７ 衣類乾燥機クラス規定 3-３１１
３．４．８ 洗濯乾燥機クラス規定 3-３１３

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．５ 健康関連機器クラスグループ ３-３３８
３．５．１ 体重計クラス規定 ３-３３９
３．６ 管理・操作関連機器クラスグループ ３-３４０
３．６．１ スイッチクラス（JEM-A/HA 端子対応）規定 ３-３４１
３．７ ＡＶ関連機器クラスグループ ３-３４２
３．７．１ ディスプレークラス規定 ３-３４３
３．７．２ テレビクラス規定 ３-３４７
付録１ プロパティマップ記述形式 I
記述形式（1） I
記述形式（2） II

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

改定履歴

	改定個所
Ver.1.01 Release b	・ 水流量センサクラス、微動センサクラス、通過センサクラス、在床センサクラス、開閉センサクラスを追加規定(クラスコード新規規定)。 ・ 電気ポットクラスの詳細規定を追加。 ・ 給湯機クラスのプロパティ規定を追加。
Ver.2.00 Release b	・ 活動量センサクラス、人体位置センサクラス、ブザークラスを追加規定(クラスコード新規規定)。 ・ 炊飯器クラスの詳細規定を追加。 ・ 洗濯機クラス、深夜電力用電気温水器クラスのプロパティ規定を追加。
Ver.2.01 Release a	・ 電流値センサクラスの電流値計測値プロパティ（0xE0）において、計測対象が交流の場合は実効値で値を示す記述を追加。 ・ 家庭用エアコンクラスの消費電流計測値プロパティ（0xB9）において、計測対象が交流の場合は実効値で値を示す記述を追加。 ・ 冷凍冷蔵庫クラスの消費電流計測値プロパティ（0xDA）において、計測対象が交流の場合は実効値で値を示す記述を追加。 ・ 活動量センサクラス、人体位置センサクラスの存在人体情報ビットマップ表組みの乱れを修正。 ・ 活動量センサクラス、人体位置センサクラス、炊飯器クラスの詳細記述項目番号の乱れを修正。 ・ LP ガスメータクラス残量管理警告、残量警告レベル設定値１、残量警告レベル設定値２、残量警告レベル設定値３、テスト発呼各プロパティに関する記述内容見直し。
Ver.2.10 Preview	・ 電動ブラインドクラスの開閉レベルプロパティを、開度レベルプロパティに名称変更。 ・ 付録の誤記修正。
Ver.2.10 Draft	・ 電動ブラインドクラスのブラインド角度設定値プロパティを、垂直ブラインドに対応させる。 ・ 家庭用エアコンクラスに、以下のプロパティを追加。 換気量設定、加湿量設定、搭載空気清浄方法、空気清浄機能動作状態、 搭載リフレッシュ方法、リフレッシュ浄機能動作状態、 搭載自己洗浄方法、自己洗浄機能動作状態、電流制限設定 ・ 家庭用エアコンクラスの以下のプロパティを変更。 運転モード、風向自動設定、風向上下、風向左右、換気動作設定、 室内相対湿度計測値、室内温度計測値、吹き出し温度計測値、 外気温計測値 ・ 深夜電力用電気温水器クラスに、以下のプロパティを追加。 給湯温度設定値、風呂温度設定値、風呂足し湯動作設定、 風呂ぬるめ動作設定、風呂湯量設定２、風呂湯量設定３ ・ 給湯器クラスに、以下のプロパティを追加。 風呂湯量設定３ ・ 深夜電力用電気温水クラス、給湯器クラスの誤記修正。 ・ 付録 1-8 に規格 Version 情報を追加。 ・ 付録部分の誤記修正。
Ver.2.10 Release a	・ Ver.2.10 Draft からの誤記修正。
Ver.2.11 Release a	Ver.2.10 Release a から付録部分の誤記修正。
Ver.3.00 Release a	付録２．６、表Ｆ．４中の一部表記を見直し
Ver.3.00 Release b	１．４．６ 洗濯乾燥機クラス規定を追加。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

	誤記訂正
Ver.3.00 Release c	・ 付録を削除した。 ・ 第２部 ECHONET 通信ミドルウェア仕様 表４．２～表４．７記載事項を、APPENDIX のオブジェクト一覧表に追加／転記。 ・「家庭用エアコン」「冷凍冷蔵庫」「オーブンレンジ」「洗濯乾燥機」の各クラス規定の（1）動作状態プロパティの説明に、以下の文章を追加。 “このプロパティーがOFF(0x31)のときは、、本規格で特別に規定されている場合を除いて、その他のプロパティで取得した値は保証されるものではない。“
Ver.3.10 Release a	・表１．２以降の表番号の修正
Ver.3.11 Release a	・コンソーシアム会員内公開
Ver.3.11 Release b	・ 「家庭用エアコンクラス」のプロパティ規定を追加。 ・ 「冷凍冷蔵庫クラス」のプロパティ規定を追加。 ・ 「オーブンレンジクラス」のプロパティ規定を追加。 ・ 「洗濯乾燥機クラス」のプロパティ規定を追加。 ・ APPENDIX 第一章 機器オブジェクト詳細規定 冒頭文の追加・訂正。
Ver.3.11 Release b	・ コンソーシアム会員内公開
Ver.3.12 Release a	・ コンソーシアム会員内公開
Ver.3.12 Release b	・ 「電動シャッタークラス」追加 ・ コンソーシアム会員内公開
Ver.3.12 Release c	・ 「業務用パッケージエアコン室内機」のクラス規定を追加。 ・ 「業務用パッケージエアコン室外機」のクラス規定を追加。
Ver.3.20 Release a	・ 「給湯機クラス」を「瞬間式給湯機クラス」に変更。給湯機能と風呂給湯機能の区分明確化。 ・ 通信定義オブジェクトの参照先記載。 ・ コンソーシアム会員内公開
Ver.3.20 Release b	・ 「開閉センサークラス」のプロパティ規定を追加。 ・ コンソーシアム会員内公開
Ver.3.21 Release a	・ コンソーシアム会員内公開
Ver.3.30 Draft	・ コンソーシアム会員内公開
Ver.3.21 Release b	・ 「ファンヒータクラス」の詳細規定追加。 ・ 「加湿器クラス」の詳細規定追加。 ・ 「電動雨戸クラス」の詳細規定追加。 ・ 「電気錠クラス」の詳細規定追加。 ・ 「雪センサークラス」の新規追加。 ・ 「電気便座クラス」の詳細規定追加。 ・ 「散水器クラス」詳細規定追加。 ・ 「床暖房クラス」の新規追加。 ・ 「熱源機クラス」の新規追加。 ・ 「洗濯乾燥機クラス」のプロパティ規定を追加。 ・ 「電動シャッタークラス」の電気錠開錠許可状態プロパティを削除。 ・ コンソーシアム会員内公開
Ver.3.30 Release a	・ コンソーシアム会員内公開
Ver.3.40 Draft	・ コンソーシアム会員内公開
Ver.3.40 Release a	・ コンソーシアム会員内公開

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

<table>
<tr><td>Ver.3.40　Release b</td><td>
・ 各クラスの表内に動作状態プロパティ内容を追加。
・ オプション必須プロパティの説明を冒頭文に追記。
・ センサ一覧表　For future reserved の範囲を修正 0x2BD→0x2D（誤記訂正）
・ 家庭用エアコン　配列アクセスと非配列アクセス併記。
　空気清浄モード設定（0xC7）,リフレッシュモード設定（0xC9）,自己洗浄モード設定（0xCB）各アクセスルールに Set/Get を併記。
・ プロパティの必須化追加（下表参照）
<table>
<tr><th>機器名</th><th>修正内容</th></tr>
<tr><td>開閉センサ</td><td>開度検知状態１、２（0xE0、0xB1）の必須を○。
表下に「何れか一方を必須とする」の注釈追加。</td></tr>
<tr><td>活動量センサ</td><td>活動量レベル１、２（0xE0、0xE2）の必須を○。
表下に「何れか一方を必須とする」の注釈追加。</td></tr>
<tr><td>人体位置センサ</td><td>人体検知位置１、２（0xE0、0xE2）の必須を○。
表下に「何れか一方を必須とする」の注釈追加。</td></tr>
<tr><td>家庭用エアコン</td><td>動作状態（0x80）の Set の必須を○。</td></tr>
<tr><td>空調換気扇</td><td>動作状態（0x80）の Set の必須を○。</td></tr>
<tr><td>空気清浄機</td><td>動作状態（0x80）の Set の必須を○。</td></tr>
<tr><td>業務用パッケージエアコン室内機</td><td>動作状態（0x80）の Set の必須を○。</td></tr>
<tr><td>電動ブラインド</td><td>開度レベル(0xE1)をオプション必須化。</td></tr>
<tr><td>深夜電力用
電気温水器</td><td>沸き上げ自動設定（0xB0）必須を○。
風呂自動モード設定(0xE3)をオプション必須化。</td></tr>
<tr><td>瞬間式給湯機</td><td>風呂自動モード設定(0xE3)をオプション必須化。</td></tr>
<tr><td>冷温水熱源機</td><td>表下に「何れか一方を必須とする」の注釈追加。</td></tr>
<tr><td>一般照明</td><td>動作状態（0x80）の Set の必須を○。</td></tr>
<tr><td>冷凍冷蔵庫</td><td>ドア開閉状態（0xB0）をオプション必須化。また詳細規定内に、「検知可能なドアのうち」の文言追加。</td></tr>
<tr><td>炊飯器</td><td>炊飯状態（0xB1）の必須を○。
炊飯制御設定(0xB2)をオプション必須化。</td></tr>
<tr><td>体重計</td><td>体重計測値（0xE0）の必須を○。</td></tr>
</table>
・ 「電気調理器クラス」を「クッキングヒータクラス」に変更し詳細規定追加。
・ コンソーシアム会員内公開
</td></tr>
<tr><td>Ver.3.41　Release a</td><td>・ コンソーシアム会員内公開</td></tr>
<tr><td>Ver.3.41　Release b</td><td>・ 浴室暖房乾燥機クラス詳細規定追加。
・ メーカーオリジナルコード説明文を第一章に追加。
・ コンソーシアム会員内公開</td></tr>
<tr><td>Ver.3.2　Release a</td><td>・ 一般公開</td></tr>
<tr><td>Ver.3.42　Release a</td><td>・ コンソーシアム会員内公開</td></tr>
<tr><td>Ver.3.42　Release b</td><td>・ プロパティ名称　「プロパティ名称の命名のための手引き」に従い修正。
・ 誤記修正
・ AV 関連機器クラスグループ 1.7 追加、及びこの詳細規定としてディスプレー、テレビオブジェクト追加。
・ コンソーシアム会員内公開</td></tr>
<tr><td>Ver.3.50 Draft</td><td>・ コンソーシアム会員内公開</td></tr>
<tr><td>Ver.3.50</td><td>・ コンソーシアム会員内公開</td></tr>
<tr><td>Ver.3.51 Draft</td><td>・ コンソーシアム会員内公開</td></tr>
<tr><td>Ver.3.60</td><td>・ コンソーシアム会員内公開
・ 一般公開</td></tr>
</table>

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

Release A	・ ECHONET version 4.0、ECHONET Lite version 1.0 に対応する事を記載 ・ 機器オブジェクトスーパークラス規定を追記。各機器オブジェクトで記載されている機器オブジェクトスーパークラスのプロパティについて、個別に定義が異なるもの以外、削除 ・ 「深夜電力用電気温水器クラス」を「電気温水器クラス」に改名し、プロパティ見直し ・ 「住宅用太陽光発電クラス」のプロパティ見直し ・ 「燃料電池クラス」の詳細規定追加 ・ 「蓄電池クラス」の詳細規定追加 ・ 「分電盤メータリングクラス」の詳細規定追加 ・ 「スマート電力量メータクラス」の詳細規定追加 ・ 「スマートガスメータクラス」の詳細規定追加 ・ 「水流量メータクラス」の詳細規定追加 ・ 「衣類乾燥機クラス」の詳細規定追加 ・ 「スイッチクラス」の詳細規定追加 ・ 「換気扇クラス」の詳細規定追加 ・ センサ関連クラスの「照度センサクラス」「風速センサクラス」「電力量センサ」「電流値センサ」「水流量センサクラス」「開閉センサクラス」のプロパティ見直し ・ 空調関連クラスの「家庭用エアコンクラス」「空気清浄器クラス」のプロパティ見直し ・ 住宅・設備関連クラスの「一般照明クラス」のプロパティ見直し ・ 調理・家事関連機器クラスの「洗濯乾燥機クラス」のプロパティ見直し ・ コンソーシアム会員内公開
Release B draft	・ スマート電力量メータクラスに「積算電力量有効桁数」を EPC0xD7、「定時積算電力量計測値（正方向計測値）」を EPC0xEA、「定時積算電力量計測値（逆方向計測値）」を EPC0xEB として新規に定義 ・ スマート電力量メータクラスの「計器認定番号」プロパティを任意プロパティに変更 ・ スマート電力量メータクラスの各詳細説明について追記・修正 ・ スマートガスメータクラスに「ガスメータ指針値」を EPC0xD1、「ガス使用量積算値履歴」を EPC0xD2 として新規に定義 ・ スマートガスメータクラスの「積算ガス消費量計測単位」、「検診データ異常検知状態」、「センター弁遮断状態」プロパティを任意に変更 ・ スマートガスメータクラスの各詳細説明について、修正・追記 ・ 蓄電池クラスに「最小最大充放電電力」を 0xC8、「最小最大放電電力」を 0xC9、「最小最大充電電流」を 0xCA、「最小最大放電電流」を 0xCB、「充電量設定値１」を 0xE7、「放電量設定値１」を 0xE8、「充電量設定値２」を 0xE9、「放電量設定値２」を 0xEA、「充電電力設定値」を 0xEB、「放電電力設定値」を 0xEC、「充電電流設定値」を 0xED、「充電電流設定値」を 0xEE として新規に定義 ・ 蓄電池クラスの「運転モード」プロパティのプロパティ値に「その他」を追加 ・ 蓄電池クラスの各詳細説明について、修正・追記 ・ 「蓄電池クラス」「スマート電力量メータクラス」「スマートガスメータクラス」について ECHONET プロパティ命名規則に従い、プロパティ名称を変更 ・ 電気自動車充放電システムクラスを新規に定義 ・ 水流量メータクラスの水流量区分の EPC を「0xD0」、所有者区分を「0xD1」に変更 ・ 識別番号プロパティのアクセスルールを Get のみに変更 ・ 誤字・脱字修正
Release B	・ 瞬間式給湯機クラスの名称を瞬間式給湯器クラスに修正 ・ 通信定義オブジェクトについて、ECHONET Lite では定義しない為、対象外である事を明記 ・ 表番号が章構成と一致していなかった為、表番号を修正 ・ スーパークラスの注釈箇所が「＊」となっていた為、表の下の注釈番号と合うように

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

	修正 ・ スマート電力量メータクラス規定の定時積算電力量計測値（正方向計測値）プロパティ詳細説明の、「積算電力量（正方向）＝0x0001E240（001234546)」から「積算電力量（正方向）＝0x0001E240（00123456)」に修正 ・ スマート電力量メータクラス規定の定時積算電力量計測値（逆方向計測値）プロパティ詳細説明の、「積算電力量（逆方向）＝0x0001E240（001234546)」を「積算電力量（逆方向）＝0x0001E240（00123456)」に修正 ・ スマート電力量メータクラス規定の所有者区分の「0x32：民間会社」を「0x32：電力会社以外」に修正 ・ スマート電力量メータクラスの電力区分プロパティの、「計器により計量されている種別」を「計器に供給している電力種別」に修正 ・ スマート電力量メータクラス規定の検定満了期プロパティの日付の扱いについて明記 ・ スマート電力量メータの合成変成比の倍率について「250A/5A の変流器」を「200A/5A の変流器」として修正 ・ 電力量センサクラスの積算電力量計測値の単位を「Wh」から「kWh に修正」 ・ 温度センサクラスの温度計測値プロパティの値の範囲を 0x7FFF から 0x7FFE に修正 ・ スマート電力量メータクラス規定の電力部分を「熱量電池」から「燃料電池」修正 ・ 電気温水器クラスの詳細説明箇所の「深夜電力量電気温水器クラス」を「電気温水器クラス変更 ・ スーパークラスの規格 Version 情報の説明を APPENDIX の Release が a の場合、1 バイト目、2 バイト目を 0x00、3 バイト目を 0x61、4 バイト目を 0x00 とする」に修正 ・ 瞬間式給湯器クラスの自動運転時間設定値の「自動運転暫時間」を「自動運転残時間」に修正 ・ 燃料電池クラスの瞬時ガス消費電力量計測値のオーバーフローコードを「ox」から「0x」 ・ 燃料電池クラスの、沸き上げ湯量設定値プロパティの詳細説明が抜けていた為、追記
Release C Draft	・ 一般照明クラスの光色設定に「0x40：その他」を追加。「常夜灯設定可能レベル最大値」を 0xB5、「点灯モード設定」を 0xB6、「通常灯モード時照度レベル設定」を 0xB7、「通常灯モード時照度レベル段数設定」を 0xB8、「常夜灯モード時照度レベル設定」を 0xB9、「常夜灯モード時照度レベル段数設定」を 0xBA、「通常灯モード時光色設定」を 0xBB、「通常灯モード時光色レベル段数設定」を 0xBC、「常夜灯モード時光色設定」を 0xBD、「常夜灯モード時光色レベル段数設定」を 0xBE、「自動モード時点灯モード状態」を 0xBF として新規に定義。また、新規追加に合せて設定可能レベル最大値を「通常灯モード時の照度及び光色設定可能レベル最大値を取得する」に変更及び、従来プロパティの詳細説明を修正。 ・ スーパークラスの電流制限設定プロパティと電力制限設定プロパティ詳細説明に、読み出される値についての説明を追記。 ・ 住宅用太陽光発電クラスに定格発電電力値（独立時）を追加。既存の定格発電電力値の定義に系統連系時と説明を追記。 ・ 家庭用エアコンクラスの詳細説明（22）風向左右設定の図を白黒に変更。 ・ 業務用パッケージエアコン室内機クラスの詳細説明（14）風光上下設定の図を白黒に変更。 ・ 蓄電池クラスに「最小最大充電電力値（独立時）(0xDC)」、「最小最大放電電力値（独立時）(0xDD)」、「最小最大充電電流値（独立時）(0xDE)」、「最小最大放電電流値（独立時）(0xDF)」、「定格電圧（独立時）(0xEF)」を定義しそれに伴い「「最小最大充電電力値」、「最小最大放電電力値」、「「最小最大充電電流値」、「最小最大放電電流値」、「定格電圧」の説明を修正 ・ 蓄電池クラスに測定部位を示す図を追加 ・ 電気温水器クラスに、警報発生状態プロパティ(0xC2)を新規に定義

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

	・ 「エンジンコージェネレーションクラス」の新規追加 ・ 燃料電池クラスの「沸き上げ湯温自動設定」、「沸き上げ中状態」、「沸き上げ湯温設定値」、「追い炊き動作」、「給湯温度設定値」、「風呂温度設定値」、「沸き上げ湯量設定値」、「風呂自動モード設定」、「風呂足し湯動作設定」、「風呂ぬるめ動作設定」、「風呂湯量設定２」、「風呂湯量設定３」、「ON タイマ予約設定」、「ON タイマ時刻設定値」プロパティを削除 ・ 燃料電池クラスに「宅内瞬時消費電力計測値」、「宅内積算消費電力計測値」、「宅内積算消費電力量リセット設定」、「発電動作状態」プロパティを追加 ・ 燃料電池クラスの「発電動作設定」プロパティのアクセスルールを SET のみに変更 ・ 燃料電池クラスの「定格発電量」「瞬時発電電力計測値プロパティの詳細説明の「oxFFFF」を「0xFFFF」に修正 ・ 付録１　プロパティマップ記述形式について、２バイト目以降のバイト数を明記 ・ 3.6 節のセキュア通信用共有鍵設定ノードのリンク先が存在しなかった為、修正 ・ 系統連系の関連するプロパティの記述で、独立と自立が混在している為、独立に統一 ・ 浴室暖房乾燥機クラス、クッキングヒータクラスの動作状態プロパティの状変時アナウンスを必須に修正 ・ 電気便座クラスの節電動作設定を削除
Release C	・ 全体のアクセスルールの表記ゆれを修正 ・ 表中の記号（○など）の説明をすべての図に記載。 ・ 機器オブジェクトスーパークラスの規格 Version 情報の説明を修正、アクセスルールの表記ゆれを修正、積算運転時間の詳細説明の誤植を修正、瞬時消費電力計測値と積算消費電力計測値の詳細説明に誤解釈を防ぐ記述を追記。 ・ 燃料電池クラスの宅内積算消費電力量計測値を非必須に変更。値域の 0x0 の桁数を適切な桁数に修正。発電動作設定(表中)の説明の誤植を修正。残湯量計測値、タンク容量値の詳細説明の誤植を修正。 ・ 水流量メータクラスの積算水流量計測値の詳細説明の誤植を修正。 ・ スイッチクラスの接続機器の詳細説明の誤植を修正。 ・ 瞬間式給湯器クラスの風呂湯量設定１、風呂湯量設定２、風呂湯量設定３の詳細説明の誤植を修正。 ・ 浴室暖房乾燥機クラスの乾燥運転設定、室内温度計測値の詳細説明の誤植を修正。 ・ 蓄電池クラスの充放電量設定値１および2、充電量設定値１および2、放電量設定値１および２の詳細説明に誤解釈を防ぐための注意を追記。 ・ 電気自動車充放電システムクラスの充電量設定値１および2、放電量設定値１および２の詳細説明に誤解釈を防ぐための注意を追記。 ・ スマートガスメータクラスのアクセスルールの表記ゆれを修正。ガス消費量履歴情報にアクセルルール Get を追記。 ・ 一般照明クラスにカラー灯モード時 RGB 設定(0xC0)を新規に定義。また、新規追加に合せて点灯モードとしてカラー灯モード(0x45)を追加。 ・ 「追い炊き」の記載を含むプロパティ及び説明を「追い焚き」に修正。 ・ 電気温水器クラス、瞬間式給湯器クラスに風呂湯量設定４プロパティ、風呂湯量設定４設定可能最大レベルプロパティを新規に追加。 ・ スーパークラスに EPC=0x93 として定義されていた位置情報プロパティを設置場所プロパティ EPC=0x81 に収容し、EPC=0x93 を新たに遠隔操作プロパティとして定義。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

Release D Draft	・ 燃料電池クラス、エンジンコージェネレーションクラスの「発電動作設定」プロパティのアクセスルールを「Set//Get」に修正。 ・ スマート電力量メータクラス「0xE2：積算電力量計測値履歴（正方向計測値）」、「0xE4：積算電力量計測値履歴（逆方向計測値）」、「0xE5：積算履歴収集日」のプロパティ名称を、それぞれ「0xE2：積算電力量計測値履歴１（正方向計測値）」、「0xE4：積算電力量計測値履歴１（逆方向計測値）」、「0xE5：積算履歴収集日１」に変更。 ・ スマート電力量メータクラス「0xE2：積算電力量計測値履歴（正方向計測値）」、「0xE4：積算電力量計測値履歴（逆方向計測値）」の説明文を修正し、データの起点時刻を明確化。 ・ スマート電力量メータクラスに「積算電力量計測値履歴２（正方向、逆方向計測値）」、「積算履歴収集日２」プロパティを追加。 ・ 電気温水器クラスに「0xB4：手動沸き上げ停止日数設定値」、「0xB5：手動沸き上げOFF タイマ相対時間設定値」、「0xB6：タンク運転モード設定」、「0xC3：給湯中状態」、「0xC4：風呂保温運転時間設定値」、「0xE9：浴室優先設定」、「0xEA：風呂動作状態監視」、「0xE4：手動風呂追い焚き動作設定」プロパティを追加。 ・ 電気温水器クラス「0xE5：風呂足し湯動作設定」、「0xE6：風呂ぬるめ動作設定」のプロパティ名称を、それぞれ0xE5：手動風呂足し湯動作設定」、「0xE6：手動風呂ぬるめ動作設定」に変更。 ・ 電動ブラインドクラスを電動ブラインド・日よけクラスに名称を変更し、 「0x89：異常内容」、「0x90：タイマ動作設定」、「0xC1：日差し検知状態」、 「0xC2：風検知状態」、「0xD0：開（張出し）速度設定」、 「0xD1：閉（収納）速度設定」、「0xD2：動作時間設定値」、「0xD4：自動動作設定」 「0xE5：電気錠設定」、「0xE8：遠隔操作設定状態」、 「0xE9：選択開（張出し）度動作設定」 「0xEA：開閉（張出し／収納）状態」、「0xEE：ワンタイム開（張出し）速度設定」 「0xEF：ワンタイム閉（収納）速度設定」プロパティを追加。 既存のプロパティで 「0x80：動作状態」の詳細説明内のクラス名を変更。 「0xE0：開閉設定」を「0xE0：開閉（張出し／収納）動作設定」に名称変更し、 プロパティ内容に停止の値域を追加。 「0xE1：開度レベル設定」のプロパティ内容を８段階設定から0～100%の設定に変更。 「0xE2：ブラインド角度設定値」のプロパティの詳細説明に追記。 「0xE3：開閉速度設定」を「0xE3：開閉（張出し／収納）速度設定」に名称変更し、プロパティの詳細説明を変更。 ・ 電動シャッタークラスに 「0x89：異常内容」、「0x90：タイマ動作設定」、「0xD0：開速度設定」、 「0xD1：閉速度設定」、「0xD2：動作時間設定値」、「0xE8：遠隔操作設定状態」、 「0xE9：選択開度動作設定」、「0xEA：開閉状態」、 「0xED：スリット開度設定」、「0xEE：ワンタイム開速度設定」、 「0xEF：ワンタイム閉速度設定」を追加。 既存のプロパティで、 「0x80：動作状態」の詳細説明内のクラス名を変更。 「0xE0：開閉設定１」を「0xE0：：開閉動作設定」にプロパティ名称を変更し、プロパティの詳細説明を変更。 「0xE1：開度レベル設定１」を「0xE1：開度レベル設定」にプロパティ名称を変更し、内容を８段階設定から0～100%の設定に変更。 「0xE4：開度レベル設定２」はプロパティを削除。 「0xE5：電気錠設定」の値域の誤記、許可=0x41、禁止=0x42 を削除。 「0xE7：開閉設定２」はプロパティを削除。 ・ 電動雨戸クラスを電動雨戸・シャッタークラスに名称を変更し、

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

	「0x89：異常内容」、「0x90：タイマ動作設定」、「0xD0：開速度設定」、 「0xD1：閉速度設定」、「0xD2：動作時間設定値」、「0xE8：遠隔操作設定状態」、 「0xE9：選択開度動作設定」、「0xEA：開閉状態」、 「0xED：スリット開度設定」、「0xEE：ワンタイム開速度設定」、 「0xEF：ワンタイム閉速度設定」を追加。 既存のプロパティで、 「0x80：動作状態」の詳細説明内のクラス名を変更。 「0xE0：開閉設定 1」を「0xE0:：開閉動作設定」にプロパティ名称を変更し、プロパティの詳細説明を変更。 「0xE1：開度レベル設定 1」を「0xE1：開度レベル設定」にプロパティ名称を変更し、内容を 8 段階設定から 0～100%の設定に変更。 「0xE4：開度レベル設定 2」はプロパティを削除。 「0xE5：電気錠設定」の値域の誤記、許可=0x41、禁止=0x42 を削除。 「0xE7：開閉設定 2」はプロパティを削除。 ・ 電動ガレージクラスを電動ゲートクラスに名称を変更し、詳細規定を追加。 ・ 電動天窓クラスを電動窓クラスに名称を変更し、詳細規定を追加 ・ オーニング・日よけクラス（0x66）は電動ブラインド・日よけクラスに統合 ・ クラスコード 0x66 に電動玄関ドア・引戸クラスを追加。（詳細規定含む） ・ 電気錠クラスに「0xE7：電池残量状態」プロパティを追加 ・ 蓄電池クラスの「0xDA：運転モード設定」プロパティに、自動（0x46）を追加 ・ 蓄電池クラスに「0xCF：運転動作状態」プロパティを追加 ・ 家庭用エアコンクラスの「0xCE：強制サーモモード設定」プロパティにアクセスルール Get を追加 ・ 電気自動車充放電システムクラスの名称を電気自動車充放電器クラスに変更し、 「0xC0：V2H 使用可能容量値 1」、「0xC1：V2H 使用可能容量値 2」、「0xC2：V2H 使用可能残容量値 1」、「0xC3：V2H 使用可能残容量値 2」、「0xC4：V2H 使用可能残容量 3」、「0xC7：充放電可否状態」、「0xD0：使用容量値 1」、「0xD1：使用容量値 2」、「0xE2：電池残容量 1」、「0xE3：電池残容量 2」、「0xE4：電池残容量 3」プロパティ名称を、「0xC0：車載電池の放電可能容量値 1」、「0xC1：車載電池の放電可能容量値 2」、「0xC2：車載電池の放電可能残容量値 1」、「0xC3：車載電池の放電可能残容量値 2」、「0xC4：車載電池の放電可能残容量 3」、「0xC7：車両接続・充放電可否状態」、「0xD0：車載電池の使用容量値 1」、「0xD1：車載電池の使用容量値 2」、「0xE2：電池残容量 1」、「0xE3：車載電池の電池残容量 2」、「0xE4：車載電池の電池残容量 3」へ変更。 「0xC5：定格充電能力」、「0xC6：定格放電能力」、「0xC8：最小最大充電電力値」、「0xC9：最小最大放電電力値」、「0xCA：最小最大充電電流値」、「0xCB：最小最大放電電流値」、「0xD2：定格電圧」、「0xDB：系統連系状態」プロパティ詳細規定を修正。 「0xE5：劣化状態」、「0xE8：放電量設定値 1」、「0xEA：放電量設定値 2」プロパティを削除。 「0xEF：定格電圧（独立時）」のプロパティを追加。 「0xC8：最小最大充電電力値」、「0xC9：最小最大放電電力値」、「0xCA：最小最大充電電流値」、「0xCB：最小最大放電電流値」プロパティの Get を必須に変更。 注釈*1～*5 および説明文を修正。 「0xD7：積算放電電力量リセット設定」、「0xD9：積算充電電力量リセット設定」プロパティの Set/Get を Set のみに変更。 各プロパティ詳細規定にて、電気自動車充放電器とこれに接続される車両（電池）のどちらが対象となるか明記し、関連する詳細説明を変更。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

Release D	・ スマート電力量メータクラス「0xE2：積算電力量計測値履歴（正方向計測値）」、「0xE4：積算電力量計測値履歴（逆方向計測値）」の説明文中の積算履歴収集日１について、当初の規定通り、2バイトとなるよう修正。 ・ スマート電力量メータクラス「積算電力量計測値履歴２（正方向、逆方向計測値）」プロパティに収集コマ数を追加。 ・ 家庭用エアコンクラスに「0x8F：節電動作設定」を追加。「0xBB：室内温度計測値」を必須化。「0xA0：風量設定」を必須化と、状変時アナウンスを必須化。 ・ 電気温水器クラスの「0xC0：昼間沸き増し許可設定」を必須化。「0xC3：給湯中状態」を必須化と、状変時アナウンスを必須化。「0xC2：警報発生状態」の詳細説明から解除要求信号に関する記載を削除。「0xB6：タンク運転モード設定」の詳細説明で消費電力量の「低い」「高い」を「小さい」「大きい」に変更。 ・ エンジンコージェネレーションクラス規定の「0xCB：発電動作状態」の詳細説明が、「エンジンの発電動作状態を示す。」となっていた為、「エンジンコージェネレーションの発電動作状態を示す。」に修正 ・ 燃料電池クラスの「0xC7：瞬時ガス消費量計測値」の詳細説明に、プロパティ値域の表記を追記 ・ 電動ブラインド・日よけクラスの「日差し検知状態」プロパティの EPC 値を 0xC2 から 0xC3 に変更 ・ 動作状態プロパティの詳細説明について、「このプロパティが OFF（0x31）のときは、本規格で特別に規定されている場合を除いて、その他のプロパティで設定及び取得した値は保証されるものではない。」の文言を、保証されるプロパティに関しては、該当プロパティの詳細説明にて記載済みの為、削除。 ・ 電気温水器クラス、住宅用太陽光発電クラスの動作状態プロパティの詳細説明について「本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。」に修正。 ・ オプション必須プロパティの定義について見直し。 ・ プロパティ記述形式（1）の記述例に「0x82：規格 Version 情報」が抜けていた為、修正

・ エコーネットコンソーシアムが発行している規格類は、工業所有権(特許,実用新案など)に関する抵触の有無に関係なく制定されています。
エコーネットコンソーシアムは、この規格類の内容に関する工業所有権に対して、一切の責任を負いません。
・ この書面の使用による、いかなる損害も責任を負うものではありません。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

第１章 本書の概要

本 APPENDIX においては、ECHONET オブジェクトのうち、機器オブジェクトに相当するクラスグループ（クラスグループコード 0x00～0x05）の機器オブジェクト及び、機器オブジェクトスーパークラスのプロパティ構成を詳細に示す。

機器オブジェクトに相当する各クラスは、機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承する。したがって、各クラスを搭載する機器には、本 APPENDIX の各クラスで規定するプロパティと、機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを搭載するものとする。

機器オブジェクト基本規定については「第 2 部 ECHONET 通信ミドルウェア仕様 第 9 章」及び、「第 2 部 ECHONET Lite 通信ミドルウェア仕様　第 7 章」を参照のこと。尚、ECHONET Lite 機器は、配列要素（SetM、GetM）として規定しているプロパティを搭載する事はできない。

プロパティ内容の値域に記載するコード全てに対応する機能を実機器が実装する必要はなく、実機器がその機能として有するコードのみを搭載することとする。

なお、機器オブジェクトの通信上の動作を設定できる「通信定義オブジェクト」が「第 2 部 ECHONET 通信ミドルウェア仕様　第９章」に規定されているので、参照のこと。

例えば、リモコンなど 機器側での操作を禁止もしくは制限する場合は、「ローカル変更制限設定 通信定義クラス」を利用する。

ただし、ECHONET Lite では、通信定義オブジェクトを定義していない為、対象外とする。

また、現時点では全ての機器に搭載するのは困難なプロパティであるが、サービス視点で考慮した際、機器への搭載を推奨するプロパティを「オプション必須」プロパティとして規定する。

本書での各クラス規定表内「必須」欄での本プロパティの表記は、表１に示した各アプリケーションサービス名の中で本プロパティ搭載によって実現されうるサービス名に対応した表記記号を使用する。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

表１アプリケーションサービスと「オプション必須」プロパティ表記記号一覧

アプリケーション サービス名	サービス内容例	表記 記号
モバイルサービス (Mobile services)	・ 宅内機器運転状態遠隔モニター ・ 宅内機器遠隔操作、施錠操作 ・ 訪問者、高齢者生活状況遠隔モニター	Ⓜ
エネルギーサービス (Energy services)	・ 電気使用量、電気料金モニター ・ エアコン・換気扇・照明・ブラインド協調省エネ運転 ・ 契約電力デマンド制御	Ⓔ
快適生活支援サービス (Home amenity services)	・ ブラインド・換気扇・照明の集中操作 ・ 宅内機器スケジュール運転（予冷、予熱）	Ⓗa
ホームヘルスケア サービス (Home health-care services)	・ 健康管理サービス（病院、健康アドバイス会社） ・ 高齢者生活ケアサービス ・ 在宅医療機器監視・制御	Ⓗh
セキュリティサービス (Security services)	・ 防火（火災・ガス漏れ・漏電監視） ・ 防災（漏水検知、地震対応、凍結防止） ・ 防犯（訪問者管理、侵入者防止）	Ⓢ
機器リモート メンテナンスサービス (Remote appliance maintenance services)	・ 宅内機器遠隔故障診断・保守 ・ 宅内機器運転遠隔コンサルタント	Ⓡ

メーカ固有の機能を扱うことができるようにプロパティ内容にメーカオリジナルコードを設ける。但しプロパティ内容の欄にメーカオリジナルコードとして規定されている場合に限り、メーカ固有のコードを割り当てることができる。メーカオリジナルコードは、エコーネットオブジェクト規格のプロパティ内容（コード）として規定されていないプロパティ内容に対して用いることとする。メーカオリジナルコード内のコード設定はメーカごとに個々におこない、メーカオリジナルコード内のコードの追加／削除／変更についてもメーカとの判断でおこなうこととする。なお、メーカオリジナルコードに設定した内容について、公表するか否かについては、メーカごとの判断とする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

第２章 機器オブジェクトスーパークラス規定

機器オブジェクトスーパークラスのプロパティは､機器オブジェクトの各クラスに継承され搭載されるプロパティである｡機器オブジェクトスーパークラスの規定を以下に示す。

「動作状態」(EPC=0x80)プロパティは､機器オブジェクトの全てのクラスに、アクセスルール「Get」すなわち、他ノードから参照可能であるプロパティとして必ず実装する。同様に、プロパティ名称「状変アナウンスプロパティマップ」(EPC=0x9D)、「異常発生状態」(EPC=0x88)、「Set プロパティマップ」(EPC=0x9E)、「Get プロパティマップ」(EPC=0x9F)についてもアクセスルール「Get」、すなわち参照可能であるプロパティとして搭載必須とする。

また、ECHONET 機器の場合、「SetM プロパティマップ」「GetM プロパティマップ」は搭載必須とし、ECHONET Lite 機器の場合、「SetM プロパティマップ」「GetM プロパティマップ」は配列要素のプロパティは搭載できない為、搭載不可とする。

尚、機器オブジェクトスーパークラスは、全クラスの共通領域である、0x80～0x9F の領域を用いて定義する。スーパークラス規定ではないが、全クラスの共通領域用いて、ON タイマ予約設定(0x90)、ON タイマ時刻設定値(0x91)、ON タイマ相対時間設定値(0x92)、OFF タイマ予約設定(0x94)、OFF タイマ時刻設定(0x95)、OFF タイマ相対時間設定(0x96)が定義されている。本プロパティを搭載する機器オブジェクトについては、「APPENDIX 機器オブジェクト詳細規定」に記載する。表２に、機器オブジェクトスーパークラスのプロパティ一覧を示す。

表２　機器オブジェクトスーパークラス構成プロパティ一覧

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	サイズ (Byte)	ｱｸｾｽﾙｰﾙ	必須 注２	状変時アナウンス	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ON＝0x30，OFF＝0x31	unsigned char	1	Set Get	 ○	○	
設置場所	0x81	設置場所を示す。 2.2 設置場所プロパティ参照	unsigned char	1 or 17	Set/ Get	○ 注４	○	
規格 Version 情報	0x82	対応する APPENDIX のリリース番号を示す.。	unsigned char×4	4	Get	○		

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

		1 ﾊﾞｲﾄ目：0x00 固定(for future reserved) 2 ﾊﾞｲﾄ目：0x00 固定(for future reserved) 3 ﾊﾞｲﾄ目：リリース順.を ASCII で示す。 4 ﾊﾞｲﾄ目：0x00 固定(for future reserved)						
識別番号	0x83	オブジェクトを固有に識別する番号。 1 バイト目：下位通信層 ID ﾌｨｰﾙﾄﾞ 0x01～0xFD： 下位通信層で使用される通信プロトコルで固有の番号が振られている場合、プロトコル種別に応じて、任意に設定（ECHONET Lite では使用しない） 0x11～0x1F：電灯線 a,d 方式 0x31～0x3F：特定小電力無線 0x41～0x4F：拡張 HBS 0x51～0x5F：IrDA 0x61～0x6F：LonTalk 0x71～0x7F：Bluetooth 0x81～0x8F：イーサネット 0x91～0x9F：IEEE802.11/11b 0xA1：電灯線 c 方式 0xB1：IPv6/Ethernet 0xB2：IPv6/6LoWPAN 0xFE： 2～17 バイトをメーカ規定。形式により設定（詳細説明参照） 0xFF： 2～9 バイトを乱数により生成するプロトコルを下位通信層で使用する場合に設定 0x00： 識別番号未設定 2 バイト目以降：固有番号フィールド	unsigned char	9 or 17	Get			
瞬時消費電力計測値	0x84	機器の瞬時消費電力を W で示す。 0x0000～0xFFFD（0～65533W）	unsigned short	2	Get			
積算消費電力計測値	0x85	機器の積算消費電力を 0.001kWh で示す。 0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999.999kWh）	unsigned long	4	Get			
メーカ異常コード	0x86	各メーカ独自の異常コードを示す。	unsigned char×	Max 225	Get			

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

		1バイト目：異常コード部のデータサイズを示す。 2～4バイト目：メーカコード 5バイト目以降：各メーカ独自の異常コード部	(MAX)225					
電流制限設定	0x87	電流制限の設定値を示す(0～100%)。 0x00～0x64　(=0～100%)	unsigned char	1	Set/ Get			
異常発生状態	0x88	何らかの異常(センサトラブル等)の発生状況を示す。 異常発生有＝0x41，異常発生無＝0x42	unsigned char	1	Get	○	○	
異常内容	0x89	異常内容 2.5 異常内容プロパティ参照	unsigned short	2	Get			
メーカコード	0x8A	3 バイトで指定。 (ECHONET ｺﾝｿｰｼｱﾑで規定。)	unsigned char×3	3	Get	○		
事業場コード	0x8B	3 バイトの事業場コードで指定。 （各メーカ毎に規定。）	unsigned char×3	3	Get			
商品コード	0x8C	ASCII コードで指定。 （各メーカ毎に規定。）	unsigned char×12	12	Get			
製造番号	0x8D	ASCII コードで指定。 （各メーカ毎に規定。）	unsigned char×12	12	Get			
製造年月日	0x8E	4 バイトで指定。 YYMD(1 文字 1 バイト)で示す。 YY：西暦年(1999 年の場合:0x07CF) M：月(12 月の場合＝0x0C) D：日(20 日の場合＝0x14)	unsigned char×4	4	Get			
節電動作設定	0x8F	機器の節電動作状態を示す。 節電動作中=0x41 通常動作中=0x42	unsigned char	1	Set/ Get			
遠隔操作設定	0x93	公衆回線を介した操作か否かを示す。 公衆回線未経由操作＝0x41 公衆回線経由操作＝0x42	unsigned char	1	Set/ Get			
現在時刻設定	0x97	現在時刻 HH：MM 0x00～0x17：0x00～0x3B （＝0～23）：（＝0～59）	unsigned char ×2	2	Set/ Get			
現在年月日設定	0x98	現在年月日 YYYY：MM：DD 1～0x270F：1～0x0C：1～0x1F (=1～9999)：(=1～12)：(=1～31)	unsigned char ×4	4	Set/ Get			
電力制限設定	0x99	電力制限の設定値を W で示す。 0x0000~0xFFFF（0～65535W）	unsigned short	2	Set/ Get			
積算運転時間	0x9A	現在までの運転時間の積算値を単位 1 バイト、時間 4 バイトで示す。	unsigned char	1+4 Byte	Get			

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

		1バイト目：単位を示す 秒：0x41、分：0x42 時：0x43、日:0x44 2～5バイト目： 1バイト目に示される時間単位にお ける経過時間を示す 0x00000000～0xFFFFFFFF (0～4294967295)	＋ unsigned long					
SetM プロパティマップ	0x9B	付録１．参照	unsigned char×(MAX17)	Max. 17	Get	○ 注3		
GetM プロパティマップ	0x9C	付録１．参照	unsigned char×(MAX17)	Max. 17	Get	○ 注3		
状変アナウンスプロパティマップ	0x9D	付録 1．参照	unsigned char×(MAX17)	Max. 17	Get	○		
Set プロパティマップ	0x9E	付録 1．参照	unsigned char×(MAX17)	Max. 17	Get	○		
Get プロパティマップ	0x9F	付録 1．参照	unsigned char×(MAX17)	Max. 17	Get	○		

注1） ECHONET Lite で規定されている、送信専用機器である場合は、「必須」と記載しているプロパティであっても、実装を必須としない。また、動作状態プロパティの状態変化時（状変時）アナウンスを必須としない。送信専用機器の取り扱いは「第 5 部 ECHONET Lite システム設計指針」の第 3 章参照のこと。

注2） 状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

注3） GeM プロパティマップ、SetM プロパティマップは、ECHONET Lite 機器は搭載不可

注4） サイズ 17byte についてはオプションとする。詳細については「2.2 設置場所プロパティ」を参照。

２．１ 動作状態プロパティ

機器オブジェクトスーパークラスの「動作状態」プロパティは、実機器における、各クラス固有の機能が稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。尚、機器オブジェクトの各クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、各クラス固有の機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30 で実装することが可能である。（ただし、ノードの通信機能の稼動状態は、ノードプロファイルオブジェクトの動作状態プロパティにおいて示すものとする。）

２．２ 設置場所プロパティ

設置場所プロパティは、機器が設置されている場所を、1 バイトのビットマッ

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

プ情報で示す。本プロパティは、書き換え可能な搭載必須プロパティである。また値が変化した場合は、変化後の値をドメイン内に一斉同報しなくてはならない。

設置場所プロパティの８個のビットには、フリー定義指定ビット、設置場所コード、場所番号が割り当てられる。ただし、全ビットが 0 の場合は設置場所未設定を示す特殊コードとなり、全ビットが１の場合は設置場所不定を示す特殊コードとなる。

各ビットが示す内容を、以下に説明する。また、設置場所とフリー定義指定ビット、設置場所コード、場所番号の関係を表３に示す。

・フリー定義指定ビット（b7）

b7 の 1 ビットで構成される。b7=1 の場合は、設置場所コード、場所番号はフリー定義であり、自由に定義できることを示す。

b7=0 の場合、設置場所コード、場所番号は表３に示す規定により、機器の設置場所を示す。

・設置場所コード（b3～b6）

b3～b6 の 4 ビットで構成される。b7=1 の場合はフリー定義となる。

b7=0 の場合は、表３に示す規定により、機器の設置場所の種類を示す。

・場所番号（b0～b2）

b0～b2 の 3 ビットで構成される。b7=1 の場合はフリー定義となる。b7=0 の場合は、同じ種類の空間が複数存在しているときに、その区別を行うための番号となる。例えば、トイレが 2 つ存在した場合、1 階のトイレの場所番号を 001b、2 階のトイレの場所番号を 010b と発番してそれぞれのトイレを区別することが可能となる。

なお、b7=0 で、かつ場所番号フィールドが 000b である場合は、設置場所コードに示される設置場所に機器が設置されることを想定して設置場所プロパティが初期化されたことを示す。このことを、「場所番号未設定」と表現する。

機器の設置場所の種類を想定せずに設置場所プロパティの初期化を行った場合は、その値を設置場所未設定コード（0x00）としなくてはならない。また、機器の設置場所として特定の種類を設定することが不適当である場合は、設置場所プロパティの値を設置場所不定コード（0xFF）としなくてはならない。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

設置場所コード「0x01」を設定した場合、以降に続く 16 バイトで機器が設置されている場所の緯度・経度・高さの情報を示し、合計で 17 バイトとする。

設置場所コードを除く 16 バイトのうち、上位 8 バイトの値が「0x00, 0x00, 0x1B, 0x00, 0x00, 0x00, 0x00, 0x03」の場合は、下位 8 バイトは国土地理院が定める場所情報コードに従うものとする。

なお、設置場所コード「0x01」の位置情報定義の規定はオプションとする。

0x02～0x07 の値は、for future reserved とする。

表３　設置場所空間名と割り当てられるビットの関係

MSB　　LSB

設置場所の種類	フリー定義指定ビット	設置場所コード				場所番号		
	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
居間、リビング	0	0	0	0	1	“000b”～“111b” (“000b”は場所番号未設定表す)		
食堂、ダイニング	0	0	0	1	0			
台所、キッチン	0	0	0	1	1			
浴室、バス	0	0	1	0	0			
トイレ	0	0	1	0	1			
洗面所、脱衣所	0	0	1	1	0			
廊下	0	0	1	1	1			
部屋	0	1	0	0	0			
階段	0	1	0	0	1			
玄関	0	1	0	1	0			
納戸	0	1	0	1	1			
庭、外周	0	1	1	0	0			
車庫	0	1	1	0	1			
ベランダ、バルコニー	0	1	1	1	0			
その他	0	1	1	1	1			
フリー定義※	1	“0000000b”～”1111110b”						
設置場所未設定	0	0	0	0	0	0	0	0
設置場所不定	1	1	1	1	1	1	1	1
位置情報定義	0	0	0	0	0	0	0	1
for future reserved	“00000010b”～”00000111b”							

※　フリー定義は、店舗・中小ビルなどでの使用を想定し、自由に定義できる領域である。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

２．３ 規格 Version 情報プロパティ

規格 Version 情報のプロパティ値は、対応する APPENDIX の Release 順を 1 バイトの ASCII コードで示す。

1 バイト目、2 バイト目は将来拡張用として、本 Version では、0x00 固定とする。3 バイト目が Release 順示す。APPENDIX の Release が B の場合、1 バイト目、2 バイト目を 0x00（0）、3 バイト目を 0x42（B）、4 バイト目を 0x00(0)とする。

２．４ 異常発生状態プロパティ

機器オブジェクトスーパークラスの「異常発生状態」プロパティは、実機器において、何らかの異常の発生状況を示す。プロパティ値として利用するプロパティコードは、異常発生有の場合 0x41、異常発生無の場合 0x42 である。

２．５ 異常内容プロパティ

異常内容のプロパティ値においては、表４の異常内容コード割当てを用いることとする。表中、復帰可能な異常とは、機器の正常な機能動作を阻害しているが、その要因をユーザの何らかの操作によって取り除くことが可能であるような異常を示す。一方、修理が必要な異常とは、機器の正常な機能動作を阻害しており、その要因を取り除くには専門家の修理が必要な異常を示す。

異常内容コード下位 1 バイトは、異常内容大分類を示し、異常内容コード上位 1 バイトは異常内容小分類を示すものとする。復帰可能な異常の異常内容小分類に関しては、今後クラスごとに決定していく。なお、復帰可能な異常、修理が必要な異常において、異常内容小分類を特定せずに、単に異常内容大分類までの範囲で異常を示す場合は、異常内容コード上位 1 バイトを 0x00 としなくてはならない。

(1)異常内容コード下位 1 バイト

異常内容コード下位 1 バイトは異常内容の概略である異常内容大分類を示す。

異常内容コード下位 1 バイトが 0x00 の場合は、該当する機器に異常が発生していないことを示す。

異常内容コード下位 1 バイトが 0x01 から 0x09 の場合は、ユーザの何らかの操作により復帰可能な異常が、該当する機器に発生していることを示す。異常は復帰のために行うべき操作により分類される。0x01 は、電源の再投入よる機器

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

の再起動により復帰する異常を示す。0x02 は、リセット操作による機器の再起動により復帰する異常を示す。0x03 は、機器の据付状態の変更、蓋・扉の開閉等により復帰する異常を示す。0x04 は、燃料、水、空気などの供給等により復帰する異常を示す。0x05 は、機器の清掃により復帰する異常を示す。0x06 は電池、バッテリー等の交換により復帰する異常を示す。0x09 はユーザ定義領域であり、自由な定義により使用可能である。0x07、0x08 は復帰可能な異常の将来規定のために予約されている領域である。

異常内容コード下位１バイトが 0x0A から 0x6E の場合は、修理を必要とする異常が、該当する機器に発生していることを示す。異常は、それが発生している部位により分類される。0x0A から 0x13 は、安全装置が作動していることを示す。0x14 から 0x1D は、ユーザインタフェースに異常が生じていることを示す。0x1E から 0x3B は、センサ系に異常が生じていることを示す。0x3C から 0x59 は、アクチュエータ等に異常が生じていることを示す。0x5A から 0x6E は、制御基板上に異常が生じていることを示す。

(2)異常内容コード上位１バイト

異常内容コード上位１バイトは異常内容大分類毎に、異常内容の詳細である異常内容小分類を示す。

異常内容コード下位 1 バイトが 0x00（異常なし）の場合、異常内容コード上位１バイトは 0x00 としなくてはならない。0x04～0xFF は、将来規定のために予約する。

異常内容コード下位１バイトが 0x01 から 0x06 の場合、異常内容コード上位１バイトは、0x00、または 0x04～0xFF の範囲の値をとることが可能である。異常内容コード上位１バイトが 0x00 の場合は、異常内容小分類を特定せずに、単に異常内容大分類までの範囲で異常を示していることとなる。0x04～0xFF の範囲の値は、今後クラスごとに規定を行っていくため予約されている。

異常内容コード下位１バイトが 0x07、0x08 の場合、異常内容コード上位１バイトは、0x00、または 0x04～0xFF の範囲の値をとることが可能である。その全てが将来規定のために予約されている。

異常内容コード下位１バイトが 0x09 の場合、異常内容コード上位１バイトは、0x00、または 0x04～0xFF の範囲の値をとることが可能である。この全てをユーザが自由に定義して使用可能である。

異常内容コード下位１バイトが 0x0A から 0x6E の場合、異常内容コード上位１バイトは、0x00、または 0x04～0xFF の範囲の値をとることが可能である。異常内容コード上位１バイトが 0x00 の場合は、異常内容小分類を特定せずに、単に異常内容大分類までの範囲で異常を示していることとなる。0x04～0xFF の範

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

囲の値は、ユーザが自由に定義して使用可能である。

なお、異常内容コード上位１バイトと異常内容コード下位１バイトの組み合わせが、0x006F～0x03E8 の範囲は、修理が必要な異常をユーザが自由に定義可能な領域である。

また、異常内容コード上位１バイトと異常内容コード下位１バイトの組み合わせが、0x03FF の場合は、何らかの異常が生じているが、復帰方法、あるいは異常個所の特定ができないことを示す。

また、異常内容コード上位１バイトと異常内容コード下位１バイトの組み合わせが、0x03E9～0x03FE の範囲は、将来規定のために予約されている領域である。

表４　異常内容コード割当て

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">異常内容大分類</th><th colspan="2">異常内容コード（0x**%%）</th></tr>
<tr><th>異常内容コード
下位１バイト（%%）</th><th>異常内容コード
上位１バイト（**）</th></tr>
<tr><td colspan="2">異常無し</td><td>0x00</td><td>0x00：異常なし
0x04～0xFF
：for future reserved</td></tr>
<tr><td rowspan="8">復帰可能な異常</td><td>運転／電源スイッチを切るか、コンセントを抜き再操作</td><td>0x01</td><td rowspan="7">0x00：異常内容小分類指定無
0x04～0xFF
：for future reserved</td></tr>
<tr><td>リセットボタンを押し再操作</td><td>0x02</td></tr>
<tr><td>セット不良</td><td>0x03</td></tr>
<tr><td>補給</td><td>0x04</td></tr>
<tr><td>掃除(フィルター等)</td><td>0x05</td></tr>
<tr><td>電池交換</td><td>0x06</td></tr>
<tr><td>for future reserved</td><td>0x07～0x08</td><td>0x00、0x04～0xFF</td></tr>
<tr><td>ユーザ定義領域</td><td>0x09</td><td>0x00、0x04～0xFF</td></tr>
<tr><td rowspan="7">修理が必要な異常</td><td>異常現象／安全装置作動</td><td>0x0a～0x13</td><td rowspan="6">0x00：異常内容小分類指定無
0x04～0xFF
：ユーザ定義</td></tr>
<tr><td>スイッチ異常</td><td>0x14～0x1D</td></tr>
<tr><td>センサ異常</td><td>0x1E～0x3B</td></tr>
<tr><td>機能部品異常</td><td>0x3C～0x59</td></tr>
<tr><td>制御基板異常</td><td>0x5A～0x6E</td></tr>
<tr><td>ユーザ定義領域</td><td colspan="2">0x006F～0x03E8</td></tr>
<tr><td colspan="2">異常あり</td><td colspan="2">0x03FF</td></tr>
<tr><td colspan="2">for future reserved</td><td colspan="2">0x03E9～0x03FE、0x**6F～0x**FF
（**：04～FF）</td></tr>
</table>

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

２．６ メーカコードプロパティ

メーカコードのプロパティ値は、各メーカを 3 バイトのコードで表す。メーカごとのプロパティ値は、ECHONET コンソーシアムが ECHONET コンソーシアムの会員ごとに割り当てるものである。

２．７ 事業場コードプロパティ

事業場コードのプロパティ値は、各メーカの事業場を 3 バイトのコードで表す。事業場コードプロパティのプロパティ値は、ECHONET コンソーシアムで規定するものではなく、メーカ毎に規定するものである。

２．８ 商品コードプロパティ

商品コードのプロパティ値は、各メーカの商品を 12 バイトの ASCII コードで表す。商品コードプロパティのプロパティ値は、ECHONET コンソーシアムで規定するものではなく、メーカ毎に規定するものである。商品コードプロパティのプロパティ値が 12 バイトに満たない場合、データ領域に前詰で商品コードを格納し、空き領域は NULL またはスペースを格納すること。

２．９ 製造番号プロパティ

製造番号のプロパティ値は、各メーカの商品の製造番号を 12 バイトの ASCII コードで表す。製造番号プロパティのプロパティ値は、ECHONET コンソーシアムで規定するものではなく、メーカ毎に規定するものである。製造番号プロパティのプロパティ値が 12 バイトに満たない場合、データ領域に前詰で製造番号を格納し、空き領域は NULL またはスペースを格納すること。

２．１０ 製造年月日プロパティ

製造年月日のプロパティ値は、各メーカの商品を製造した日を 4 バイトで指定する。具体的には、製造年を 2 バイト、製造月、製造日をそれぞれ 1 バイトで示す。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

２．１１ プロパティマッププロパティ

機器オブジェクトスーパークラスは、3 つのプロパティマップと呼ばれる、オブジェクトが公開する各プロパティが提供可能なサービスについて表現する情報を定義している。

このうち、次のプロパティ、「Set プロパティマップ」、「Get プロパティマップ」、は、搭載しているオブジェクトが公開する各プロパティが、各製品仕様としてどのようなアクセスルールに対応しているかを示す情報である。

一方、「状変アナウンスプロパティマップ」は、プロパティの値が変化した場合に、ECHONET ではドメイン内一斉同報、ECHONET Lite では一斉同報を行うことを示すプロパティマップである。

それぞれ、マップの表現形式は、付録 1 に示す。なお、対象のプロパティが存在しない場合には、プロパティ数を「0」とし、2 バイト目以降はブランクとする。

各プロパティマップの定義を以下に示す。

（1）Set プロパティマップ

アクセスルール「Set」に該当するプロパティを示すプロパティマップ。一括書き込みを許可する配列プロパティは、Set プロパティマップ上に EPC を登録する必要がある。

（2）Get プロパティマップ

アクセスルール「Get」に該当するプロパティを示すプロパティマップ。一括読み出しを許可する配列プロパティは、Get プロパティマップ上に EPC を登録する必要がある。

（3）SetM プロパティマップ

アクセスルール「SetM」に該当するプロパティを示すプロパティマップ。一括書き込みを許可する配列プロパティは、SetM プロパティマップ上に EPC を登録する必要がある。なお、ECHONET Lite 機器は、配列プロパティは規定できない為、SetM プロパティマップは搭載する事はできない。

（4）GetM プロパティマップ

アクセスルール「GetM」に該当するプロパティを示すプロパティマップ。一括読み出しを許可する配列プロパティは、GetM プロパティマップ上に EPC を登録する必要がある。なお、ECHONET Lite 機器は、配列プロパティは規定できない為、SetM プロパティマップは搭載する事はできない。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

（5）状変アナウンスプロパティマップ

その値が変化した場合、変化した値を一斉同報するように設定されているプロパティの一覧を示すプロパティマップ。各製品仕様でサポートするプロパティのうち、ECHONET 及び ECHONET Lite 規格書の各オブジェクトのプロパティ規定における「状変時アナウンス」欄にドメイン内一斉同報または一斉同報が規定されているプロパティに加え、製品仕様として独自に「状変時アナウンス」を実施するプロパティが含まれる。

アクセスルールに対応可能と、各プロパティマップで公開しているプロパティに関しては、アクセスルールに対応しなければならない。また、アクセスルールに対応可能と、各プロパティマップで公開していないプロパティに関しては、アクセスルールへの対応は機器の実装依存である。

２．１２ 識別番号プロパティ

以下に ECHONET、及び ECHONET Lite における定義内容について示す。

・ECHONET 定義

本プロパティは、ノードをドメイン内で一意に識別するための番号である。下記通信ソフトウェア種別毎に定義された ID を格納する下位通信ソフトウェア ID フィールドと、下位通信ソフトウェア毎に独自の方法で各々の製品毎に一意に振られる識別番号を格納する固有番号フィールドによって構成する。なお、この固有番号の定義については、第 3 部の各下位通信ソフトウェアにて規定する（ただし、Ver. 3.00 以降では、IP/Bluetooth 依存下位通信ソフトウェア、IP/Ethernet・IEEE802.3 依存下位通信ソフトウェアでのみ規定）。

固有番号とは、ハードウェアアドレスの事である。ただし、ハードウェアアドレスが 8 バイトに満たない場合、固有番号フィールドに前詰でハードウェアアドレスを格納し、残り 0 パディングとする。

各 ECHONET ノードは少なくとも 1 つの機器オブジェクトを搭載しなければならないが、本識別番号プロパティの値は、この機器オブジェクトが保持しているノードプロファイルオブジェクトのノード識別番号プロパティと同じ値にしなければならない。

・ECHONET Lite 定義

本プロパティは、機器オブジェクトをドメイン内で一意に識別するための番号である。ECHONETLite では下位通信層のプロトコル種別を定義しないため、下位通信層のプロトコル種別として、0xFE、0xFF、0x00 のみ対応する。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

メーカ規定形式（0xFE）は、メーカ毎に決められたメーカコードを格納するメーカコードフィールドと、メーカ毎に規定するフィールドにより構成される。1～3 バイト目は ECHONET コンソーシアムで規定される 3 バイトのメーカコードを示す。4 バイト目以降は、各ベンダ独自でユニークな ID を格納する。コードが重複しないように、各ベンダで担保する。

メーカコード（3Byte）	ユニーク ID 部（メーカ独自）（13Byte）

２．１３ メーカ異常コードプロパティ

メーカ異常コードのプロパティ値は機器に生じている異常を、メーカ独自の異常コードを用いて表す。

1 バイト目は、異常コード部のデータサイズを示す。

2～4 バイト目は、ECHONE コンソーシアムで規定される 3 バイトのメーカコードを示す。

5 バイト目以降の異常コード部は、各メーカ独自の異常コードを格納する。

なお、本プロパティを搭載する場合には、「異常内容」プロパティを搭載することを必須とする。

異常コード部のデータサイズ（1Byte）	メーカコード（3Byte）	異常コード部（メーカ独自）（Max221Byte）

２．１４ 電流制限設定プロパティ

電流制限設定のプロパティ値は消費可能な最大電流値を設定する値（電流制限値）を保持する。本プロパティの値域は、0～100（0x00～0x64）で、単位は%とする。該オブジェクトに関連づけられている機器が規定の最大電流値の、本プロパティが保持する値が示す割合分が、その時点での消費可能最大電流値となる。本プロパティの値が 100 の場合は、制限なしを示す。本プロパティに設定された値での消費電流値制限が不可能な場合は、設定された値を超えない範囲で最も近い値での制限を行う。読み出される値は機器内部で設定された値とする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

２．１５ 節電動作設定プロパティ

節電動作設定のプロパティ値は当該オブジェクトに関連づけられている機器が、節電モードで動作中であるか否かの状態を保持する。保持する値を 0x41 とした場合、機器は節電モードでの動作を行う。保持する値を 0x42 とした場合、機器は通常の（非節電モードでの）動作を行う。

２．１６ 遠隔操作設定プロパティ

公衆回線を経由した制御か否かを 1 バイトで示す。公衆回線を経由しない制御を 0x41、公衆回線経由の制御を 0x42 で示す。

公衆回線経由の制御をする場合、本プロパティを含む複数のプロパティを同一電文に格納して、制御要求電文を送信する。その際、必ず先頭のプロパティに本プロパティを付与（EDT=0x42：公衆回線経由操作）して送信する事。

制御要求電文とは、プロパティ値書き込み要求（応答不要）、プロパティ値書き込み要求（応答要）、プロパティ値書き込み読み出し要求を指す。

例えば、エアコンの運転モード設定＝冷房を、公衆回線を用いて制御する場合、本プロパティを先頭プロパティに付与し、遠隔操作設定プロパティ、運転モード設定プロパティの順に、同一の制御要求電文で送信する事。

なお、本プロパティを用いて制御要求電文を送信する際、処理対象プロパティカウンタ（OPC）が取り得る最小値は２となる。

公衆回線未経由で制御する場合は、本プロパティは付与せず、制御要求電文を送信する事。例えば、エアコンの運転モード設定＝冷房を、公衆回線未経由で制御する場合、本プロパティを付与せず、運転モード設定プロパティのみを制御要求電文として送信する。

また、本プロパティの状態が公衆回線経由操作（EDT=0x42）であった場合に、専用リモコンでの制御、本体での直接制御、公衆回線未経由での制御等があった場合、状態を公衆回線未経由（EDT=0x41）に変更する。

２．１７ 積算運転時間プロパティ

積算運転時間のプロパティ値は運転時間の積算値（積算運転時間）を示す。

1 バイト目が積算運転時間の時間単位を示す。時間単位が秒の場合は 0x41 を、分の場合は 0x42 を、時の場合は 0x43 を、日の場合は 0x44 を示す。

2～5 バイト目は 1 固まりの unsigned long データとして扱われ、1 バイト目で示される時間単位における積算運転時間を示す。積算運転時間（2～5 バイト目）

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

の値域は、0x00000000～0xFFFFFFFE（0～4294967294）とする。0xFFFFFFFF はオーバーフローコードとする。

カウントアップする状態及び、カウントアップの開始・停止の条件は機器依存とし特に規定しない。

２．１８ 現在時刻設定プロパティ

現在のローカル時刻を、時：0x00～0x17（0～23）、分：0x00～0x3B（0～59）で示す。

プロパティ値の 1 バイト目は時を示し、2 バイト目は分を示す。

２．１９ 現在年月日設定プロパティ

現在の年月日を、年：0x0001～0x270F（1～9999）、月：0x01～0x0C（1～12）、日：0x01～0x1F（1～31）で示す。

1～2 バイト目は 1 固まりの unsigned short データとして扱われ、年（2Byte）を示し、3 バイト目は月（1Byte）を示し、4 バイト目は日（1Byte）としてプロパティ値とする。

２．２０ 瞬時消費電力計測値プロパティ

機器の瞬時消費電力を W 単位で表す。プロパティの値域は、0x0000～0xFFFD とし、実機器が値域を**超える**場合は、オーバーフローコート 0xFFFF、実機のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0xFFFE を用いるものとする。

２．２１ 積算消費電力計測値プロパティ

機器の積算消費電力を 0.001kW 単位で表す。プロパティの値域は、0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999.999kWh）とし、積算消費電力計測値のオーバーフロー時は、0x00000000 から再インクリメントするものとする。

２．２２ 電力制限設定プロパティ

消費可能な最大電力値を設定する値（電力制限値）を保持する。本プロパティの値域は、0～65535（0x0000～0xFFFF）で単位は W とする。本プロパティに

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

設定された対での消費電流制限値が不可能な場合、設定値を越えない範囲で最も近い値の制限を行う。読み出される値は機器内部で設定された値とする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

第３章 機器オブジェクト詳細規定

３．１ センサ関連機器クラスグループ

本節では、機器オブジェクトの内、センサ関連機器クラスグループ（クラスグループコード X1=0x00）に属する ECHONET オブジェクト毎に、コードやプロパティの詳細を規定する。本節で詳細を規定するクラスの一覧を、表５に示し、各クラス毎の詳細を項を設けて規定を示す。クラス規定において、「必須」の記述のあるものは、各クラスを搭載する機器には、そのプロパティとサービスの組み合わせの実装が必須であることを示す。

表５　センサ関連機器クラスグループのオブジェクト一覧表

クラス グループコード	クラスコード	クラス名	詳細規定の有無	備考
0x00	0x00	For future reserved		
	0x01	ガス漏れセンサ	○	
	0x02	防犯センサ	○	
	0x03	非常ボタン	○	
	0x04	救急用センサ	○	
	0x05	地震センサ	○	
	0x06	漏電センサ	○	
	0x07	人体検知センサ	○	
	0x08	来客センサ	○	
	0x09	呼び出しセンサ	○	
	0x0A	結露センサ	○	
	0x0B	空気汚染センサ	○	
	0x0C	酸素センサ	○	
	0x0D	照度センサ	○	
	0x0E	音センサ	○	
	0x0F	投函センサ	○	
	0x10	重荷センサ	○	
	0x11	温度センサ	○	
	0x12	湿度センサ	○	
	0x13	雨センサ	○	
	0x14	水位センサ	○	
	0x15	風呂水位センサ	○	
	0x16	風呂沸き上がりセンサ	○	
	0x17	水漏れセンサ	○	
	0x18	水あふれセンサ	○	
	0x19	火災センサ	○	
	0x1A	タバコ煙センサ	○	

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

	0x1B	ＣＯ２センサ	○	
	0x1C	ガスセンサ	○	
	0x1D	ＶＯＣセンサ	○	
	0x1E	差圧センサ	○	
	0x1F	風速センサ	○	
	0x20	臭いセンサ	○	
	0x21	炎センサ	○	
	0x22	電力量センサ	○	
	0x23	電流量センサ	○	
	0x24	昼光センサ		
	0x25	水流量センサ	○	
	0x26	微動センサ	○	
	0x27	通貨センサ	○	
	0x28	在床センサ	○	
	0x29	開閉センサ	○	
	0x2A	活動量センサ	○	
	0x2B	人体位置センサ	○	
	0x2C	雪センサ	○	
	0x2D～0xFF	For future reserved		

注）○：APPENDIX でプロパティ構成を含めた詳細を規定。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．１．１ ガス漏れセンサクラス規定

クラスグループコード　：　0x00
クラスコード　　：0x01
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時アナウンス	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
検知閾値レベル設定	0xB0	検知閾値レベルを８段階で指定。 0x31～0x38	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
ガス漏れ発生状態	0xB1	ガス漏れの発生状況を示す。 ガス漏れ発生有＝0x41, ガス漏れ発生無＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get	○	○	
ガス漏れ発生状態リセット設定	0xBF	0x00 を書き込むことにより、ガス漏れ発生状態をリセットする。 リセット＝0x00	unsigned char	1 Byte	－	Set			

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)　動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）
本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)　検知閾値レベル設定
EPC＝0xB1「ガス漏れ発生状態」が有りに遷移する閾値を 8 段階のレベルで設定する。0x31 を最小値、0x38 を最大値とするが、各レベルの具体的な値については、規定しない。
また、実機器の検知閾値が 8 段階より少ない場合、もしくは、8 段階より多い場合も、必ず、本プロパティで規定する 8 段階のプロパティ値に実機器のプロパティを割り当てるものとする。

(3)　ガス漏れ発生状態
ガス漏れ発生状態の有、無状態を示す。EPC＝0xB0「検知閾値レベル設定」を実装する際は、検知閾値レベル設定で設定する閾値以上になった場合に、ガス漏れ発生状態が有りに遷移する。また、本プロパティがガス漏れ発生有＝0x41 に遷移した際には、本プロパティを、定期的にアナウンスするものとする。また、ガス漏れ発生無＝0x42 への遷移は、本体のリセット、もしくは EPC＝0xBF「ガス漏れ発生状態リセット設定」により行うものとする。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

(4) ガス漏れ発生状態リセット設定

0x00 を書き込むことにより、EPC＝0xB1「ガス漏れ発生状態」のリセットを行う。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．１．２ 防犯センサクラス規定

クラスグループコード　：　0x00
クラスコード　　：0x02
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
検知閾値レベル設定	0xB0	検知閾値レベルを８段階で指定。 0x31～0x38	unsigned char	1 Byte	－	Set/Get			
侵入発生状態	0xB1	侵入の発生状況を示す。 侵入発生有＝0x41，侵入発生無＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get	○	○	
侵入発生状態リセット設定	0xBF	0x00 を書き込むことにより､侵入発生状態をリセットする。 リセット＝0x00	unsigned char	1 Byte	－	Set			

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)　動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）

本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)　検知閾値レベル設定

EPC＝0xB1「侵入発生状態」が有に遷移する閾値を 8 段階のレベルで設定する。0x31 を最小値、0x38 を最大値とするが、各レベルの具体的な値については、規定しない。
また､実機器の検知閾値が 8 段階より少ない場合、もしくは､8 段階より多い場合も､必ず、本プロパティで規定する 8 段階のプロパティ値に実機器のプロパティを割り当てるものとする。

(3)　侵入発生状態

侵入発生状態の有、無状態を示す。EPC＝0xB0「検知閾値レベル設定」を実装する際は、検知閾値レベル設定で設定する閾値以上になった場合に、侵入発生状態を有＝0x41 に遷移する。また、本プロパティが侵入発生有＝0x41 に遷移した際には、本プロパティを、定期的にアナウンスするものとする。また、侵入発生無＝0x42 への遷移は、本体のリセット、もしくは EPC＝0xBF「侵入発生状態リセット設定」により行うものとする。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

(4) 侵入発生状態リセット設定

0x00 を書き込むことにより、EPC＝0xB1「侵入発生状態」のリセットを行う。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．１．３ 非常ボタンクラス規定

クラスグループコード　：　0x00
クラスコード　　：0x03
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
非常発生状態	0xB1	非常の発生状況を示す。 非常発生有＝0x41，非常発生無＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get	○	○	
非常発生状態リセット設定	0xBF	0x00 を書き込むことにより、非常発生状態をリセットする。 リセット＝0x00	unsigned char	1 Byte	－	Set			

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)　動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）
本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)　非常発生状態
非常ボタン押下等による非常発生状態の有、無状態を示す。
また、本プロパティが非常発生有＝0x41 の際には、本プロパティを、定期的にアナウンスするものとする。また、非常発生無＝0x42 への遷移は、本体のリセット、もしくは EPC＝0xBF「非常発生状態リセット設定」により行うものとする。

(3)　非常発生状態リセット設定
0x00 を書き込むことにより、EPC＝0xB1「非常発生状態」のリセットを行う。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

３．１．４ 救急用センサクラス規定

クラスグループコード　：　0x00
クラスコード　　：0x04
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
検知閾値レベル設定	0xB0	検知閾値レベルを８段階で指定。 0x31～0x38	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
救急発生状態	0xB1	救急の発生状況を示す。 救急発生有＝0x41，救急発生無＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get	○	○	
救急発生状態リセット設定	0xBF	0x00 を書き込むことにより、救急発生状態をリセットする。 リセット＝0x00	unsigned char	1 Byte	－	Set			

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)　動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）
本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)　検知閾値レベル設定
EPC＝0xB1「救急発生状態」が有に遷移する閾値を 8 段階のレベルで設定する。0x31 を最小値、0x38 を最大値とするが、各レベルの具体的な値については、規定しない。
また、実機器の検知閾値が 8 段階より少ない場合、もしくは、8 段階より多い場合も、必ず、本プロパティで規定する 8 段階のプロパティ値に実機器のプロパティを割り当てるものとする。

(3)　救急発生状態
救急発生状態の有、無状態を示す。EPC＝0xB0「検知閾値レベル設定」を実装する際は、検知閾値レベル設定で設定する閾値以上になった場合に、救急発生状態有りに遷移するものとする。
また、本プロパティが救急発生有＝0x41 に遷移した際には、本プロパティを、定期的にアナウンスするものとする。また、救急発生無＝0x42 への遷移は、本体のリセット、もしくは EPC＝0xBF「救急発生状態リセット設定」により行うものとする。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

(4) 救急発生状態リセット設定

0x00 を書き込むことにより、EPC＝0xB1「救急発生状態」のリセットを行う。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．１．５ 地震センサクラス規定

クラスグループコード　：　0x00
クラスコード　　：0x05
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
検知閾値レベル設定	0xB0	検知閾値レベルを８段階で指定。 0x31～0x38	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
地震発生状態	0xB1	地震の発生状況を示す。 地震発生有＝0x41，地震発生無＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get	○	○	
地震発生状態リセット設定	0xBF	0x00 を書き込むことにより、地震発生状態をリセットする。 リセット＝0x00	unsigned char	1 Byte	－	Set			

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)　動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）

本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)　検知閾値レベル設定

EPC＝0xB1「地震発生状態」が有に遷移する閾値を 8 段階のレベルで設定する。0x31 を最小値、0x38 を最大値とするが、各レベルの具体的な値については、規定しない。
また、実機器の検知閾値が 8 段階より少ない場合、もしくは、8 段階より多い場合も、必ず、本プロパティで規定する 8 段階のプロパティ値に実機器のプロパティを割り当てるものとする。

(3)　地震発生状態

地震発生状態の有、無状態を示す。EPC＝0xB0「検知閾値レベル設定」を実装する際は、検知閾値レベル設定で設定する閾値以上になった場合に、地震発生状態有りに遷移するものとする。
また、本プロパティが地震発生有＝0x41 に遷移した際には、本プロパティを、定期的にアナウンスするものとする。また、地震発生無＝0x42 への遷移は、本体のリセット、もしくは EPC＝0xBF「地震発生状態リセット設定」により行うものとする。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

(4) 地震発生状態状態リセット設定

0x00 を書き込むことにより、EPC＝0xB1「地震発生状態」のリセットを行う。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．１．６ 漏電センサクラス規定

クラスグループコード　：　0x00
クラスコード　　：0x06
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
検知閾値レベル設定	0xB0	検知閾値レベルを８段階で指定。 0x31～0x38	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
漏電発生状態	0xB1	漏電の発生状況を示す。 漏電発生有＝0x41，漏電発生無＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get	○	○	
漏電発生状態リセット設定	0xBF	0x00 を書き込むことにより、漏電発生状態をリセットする。 リセット＝0x00	unsigned char	1 Byte	－	Set			

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)　動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）
本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)　検知閾値レベル設定
EPC＝0xB1「漏電発生状態」が有りに遷移する閾値を 8 段階のレベルで設定する。0x31 を最小値、0x38 を最大値とするが、各レベルの具体的な値については、規定しない。
また、実機器の検知閾値が 8 段階より少ない場合、もしくは、8 段階より多い場合も、必ず、本プロパティで規定する 8 段階のプロパティ値に実機器のプロパティを割り当てるものとする。

(3)　漏電発生状態
漏電発生状態の有、無状態を示す。EPC＝0xB0「検知閾値レベル設定」を実装する際は、検知閾値レベル設定で設定する閾値以上になった場合に、漏電発生状態有りに遷移するものとする。
また、本プロパティが漏電発生有＝0x41 に遷移した際には、本プロパティを、定期的にアナウンスするものとする。また、漏電発生無＝0x42 への遷移は、本体のリセット、もしく

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

は EPC＝0xBF「漏電発生状態リセット設定」により行うものとする。

(4) 漏電発生状態状態リセット設定

0x00 を書き込むことにより、EPC＝0xB1「漏電発生状態」のリセットを行う。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．１．７ 人体検知センサクラス規定

クラスグループコード　：　0x00
クラスコード　　：0x07
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	サイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	—	Set Get	 ○	○	
検知閾値レベル設定	0xB0	検知閾値レベルを８段階で指定。 0x31～0x38	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
人体検知状態	0xB1	人体検知有無を示す。 人体検知有＝0x41，人体検知無＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get	○	○	

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)　動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）
本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)　検知閾値レベル設定
EPC＝0xB1「人体検知状態」が有りに遷移する閾値を 8 段階のレベルで設定する。0x31 を最小値、0x38 を最大値とするが、各レベルの具体的な値については、規定しない。
また、実機器の検知閾値が 8 段階より少ない場合、もしくは、8 段階より多い場合も、必ず、本プロパティで規定する 8 段階のプロパティ値に実機器のプロパティを割り当てるものとする。

(3)　人体検知状態
人体検知有、無状態を示す。EPC＝0xB0「検知閾値レベル設定」を実装する際は、検知閾値レベル設定で設定する閾値以上になった場合に、人体検知有りに遷移し、閾値未満になった場合に、人体検知無しに遷移するものとする。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

３．１．８ 来客センサクラス規定

クラスグループコード　：　0x00
クラスコード　　：0x08
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
検知閾値レベル設定	0xB0	検知閾値レベルを８段階で指定。 0x31～0x38	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
来客検知状態	0xB1	来客検知有無を示す。 来客検知有＝0x41, 来客検知無＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get	○	○	
来客検知ホールド時間設定値	0xBE	来客検知ホールド時間を 10 秒単位で示す。 0x0000 ～ 0xFFFD(0 秒 ～ 655,330 秒)	unsigned short	2 Byte	10 sec	Set/ Get			

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)　動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）

本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)　検知閾値レベル設定

EPC＝0xB1「来客検知状態」が有に遷移する閾値を８段階のレベルで設定する。0x31 を最小値、0x38 を最大値とするが、各レベルの具体的な値については、規定しない。
また、実機器の検知閾値が８段階より少ない場合、もしくは、８段階より多い場合も、必ず、本プロパティで規定する 8 段階のプロパティ値に実機器のプロパティを割り当てるものとする。

(3)　来客検知状態

来客検知状態の有、無状態を示す。EPC＝0xB0「検知閾値レベル設定」を実装する際は、検知閾値レベル設定で設定する閾値以上になった場合に、来客検知状態有りに遷移するものとする。また、本プロパティが、来客検知状態有り＝0x41 に遷移した際には、本プロパティを、定期的にアナウンスするものとする。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

(4) 来客検知ホールド時間設定値

来客検知状態有に遷移してから、来客検知状態無に復帰するまでの時間を 10 秒の単位で示す。プロパティの値域は、0x0000～0xFFFD(0 秒～655,330 秒)とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を**超える**場合は、オーバーフローコード 0xFFFF を用いるものとする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．１．９ 呼び出しセンサクラス規定

クラスグループコード　：　0x00
クラスコード　　：0x09
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
検知閾値レベル設定	0xB0	検知閾値レベルを８段階で指定。 0x31～0x38	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
呼び出し状態	0xB1	呼び出し有無を示す。 呼び出し有＝0x41，呼び出し無＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get	○	○	
呼び出しホールド時間設定値	0xBE	呼び出しホールド時間を 10 秒単位で示す。 0x0000 ～ 0xFFFD(0 秒 ～ 655,330 秒)	unsigned short	2 Byte	10 sec	Set/ Get			

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）

本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)検知閾値レベル設定

EPC＝0xB1「呼び出し状態」が有に遷移する閾値を 8 段階のレベルで設定する。0x31 を最小値、0x38 を最大値とするが、各レベルの具体的な値については、規定しない。
また、実機器の検知閾値が 8 段階より少ない場合、もしくは、8 段階より多い場合も、必ず、本プロパティで規定する 8 段階のプロパティ値に実機器のプロパティを割り当てるものとする。

(3)呼び出し状態

呼び出し状態の有、無状態を示す。EPC＝0xB0「検知閾値レベル設定」を実装する際は、検知閾値レベル設定で設定する閾値以上になった場合に、呼び出し状態有りに遷移するものとする。また、本プロパティが、呼び出し状態有り＝0x41 に遷移した際には、本プロパティを、定期的にアナウンスするものとする。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

(4)呼び出しホールド時間設定値

呼び出し状態有に遷移してから、呼び出し状態無に復帰するまでの時間を 10 秒の単位で示す。プロパティの値域は、0x0000～0xFFFD(0 秒～655,330 秒)とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を**超える**場合は、オーバーフローコード 0xFFFF を用いるものとする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．１．１０ 結露センサクラス規定

クラスグループコード　：　0x00
クラスコード　　：0x0A
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
検知閾値レベル設定	0xB0	検知閾値レベルを８段階で指定。 0x31～0x38	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
結露検出状態	0xB1	結露検出有無を示す。 結露検出有＝0x41, 結露検出無＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get	○	○	

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)　動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）
本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)　検知閾値レベル設定
EPC＝0xB1「結露検出状態」が有に遷移する閾値を 8 段階のレベルで設定する。0x31 を最小値、0x38 を最大値とするが、各レベルの具体的な値については、規定しない。
また、実機器の検知閾値が 8 段階より少ない場合、もしくは、8 段階より多い場合も、必ず、本プロパティで規定する 8 段階のプロパティ値に実機器のプロパティを割り当てるものとする。

(3)　結露検出状態
結露検出状態の有、無状態を示す。EPC＝0xB0「検知閾値レベル設定」を実装する際は、検知閾値レベル設定で設定する閾値以上になった場合に、結露検出状態有りに遷移するものとする。
また、検知閾値レベル設定で設定する閾値未満になった場合、結露検出無しに遷移するものとする。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

３．１．１１ 空気汚染センサクラス規定

クラスグループコード　：　0x00
クラスコード　　：0x0B
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
検知閾値レベル設定	0xB0	レベルを８段階で指定。 0x31～0x38	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
空気汚染検出状態	0xB1	空気汚染の検出状況を示す。 空気汚染検出有＝0x41, 空気汚染検出無＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get	○	○	

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)　動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）
本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)　検知閾値レベル設定
EPC＝0xB1「空気汚染検出状態」が有に遷移する閾値を 8 段階のレベルで設定する。0x31 を最小値、0x38 を最大値とするが、各レベルの具体的な値については、規定しない。
また、実機器の検知閾値が 8 段階より少ない場合、もしくは、8 段階より多い場合も、必ず、本プロパティで規定する 8 段階のプロパティ値に実機器のプロパティを割り当てるものとする。

(3)　空気汚染検出状態
空気汚染検出状態の有、無状態を示す。EPC＝0xB0「検知閾値レベル設定」を実装する際は、検知閾値レベル設定で設定する閾値以上になった場合、空気汚染検出状態有りに遷移し、検知閾値レベル設定で設定する閾値未満になった場合、空気汚染検出無しに遷移するものとする。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

３．１．１２ 酸素センサクラス規定

クラスグループコード　：　0x00
クラスコード　　：0x0C
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
酸素濃度計測値	0xE0	酸素濃度計測値を 0.01%の単位で示す 0x0000 ～ 0x2710(0.00 ～ 100.00%)	unsigned short	2 Byte	0.01 %	Get	○		

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)　動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）
本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)　酸素濃度計測値
酸素濃度計測値を 0.01%の単位で示す。プロパティの値域は、0x0000～0x2710(0.00～100.00%)とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFFFF、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0xFFFE を用いるものとする。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

３．１．１３ 照度センサクラス規定

クラスグループコード　：　0x00
クラスコード　　：0x0D
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
照度計測値 1	0xE0	照度計測値をルクスの単位で示す 0x0000～0xFFFD(0～65533 ルクス)	unsigned short	2 Byte	ルクス	Get	○ *1		
照度計測値 2	0xE1	照度計測値を k ルクスの単位で示す 0x0000 ～ 0xFFFD(0 ～ 65533k ルクス)	unsigned short	2 Byte	k ルクス	Get	○ *1		

注 1）*1：「照度計測値１ EPC：0xE0、照度計測値２ EPC：0xE1」のいずれかの搭載を必須とする。注 2）状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1) 動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）
本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2) 照度計測値 1
照度計測値をルクスの単位で示す。プロパティの値域は、0x0000～0xFFFD(0～65533 ルクス)とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFFFF、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0xFFFE を用いるものとする。

(3) 照度計測値 2
照度計測値を k ルクスの単位で示す。プロパティの値域は、0x0000～0xFFFD(0～65533k ルクス)とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFFFF、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0xFFFE を用いるものとする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．１．１４ 音センサクラス規定

クラスグループコード　：　0x00
クラスコード　　：0x0E
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
検知閾値レベル設定	0xB0	検知閾値レベルを 8 段階で指定。 0x31～0x38	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
音検知状態	0xB1	音検知有無を示す。 音検知有＝0x41、音検知無＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get	○	○	
音検知ホールド時間設定値	0xBE	音検知ホールド時間を 10 秒単位で示す。 0x0000 ～ 0xFFFD(0 秒 ～ 655,330 秒)	unsigned short	2 Byte	10sec	Set/ Get			

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)　動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）
本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)　検知閾値レベル設定
EPC＝0xB1「音検知状態」が有に遷移する閾値を 8 段階のレベルで設定する。0x31 を最小値、0x38 を最大値とするが、各レベルの具体的な値については、規定しない。
また、実機器の検知閾値が 8 段階より少ない場合、もしくは、8 段階より多い場合も、必ず、本プロパティで規定する 8 段階のプロパティ値に実機器のプロパティを割り当てるものとする。

(3)　音検知状態
音検知発生状態の有、無状態を示す。EPC＝0xB0「検知閾値レベル設定」を実装する際、検知閾値レベル設定で設定する閾値以上になった場合に、音検出状態有りに遷移するものとする。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

(4) 音検知ホールド時間設定値

音検知有に遷移してから、音検知無に復帰するまでの時間を 10 秒の単位で示す。プロパティの値域は、0x0000～0xFFFD(0 秒～655,330 秒)とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFFFF を用いるものとする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．１．１５ 投函センサクラス規定

クラスグループコード　：　0x00
クラスコード　　：0x0F
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
検知閾値レベル設定	0xB0	検出閾値レベルを８段階で指定。 0x31～0x38	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
投函検出状態	0xB1	投函の検出有無を示す。 投函検出有＝0x41、投函検出無＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get	○	○	

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)　動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）
本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)　検知閾値レベル設定
EPC＝0xB1「投函検出状態」が有に遷移する閾値を 8 段階のレベルで設定する。0x31 を最小値、0x38 を最大値とするが、各レベルの具体的な値については、規定しない。
また、実機器の検知閾値が 8 段階より少ない場合、もしくは、8 段階より多い場合も、必ず、本プロパティで規定する 8 段階のプロパティ値に実機器のプロパティを割り当てるものとする。

(3)　投函検出状態
投函検出状態の有、無状態を示す。EPC＝0xB0「検知閾値レベル設定」を実装する際は、検知閾値レベル設定で設定する閾値以上になった場合に、投函検出状態有りに遷移し、閾値未満になった場合に、投函検出状態無しに遷移するものとする。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

３．１．１６ 重荷センサクラス規定

クラスグループコード　：　0x00
クラスコード　　：0x10
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
検知閾値レベル設定	0xB0	検知閾値レベルを８段階で指定。 0x31～0x38	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
重荷検知状態	0xB1	重荷検知有無を示す。 重荷検知有＝0x41、重荷検知無＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get	○	○	

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)　動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）
本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)　検知閾値レベル設定
EPC＝0xB1「重荷検知状態」が有に遷移する閾値を 8 段階のレベルで設定する。0x31 を最小値、0x38 を最大値とするが、各レベルの具体的な値については、規定しない。
また、実機器の検知閾値が 8 段階より少ない場合、もしくは、8 段階より多い場合も、必ず、本プロパティで規定する 8 段階のプロパティ値に実機器のプロパティを割り当てるものとする。

(3)　重荷検知状態
重荷検知状態の有、無状態を示す。EPC＝0xB0「検知閾値レベル設定」を実装する際は、検知閾値レベル設定で設定する閾値以上になった場合、重荷検知状態有りに遷移し、閾値未満になった場合、重荷検知状態無しに遷移するものとする。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

３．１．１７ 温度センサクラス規定

クラスグループコード　：　0x00
クラスコード　　：0x11
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
温度計測値	0xE0	温度計測値を(0.1℃単位で)示す。 0xF554 ～ 0x7FFE(－ 2732 ～ 32766) (－273.2～3276.6℃)	signed short	2 Byte	0.1 ℃	Get	○		

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)　動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）
本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)　温度計測値
温度計測値を 0.1℃の単位で示す。プロパティの値域は、0xF554～0x7FFE(－273.2℃～3276.6℃)とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0x8000、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0x7FFF を用いるものとする。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

３．１．１８ 湿度センサクラス規定

クラスグループコード　：　0x00
クラスコード　　：0x12
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
相対湿度計測値	0xE0	相対湿度計測値を%単位で示す。 0x00～0x64(0～100%)	unsigned char	1 Byte	%	Get	○		

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)　動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）
本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)　相対湿度計測値
相対湿度計測値を%の単位で示す。プロパティの値域は、0x00～0x64(0～100%)とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFF、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0xFE を用いるものとする。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

３．１．１９ 雨センサクラス規定

クラスグループコード　：　0x00
クラスコード　　：0x13
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
検知閾値レベル設定	0xB0	検知閾値レベルを８段階で指定。 0x31～0x38	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
雨検知状態	0xB1	雨検知有無を示す。 雨検知有 0x41、雨検知無 0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get	○	○	

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)　動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）
本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)　検知閾値レベル設定
EPC＝0xB1「雨検知状態」が有に遷移する閾値を 8 段階のレベルで設定する。0x31 を最小値、0x38 を最大値とするが、各レベルの具体的な値については、規定しない。
また、実機器の検知閾値が 8 段階より少ない場合、もしくは、8 段階より多い場合も、必ず、本プロパティで規定する 8 段階のプロパティ値に実機器のプロパティを割り当てるものとする。

(3)　雨検知状態
雨検知状態の有、無状態を示す。EPC＝0xB0「検知閾値レベル設定」を実装する際は、検知閾値レベル設定で設定する閾値以上になった場合、雨検知状態有りに遷移し、閾値未満になった場合に、雨検知状態無しに遷移するものとする。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

３．１．２０ 水位センサクラス規定

クラスグループコード　：　0x00
クラスコード　　：0x14
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
水位超過検知閾値設定値	0xB0	水位超過検知閾値を cm 単位で示す。 0x00～0xFD(0～253)	unsigned char	1 Byte	cm	Get			
水位超過検知状態	0xB1	水位が検知水位閾値レベルを超過しているかを示す。 水位超過有＝0x41 水位超過無＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get		○	
水位計測値	0xE0	水位計測値を cm 単位で示す。 0x00～0xFD(0～253)	unsigned char	1 Byte	cm	Get	○		

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)　動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）
本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)　水位超過検知閾値設定値
EPC＝0xB1「水位超過検知状態」が有りに状態遷移する水位閾値を cm 単位で設定する。

(3)　水位超過検知状態
水位の超過状態の有、無を示す。EPC＝0xB0「水位超過検知閾値設定値」を実装する際は、水位超過検知閾値設定値で設定する閾値以上になった場合に、水位超過有に遷移し、閾値未満になった場合に、水位超過無に遷移する。

(4)　水位計測値
水位計測値を cm の単位で示す。プロパティの値域は、0x00～0xFD(0～253cm)とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFF、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0xFE を用いるものとする。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

３．１．２１ 風呂水位センサクラス規定

クラスグループコード　：　0x00
クラスコード　　：0x15
インスタンスコード　：0x01～0x7F(0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
風呂水位超過検知閾値設定値	0xB0	風呂水位超過検知閾値設定値を cm 単位で示す。 0x00～0xFD(0～253)	unsigned char	1 Byte	cm	Get			
風呂水位超過検知状態	0xB1	風呂水位が検知水位閾値レベルを超過しているかを示す。 水位超過有＝0x41 水位超過無＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get		○	
風呂水位計測値	0xE0	風呂水位計測値を cm 単位で示す。 0x00～0xFD(0～253)	unsigned char	1 Byte	cm	Get	○		

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)　動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）
本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)　風呂水位超過検知閾値設定値
EPC＝0xB1「風呂水位超過検知状態」が有りに状態遷移する水位閾値を cm 単位で設定する。

(3)　風呂水位超過検知状態
風呂水位の超過状態の有、無を示す。EPC＝0xB0「風呂水位超過検知閾値設定値」を実装する際は、風呂水位超過検知閾値設定値で設定する閾値以上になった場合に、水位超過有に遷移し、閾値未満になった場合に、水位超過無に遷移する。

(4)　風呂水位計測値
風呂水位計測値を cm の単位で示す。プロパティの値域は、0x00～0xFD(0～253cm)とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFF、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0xFE を

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

用いるものとする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．１．２２ 風呂沸き上がりセンサクラス規定

クラスグループコード　：　0x00
クラスコード　　：0x16
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
検知閾値レベル設定	0xB0	検知閾値レベルを８段階で指定。 レベル 0x31～0x38	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
風呂沸き上がり検知状態	0xB1	風呂沸き上がり検知有無を示す。 風呂沸き上がり有＝0x41 風呂沸き上がり無＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get	○	○	

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)　動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）

本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)　検知閾値レベル設定

EPC＝0xB1「風呂沸き上がり検知状態」が有に遷移する閾値を８段階のレベルで設定する。0x31 を最小値、0x38 を最大値とするが、各レベルの具体的な値については、規定しない。また、実機器の検知閾値が８段階より少ない場合、もしくは、８段階より多い場合も、必ず、本プロパティで規定する 8 段階のプロパティ値に実機器のプロパティを割り当てるものとする。

(3)　風呂沸き上がり検知状態

風呂沸き上がり検知状態の有、無状態を示す。EPC＝0xB0「検知閾値レベル設定」を実装する際は、検知閾値レベル設定で設定する閾値以上になった場合に、風呂沸き上がり検知状態有りに遷移し、閾値未満になった場合に、風呂沸き上がり検知状態無しに遷移するものとする。また、本プロパティが、風呂沸き上がり検知状態有り＝0x41 に遷移した際には、本プロパティを、定期的にアナウンスするものとする。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

３．１．２３ 水漏れセンサクラス規定

クラスグループコード　：　0x00
クラスコード　　：0x17
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
検知閾値レベル設定	0xB0	検知閾値レベルを８段階で指定。 0x31～0x38	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
水漏れ検知状態	0xB1	水漏れ検知有無を示す。 水漏れ検知有＝0x41 水漏れ検知無＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get	○	○	

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)　動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）
本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)　検知閾値レベル設定
EPC＝0xB1「水漏れ検知状態」が有に遷移する閾値を 8 段階のレベルで設定する。0x31 を最小値、0x38 を最大値とするが、各レベルの具体的な値については、規定しない。
また、実機器の検知閾値が 8 段階より少ない場合、もしくは、8 段階より多い場合も、必ず、本プロパティで規定する 8 段階のプロパティ値に実機器のプロパティを割り当てるものとする。

(3)　水漏れ検知状態
水漏れ検知状態の有、無状態を示す。EPC＝0xB0「検知閾値レベル設定」を実装する際は、検知閾値レベル設定で設定する閾値以上になった場合に、水漏れ検知状態有りに遷移し、閾値未満になった場合に、水漏れ検知状態無しに遷移するものとする。また、本プロパティが、水漏れ検知状態有り＝0x41 に遷移した際には、本プロパティを、定期的にアナウンスするものとする。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

３．１．２４ 水あふれセンサクラス規定

クラスグループコード　：　0x00
クラスコード　　：0x18
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
検知閾値レベル設定	0xB0	検知閾値レベルを８段階で指定。 0x31～0x38	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
水あふれ検知状態	0xB1	水あふれ検知有無を示す。 水あふれ検知有＝0x41 水あふれ検知無＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get	○	○	

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)　動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）
本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)　検知閾値レベル設定
EPC＝0xB1「水あふれ検知状態」が有に遷移する閾値を 8 段階のレベルで設定する。0x31 を最小値、0x38 を最大値とするが、各レベルの具体的な値については、規定しない。
また、実機器の検知閾値が 8 段階より少ない場合、もしくは、8 段階より多い場合も、必ず、本プロパティで規定する 8 段階のプロパティ値に実機器のプロパティを割り当てるものとする。

(3)　水あふれ検知状態
水あふれ検知状態の有、無状態を示す。EPC＝0xB0「検知閾値レベル設定」を実装する際は、検知閾値レベル設定で設定する閾値以上になった場合に、水あふれ検知状態有りに遷移し、閾値未満になった場合に、水あふれ検知状態無しに遷移するものとする。また、本プロパティが、水あふれ検知状態有り＝0x41 に遷移した際には、本プロパティを、定期的にアナウンスするものとする。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

３．１．２５ 火災センサクラス規定

クラスグループコード　：　0x00
クラスコード　　：0x19
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
検知閾値レベル設定	0xB0	レベルを８段階で指定。 各レベルの具体的な状態は規定しない。 レベル 0x31～0x38	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
火災発生検知状態	0xB1	火災発生検知状況を示す。 火災発生検知有＝0x41 火災発生検知無＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get	○	○	
火災発生検知状態リセット設定	0xBF	0x00 を書き込むことにより、火災発生状態をリセットする。 リセット＝0x00	unsigned char	1 Byte	－	Set			

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)　動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）
本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)　検知閾値レベル設定
EPC＝0xB1「火災発生検知状態」が有に遷移する閾値を 8 段階のレベルで設定する。0x31 を最小値、0x38 を最大値とするが、各レベルの具体的な値については、規定しない。
また、実機器の検知閾値が 8 段階より少ない場合、もしくは、8 段階より多い場合も、必ず、本プロパティで規定する 8 段階のプロパティ値に実機器のプロパティを割り当てるものとする。

(3)　火災発生検知状態
火災発生検知状態の有、無状態を示す。EPC＝0xB0「検知閾値レベル設定」を実装する際は、検知閾値レベル設定で設定する閾値以上になった場合に、火災発生検知状態有＝0x41 に遷移するものとする。また、火災発生検知無＝0x42 への遷移は、本体のリセット、もしくは EPC＝0xBF「火災発生検知状態リセット設定」により行うものとする。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

(4) 火災発生検知状態リセット設定

0x00 を書き込むことにより、EPC＝0xB1「火災発生検知状態」のリセットを行う。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．１．２６ タバコ煙センサクラス規定

クラスグループコード　：　0x00
クラスコード　　：0x1A
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
検知閾値レベル設定	0xB0	レベルを８段階で指定。 各レベルの具体的な状態は規定しない。 レベル 0x31～0x38	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
煙(タバコ)検知状態	0xB1	煙(タバコ)検知有無を示す。 煙(タバコ)検知有＝0x41 煙(タバコ)検知無＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get	○	○	

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)　動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）
本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)　検知閾値レベル設定
EPC＝0xB1「煙(タバコ)検知状態」が有に遷移する閾値を 8 段階のレベルで設定する。0x31 を最小値、0x38 を最大値とするが、各レベルの具体的な値については、規定しない。
また、実機器の検知閾値が 8 段階より少ない場合、もしくは、8 段階より多い場合も、必ず、本プロパティで規定する 8 段階のプロパティ値に実機器のプロパティを割り当てるものとする。

(3)　煙(タバコ)検知状態
煙(タバコ)検知状態の有、無状態を示す。EPC＝0xB0「検知閾値レベル設定」を実装する際は、検知閾値レベル設定で設定する閾値以上になった場合に、煙(タバコ)検知状態有りに遷移し、閾値未満になった場合に、煙(タバコ)検知状態無しに遷移するものとする。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

３．１．２７ CO2 センサクラス規定

クラスグループコード　：　0x00
クラスコード　　：0x1B
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
CO2 濃度計測値	0xE0	CO2 濃度計測値を ppm で示す。 0x0000～0xFFFD(0～65533)	unsigned short	2 Byte	ppm	Get	○		

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)　動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）
本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)　CO2 濃度計測値
CO2 濃度計測値を ppm の単位で示す。プロパティの値域は、0x0000～0xFFFD(0～65533ppm)とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFFFF、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0xFFFE を用いるものとする。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

３．１．２８ ガスセンサクラス規定

クラスグループコード　：　0x00
クラスコード　　：0x1C
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
検知閾値レベル設定	0xB0	検知閾値レベルを 8 段階で指定。 0x31～0x38	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
ガス検知状態	0xB1	ガス検知有無を示す。 ガス検知有＝0x41 ガス検知無＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get		○	
ガス濃度計測値	0xE0	ガス濃度計測値を ppm で示す。 0x0000～0xFFFD(0～65533)	unsigned short	2 Byte	ppm	Get	○		

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)　動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）
本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)　検知閾値レベル設定
EPC＝0xB1「ガス検知状態」が有に遷移する閾値を 8 段階のレベルで設定する。0x31 を最小値、0x38 を最大値とするが、各レベルの具体的な値については、規定しない。
また、実機器の検知閾値が 8 段階より少ない場合、もしくは、8 段階より多い場合も、必ず、本プロパティで規定する 8 段階のプロパティ値に実機器のプロパティを割り当てるものとする。

(3)　ガス検知状態
ガス検知状態の有、無状態を示す。EPC＝0xB0「検知閾値レベル設定」を実装する際は、検知閾値レベル設定で設定する閾値以上になった場合、ガス検知状態有りに遷移し、閾値未満になった場合、ガス検知状態無しに遷移するものとする。

(4)　ガス濃度計測値
ガス濃度計測値を ppm の単位で示す。プロパティの値域は、0x0000～0xFFFD(0～

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

65533ppm)とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFFFF、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0xFFFE を用いるものとする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．１．２９ VOC センサクラス規定

クラスグループコード　：　0x00
クラスコード　　：0x1D
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
検知閾値レベル設定	0xB0	検知閾値レベルを 8 段階で指定。 0x31～0x38	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
VOC 検知状態	0xB1	VOC 検知有無を示す。 VOC 検知有＝0x41 VOC 検知無＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get		○	
VOC 濃度計測値	0xE0	VOC 濃度計測値を ppm で示す。 0x0000～0xFFFD(0～65533)	unsigned short	2 Byte	ppm	Get	○		

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)　動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）
本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)　検知閾値レベル設定
EPC＝0xB1「VOC 検知状態」が有に遷移する閾値を 8 段階のレベルで設定する。0x31 を最小値、0x38 を最大値とするが、各レベルの具体的な値については、規定しない。
また、実機器の検知閾値が 8 段階より少ない場合、もしくは、8 段階より多い場合も、必ず、本プロパティで規定する 8 段階のプロパティ値に実機器のプロパティを割り当てるものとする。

(3)　VOC 検知状態
VOC 検知状態の有、無状態を示す。EPC＝0xB0「検知閾値レベル設定」を実装する際は、検知閾値レベル設定で設定する閾値以上になった場合に、VOC 検知状態有りに遷移し、閾値未満になった場合に、VOC 検知状態無しに遷移するものとする。

(4)　VOC 濃度計測値
VOC 濃度計測値を ppm の単位で示す。プロパティの値域は、0x0000～0xFFFD(0～

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

65533ppm)とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFFFF、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0xFFFE を用いるものとする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．１．３０ 差圧センサクラス規定

クラスグループコード　：　0x00
クラスコード　　：0x1E
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
差圧計測値	0xE0	差圧計測値を Pa で示す。 0x8001 ～ 0x7FFE(－ 32767 ～ 32766)	signed short	2 Byte	Pa	Get	○		

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）

本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)差圧計測値

差圧の計測値を Pa の単位で示す。プロパティの値域は、0x8001～0x7FFD(－32767～32766 Pa)とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0x7FFF、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0x8000 を用いるものとする。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

３．１．３１ 風速センサクラス規定

クラスグループコード　：　0x00
クラスコード　　：0x1F
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
風速計測値	0xE0	風速計測値を 0.01m/sec で示す。 0x0000～0xFFFD(0～65533) (0～655.33m/sec)	unsigned short	2 Byte	0.01 m/sec	Get	○		
風向	0xE1	風向の角度値を示す。 0x0000～0x0168 (0～360degree)	unsigned short	2 Byte	degree	Get			

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）

本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)風速計測値

風速計測値を 0.01m/sec の単位で示す。プロパティの値域は、0x0000～0xFFFD(0～655.33m/sec)とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFFFF、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0xFFFE を用いるものとする。

(3) 風向

風向を degree の単位で示す。角度の測定範囲は 0x0000～0x0168(0°～360°)とする。原則として北方向を 0°（360°）とする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．１．３２ 臭いセンサクラス規定

クラスグループコード　：　0x00
クラスコード　　：0x20
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
検知閾値レベル設定	0xB0	検知閾値レベルを 8 段階で指定。 レベル 0x31～0x38	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
臭い検知状態	0xB1	臭いの検知の有無を示す。 臭い検知有＝0x41、臭い検知無＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get			
臭い計測値	0xE0	臭い計測値を示す。単位規定せず。 0x00～0xFD(0～253)	unsigned char	1 Byte	－	Get	○		

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）

本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)検知閾値レベル設定

EPC＝0xB1「臭い検知状態」が有に遷移する閾値を 8 段階のレベルで設定する。0x31 を最小値、0x38 を最大値とするが、各レベルの具体的な値については、規定しない。
また、実機器の検知閾値が 8 段階より少ない場合、もしくは、8 段階より多い場合も、必ず、本プロパティで規定する 8 段階のプロパティ値に実機器のプロパティを割り当てるものとする。

(3)臭い検知状態

臭い検知状態の有、無状態を示す。EPC＝0xB0「検知閾値レベル設定」を実装する際は、検知閾値レベル設定で設定する閾値以上になった場合に、臭い検知状態有りに遷移し、閾値未満になった場合に、臭い検知状態無しに遷移するものとする。

(4)臭い計測値

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

臭い計測値を示す。単位は規定しない。プロパティの値域は、0x00～0FD(0～253)とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFF、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0xFE を用いるものとする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．１．３３ 炎センサクラス規定

クラスグループコード　：　0x00
クラスコード　　：0x21
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
検知閾値レベル設定	0xB0	検知閾値レベルを 8 段階で指定。 検知閾値レベル 0x31～0x38	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
炎検知状態	0xB1	炎の検知の有無を示す。 炎検知有＝0x41、炎検知無＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get	○	○	
炎検知状態リセット設定	0xBF	0x00 を書き込むことにより、炎検知状態をリセットする。 リセット＝0x00	unsigned char	1 Byte	－	Set			

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)　動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）
本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)　検知閾値レベル設定
EPC＝0xB1「炎検知状態」が有に遷移する閾値を 8 段階のレベルで設定する。0x31 を最小値、0x38 を最大値とするが、各レベルの具体的な値については、規定しない。
また、実機器の検知閾値が 8 段階より少ない場合、もしくは、8 段階より多い場合も、必ず、本プロパティで規定する 8 段階のプロパティ値に実機器のプロパティを割り当てるものとする。

(3)　炎検知状態
炎検知状態の有、無状態を示す。EPC＝0xB0「検知閾値レベル設定」を実装する際は、検知閾値レベル設定で設定する閾値以上になった場合に、炎検知状態有りに遷移するものとする。また、本プロパティが炎検知有＝0x41 に遷移した際には、本プロパティを、定期的にアナウンスするものとする。また、炎検知無＝0x42 への遷移は、本体のリセット、もしくは EPC＝0xBF「炎検知リセット設定」により行うものとする。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

(4) 炎検知状態リセット設定

0x00 を書き込むことにより、EPC＝0xB1「炎検知状態」のリセットを行う。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．１．３４ 電力量センサクラス規定

クラスグループコード　：　0x00
クラスコード　　：0x22
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
積算電力量計測値	0xE0	積算電力量を 0.001kWh で示す。 0x00000000～0x3B9AC9FF (0～999,999.999kWh)	unsigned long	4 Byte	0.001 kWh	Get	○		
中容量センサ瞬時電力値計測値	0xE1	瞬時電力値を W で示す。 0xC4653601 ～ 0x3B9AC9FF (－999,999,999～999,999,999)	signed long	4 Byte	W	Get			
小容量センサ瞬時電力値計測値	0xE2	瞬時電力値を 0.1W で示す。 0x8001～0x7FFE (－3276.7～3276.6)	signed short	2 Byte	0.1 W	Get			
大容量センサ瞬時電力値計測値	0xE3	瞬時電力値を 0.1kW で示す。 0x8001～0x7FFE (－3276.7～3276.6)	signed short	2 Byte	0.1 kW	Get			
積算電力量計測履歴情報	0xE4	積算電力量(0.001kWh)の計測結果履歴を、30 分毎データを過去 24 時間で示す。 0 ～ 0x3B9AC9FF (0 ～ 999,999,999) (0～999,999.999kWh)	unsigned long ×48	192 Byte	0.001 kWh	Get			
実効電圧値計測値	0xE5	実効電圧値を V で示す。 0x0000～0xFFFD (0～65533V)	unsigned short	2 Byte	V	Get			

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)　動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）
本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)　積算電力量計測値
積算電力量計測値を 0.001kWh の単位で示す。プロパティの値域は、0x00000000～0x3B9AC9FF(0～999,999.999kWh）とし、積算電力量計測値のオーバーフロー時は、0x00000000 から再インクリメントするものとする。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

(3) 小容量センサ瞬時電力値計測値

小容量センサの瞬時電力値の計測値を 0.1W の単位で示す。プロパティの値域は、0x8001～0x7FFE(－3276.7～3276.6 W)とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0x7FFF、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0x8000 を用いるものとする。

(4) 中容量センサ瞬時電力値計測値

中容量センサの瞬時電力値の計測値を W の単位で示す。プロパティの値域は、0xC4653601～0x3B9AC9FF（－999,999,999～999,999,999W)とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0x7FFFFFFF、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0x80000000 を用いるものとする。

(5) 大容量センサ瞬時電力値計測値

大容量センサの瞬時電力値の計測値を 0.1kW の単位で示す。プロパティの値域は、0x8001～0x7FFE(－3276.7～3276.6 kW)とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0x7FFF、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0x8000 を用いるものとする。

(6) 積算電力量計測履歴情報

積算電力量(0.001kWh)の計測結果履歴情報の 30 分毎データを過去 24 時間分データで示す。30 分毎の積算電力量計測値は、プロパティ名称「時刻設定値」(EPC=0x97)で設定する時刻に基づき、毎 0 分、30 分の 0.001kWh 単位の計測値を、0x00000000～0x3B9AC9FF(0～999,999.999kWh）のデータとし、時系列に上位バイトから順にプロパティ値とするものとする。

(7) 実効電圧値計測値

電力量センサの実効電圧計測値を V の単位で示す。本プロパティは、計測定格電圧として固定値で実装してもよいものとする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．１．３５ 電流値センサクラス規定

クラスグループコード　：　0x00
クラスコード　　：0x23
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30, ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
電流値計測値１	0xE0	電流値計測値を mA で示す。 0x00000000～0xFFFFFFFD (0～4,294,967,293mA)	unsigned long	4 Byte	mA	Get	○ *1		
計測対象定格電圧値	0xE1	電流量センサ計測対象の定格電圧値 0x0000～0xFFFD (0～65533V)	unsigned short	2 Byte	V	Get			
電流値計測値２	0xE2	電流値計測値を mA で示す。 0x80000001～0x7FFFFFFE (－2,147,483,647 ～ 2,147,483,646mA)	signed long	4 Byte	mA	Get	○ *1		

注1)　*1：「電流値計測値１　EPC：0xE0」または「電流値計測値２　EPC：0xE2」のどちらかを必須とする。

注2)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）

本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)電流値計測値１

電流値計測値を mA の単位で示す。計測対象となる電流が交流の場合は、実効値を示すものとする。プロパティの値域は、0x00000000～0xFFFFFFFD　(0～4,294,967,293mA)とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFFFFFFFF、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0xFFFFFFFE を用いるものとする。

(3)計測対象定格電圧値

電流値センサが計測対象とする定格電圧を V の単位で示す。本プロパティは、固定値として実装してもよいものとする。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

(4) 電流値計測値 2

電流値計測値を mA の単位で示す。計測対象となる電流が交流の場合は、実効値を示すものとする。プロパティの値域は、0x80000001～0x7FFFFFFE　(－2,147,483,647～2,147,483,646mA)とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0x7FFFFFFF、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0x80000000 を用いるものとする。電流値の向きは、電源から機器側へ流れる向きを正方向とする。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

３．１．３６ 水流量センサクラス規定

本クラスは、蛇口などに設置し、使用された水量を計測する目的で規定するものである。

クラスグループコード　：　0x00
クラスコード　　：0x25
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
積算流量計測値	0xE0	積算流量計測値を cm³ で示す。 0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999,999）	unsigned long	4 Byte	cm³	Get			
流量計測値	0xE2	流量瞬時計測値を cm³/min で示す。 0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999,999）	unsigned long	4 Byte	cm³/min	Get	○		

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)動作状態(スーパークラスのプロパティを継承)

本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。

尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)積算流量計測値

流量の積算値を cm³ の単位で示す。プロパティの値域は、0x00000000 から 0x3B9AC9FF（0～999,999,999 cm³）とし、実機器の積算流量測定値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFFFFFFFF を設定するものとする。

(3)流量計測値

流量を cm³/min の単位で示す。プロパティの値域は、0x00000000 から 0x3B9AC9FF（0～999,999,999 cm³/min）とし、実機器の測定流量値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFFFFFFFF を設定するものとする。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

３．１．３７ 微動センサクラス規定

クラスグループコード　：　0x00
クラスコード　　：0x26
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
検知閾値レベル設定	0xB0	検知閾値レベルを８段階で指定。 0x31～0x38	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
微動検知状態	0xB1	微動検知有無を示す。 微動検知有＝0x41，微動検知無＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get	○	○	
微動検知カウント数タ設定	0xB2	微動検知のカウント数を示す。 0x0000～0xFFFE（0～65534）	unsigned short	2 Byte	－	Set/ Get			
サンプリング回数設定	0xBC	微動検知のサンプリング回数を示す。 0x0000～0xFFFE（0～65534）	unsigned short	2 Byte	－	Set/ Get			
サンプリング時間設定値	0xBD	微動検知のサンプリング間隔を示す。 0x0000～0xFFFE（0～65534）	unsigned short	2 Byte	msec	Set/ Get			

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)動作状態(スーパークラスのプロパティを継承)

本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。

尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)検知閾値レベル設定

EPC＝0xB1「微動検知状態」が有りに遷移する閾値を８段階のレベルで設定する。

0x31 を最小値、0x38 を最大値とするが、各レベルの具体的な値については、規定しない。

また、実機器の検知閾値が８段階より少ない場合、もしくは、８段階より多い場合も、必ず、本プロパティで規定する 8 段階のプロパティ値に実機器の検知閾値を割り当てるものとする。

(3)微動検知状態

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

微動検知有、無状態を示す。EPC＝0x80「検知閾値レベル設定」を実装する際は、検知閾値レベル設定で設定する閾値以上になった場合に、微動検知有りに遷移し、閾値未満になった場合に、微動検知無に遷移するものとする。EPC=0xBC「サンプリング回数設定」，EPC=0xBD「サンプリング時間設定値」を実装する際は、微動検知用のポート等の状態をサンプリング時間設定値で指定されたサンプリング時間間隔で確認し、微動検知の有無の状態が、EPC=0 x BD「サンプリング回数設定」に設定された値、同じ状態が継続された時点で、その状態に遷移するものとする。

(4)微動検知カウント数設定

微動検知の数を示す。ここで記載している「微動検知」は、上記のプロパティのことであり、検知とみなす数を示すものではない。

カウント数の値域としては、0x0000～0xFFFE（0～65534）とし、このカウント数を超えるカウントとなった場合には、オーバーフローコード 0xFFFF を用いるものとする。カウンタクリアのタイミング等は、アプリケーションによるものとし、特に規定しない。

(5)サンプリング回数設定

微動検知有と断定するためのサンプリング回数を示す。本プロパティを実装する場合は、EPC=0xBD「サンプリング時間設定値」も合わせて実装するものとする。回数の値域としては、0x0000～０x FFFE（0～65543）とする。

(6)サンプリング時間設定値

微動検知の為のポート等のサンプリング間隔を msec 単位で示す。本プロパティを実装する場合は、EPC=0xBC「サンプリング回数設定」も合わせて実装するものとする。間隔の値域としては、0x0000～０x FFFE（0～65543）とし、単位は msec とする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．１．３８ 通過センサクラス規定

クラスグループコード　：　0x00
クラスコード　　：0x27
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
検知閾値レベル設定	0xB0	検知閾値レベルを８段階で指定。 0x31～0x38	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
通過検知ホールド時間設定値	0xBE	通過検知ホールド時間を ms 単位で示す。 0x0000～0xFFFD（0～65533ms）	unsigned shot	2 Byte	ms	Set/ Get			
通過検知方向状態	0xE0	通過方向（８方向）を示す。 0x30:通過無し 0x31～0x38：通過方向 0x39：通過を検知したが場所を特定できない場合、もしくは、通過方向を検知できないセンサにおける通過あり。	unsigned char	1 Byte	－	Get	○	○	

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)動作状態(スーパークラスのプロパティを継承)

本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。

尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)検知閾値レベル設定

EPC＝0xE0「通過検知方向状態」が通過検知なし（0x30）から通過検知有り（0x31～0x39）に遷移する閾値を８段階のレベルで設定する。0x31 を最小値、0x38 を最大値とするが、各レベルの具体的な値については、規定しない。また、実機器の検知閾値が８段階より少ない場合、もしくは、８段階より多い場合も、必ず、本プロパティで規定する８段階のプロパティ値に実機器の検知閾値を割り当てるものとする。

(3)通過検知ホールド時間設定値

通過検知方向状態が、通過検知有(0x31～0x39))の状態に遷移してから、通過検知無しに復帰するまでの時間を示す。単位は ms とし、プロパティの値域は 0x0000～0xFFFD（0～

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

65533ms）とする。

(4)通過検知方向状態

２次元の通過方向を 0x30～0x38 の値で示す。0x31～0x38 は検知した通過方向を示すものとする。0x31 を IN として、時計回りに 8 方向を示すこととする。

0x30 は、通過検知が無い状態。通過を検知したが、方向を特定できない場合は、0x39 を取るものとする。通過方向が検知できないセンサにおいて、通過を検知した場合も 0x39 を取るものとする。

EPC=0xBE「通過検知ホールド時間設定値」を実装した場合、本プロパティの値が通過検知なし（0x30）から通過検知あり（0x31~0x39）に遷移してから検知ホールド時間経過すれば、本プロパティの値を通過検知なし（0x30）に復帰するものとする。

また、通過方向が検知できるセンサにおいて、実際の機器（センサ）の検知可能な通過方向が 8 方向より少ない場合、もしくは、8 方向より多い場合も、必ず、本プロパティで規定する 8 方向のプロパティ値に実際の機器（センサ）の方向を割り当てるものとする。

2 方向の場合は、0x31(IN)、0x35(OUT)とする。IN, OUT の具体的な方向は規定しない。

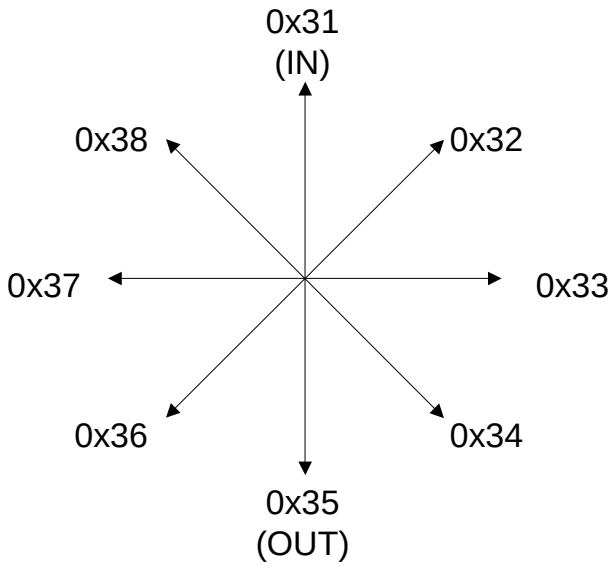


図 ３．１通過検知方向状態プロパティのプロパティ値と方向の対応図

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．１．３９ 在床センサクラス

クラスグループコード　：　0x00
クラスコード　　：0x28
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
検知閾値レベル設定	0xB0	検知閾値レベルを８段階で指定。 0x31～0x38	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
在床検知状態	0xB1	在床検知有無を示す。 在床検知有＝0x41，在床検知無＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get	○	○	

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)動作状態(スーパークラスのプロパティを継承)

本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。
尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)検知閾値レベル設定

EPC＝0xB1「在床検知状態」が有りに遷移する閾値を 8 段階のレベルで設定する。0x31 を最小値、0x38 を最大値とするが、各レベルの具体的な値については、規定しない。
また、実機器の検知閾値が 8 段階より少ない場合、もしくは、8 段階より多い場合も、必ず、本プロパティで規定する 8 段階のプロパティ値に実機器の検知閾値を割り当てるものとする。

(3)在床検知状態

在床検知有、無状態を示す。
EPC＝0xB0「検知閾値レベル設定」を実装する際は、検知閾値レベル設定で設定する閾値以上になった場合に、在床検知有りに遷移し、閾値未満になった場合に、在床検知無に遷移するものとする。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

３．１．４０ 開閉センサクラス

クラスグループコード　：　0x00
クラスコード　　：0x29
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時アナウンス	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
開度検知状態１	0xE0	開閉検知状態、および開度レベルを８段階で示す。 閉検知有り：0x30、開度レベル：0x31～0x38、開検知有り開度不明：0x39	unsigned char	1 Byte	－	Get	○ *1		
検知閾値レベル	0xB0	検知閾値レベルを８段階で指定。 0x31～0x38	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
開度検知状態２	0xB1	開検知有無を示す。 開検知有＝0x41, 閉検知有＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get	○ *1	○	

注1)　＊1：「開度検知状態１　EPC：0xE0」または「開度検知状態２　EPC：0xB1」のどちらかを必須とする。

注2)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)動作状態(スーパークラスのプロパティを継承)

開閉センサが、制御受付が可能な状態（ON 状態）であるか否か（OFF 状態）を示す。ON 状態には 0x30 を、OFF 状態には 0x31 を対応させる。開閉センサクラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、開閉センサが制御受付可能状態になる場合は、本プロパティを固定値 0x30 で実装することも可能である。

(2)開度検知状態 1

ドアや窓が開いているか閉じているかの状態、および開いている場合の開度を８段階のレベルで示すプロパティ値が 0x30 の場合は閉状態を示す。プロパティ値が 0x31～0x38 の場合は開状態を示し、0x31 を開度最小の状態、0x38 を開度最大の状態とする。ここでいう閉状態、開状態、開度とは、ドアや窓に取り付けられた開閉センサが示す状態のことである。0x31～0x38 の各開度は、0x30 の閉状態と 0x38 の開度最大状態の間を等分割にして設定することが望ましい。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

(3)検知閾値レベル

EPC＝0xB1「開度検知状態 2」が有に遷移する閾値を 8 段階のレベルで設定する。0x31 を最小値、0x38 を最大値とするが、各レベルの具体的な値については、規定しない。また、実機器の検知閾値が 8 段階より少ない場合、もしくは、8 段階より多い場合も、必ず、本プロパティで規定する 8 段階のプロパティ値に実機器のプロパティを割り当てるものとする。

(4)開度検知状態2

検知状態の開・閉状態を示す。EPC＝0xB0「検知閾値レベル」を実装する際は、検知閾値レベルで設定する閾値以上になった場合に、開検知有り＝0x41 に遷移するものとする。また、閉検知有＝0x42 への遷移は、検知閾値レベルで設定する閾値未満になった場合に遷移するものとする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．１．４１ 活動量センサクラス規定

クラスグループコード　：　0x00
クラスコード　　：0x2A
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set		○	
						Get	○		
活動量レベル１	0xE0	活動量のレベルを８段階で指定。配列要素 No.が、人体 ID を示す。 0x31～0x38	unsigned char ×Max128	Max 128 Byte	－	GetM	○ *1		
人体ＩＤ数最大値	0xE1	活動量レベル 1 で登録可能な人体 ID の最大数を示す。 0x0001~0x0080(=1~128)	unsigned short	2 Byte	－	Get			
活動量レベル２	0xE2	活動量のレベルを８段階で示す。 0x31～0x38	unsigned char	1 Byte	－	Get	○ *1		
存在人体情報	0xE3	活動量レベル 1 で保持している配列要素 No.情報。 （詳細は、説明（5）参照）	unsigned char ×16	16 Byte	－	Get			

注1)　＊1：「活動量レベル１　EPC：0xE0」または「活動量レベル２　EPC：0xE2」のどちらかを必須とする。

注2)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)　動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）

本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。

尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)　活動量レベル 1

活動量レベルを８段階のレベルで示す。0x31 を最小値、0x38 を最大値とするが、各レベルの具体的な活動量については、規定しない。

また、実機器の活動量レベルが８段階より少ない場合、もしくは、８段階より多い場合も、必ず、本プロパティで規定する８段階のプロパティ値に実機器の活動量レベルを割り当てるものとする。

配列要素 No.は、個体の特定を行う人体 ID を示す。

配列要素 No.に対応した人体 ID が存在しない場合、対応する配列要素が存在しないものと

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

する。配列要素 No.は、0x0000～0x007F（0～127）までとする。

(3) 人体ID数最大値

活動量レベル1で登録可能な人体 ID 数の最大値を示す。

これはすなわち、処理可能な配列要素 No.の最大値＋1の値となり、プロパティ値は、0x0001～0x0080(=1～128)とする。

(4) 活動量レベル 2

活動量を 8 段階のレベルで設定する。0x31 を最小値、0x38 を最大値とするが、各レベルの具体的な活動量については、規定しない。

また、実機器の活動量レベルが８段階より少ない場合、もしくは、８段階より多い場合も、必ず、本プロパティで規定する８段階のプロパティ値に実機器の活動量レベルを割り当てるものとする。

(5) 存在人体情報

活動量レベル 1 で保持している配列要素 No.の情報の有無をビットマップで示す。下図の 16 バイトのテーブルにおいて、存在する配列要素 No.を示すビット位置に 1 をセットするものとする。

	ﾋﾞｯﾄ０	ﾋﾞｯﾄ１	ﾋﾞｯﾄ２	ﾋﾞｯﾄ３	ﾋﾞｯﾄ４	ﾋﾞｯﾄ５	ﾋﾞｯﾄ６	ﾋﾞｯﾄ７
1 バイト目	0000	0001	0002	0003	0004	0005	0006	0007
2 バイト目	0008	0009	000A	000B	000C	000D	000E	000F
3 バイト目	0010	0011	0012	0013	0014	0015	0016	0017
4 バイト目	0018	0019	001A	001B	001C	001D	001E	001F
5 バイト目	0020	0021	0022	0023	0024	0025	0026	0027
6 バイト目	0028	0029	002A	002B	002C	002D	002E	002F
7 バイト目	0030	0031	0032	0033	0034	0035	0036	0037
8 バイト目	0038	0039	003A	003B	003C	003D	003E	003F
9 バイト目	0040	0041	0042	0043	0044	0045	0046	0047
10 バイト目	0048	0049	004A	004B	004C	004D	004E	004F
11 バイト目	0050	0051	0052	0053	0054	0055	0056	0057
12 バイト目	0058	0059	005A	005B	005C	005D	005E	005F
13 バイト目	0060	0061	0062	0063	0064	0065	0066	0067
14 バイト目	0068	0069	006A	006B	006C	006D	006E	006F
15 バイト目	0070	0071	0072	0073	0074	0075	0076	0077
16 バイト目	0078	0079	007A	007B	007C	007D	007E	007F

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．１．４２ 人体位置センサクラス規定

クラスグループコード　：　0x00
クラスコード　　：0x2B
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
人体検知位置 1	0xE0	人体検知位置を示す。配列要素 No.が、人体 ID を示す。 1Byte 目：X 座標、2Byte 目：Y 座標，3Byte 目：Z 座標	unsigned char ×3 ×Max128	3 ×Max 128 Byte	－	GetM	○ *1		
人体ＩＤ数最大値	0xE1	人体検知位置 1 に登録可能な人体 ID の最大数を示す。 0x0001~0x0080(=1~128)	unsigned short	2 Byte	－	Get			
人体検知位置 2	0xE2	人体検知位置を示す。 1Byte 目：X 座標、2Byte 目：Y 座標，3Byte 目：Z 座標	unsigned char ×3	3 Byte	－	Get	○ *1		
存在人体情報	0xE3	人体検知位置 1 で保持している配列要素 No.情報。 （詳細は、説明（5）参照）	unsigned char ×16	16 Byte	－	Get			

注1)　＊1：「人体検知位置 1　EPC：0xE0」または「人体検知位置 2　EPC：0xE2」のどちらかを必須とする。

注2)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)　動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）

本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。

尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)　人体検知位置 1

各配列要素は、３つの unsigned char 型データで構成される。

配列要素 No.は、個体の特定を行う人体 ID を示す。配列要素 No.に対応した人体 ID が存在しない場合、対応する配列要素が存在しないものとする。配列要素 No.は、0x0000～0x007F（0～127）までとする。

１バイト目、２バイト目、３バイト目は３次元の人体検知位置（X 座標と Y 座標、Z 座標）

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

を 255 段階(0x00～0xFE)で示すものとする。
X 座標、Y 座標、Z 座標それぞれ、0xFF は、位置の特定不可或いは不定を示すものとする。
また、配列要素 No.に対応した人体 ID が存在しない場合、配列要素が存在しないものとする。

(3) 人体ID数最大値

人体検知位置1で登録可能な人体 ID 数の最大値を示す。
これはすなわち、処理可能な配列要素 No.の最大値＋1の値となり、プロパティ値は、0x0001～0x0080(=1～128)とする。

(4) 人体検知位置 2

１バイト目、２バイト目、3 バイト目は３次元の人体検知位置（X 座標と Y 座標、Z 座標）を 255 段階(0x00～0xFE)で示すものとする。
X 座標、Y 座標、Z 座標それぞれ、0xFF は、位置の特定不可或いは不定を示すものとする。

(5) 存在人体情報

人体検知位置 1 で保持している配列要素 No.の情報の有無をビットマップで示す。下図の 16 バイトのテーブルにおいて、存在する配列要素 No.を示すビット位置に 1 をセットするものとする。

	ﾋﾞｯﾄ0	ﾋﾞｯﾄ1	ﾋﾞｯﾄ2	ﾋﾞｯﾄ3	ﾋﾞｯﾄ4	ﾋﾞｯﾄ5	ﾋﾞｯﾄ6	ﾋﾞｯﾄ7
1 バイト目	0000	0001	0002	0003	0004	0005	0006	0007
2 バイト目	0008	0009	000A	000B	000C	000D	000E	000F
3 バイト目	0010	0011	0012	0013	0014	0015	0016	0017
4 バイト目	0018	0019	001A	001B	001C	001D	001E	001F
5 バイト目	0020	0021	0022	0023	0024	0025	0026	0027
6 バイト目	0028	0029	002A	002B	002C	002D	002E	002F
7 バイト目	0030	0031	0032	0033	0034	0035	0036	0037
8 バイト目	0038	0039	003A	003B	003C	003D	003E	003F
9 バイト目	0040	0041	0042	0043	0044	0045	0046	0047
10 バイト目	0048	0049	004A	004B	004C	004D	004E	004F
11 バイト目	0050	0051	0052	0053	0054	0055	0056	0057
12 バイト目	0058	0059	005A	005B	005C	005D	005E	005F
13 バイト目	0060	0061	0062	0063	0064	0065	0066	0067
14 バイト目	0068	0069	006A	006B	006C	006D	006E	006F
15 バイト目	0070	0071	0072	0073	0074	0075	0076	0077
16 バイト目	0078	0079	007A	007B	007C	007D	007E	007F

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．１．４３ 雪センサクラス規定

クラスグループコード　：　0x00
クラスコード　　：0x2C
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
検知閾値レベル	0xB0	検知閾値レベルを８段階で指定。 0x31～0x38	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
雪検知状態	0xB1	雪検知有無を示す。 雪検知有 0x41、雪検知無 0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get	○	○	

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)　動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）

本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)　検知閾値レベル

EPC＝0xB1「雪検知状態」が有に遷移する閾値を 8 段階のレベルで設定する。0x31 を最小値、0x38 を最大値とするが、各レベルの具体的な値については、規定しない。

また、実機器の検知閾値が 8 段階より少ない場合、もしくは、8 段階より多い場合も、必ず、本プロパティで規定する 8 段階のプロパティ値に実機器のプロパティを割り当てるものとする。

(3)　雪検知状態

雪検知状態の有、無状態を示す。EPC＝0xB0「検知閾値レベル」を実装する際は、検知閾値レベルで設定する閾値以上になった場合、雪検知状態有りに遷移し、閾値未満になった場合に、雪検知状態無しに遷移するものとする。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

３．２ 空調関連機器クラスグループ

本節では、機器オブジェクトの内、空調関連機器クラスグループ（クラスグループコード X1=0x01）に属する ECHONET オブジェクト毎に、コードやプロパティの詳細を規定する。本節で詳細を規定するクラスの一覧を、表６に示し、各クラス毎の詳細を項を設けて規定を示す。クラス規定において、「必須」の記述のあるものは、各クラスを搭載する機器には、そのプロパティとサービスの組み合わせの実装が必須であることを示す。

表６　空調関連機器クラスグループのオブジェクト一覧表

クラスグループコード	クラスコード	クラス名	詳細規定の有無	備考
0x01	0x00～0x2F	For future reserved		
	0x30	家庭用エアコン	○	
	0x31	冷風機		
	0x32	扇風機		
	0x33	換気扇	○	
	0x34	空調換気扇	○	
	0x35	空気清浄器	○	
	0x36	冷風扇		
	0x37	サーキュレータ		
	0x38	除湿機		
	0x39	加湿器	○	
	0x3A	天井扇		
	0x3B	電気こたつ		
	0x3C	電気あんか		
	0x3D	電気毛布		
	0x3E	ストーブ		
	0x3F	パネルヒータ		
	0x40	電気カーペット		
	0x41	フロアヒータ		
	0x42	電気暖房器	○	
	0x43	ファンヒータ	○	
	0x44	充電器		
	0x45	業務用パッケージエアコン室内機	○	
	0x46	業務用パッケージエアコン室外機	○	
	0x47	業務用パッケージエアコン蓄熱ユニット		
	0x48	業務用ファンコイルユニット		
	0x49	業務用空調冷熱源(チラー)		
	0x50	業務用空調温熱源(ボイラー)		

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

	0x51	業務用空調 VAV		
	0x52	業務用空調エアハンドリングユニット		
	0x53	ユニットクーラー		
	0x54	業務用コンデンシングユニット		
	0x55～0xFF	For future reserved		

注）○：APPENDIX でプロパティ構成を含めた詳細を規定。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．２．１ 家庭用エアコンクラス規定

クラスグループコード　　：0x01
クラスコード　　：0x30
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	○ ○	○	
節電動作設定	0x8F	機器の節電動作を設定し、状態を取得する。 節電動作中=0x41 通常動作中=0x42	unsigned char	1	－	Set/ Get	○	○	
運転モード設定	0xB0	自動／冷房／暖房／除湿／送風／その他の運転モードを設定し、設定状態を取得する。 順番に以下のコードが対応。 0x41/0x42/0x43/0x44/0x45/0x40	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get	○	○	
温度自動設定	0xB1	AUTO／非 AUTO を設定し、設定状態を取得する。 AUTO＝0x41,非 AUTO＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
急速動作モード設定	0xB2	通常運転／急速／静音を設定し、設定状態を取得する。 通常運転＝0x41 急速＝0x42，　静音＝0x43	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
温度設定値	0xB3	温度設定値を設定し、設定状態を取得する。 0x00～0x32（0～50℃）	unsigned char	1 Byte	℃	Set/ Get	○		
除湿モード時相対湿度設定値	0xB4	除湿モード時相対湿度設定値を設定し、設定状態を取得する。 0x00～0x64, (0～100%)	unsigned char	1 Byte	%	Set/ Get			
冷房モード時温度設定値	0xB5	冷房モード時設定温度値を設定し、設定状態を取得する。 0x00～0x32（0～50℃）	unsigned char	1 Byte	℃	Set/ Get			
暖房モード時温度設定値	0xB6	暖房モード時設定温度値を設定し、設定状態を取得する。 0x00～0x32（0～50℃）	unsigned char	1 Byte	℃	Set/ Get			
除湿モード時温度設定値	0xB7	除湿モード時設定温度値を設定し、設定状態を取得する。 0x00～0x32（0～50℃）	unsigned char	1 Byte	℃	Set/ Get			
定格消費電力値	0xB8	冷房／暖房／除湿／送風の各運転モード時の定格消費電力 0x0000～0xFFFD (0～65533W) 冷房：暖房：除湿：送風	unsigned short ×4	8 Byte	W	Get			
消費電流計測値	0xB9	消費電流計測値 0x0000～0xFFFD (0～6553.3A)	unsigned short	2 Byte	0.1 A	Get			
室内相対湿度計測値	0xBA	室内相対湿度計測値 0x00～0x64 (0～100%)	unsigned char	1 Byte	%	Get			

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

室内温度計測値	0xBB	室内温度計測値 0x81～0x7D (－127～125℃)	signed char	1 Byte	℃	Get	○		
ユーザリモコン温度設定値	0xBC	ユーザリモコン温度設定値 0x00～0x32（0～50℃）	unsigned char	1 Byte	℃	Get			
吹き出し温度計測値	0xBD	吹き出し温度計測値 0x81～0x7D (－127～125℃)	signed char	1 Byte	℃	Get			
外気温度計測値	0xBE	外気温度計測値 0x81～0x7D(－127～125℃)	signed char	1 Byte	℃	Get			
相対温度設定値	0xBF	エアコン動作中、動作モードにおける目標温度値に対する相対温度設定値を設定し、設定内容を取得する。 0x81～0x7D(-12.7℃～12.5℃)	signed char	1 Byte	0.1 ℃	Set /Get			
風量設定	0xA0	風量レベルおよび風量自動状態を設定し、設定状態を取得する。風量レベルは 8 段階で指定。 風量自動設定＝0x41 風量レベル＝0x31～0x38	unsigned char	1 Byte	－	Set /Get	○	○	
風向自動設定	0xA1	風向き上下左右の AUTO／非 AUTO を設定し、設定状態を取得する。 AUTO=0x41、非 AUTO=0x42 上下 AUTO=0x43、左右 AUTO=0x44	unsigned char	1 Byte	－	Set /Get			
風向スイング設定	0xA3	風向スイング OFF／上下／左右／上下左右を設定し、設定状態を取得する。 風向スイング OFF＝0x31、 上下＝0x41、左右＝0x42、 上下左右＝0x43	unsigned char	1 Byte	－	Set /Get			
風向上下設定	0xA4	上下方向の風向きを 5 通りのパターンで設定し、設定状態を取得する。 上=0x41、下=0x42、中央=0x43、 上中=0x44、下中=0x45	unsigned char	1 Byte	－	Set /Get			
風向左右設定	0xA5	左右方向の風向きを 31 通りのパターンで設定し、設定状態を取得する。 右＝0x41、左＝0x42、 中央＝0x43、左右＝0x44 他、プロパティ詳細説明の表に記載のコードで示す。	unsigned char	1 Byte	－	Set /Get			
特殊状態	0xAA	エアコンが特殊状態にあることを示す。 通常状態=0x40、除霜状態=0x41 予熱状態=0x42、排熱状態=0x43	unsigned char	1 Byte	－	Get			
非優先状態	0xAB	エアコンが非優先状態にあることを示す 通常状態=0x40 非優先状態=0x41	unsigned char	1 Byte	－	Get			
換気モード設定	0xC0	換気の動作(方向)を設定し、設定状態を取得する。 換気 ON（排気方向）=0x41、 換気 OFF=0x42、 換気 ON（吸気方向）=0x43	unsigned char	1 Byte	－	Set /Get			
加湿モード設定	0xC1	加湿のモード設定 ON/OFF を設定し、設定状態を取得する。 加湿 ON＝0x41,OFF＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set /Get			

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

換気風量設定	0xC2	換気風量レベルを設定し、設定状態を取得する。 換気風量自動=0x41 換気風量レベル=0x31～0x38	unsigned char	1 Byte	－	Set /Get			
加湿量設定	0xC4	加湿量レベルを設定し、設定状態を取得する。 加湿量自動=0x41 加湿量レベル=0x31～0x38	unsigned char	1 Byte	－	Set /Get			
搭載空気清浄方法	0xC6	空気清浄機能を実現するために搭載されている方法をビットマップで示す。 ﾋﾞｯﾄ 0：電気集塵方式搭載情報 0 非搭載 1 搭載 ﾋﾞｯﾄ 1：クラスタイオン方式搭載情報 0 非搭載 1 搭載	unsigned char	1 Byte	－	Get			
空気清浄機能モード設定	0xC7	8 バイトの配列で、実現方法ごとの空気清浄機能の ON/OFF およびその制御レベルを設定し、設定状態を取得する。 第 0 要素： 電気集塵方式による空気清浄機能の設定状態 第 1 要素： クラスタイオン方式による空気清浄機能の設定状態 第 2 要素～第 7 要素： for future reserved	unsigned char ×8	1Byte × 8	－	SetM /GetM Set /Get			
搭載リフレッシュ方法	0xC8	リフレッシュ機能を実現するために搭載されている方法をビットマップで示す。 ﾋﾞｯﾄ 0：マイナスイオン方式搭載情報 0 非搭載 1 搭載 ﾋﾞｯﾄ 1：クラスタイオン方式搭載情報 0 非搭載 1 搭載	unsigned char	1 Byte	－	Get			
リフレッシュ機能モード設定	0xC9	8 バイトの配列で、実現方法ごとのリフレッシュ機能の ON/OFF およびその制御レベルを設定し、設定状態を取得する。 第 0 要素： マイナスイオン方式によるリフレッシュ機能の設定状態 第 1 要素： クラスタイオン方式によるリフレッシュ機能の設定状態 第 2 要素～第 7 要素： for future reserved	unsigned char ×8	1 Byte × 8	－	SetM /GetM Set /Get			

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

搭載自己洗浄方法	0xCA	自己洗浄機能を実現するために搭載されている方法をビットマップで示す。 ﾋﾞｯﾄ0：オゾン洗浄方式搭載情報 0 非搭載 1 搭載 ﾋﾞｯﾄ1：乾燥方式搭載情報 0 非搭載 1 搭載	unsigned char	1 Byte	－	Get			
自己洗浄機能モード設定	0xCB	8 バイトの配列で、実現方法ごとの自己洗浄機能の ON/OFF およびその制御レベルを設定し、設定状態を取得する。 第 0 要素： オゾン洗浄方式による自己洗浄機能の設定状態 第 1 要素： 乾燥方式による自己洗浄機能の設定状態 第 2 要素～第 7 要素： for future reserved	unsigned char ×8	1Byte × 8	－	SetM /GetM Set /Get			
特別運転モード設定	0xCC	特別運転モードを設定し、設定状態を取得する。 設定なし：0x40 衣類乾燥：0x41 結露抑制：0x42 ダニカビ抑制：0x43 強制除霜 0x44 0x45～ for future reserved	unsigned char	1 Byte	－	Set /Get			
内部動作状態	0xCD	エアコンの内部動作状態をビットマップで表現する。 ﾋﾞｯﾄ0：コンプレッサ動作状態 0 停止中 1 動作中 ﾋﾞｯﾄ1：サーモ ON/OFF 状態 0 サーモＯＦＦ状態 1 サーモＯＮ状態 ビット２～ビット７： for future reserved	unsigned char	1 Byte	－	Get			
強制サーモモード設定	0xCE	エアコンのサーモ設定を無視して運転するか否かを設定する。 通常設定=0x40, 強制サーモ ON=0x41, 強制サーモ OFF=0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set / Get			
空気清浄モード設定	0xCF	空気清浄のモード設定 ON/OFF を設定し、設定状態を取得する。 空気清浄 ON＝0x41,OFF＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set /Get			

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

ON タイマ 予約設定	0x90	予約入／予約切を設定し、設定状態を取得する。 時刻予約,相対時間予約共に入＝0x41,予約切＝0x42, 時刻予約のみ入り＝0x43, 相対時刻予約のみ入り＝0x44	unsigned char	1 Byte	－	Set /Get			
ON タイマ 時刻設定値	0x91	タイマ値 HH:MM を設定し、設定状態を取得する。 0～0x17: 0～0x3B (=0～23):(=0～59)	unsigned char ×2	2 Byte	－	Set /Get			
ON タイマ相対時間設定値	0x92	タイマ値 HH:MM を設定し、更新された時間を取得する。 0～0xFF: 0～0x3B (=0～255):(=0～59)	unsigned char ×2	2 Byte	－	Set /Get			
OFF タイマ 予約設定	0x94	予約入／予約切を設定し、設定内容を取得する。 時刻予約,相対時間予約共に入＝0x41,予約切＝0x42, 時刻予約のみ入り＝0x43, 相対時刻予約のみ入り＝0x44	unsigned char	1 Byte	－	Set /Get			
OFF タイマ 時刻設定値	0x95	タイマ値 HH:MM を設定し、設定状態を取得する。 0～0x17: 0～0x3B (=0～23):(=0～59)	unsigned char ×2	2 Byte	－	Set /Get			
OFF タイマ 相対時間設定値	0x96	タイマ値 HH:MM を設定し、更新された時間を取得する。 0～0xFF: 0～0x3B (=0～255):(=0～59)	unsigned char ×2	2 Byte	－	Set /Get			

注1） 状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1) 動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）

家庭用エアコンの運転／停止を設定し、動作状態を取得する。運転／停止にそれぞれ、0x30/0x31 のプロパティ値が対応するものとする。

(2) 節電動作設定(機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承)

家庭用エアコンの通常モード(非節電モード)／節電動作モードを設定し動作状態を取得する。通常モード(非節電モード)／節電モードに、それぞれ 0x41/0x42 のプロパティ値が対応する。生活者の見守りサービスのために、状変時アナウンスを必須とする。

(3) 運転モード設定

家庭用エアコンの自動／冷房／暖房／除湿／送風／その他の各運転モードを設定し、設定状態を取得する。「その他」というモードは、他のいずれの運転モードにも該当しない運転モードである。それぞれの運転モードにはそれぞれ、順に 0x41/0x42/0x43/0x44/0x45/0x40 のプロパティ値が対応するものとする。プロパティ値のとる値については、本クラスを実装す

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

る実機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。例えば、本クラスを搭載する実機器が送風機能をその機能として搭載していない場合は、送風に対する 0x45 を実装する必要はない。
動作状態プロパティ（0x80）が OFF(０ｘ３１)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(4) 温度自動設定
家庭用エアコンが、「温度設定値」(EPC＝0xB3，0xB5，0xB6，0xB7)を目標値とせず、家庭用エアコン本体の自動温度設定値算出アルゴリズム等により、動作している状態の ON/OFF を設定し、設定状態を取得する。
自動状態 ON の場合 0x41 とし、自動状態 OFF の場合は 0x42 のプロパティ値を取るものとする。
動作状態プロパティ（0x80）が OFF(０ｘ３１)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(5) 急速動作モード設定
通常運転／急速／静音のモードを設定し、設定状態を取得する。それぞれに、順に 0x41/0x42/0x43 のプロパティ値が対応するものとする。本プロパティは、「運転モード設定」(EPC=0xB0)を修飾して設定することが可能であるプロパティで、急速設定は、急速冷房、急速暖房もしくは、パワフル動作状態等に対応する。また、本プロパティの通常運転／急速／静音状態は、それぞれ排他的関係にある設定状態である。

(6) 温度設定値
エアコンの現在の「運転モード設定」における温度設定値を℃の単位で設定し、設定状態を取得する。本プロパティで示す温度設定値は、エアコンに「温度自動設定」の機能が実装されていない場合、または実装されているが「温度自動設定」が非 AUTO の状態を取る場合に、エアコンが目標とする温度値である。また、「温度自動設定」が AUTO 状態であるために、本プロパティで表す温度設定目標値が不明となってしまう場合に本プロパティがとる値は０ｘFD（温度設定値不明）とする。
動作状態プロパティ（0x80）が OFF(０ｘ３１)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(7) 除湿モード時相対湿度設定値
「運転モード設定」(EPC=0xB0)が、除湿モードの場合の相対湿度設定値を%の単位で設定し、設定状態を取得する。本プロパティを実装する場合は、「運転モード設定」(EPC=0xB0)の現在の設定が、除湿モード以外の場合も設定／取得が可能である。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

動作状態プロパティ（0x80）が OFF(０ｘ３１)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(8) 冷房モード時温度設定値

「運転モード設定」(EPC=0xB0)が、冷房モードの場合の温度設定値を℃の単位で設定し、設定状態を取得する。本プロパティを実装する場合は、「運転モード設定」(EPC=0xB0)の現在の設定が、冷房モード以外の場合も設定／参照が可能である。

本プロパティで示す冷房モード時温度設定値は、エアコンに「温度自動設定」の機能が実装されていない場合、または実装されているが「温度自動設定」が非 AUTO の状態を取る場合に、エアコンが目標とする温度値である。

本プロパティを実装する場合は、温度設定値プロパティ（EPC:0xB3）のプロパティ内容と一致しなければならない。

動作状態プロパティ（0x80）が OFF(０ｘ３１)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(9) 暖房モード時温度設定値

「運転モード設定」(EPC=0xB0)が、暖房モードの場合の温度設定値を℃の単位で設定し、設定状態を取得する。本プロパティを実装する場合は、「運転モード設定」(EPC=0xB0)の現在の設定が、暖房モード以外の場合も設定／参照が可能である。

本プロパティで示す暖房モード時温度設定値は、エアコンに「温度自動設定」の機能が実装されていない場合、または実装されているが「温度自動設定」が非 AUTO の状態を取る場合に、エアコンが目標とする温度値である。

本プロパティを実装する場合は、温度設定値プロパティ（EPC:0xB3）のプロパティ内容と一致しなければならない。

動作状態プロパティ（0x80）が OFF(０ｘ３１)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(10) 除湿モード時温度設定値

「運転モード設定」(EPC=0xB0)が、除湿モードの場合の温度設定値を℃の単位で設定し、設定状態を取得する。本プロパティを実装する場合は、「運転モード設定」(EPC=0xB0)の現在の設定が、除湿モード以外の場合も設定／参照が可能である。

本プロパティで示す除湿モード時温度設定値は、エアコンに「温度自動設定」の機能が実装されていない場合、または実装されているが「温度自動設定」が非 AUTO の状態を取る場合に、エアコンが目標とする温度値である。

本プロパティを実装する場合は、温度設定値プロパティ（EPC:0xB3）のプロパティ内容と一致しなければならない。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

動作状態プロパティ（0x80）が OFF(０ｘ３１)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(11) 定格消費電力値

冷房／暖房／除湿／送風の各運転モード時の定格消費電力（カタログ値)を W の単位で示す。各モード毎の消費電力は、0x0000～0xFFFD(0～65533W)とし、冷房／暖房／除湿／送風の順に、上位 Byte からプロパティ値とする。実機器が、その機能として、いずれかの運転モードをサポートしない場合は、アンダーフローコード 0xFFFE を用いるものとする。

動作状態プロパティ（0x80）が OFF(０ｘ３１)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(12) 消費電流計測値

エアコンの現在の消費電流を 0.1A の単位で示す。対象となる電流が交流の場合は、実効値を示すものとする。プロパティ値は、0x0000～0xFFFD(0～6553.3A)とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFFFF、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0xFFFE を用いるものとする。

(13) 室内相対湿度計測値

室内相対湿度計測値を%の単位で示す。プロパティの値域は、0x00～0x64(0～100%)とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFF、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0xFE を用いるものとする。また、計測値を返せない場合は、0xFD を用いるものとする。

動作状態プロパティ（0x80）が OFF(０ｘ３１)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(14) 室内温度計測値

室内温度計測値を℃の単位で示す。プロパティの値域は、0x81～0x7D(－127～125℃)とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0x7F、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0x80 を用いるものとする。また、計測値を返せない場合は、０ｘ7E を用いるものとする。

動作状態プロパティ（0x80）が OFF(０ｘ３１)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(15) ユーザリモコン温度設定値

家庭用エアコンのユーザのリモコンによって、設定された最新の温度設定値を℃の単位で示

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

す。本プロパティの使用例として、コントローラ等から家庭用エアコンの設定温度を変更した場合に、ユーザのリモコン等による設定温度を参照するために用いる。
動作状態プロパティ（0x80）が OFF(０ｘ３１)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(16) 吹き出し温度計測値

吹き出し温度計測値を℃の単位で示す。プロパティの値域は、0x81～0x7D(－127～125℃)とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0x7F、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0x80 を用いるものとする。また、計測値を返せない場合は、０ｘ7E を用いるものとする。
動作状態プロパティ（0x80）が OFF(０ｘ３１)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(17) 外気温度計測値

室外機が設置されている場所の温度計測値(外気温度)を℃の単位で示す。プロパティの値域は、0x81～0x7D(－127～125℃)とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0x7F、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0x80 を用いるものとする。また、計測値を返せない場合は、０ｘ7E を用いるものとする。
動作状態プロパティ（0x80）が OFF(０ｘ３１)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(18) 相対温度設定値

家庭用エアコンが運転中の動作モードにおいて目標としている温度（目標温度）に対し、「高め」「低め」を相対値で設定し、設定状態を取得する。また、絶対値での温度設定を目標値としない運転モード、例えば自動等においても、「高め」「低め」を相対値で設定する。本プロパティ値は、0.1℃刻みで－12.7℃～12.5℃（0x81～0x7D）の範囲を取る。1.0℃低めの場合は 0xF6 を指定し、1.0℃高めの場合は 0x0A を指定する。
実機器のプロパティ値が、プロパティ値の上限を超える場合には、オーバーフローコード 0x7F、実機器のプロパティ値が、プロパティ値の下限未満の場合は、アンダーフローコード 0x80 を用いるものとする。また、設定値を返せない場合は、0x7E を用いるものとする。
動作状態プロパティ（0x80）が OFF(０ｘ３１)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(19) 風量設定

風量レベルおよび、風量自動状態を設定し、設定状態を取得する。風量自動状態のプロパテ

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

ィの値は、0x41 とする。風量レベルを 8 段階で設定し、0x31～0x38 のプロパティ値を取るものとする。各風量レベルの具体的な値は、規定しないが、0x31 を風量最小、0x38 を風量最大とする。

動作状態プロパティ（0x80）が OFF(０ｘ３１)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

生活者の見守りサービスのために、状変時アナウンスを必須とする。

(20) 風向自動設定

風向き（上下・左右）の、AUTO／非 AUTO を設定し、設定状態を取得する。

全 AUTO=0x41、非 AUTO=0x42、上下 AUTO=0x43、左右 AUTO=0x44

プロパティ値のとる値については、本クラスを実装する実機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。

動作状態プロパティ（0x80）が OFF(０ｘ３１)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(21) 風向スイング設定

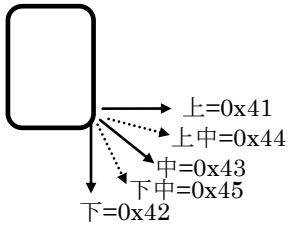
風向スイングの方向を設定し､設定状態を取得する｡風向スイング OFF＝0x31, 上下＝0x41, 左右＝0x42, 上下左右＝0x43

プロパティ値のとる値については、本クラスを実装する実機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。

(22) 風向上下設定

風向の上下角度を設定し、設定状態を取得する。上下角度を 5 段階で表示する。

上＝0x41、下＝0x42、中央＝0x43、上中=0x44、下中=0x45



（横から見た図）

プロパティ値のとる値については、本クラスを実装する実機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。また、スイング動作中に対する本プロパティの有効性は機器依存とする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

(23) 風向左右設定

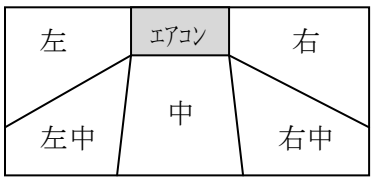
左右方向の風向きを設定し、設定状態を取得する。下表の通り風向きの方向を左、左中、中、右中、右の５つの方向に分けて、どの方向に風を吹くかをコードで示す。(○：吹く方向)
プロパティ値のとる値については、本クラスを実装する実機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。また、スイング動作中に対する本プロパティの有効性は機器依存とする。

(Version 2.01 Release a 以前での元　右＝0x41、左＝0x42、中央＝0x43、左右＝0x44 は下表の通りに割り当てる。)

ｺｰﾄﾞ	左	左中	中	右中	右	備考
0x41	×	×	×	○	○	元「右」
42	○	○	×	×	×	元「左」
43	×	○	○	○	×	元「中央」
44	○	○	×	○	○	元「左右」
51	×	×	×	×	○	
52	×	×	×	○	×	
0x53 は無し (0x41＝元「右」があるため)						
54	×	×	○	×	×	
55	×	×	○	×	○	
56	×	×	○	○	×	
57	×	×	○	○	○	
58	×	○	×	×	×	
59	×	○	×	×	○	
5A	×	○	×	○	×	
5B	×	○	×	○	○	
5C	×	○	○	×	×	
5D	×	○	○	×	○	
0x5E は無し (0x43＝元「中央」があるため)						
5F	×	○	○	○	○	

ｺｰﾄﾞ	左	左中	中	右中	右	備考
0x60	○	×	×	×	×	
61	○	×	×	×	○	
62	○	×	×	○	×	
63	○	×	×	○	○	
64	○	×	○	×	×	
65	○	×	○	×	○	
66	○	×	○	○	×	
67	○	×	○	○	○	
0x68 は無し (0x42＝元「左」があるため)						
69	○	○	×	×	○	
6A	○	○	×	○	×	
0x6B は無し (0x44＝元「左右」があるため)						
6C	○	○	○	×	×	
6D	○	○	○	×	○	
6E	○	○	○	○	×	
6F	○	○	○	○	○	

５つの方向は右図の通り。



(上から見た図)

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

(23) 特殊状態

家庭用エアコンが、除霜状態、予熱状態、排熱状態にあることを示す。

除霜状態にある場合のプロパティ値を 0x41、予熱状態にある場合のプロパティ値を 0x42、排熱状態にある場合のプロパティ値を 0x43 とする。なお、いずれの状態でもない場合のプロパティ値を 0x40 とする。

予熱状態とは、暖房運転起動直後、あるいは除霜復帰直後から暖風温度が上昇し吹き出すまでの室内ファン停止状態または室内ファンが低回転状態などを言う。

排熱状態とは、運転停止(特に暖房運転)した際に、エアコンの機器内に残っている熱を排出するために、ファン(通常室内ファン)および冷凍サイクルを回している状態などを言う。

動作状態プロパティ（0x80）がOFF(０ｘ３１)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(24) 非優先状態

家庭用エアコンが、非優先状態にあることを示す。非優先状態の一例として、１つの室外機に接続されている複数の室内機において、対象となるエアコンの取れる動作モードが、他のエアコンの動作モードによって制限されている状態などを表す。

通常状態の場合のプロパティ値を 0x40、非優先状態の場合のプロパティ値 0x41 とする。

動作状態プロパティ（0x80）が OFF(０ｘ３１)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(25) 換気モード設定

家庭用エアコンに搭載されている換気機能のモードの ON/OFF を設定し、設定状態を取得する。

換気 ON（排気方向）=0x41、換気 OFF=0x42、換気 ON（吸気方向）=0x43、

換気 ON（吸排気方向）=0x44

動作状態プロパティ（0x80）が OFF(０ｘ３１)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(26) 加湿モード設定

家庭用エアコンに搭載されている加湿機能のモードの ON/OFF を設定し、設定状態を取得する。

加湿 ON＝0x41,OFF＝0x42

動作状態プロパティ（0x80）が OFF(０ｘ３１)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(27) 換気風量設定

換気風量レベルおよび、換気風量自動状態を設定し、設定内容を取得する。換気風量自動状

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

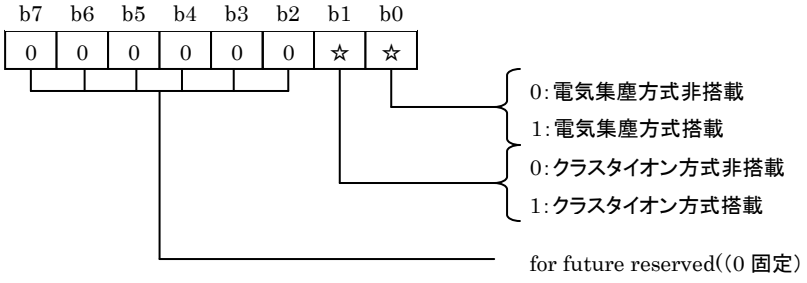
態のプロパティの値は、0x41 とする。換気風量レベルを 8 段階で設定し、0x31～0x38 のプロパティ値を取るものとする。各換気風量レベルの具体的な値は、規定しないが、0x31 を換気風量最小、0x38 を換気風量最大とする。
動作状態プロパティ（0x80）が OFF(０ｘ３１)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(28) 加湿量設定

加湿量レベルおよび、加湿量自動状態を設定し、設定内容を取得する。加湿量自動状態のプロパティの値は、0x41 とする。加湿量レベルを 8 段階で設定し、0x31～0x38 のプロパティ値を取るものとする。各加湿量レベルの具体的な値は、規定しないが、0x31 を加湿量最小、0x38 を加湿量最大とする。
動作状態プロパティ（0x80）が OFF(０ｘ３１)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(29) 搭載空気清浄方法

どのような実現方法の空気清浄機能が搭載されているかの一覧をビットマップで示す。実現方法として、電気集塵方式とクラスタイオン方式の 2 方式を規定する。以下に詳細を示す。ビットが 0 の場合は当該実現方法が搭載されていないことを、1 の場合は搭載されていることを示す。



動作状態プロパティ（0x80）が OFF(０ｘ３１)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

(30) 空気清浄機能モード設定

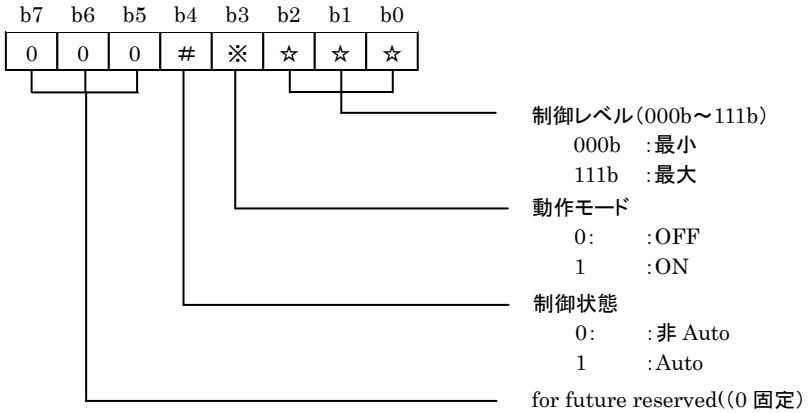
空気清浄機能の動作モード（ON／OFF）と制御状態の AUTO／非 AUTO 状態、および制御状態が非 AUTO である場合の制御レベルを、空気清浄機能の実現方法ごとに設定し、設定状態を取得する。本プロパティは 8 要素からなる配列で、要素番号と空気清浄機能の実現方法が 1 対 1 に対応する。要素番号と実現方法の対応は以下のとおりである。

第 0 要素：電気集塵方式

第 1 要素：クラスタイオン方式

第 2 要素～第 7 要素：for future reserved

各要素のサイズは 1 バイトである。b0～b2 で対応する方式の制御レベルを 000b～111b の 8 段階で示す。各制御レベルの具体値は規定しないが、000b が制御レベル最小、111b が制御レベル最大を示すものとする。b3 は対応する方式の ON／OFF を示す。b3=0 が動作モード OFF、b3=1 が動作モード ON を示す。b4 は対応する方式の制御状態が自動（Auto）であるか否（非 Auto）かを示す。b4=0 が非 Auto、b4=1 が Auto であることを示す。b4=1（Auto）の場合、b0～b2 による制御レベルの設定は無効となる。下図に詳細を示す。

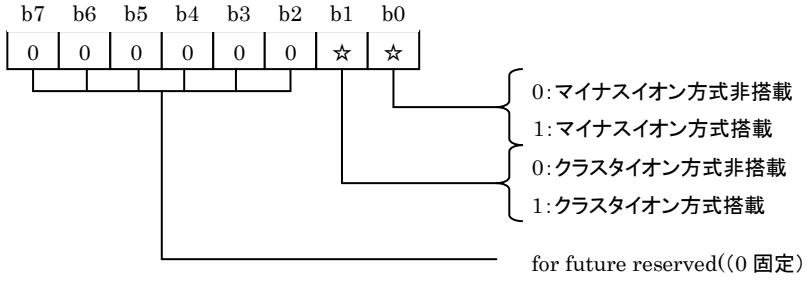


動作状態プロパティ（0x80）が OFF(０ｘ３１)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

(31) 搭載リフレッシュ方法

どのような実現方法のリフレッシュ機能が搭載されているかの一覧をビットマップで示す。実現方法として、マイナスイオン方式とクラスタイオン方式の 2 方式を規定する。以下に詳細を示す。ビットが 0 の場合は当該実現方法が搭載されていないことを、1 の場合は搭載されていることを示す。



動作状態プロパティ（0x80）が OFF(０ｘ３１)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

(32) リフレッシュ機能モード設定

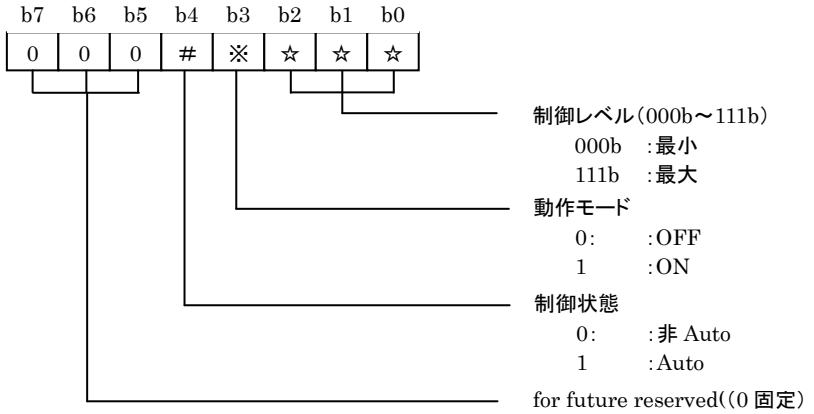
リフレッシュ機能の動作モード（ON／OFF）と制御状態の AUTO／非 AUTO 状態、および制御状態が非 AUTO である場合の制御レベルを、リフレッシュ機能の実現方法ごとに設定し、設定状態を取得する。本プロパティは 8 要素からなる配列で、要素番号とリフレッシュ機能の実現方法が 1 対 1 に対応する。要素番号と実現方法の対応は以下のとおりである。

第 0 要素：マイナスイオン方式

第 1 要素：クラスタイオン方式

第 2 要素～第 7 要素：for future reserved

各要素のサイズは 1 バイトである。b0～b2 で対応する方式の制御レベルを 000b～111b の 8 段階で示す。各制御レベルの具体値は規定しないが、000b が制御レベル最小、111b が制御レベルを示すものとする。b3 は対応する方式の ON／OFF を示す。b3=0 が動作モード OFF、b3=1 が動作モード ON を示す。b4 は対応する方式の制御状態が自動（Auto）であるか否（非 Auto）かを示す。b4=0 が非 Auto、b4=1 が Auto であることを示す。b4=1（Auto）の場合、b0～b2 による制御レベルの設定は無効となる。下図に詳細を示す。

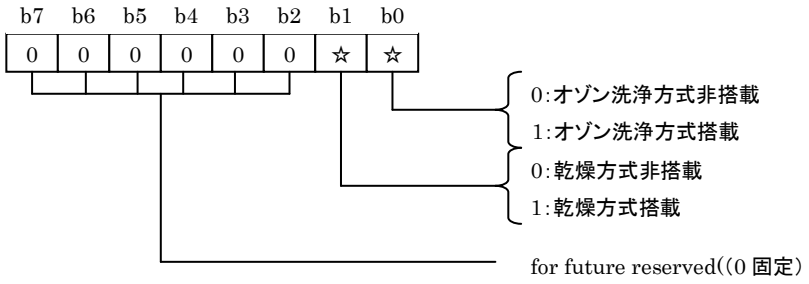


動作状態プロパティ（0x80）が OFF(０ｘ３１)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

(33) 搭載自己洗浄方法

どのような実現方法の自己洗浄機能が搭載されているかの一覧をビットマップで示す。実現方法として、オゾン洗浄方式と乾燥方式の 2 方式を規定する。以下に詳細を示す。ビットが 0 の場合は当該実現方法が搭載されていないことを、1 の場合は搭載されていることを示す。



動作状態プロパティ（0x80）が OFF(０ｘ３１)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

(34) 自己洗浄機能モード設定

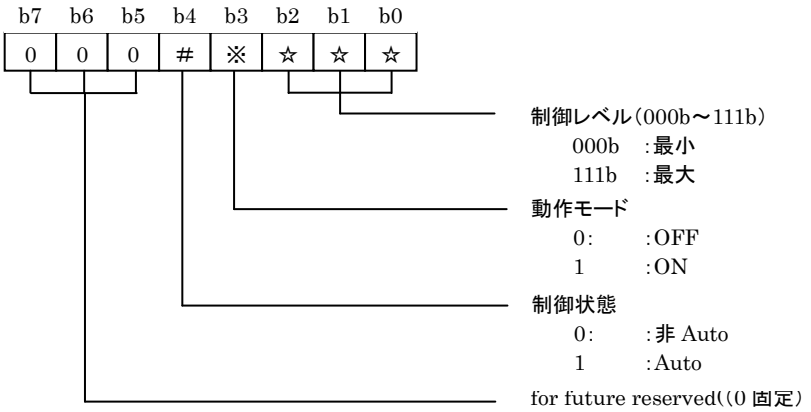
自己洗浄機能の動作モード（ON／OFF）と制御状態の AUTO／非 AUTO 状態、および制御状態が非 AUTO である場合の制御レベルを、自己洗浄機能の実現方法ごとに設定し、設定状態を取得する。本プロパティは 8 要素からなる配列で、要素番号と自己洗浄機能の実現方法が 1 対 1 に対応する。要素番号と実現方法の対応は以下のとおりである。

第 0 要素：オゾン洗浄方式

第 1 要素：乾燥方式

第 2 要素～第 7 要素：for future reserved

各要素のサイズは 1 バイトである。b0～b2 で対応する方式の制御レベルを 000b～111b の 8 段階で示す。各制御レベルの具体値は規定しないが、000b が制御レベル最小、111b が制御レベル最大を示すものとする。b3 は対応する方式の ON／OFF を示す。b3=0 が動作モード OFF、b3=1 が動作モード ON を示す。b4 は対応する方式の制御状態が自動（Auto）であるか否（非 Auto）かを示す。b4=0 が非 Auto、b4=1 が Auto であることを示す。b4=1（Auto）の場合、b0～b2 による制御レベルの設定は無効となる。下図に詳細を示す。



動作状態プロパティ（0x80）が OFF(０ｘ３１)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

(35) 特別運転モード設定

「運転モード設定」プロパティ(0xB0)で設定されるモードのより詳細なモードを設定し、設定状態を取得する。プロパティ値は、衣類乾燥を 0x41、結露抑制を 0x42、ダニカビ抑制を 0x43、強制除霜を 0x44 で示す。また、設定なしの場合は 0x40 とする。0x45 以降は for future reserved とする。

「特別運転モード設定」の設定が「運転モード設定」(0xB0)プロパティに影響する場合、その結果を「運転モード設定」(0xB0)プロパティに反映されなければならない。例えば、衣類乾燥機能が暖房モードで動作する場合、「特別運転モード設定」プロパティの設定により「運転モード設定」プロパティ(0xB0)の状態は「暖房」になるが、双方のプロパティの関係については実装依存とし特に規定はしない。

プロパティ値のとる値については、本クラスを実装する実機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。

動作状態プロパティ（0x80）が OFF(０ｘ３１)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(36) 内部動作状態

エアコンの内部動作をビットマップで表現する。

ﾋﾞｯﾄ0：コンプレッサ動作状態　　0　停止中　　1　動作中

ﾋﾞｯﾄ1：サーモＯＮ／OFF 状態　　0　サーモＯＦＦ状態　　1　サーモＯＮ状態

（ビット２～７　for future reserved）

ここでいう“サーモＯＦＦ状態”とは、“室温が設定温度(目標温度)に達しており熱交換が停止(エアコンとしては運転状態)している状態”という意味であり、“サーモON状態”は、“室温が設定温度からあるレベル以上はなれており、熱交換を行っている状態”と言う意味である。

動作状態プロパティ（0x80）が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(37) 強制サーモモード設定

家庭エアコンにおいて、サーモ設定を無視して運転するか否かを設定する。

通常設定＝0x40、強制サーモＯＮ=0x41、強制サーモＯＦＦ=0x42

通常設定とは、室内外温度の変化に応じて運転／停止(エアコンとしては運転状態)する設定を指し、”強制サーモＯＮ”は、設定温度を無視して熱交換をしつづける運転設定であり、”強制サーモＯＦＦ”は、設定温度に関わらず熱交換を停止する運転設定を指している。

動作状態プロパティ（0x80）が OFF(０ｘ３１)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

(38) 空気清浄モード設定

家庭用エアコンに搭載されている空気清浄機能のモードの ON（0x41）/OFF（0x42）を設定し、設定状態を取得する。

動作状態プロパティ（0x80）が OFF(０ｘ３１)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(39) ON タイマ予約設定

ON タイマの予約の入、切を設定し、設定状態を取得する。本プロパティは、「ON タイマ時刻設定値」もしくは、「ON タイマ相対時間設定値」と関連する。

時刻予約、相対時間予約共に入＝0x41、予約切＝0x42、時刻予約のみ入り＝0x43、
相対時間予約のみ入り＝0x44

動作状態プロパティ（0x80）が OFF(０ｘ３１)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(40) ON タイマ時刻設定値

「ON タイマ予約設定」が入の場合に、エアコンが ON になる時刻を時：0x00～0x17(0～23)、分：0x00～0x3B(0～59)で設定し、設定状態を取得する。時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。

動作状態プロパティ（0x80）が OFF(０ｘ３１)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(41) ON タイマ相対時間設定値

「ON タイマ予約設定」が入の場合に、エアコンが ON になる時間を現在時刻からの相対時間で設定し、更新された時間を取得する。データ形式は、時：0x00～0xFF(0～255)、分：0x00～0x3B(0～59)とし、時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。

動作状態プロパティ（0x80）が OFF(０ｘ３１)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(42) OFF タイマ予約設定

OFF タイマの予約の入、切を設定し、設定状態を取得する。本プロパティは、「OFF タイマ時刻設定値」もしくは、「OFF タイマ相対時間設定値」と関連する。

時刻予約、相対時間予約共に入＝0x41、予約切＝0x42、時刻予約のみ入り＝0x43、
相対時間予約のみ入り＝0x44

動作状態プロパティ（0x80）が OFF(０ｘ３１)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

(43) OFF タイマ時刻設定値

「OFF タイマ予約設定」が入の場合に、エアコンが OFF になる時刻を時：0x00～0x17(0～23)、分：0x00～0x3B(0～59)で設定し、設定状態を取得する。時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。

動作状態プロパティ（0x80）が OFF(０ｘ３１)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(44) OFF タイマ相対時間設定値

「OFF タイマ予約設定」が入の場合に、エアコンが OFF になる時間を現在時刻からの相対時間で設定し、更新された時間を取得する。データ形式は、時：0x00～0xFF(0～255)、分：0x00～0x3B(0～59)とし、時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。

動作状態プロパティ（0x80）が OFF(０ｘ３１)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．２．２ 換気扇クラス規定

クラスグループコード　：　0x01
クラスコード　　：0x33
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	○ ○	○	
換気自動設定	0xBF	AUTO／非 AUTO AUTO＝0x41,非 AUTO＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
換気風量設定	0xA0	換気風量レベルおよび換気風量自動状態を設定。換気風量レベルを 8 段階で指定。 換気風量自動状態＝0x41 換気風量レベル＝0x31～0x38	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)　動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）
換気扇の運転／停止を示す。運転／停止にそれぞれ、0x30/0x31 のプロパティ値が対応するものとする。

(2)　換気自動設定
換気の自動運転の AUTO／非 AUTO を設定する。
AUTO＝0x41,非 AUTO＝0x42

(3)　換気風量設定
換気風量レベルおよび、換気風量自動状態の設定を示す。換気風量自動状態のプロパティの値は、0x41 とする。風量レベルを 8 段階で設定し、0x31～0x38 のプロパティ値を取るものとする。各風量レベルの具体的な値は、規定しないが、0x31 を風量最小、0x38 を風量最大とする。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

３．２．３ 空調換気扇クラス規定

クラスグループコード　：　0x01
クラスコード　　：0x34
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	○ ○	○	
室内相対湿度設定値	0xB4	換気自動運転時の相対湿度設定値 0x00～0x64, (0～100%)	unsigned char	1 Byte	%	Set/ Get			
換気自動設定	0xBF	AUTO／非 AUTO AUTO＝0x41,非 AUTO＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
室内相対湿度計測値	0xBA	室内相対湿度計測値 0x00～0x64 (0～100%)	unsigned char	1 Byte	%	Get			
換気風量設定	0xA0	換気風量レベルおよび換気風量自動状態を設定。換気風量レベルを 8 段階で指定。 換気風量自動状態＝0x41 換気風量レベル＝0x31～0x38	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
熱交換機動作設定	0xE0	熱交換機のＯＮ／ＯＦＦ状態を示す。 熱交換機 ON＝0x41，OFF＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
CO2 濃度計測値	0xC0	CO2 濃度計測値を ppm で示す。 0x0000 ～ 0xFFFD(0 ～ 65533ppm)	unsigned short	2 Byte	ppm	Get			
煙(タバコ)検知状態	0xC1	煙(タバコ)検知状況を示す。 煙(タバコ)検知有＝0x41 煙(タバコ)検知無＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get			
汚れ検知状態	0xC2	汚れ検知状況を示す。 汚れ検知有＝0x41 汚れ検知無＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get			

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)　動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）
空調換気扇の運転／停止を示す。運転／停止にそれぞれ、0x30/0x31 のプロパティ値が対応するものとする。

(2)　室内相対湿度設定値
換気自動運転時の室内相対湿度設定値を%の単位で設定する。「換気自動状態」が AUTO の場合に、本プロパティで設定する室内相対湿度設定値を室内相対湿度計測値が上回った場合

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

に、「動作状態」が ON に状態遷移する。プロパティ値の値域は、0x00～0x64(0～100%) とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFF、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0xFE を用いるものとする。

(3) 換気自動設定

換気の自動運転の AUTO／非 AUTO を設定する。
AUTO＝0x41,非 AUTO＝0x42

(4) 室内相対湿度計測値

室内相対湿度計測値を%の単位で設定する。プロパティ値の値域は、0x00～0x64(0～100%) とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFF、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0xFE を用いるものとする。

(5) 換気風量設定

換気風量レベルおよび、換気風量自動状態の設定を示す。換気風量自動状態のプロパティの値は、0x41 とする。風量レベルを 8 段階で設定し、0x31～0x38 のプロパティ値を取るものとする。各風量レベルの具体的な値は、規定しないが、0x31 を風量最小、0x38 を風量最大とする。

(6) 熱交換機動作設定

熱交換機機能の動作状態の ON/OFF を設定する。
熱交換機機能 ON＝0x41,OFF＝0x42

(7) CO2 濃度計測値

CO2 濃度計測値を ppm の単位で示す。プロパティ値の値域は、0x0000～0xFFFD(0～65533ppm)とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFFFF、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0xFFFE を用いるものとする。

(8) 煙(タバコ)検知状態

煙(タバコ)検知状態の有／無を示す。煙(タバコ)検知有＝0x41、煙(タバコ)検知無＝0x42 とする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．２．４ 空気清浄器クラス規定

クラスグループコード　：　0x01
クラスコード　　：0x35
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	○ ○	○	
フィルター交換通知状態	0xE1	フィルター交換時期通知有／無 有＝0x41，無＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get			
風量設定	0xA0	風量レベルおよび風量自動状態を設定。換気風量レベルは 8 段階で指定。 換気風量自動状態＝0x41 換気風量レベル＝0x31～0x38	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
煙(タバコ)検知状態	0xC1	煙(タバコ)検知状況を示す。 煙(タバコ)検知有＝0x41 煙(タバコ)検知無＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get			
光触媒動作設定	0xC2	光触媒 ON/OFF 設定 光触媒 ON＝0x41 光触媒 OFF＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
空気汚れ検知状態	0xC0	空気汚れ検知状況を示す。 空気汚れ検知有＝0x41 空気汚れ検知無＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get			

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)　動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）
空気清浄器の運転／停止を示す。運転／停止にそれぞれ、0x30/0x31 のプロパティ値が対応するものとする。

(2)　フィルタ交換通知状態
空気清浄器のフィルタ交換時期通知の有／無を示す。本プロパティは、フィルターが、交換時期に到達したことを公開するものである。
フィルター交換時期通知有状態から、フィルター交換時期通知無状態への遷移は、空気清浄器本体のリセットスイッチ等により復帰するものとする。有＝0x41，無＝0x42

(3)　風量設定
風量レベルおよび、風量自動状態の設定を示す。風量自動状態のプロパティの値は、0x41 とする。風量レベルを 8 段階で設定し、0x31～0x38 のプロパティ値を取るものとする。各風量

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

レベルの具体的な値は、規定しないが、0x31 を風量最小、0x38 を風量最大とする。

(4) 煙(タバコ)検知状態

煙(タバコ)検知状態の有／無を示す。煙(タバコ)検知有＝0x41、煙(タバコ)検知無＝0x42 とする。

(5) 光触媒動作設定

光触媒機能の動作状態 ON/OFF を設定する。光触媒 ON＝0x41、光触媒 OFF＝0x42 とする。

(6) 空気汚れ検知状態

空気汚れ検知状態の有／無を示す。空気汚れ検知有＝0x41、汚れ検知無＝0x42 とする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．２．５ 加湿器クラス規定

クラスグループコード　：　0x01
クラスコード　　：0x39
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	○ ○	○	
加湿設定１	0xC0	相対湿度設定値を設定し、設定状態を取得する。 0x00~0x64（0~100%）， 自動設定＝0x70、 連続運転＝0x71、間欠運転＝0x72	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get	○ *1		
加湿設定２	0xC1	加湿レベルを３段階で設定する。 加湿レベル＝0x31~0x33, 自動設定＝0x70、 連続運転＝0x71、間欠運転＝0x72	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get	○ *1		
相対湿度計測値	0xB4	相対湿度計測値を示す。 0x00~0x64（0~100%）	unsigned char	1 Byte	－	Get			
OFF タイマ予約設定	0x94	予約の入／切を設定し、設定状態を取得する。 予約入＝0x41,予約切＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
OFF タイマ相対時間設定値	0x96	タイマ値ＨＨ：MMを設定し、更新された時間を取得する。 0~0x17：0~0x3B (=0~23)：(=0~59)	unsigned char ×２	2 Byte	－	Set/ Get			
イオン放出設定	0xC2	イオン放出の入／切を設定し、設定状態を取得する。 放出入＝0x41,放出切＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
搭載イオン放出方法	0xC3	加湿器に搭載されているイオン放出の方法をビットマップで示す。 ビット０：マイナスイオン方式 ビット１：クラスタイオン方式	unsigned char	1 Byte	－	Get			
特別運転モード設定	0xC4	特別運転モードを設定し、設定状態を取得する。 ビットマップで示す。 設定有効の場合を１とする ・ﾋﾞｯﾄ0：のど乾燥抑制 ・ﾋﾞｯﾄ1：静音運転 ・ﾋﾞｯﾄ2~7：for future reserved	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
水量レベル	0xC5	タンク内の水量レベルを６段階で示す 0x40 空状態 0x41～0x45 最低～最高レベル	unsigned char	1 Byte	－	Get			

注1)　＊１　「加湿設定１」または「加湿設定２」の何れかを必須とする

注2)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

(1)　動作状態（スーパークラスのプロパティを継承）

加湿器の運転／停止を設定し、動作状態を取得する。運転／停止にそれぞれ、0x30/0x31 のプロパティ値が対応するものとする。このプロパティがＯＦＦ（0x31）のときであっても、その他のプロパティで設定､及び取得した値は保証されるものとする｡また加湿器ではアクセスルール｢Ｓｅｔ」の実装も必須とする。

(2)　加湿設定１

相対湿度、および連続運転状態を設定し、設定状態を取得する。相対湿度を設定する場合は、単位を％で設定し、加湿器は本プロパティ値を目標値として動作する。

また､加湿器本体の自動湿度設定値算出アルゴリズム等により目標値が自動設定される場合のプロパティ値は 0x70、連続運転状態のプロパティ値は 0x71、所定の間隔にて間欠運転される状態のプロパティ値は 0x72 とする。間欠運転時の運転間隔の詳細については規定しない。

「加湿設定１」あるいは「加湿設定２」の何れかのプロパティの実装を必須とする。

(3)　加湿設定２

加湿レベル､および連続運転状態を設定し､設定状態を取得する｡加湿レベルを３段階で設定し、0x31～0x33 のプロパティ値を取るものとする。各加湿レベルの具体的な数値は規定しないが、0x31 を加湿量最小、0x33 を加湿量最大とする。

また､加湿器本体の自動湿度設定値算出アルゴリズム等により目標値が自動設定される場合のプロパティ値は 0x70、連続運転状態のプロパティ値は 0x71、所定の間隔にて間欠運転される状態のプロパティ値は 0x72 とする。間欠運転時の運転間隔の詳細については規定しない。

「加湿設定１」あるいは「加湿設定２」の何れかのプロパティの実装を必須とする。

(4)　相対湿度計測値

相対湿度計測値を％の単位で示す。プロパティの値域は、0x00～0x64（１００％）とし、実機器のプロパティ値が、プロパティ値の値域を**超える**場合は、オーバーフローコード 0xFF、プロパティ値の値域未満の場合は、アンダーフローコード 0xFE を用いるものとする。また計測値を返せない場合は、0xFD を用いるものとする。

(5)　ＯＦＦタイマ予約設定

ＯＦＦタイマ予約の入、切を設定し、設定状態を取得する。本プロパティは、「ＯＦＦタイマ相対時間設定値」と関連する。予約入＝0x41、予約切＝0x42

(6)　ＯＦＦタイマ相対時間設定値

「OFF タイマ予約設定」が入の場合に、加湿器がＯＦＦになる時間を現在時刻からの相対時間で設定し、更新された時間を取得する。データ形式は、時：0x00～0x17（０～２３）、分：0x00～

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

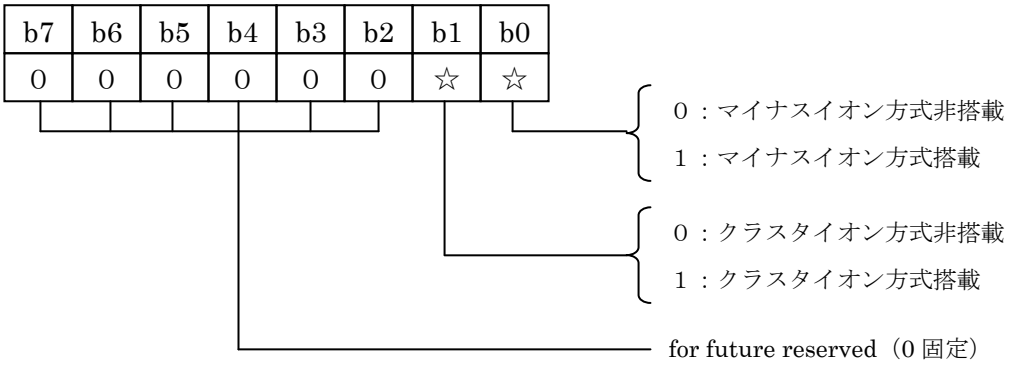
0x3B（０～５９）とし、時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。

(7)　イオン放出設定

加湿器に搭載されているイオン放出機能の入／切を設定し、設定状態を取得する。
イオン放出入＝0x41、イオン放出切＝0x42

(8)　搭載イオン放出方法

どのような実現方法のイオン放出機能が搭載されているかの一覧をビットマップで示す。実現方法としてはマイナスイオン方式とクラスタイオン方式を規定する。以下に詳細を示す。ビットが０の場合は当該実現方法が搭載されていないことを、１の場合は搭載していることを示す。



(9)　水量レベル

タンク内に残っている水の残量を６段階で示す。各レベルの具体的な状態は規定しないが、0x40 を空状態、0x41 を最も少ない状態、0x45 が最も多い状態とする。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

３．２．６ 電気暖房機クラス規定

クラスグループコード　：　0x01
クラスコード　　：0x42
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
温度自動設定	0xB1	AUTO／非 AUTO AUTO＝0x41,非 AUTO＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
温度設定値	0xB3	温度設定値 0x00～0x32（0～50）	unsigned char	1 Byte	℃	Set/ Get	○		
室内温度計測値	0xBB	室内温度計測値 0x81～0x7E (－128～127)	signed char	1 Byte	℃	Get			
ユーザリモコン温度設定値	0xBC	ユーザリモコン設定温度値 0x00～0x32（0～50）	unsigned char	1 Byte	℃	Get			
風量設定	0xA0	風量レベルおよび風量自動状態を設定。風量レベルは 8 段階で指定。 風量自動状態＝0x41 風量レベル＝0x31～0x38	unsigned char	1 Byte	－	Set /Get			
ON タイマ予約設定	0x90	予約入／予約切 予約入＝0x41,予約切＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set /Get			
ON タイマ時刻設定値	0x91	タイマ値 HH:MM 0～0x17: 0～0x3B (=0～23):(=0～59)	unsigned char ×2	2 Byte	－	Set /Get			
ON タイマ相対時間設定値	0x92	タイマ値 HH:MM 0～0x17: 0～0x3B (=0～23):(=0～59)	unsigned char ×2	2 Byte	－	Set /Get			
OFF タイマ予約設定	0x94	予約入／予約切 予約入＝0x41,予約切＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set /Get			
OFF タイマ時刻設定値	0x95	タイマ値 HH:MM 0～0x17: 0～0x3B (=0～23):(=0～59)	unsigned char ×2	2 Byte	－	Set /Get			
OFF タイマ相対時間設定値	0x96	タイマ値 HH:MM 0～0x17: 0～0x3B (=0～23):(=0～59)	unsigned char ×2	2 Byte	－	Set /Get			

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)　動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）
電気暖房機の運転／停止を示す。運転／停止にそれぞれ、0x30/0x31 のプロパティ値が対応するものとする。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

(2) 温度自動設定

「温度設定値」(EPC＝0xB3)を目標値とせず、電気暖房機本体の自動温度設置値算出アルゴリズム等により、動作している状態の ON/OFF 設定を示す。

自動状態 ON の場合 0x41 とし、自動状態 OFF の場合は 0x42 とする。

(3) 温度設定値

現在の「運転モード」における温度設定値を℃の単位で示す。電気暖房気に「温度自動設定」の機能が実装されていない場合、または実装されているが「温度自動設定」非 AUTO(0x42)に設定されている場合には、電気暖房機は本プロパティに設定されている値を目標温度値として動作する。また、「温度自動設定」が AUTO 状態であるために、本プロパティで表す温度設定目標値が不明となってしまう場合に本プロパティがとる値は 0 x FD（温度設定値不明）とする。

(4) 室内温度計測値

室内温度計測値を℃の単位で示す。プロパティの値域は、0x81～0x7E(－127～126℃)とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0x7F、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0x80 を用いるものとする。

(5) ユーザリモコン温度設定値

ユーザのリモコンによって、設定された最新の温度設定値を℃の単位で示す。本プロパティは、コントローラ等から電気暖房機の設定温度を変更した場合に、ユーザのリモコン等による設定温度を参照する場合に用いる。

(6) 風量設定

風量レベルおよび、風量自動状態の設定を示す。風量自動状態のプロパティの値は、0x41 とする。風量レベルを 8 段階で設定し、0x31～0x38 のプロパティ値を取るものとする。各風量レベルの具体的な値は、規定しないが、0x31 を風量最小、0x38 を風量最大とする。

(7) ON タイマ予約設定

ON タイマの予約の入、切を設定する。本プロパティは、「ON タイマ時刻設定」もしくは、「ON タイマ相対時間設定値」と関連する。

予約入＝0x41,予約切＝0x42

(8) ON タイマ時刻設定値

「ON タイマ予約設定」が入の場合に、電気暖房機が ON になる時刻を時：0x00～0x17(0

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

～23)、分 : 0x00～0x3B(0～59)で示す。時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。

(9) ON タイマ相対時間設定値

「ON タイマ予約設定」が入の場合に、電気暖房機が ON になる時間を現在時刻からの相対時間で示す。データ形式は、時 : 0x00～0x17(0～23)、分 : 0x00～0x3B(0～59)とし、時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。

(10) OFF タイマ予約設定

OFF タイマの予約の入、切を設定する。本プロパティは、「OFF タイマ時刻設定値」もしくは、「OFF タイマ相対時間設定値」と関連する。

予約入＝0x41,予約切＝0x42

(11) OFF タイマ時刻設定値

「OFF タイマ予約設定」が入の場合に、電気暖房機が OFF になる時刻を時 : 0x00～0x17(0～23)、分 : 0x00～0x3B(0～59)で示す。時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。

(12) OFF タイマ相対時間設定値

「OFF タイマ予約設定」が入の場合に、電気暖房機が OFF になる時間を現在時刻からの相対時間で示す。データ形式は、時 : 0x00～0x17(0～23)、分 : 0x00～0x3B(0～59)とし、時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．２．７ ファンヒータクラス規定

クラスグループコード　：　0x01
クラスコード　　：0x43
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時アナウンス	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	○ ○	○	
温度設定値	0xB3	温度設定値を設定し、設定状態を取得する。 0x00~0x32（0~50）	unsigned char	1 Byte	℃	Set/ Get	○		
温度計測値	0xBB	室内温度測定値 0x81～0x7D（－128～125）	signed char	1 Byte	℃	Get			
温度自動設定	0xB1	AUTO／非 AUTO を設定し、設定状態を取得する。 AUTO＝0x41、非 AUTO＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
ONタイマ予約設定	0x90	予約の入／切を設定し、設定状態を取得する。 時刻予約、相対時間予約共に入＝0x41,予約切＝0x42 時刻予約のみ入＝0x43 相対時間予約のみ入＝0x44	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
ＯＮタイマ時刻設定値	0x91	タイマ値ＨＨ：MMを設定し、設定状態を取得する。 0~0x17：0~0x3B (=0~23)：(=0~59)	unsigned char ×２	2 Byte	－	Set/ Get			
ONタイマ相対時間設定値	0x92	タイマ値ＨＨ：MMを設定し、更新された時間を取得する。 0~0x17：0~0x3B (=0~23)：(=0~59)	unsigned char ×２	2 Byte	－	Set/ Get			
ＯＦＦタイマ予約設定	0x94	予約の入／切を設定し、設定状態を取得する。 時刻予約、相対時間予約共に入＝0x41,予約切＝0x42 時刻予約のみ入＝0x43 相対時間予約のみ入＝0x44	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
ＯＦＦタイマ時刻設定値	0x95	タイマ値ＨＨ：MMを設定し、設定状態を取得する。 0~0x17：0~0x3B (=0~23)：(=0~59)	unsigned char ×２	2 Byte	－	Set/ Get			
ＯＦＦタイマ相対時間設定値	0x96	タイマ値ＨＨ：MMを設定し、更新された時間を取得する。 0~0x17：0~0x3B (=0~23)：(=0~59)	unsigned char ×２	2 Byte	－	Set/ Get			
延長運転設定	0xC0	延長運転の入／切を設定し、設定状態を取得する。 延長入＝0x41,延長切＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
延長タイマ時間設定値	0xC1	延長時間ＨＨ：MMを設定し、更新された時間を取得する。	unsigned char	2 Byte	－	Set/ Get			

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

		0~0x17：0~0x3B (=0~23)：(=0~59)	×２						
イオン放出設定	0xC2	イオン放出の入／切を設定し、設定状態を取得する。 放出入＝0x41,放出切＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
搭載イオン放出方法	0xC3	加湿器に搭載されているイオン放出の方法をビットマップで示す。 ビット０：マイナスイオン方式 ビット１：クラスタイオン方式	unsigned char	1 Byte	－	Get			
油量レベル	0xC4	タンク内の油量レベルを６段階で示す 0x40 空状態 0x41～0x45 最低～最高レベル	unsigned char	1 Byte	－	Get			

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)　動作状態（スーパークラスのプロパティを継承）

ファンヒータの運転／停止を設定し、動作状態を取得する。運転／停止にそれぞれ、0x30/0x31 のプロパティ値が対応するものとする。このプロパティがＯＦＦ（0x31）のときであっても、その他のプロパティで設定、及び取得した値は保証されるものとする。またファンヒータではアクセスルール「Ｓｅｔ」の実装も必須とする。

(2)　温度設定値

温度設定値を℃の単位で設定し、設定状態を取得する。ファンヒータは本プロパティ値を目標値として動作する。

(3)　温度測定値

室内温度計測値を℃の単位で示す。プロパティ値の値域は、0x81～0x7D とし、実機器のプロパティ値がプロパティ値の値域を超える場合は、オーバーフローコード 0x7F、プロパティ値の値域未満の場合は、アンダーフローコード 0x80 を用いるものとする。

また計測値を返せない場合は、0x7E を用いるものとする。

(4)　温度自動設定

「温度設定値」（ＥＰＣ＝0xB３）を目標値とせず、ファンヒータ本体の自動温度設定値算出アルゴリズム等により動作している状態の ON／OFF 設定し、設定状態を取得する。

自動状態ＯＮの場合は 0x41 とし、自動状態ＯＦＦの場合は 0x42 のプロパティ値を取るものとする。

(5)　ＯＮタイマ予約設定

「ON タイマ予約設定」が入の場合に、ファンヒータがＯＮになる時刻を時：0x00～0x17（０～２３）、分：0x00～0x3B（０～５９）で設定し、設定状態を取得する。時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

(6)　ＯＮタイマ時刻設定値

「0Ｎタイマ予約設定」が入の場合に、ファンヒータがＯＮになる時刻を時：0x00～0x17（０～２３）、分：0x00～0x3B（０～５９）で設定し、設定状態を取得する。時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。

(7)　ONタイマ相対時間設定値

「ONタイマ予約設定」が入の場合に、ファンヒータがONになる時間を現在時刻からの相対時間で設定し、更新された時間を取得する。データ形式は、時:0x00～0x17(0～23)、分:0x00～0x3B(0～59)とし、時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。

(8)　OFFタイマ予約設定

OFFタイマ予約の入、切を設定し、設定状態を取得する。本プロパティは、「OFFタイマ時刻設定値」、もしくは「OFFタイマ相対時間設定値」と関連する。

時刻予約、相対時間予約共に入＝0x41、予約切＝0x42、時刻予約のみ入＝0x43、相対時間予約のみ入＝0x44

(9)　OFFタイマ時刻設定値

「OFFタイマ予約設定」が入の場合に、ファンヒータがOFFになる時刻を時:0x00～0x17(0～23)、分:0x00～0x3B(0～59)で設定し、設定状態を取得する。時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。

(10)　OFFタイマ相対時間設定値

「OFFタイマ予約設定」が入の場合に、ファンヒータがOFFになる時間を現在時刻からの相対時間で設定し、更新された時間を取得する。データ形式は、時:0x00～0x17(0～23)、分:0x00～0x3B(0～59)とし、時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。

(11)　延長運転設定

動作状態プロパティ(0x80)がON(0x30)の場合に、延長運転の入、切を設定し、設定状態を取得する。本プロパティは、「延長タイマ時間設定値」と関連する。延長運転入＝0x41、延長運転切＝0x42

(12)　延長タイマ時間設定値

「延長運転設定」が入の場合に、ファンヒータが運転される継続時間を現在時刻からの相対時間で設定し、更新された時間を取得する。データ形式は、時:0x00～0x17(0～23)、分:0x00～0x3B(0～59)とし、時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。

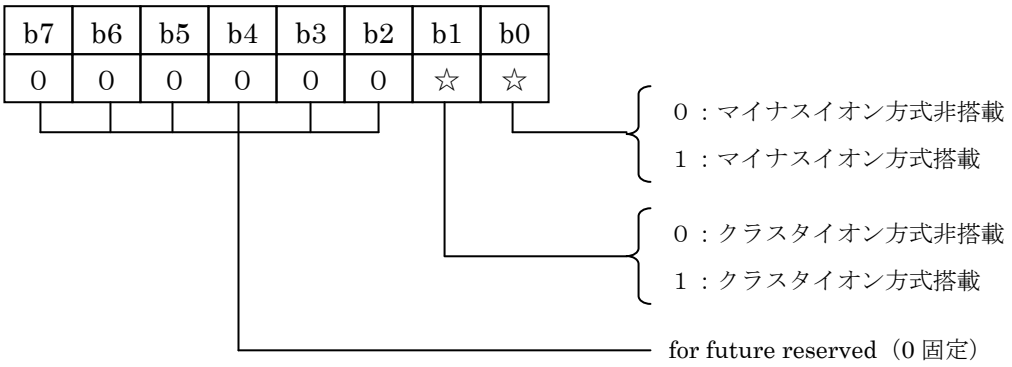
© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

(13) イオン放出設定

ファンヒータに搭載されているイオン放出機能の入／切を設定し、設定状態を取得する。
イオン放出入＝0x41、イオン放出切＝0x42

(14) 搭載イオン放出方法

どのような実現方法のイオン放出機能が搭載されているかの一覧をビットマップで示す。実現方法としてはマイナスイオン方式とクラスタイオン方式を規定する。以下に詳細を示す。ビットが０の場合は当該実現方法が搭載されていないことを、１の場合は搭載していることを示す。



(15) 油量レベル

タンク内に残っている灯油残量を６段階で示す。各レベルの具体的な状態は規定しないが、0x40 を空状態、0x41 を最も少ない状態、0x45 が最も多い状態とする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．２．８ 業務用パッケージエアコン室内機クラス規定

クラスグループコード　：　0x01
クラスコード　　：0x45
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時アナウンス	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	○ ○	○	
運転モード設定	0xB0	自動／冷房／暖房／除湿／送風の運転モードを設定し、設定状態を取得する。 順番に以下のｺｰﾄﾞが対応 0x41/0x42/0x43/0x44/0x45	unsigned char	1 Byte		Set/ Get	○	○	
温度設定値１	0xB3	温度設定値を設定し、設定状態を取得する。 0x00～0x32(0～50℃)	signed char	1 Byte	1℃	Set/ Get	○ *1	○ *1	
除湿モード時相対湿度設定値１	0xB4	除湿ﾓｰﾄﾞ時相対湿度設定値を設定し、設定状態を取得する。 0x00～0x64(0～100%)	unsigned char	1 Byte	1%	Set/ Get		○	
冷房モード時温度設定値１	0xB5	冷房ﾓｰﾄﾞ時温度設定値を設定し、設定状態を取得する。 0x00～0x32(0～50℃)	signed char	1 Byte	1℃	Set/ Get			
暖房モード時温度設定値１	0xB6	暖房ﾓｰﾄﾞ時温度設定値を設定し、設定状態を取得する。 0x00～0x32(0～50℃)	signed char	1 Byte	1℃	Set/ Get			
除湿モード時温度設定値１	0xB7	除湿ﾓｰﾄﾞ時温度設定値を設定し、設定状態を取得する。 0x00～0x32(0～50℃)	signed char	1 Byte	1℃	Set/ Get			
室内定格消費電力値	0xB8	冷房／暖房／除湿／送風の各運転モード時の定格消費電力 0x0000～0xFFFD (0～65533W) 冷房：暖房：除湿：送風	unsigned short ×4	8 Byte	W	Get			
室内消費電流計測値	0xB9	消費電流計測値 0x0000～0xFFFD (0～6553.3A)	unsigned short	2 Byte	0.1 A	Get			
室内相対湿度計測値１	0xBA	室内相対湿度計測値を取得する。 0x00～0x64(0～100%)	unsigned char	1 Byte	1%	Get			
室内温度計測値１	0xBB	室内温度計測値を取得する。 0x81～0x7D (－127～125℃)	signed char	1 Byte	1℃	Get			
相対温度設定値	0xBF	エアコン動作中、動作モードにおける目標温度値に対する相対温度設定値を設定し、設定内容を取得する。 0x81～0x7D(-12.7℃～12.5℃)	signed char	1 Byte	0.1 ℃	Set/ Get			

＊１　「温度設定値１(0xB3)」または「温度設定値２(0xE3)」のどちらかを必須とする。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

風量設定	0xA0	風量ﾚﾍﾞﾙおよび風量自動状態を設定し、設定状態を取得する。風量ﾚﾍﾞﾙは 8 段階で指定。 風量自動状態=0x41 風量レベル=031～0x38	unsigned char	1 Byte		Set/ Get			
風向上下設定	0xA4	上下方向の風向きを自動・スイングおよび 9 段階で設定し、設定状態を取得する。 自動=0x31,スイング=0x32 風向上下設定　0x41～0x49 とし最上=0x41、最下=0x49 とする。	unsigned char	1 Byte		Set/ Get			
風向左右設定	0xA5	左右方向の風向きを 6 通りのﾊﾟﾀｰﾝで設定し、設定状態を取得する。 自動=0x31,スイング=0x32 右=0x41、左=0x42、 中央=0x43、左右=0x44、	unsigned char	1 Byte		Set/ Get			
特殊状態	0xAA	エアコンが特殊状態にあることを示す。 通常状態=0x40、 予熱状態=0x42、排熱状態=0x43	unsigned char	1 Byte	－	Get			
ｻｰﾓ状態	0xAC	ｻｰﾓｏｎ／off 状態を示す。 ｻｰﾓｏｎ=0x41、ｻｰﾓ off=0x42	unsigned char	1 Byte		Get			
自動運転時運転モード状態	0xAE	冷房／暖房／除湿／送風／その他 順番に以下のｺｰﾄﾞが対応 0x42/0x43/0x44/0x45/0x40	unsigned char	1 Byte		Get		○	
換気モード設定	0xC0	換気モードを設定し、設定状態を取得する。 普通換気=0x41、全熱交換気=0ｘ42、自動換気=0ｘ43	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
全熱交換器連動設定	0xC1	室内機と全熱交換器の連動動作を設定し、設定状態を取得する。 全熱交換器連動=0x41、全熱交換器非連動=0ｘ42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
換気風量設定	0xC2	換気風量レベルを設定し、設定状態を取得する。 換気風量自動=0x41 換気風量レベル=0x31～0x38	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
強制停止設定	0xCD	強制停止／解除を設定し、設定状態を取得する。 強制停止=0x41、解除=0x42	unsigned char	1 Byte		Set/ Get			
強制サーモモード設定	0xCE	エアコンのサーモ設定を無視して運転するか否かを設定する。 通常設定=0x40, 強制サーモ ON=0x41, 強制サーモ OFF=0x42	unsigned char	1 Byte		Set/ Get			
ﾌｨﾙﾀｰｻｲﾝ設定	0xCF	ﾌｨﾙﾀｰｻｲﾝの点灯／消灯を設定し、設定状態を取得する。 点灯=0x41、消灯=0x42	unsigned char	1 Byte		Set/ Get		○	
室内消費電力計測値	0xDB	室内機の消費電力計測値 0x0000 ～ 0xFFFD (0 ～ 65533W)	unsigned short	2 Byte	W	Get			

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

膨張弁開度レベル	0xDC	膨張弁の開度レベルを%で示す。 0～0x64(0～100)	unsigned char	1 Byte	%	Get			
温度設定値２	0xE3	温度設定値を設定し、設定状態を取得する。 0xFE0C～0x3E8(-50.0～100.0℃)	signed short	2 Byte	0.1℃	Set/ Get	○ *1	○ *1	
除湿モード時相対湿度設定値２	0xE4	除湿ﾓｰﾄﾞ時相対湿度設定値を設定し、設定状態を取得する。 0x0000～0x3E8(0.0～100.0%)	unsigned short	2 Byte	0.1%	Set/ Get		○	
冷房モード時温度設定値２	0xE5	冷房ﾓｰﾄﾞ時温度設定値を設定し、設定状態を取得する。 0xFE0C～0x3E8(-50.0～100.0℃)	signed short	2 Byte	0.1℃	Set/ Get			
暖房モード時温度設定値２	0xE6	暖房ﾓｰﾄﾞ時温度設定値を設定し、設定状態を取得する。 0xFE0C～0x3E8(-50.0～100.0℃)	signed short	2 Byte	0.1℃	Set/ Get			
除湿モード時温度設定値２	0xE7	除湿ﾓｰﾄﾞ時温度設定値を設定し、設定状態を取得する。 0xFE0C～0x3E8(-50.0～100.0℃)	signed short	2 Byte	0.1℃	Set/ Get			
室内相対湿度計測値２	0xEA	室内相対湿度計測値を取得する。 0x0000～0x3E8(0.0～100.0%)	unsigned short	2 Byte	0.1%	Get			
室内温度計測値２	0xEB	室内温度計測値を取得する。 0xF554～0x7FFD (-273.2～3276.5℃)	signed short	2 Byte	0.1℃	Get			
ON ﾀｲﾏ予約設定	0x90	予約入/予約切を設定し、設定状態を取得する。 時刻予約、相対時間予約共に入=0x41 予約切=0x42、 時刻予約のみ入=0x43 相対時間予約のみ入=0x44	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
ON ﾀｲﾏ時刻設定値	0x91	ﾀｲﾏ値 HH:MM を設定し、設定状態を取得する。 0～0x17：0～0x3B (=0～23)：(=0～59)	unsigned char ×2	2 Byte	－	Set/ Get			
ON ﾀｲﾏ相対時間設定値	0x92	ﾀｲﾏ値 HH:MM を設定し、更新された時間を取得する。 0～0xFF：0～0x3B (=0～255)：(=0～59)	unsigned char ×2	2 Byte	－	Set/ Get			
OFF ﾀｲﾏ予約設定	0x94	予約入/予約切を設定し、設定状態を取得する。 時刻予約、相対時間予約共に入=0x41 予約切=0x42、 時刻予約のみ入=0x43 相対時間予約のみ入=0x44	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

OFF ﾀｲﾏ 時刻設定値	0x95	ﾀｲﾏ値 HH:MM を設定し、設定状態を取得する。 0～0x17：0～0x3B (=0～23)：(=0～59)	unsigned char ×2	2 Byte	－	Set/ Get			
OFF ﾀｲﾏ 相対時間設定値	0x96	ﾀｲﾏ値 HH:MM を設定し、更新された時間を取得する。 0～0xFF：0～0x3B (=0～255)：(=0～59)	unsigned char ×2	2 Byte	－	Set/ Get			

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

＜通信定義クラス設定例（ECHONET Lite は、通信定義オブジェクトを定義していない為、対象外）＞
・例えば、運転モード設定（0xB0）について、リモコンなど機器側での操作を禁止もしくは制限する場合は、ローカル変更制限設定通信定義クラスを利用する
・例えば、冷房モード時温度設定値１(0xB5)について、機器に変更可能範囲が存在する場合は、ネットワーク制御制限状態表示通信定義クラスを利用する

(1) 動作状態（スーパークラスのプロパティを継承）
業務用パッケージエアコン室内機の運転／停止を設定し、動作状態を取得する。
運転／停止にそれぞれ、0x30/0x31 のプロパティ値が対応するものとする。

(2) 運転モード設定
業務用パッケージエアコン室内機の自動／冷房／暖房／除湿／送風の各運転モードを設定し、設定状態を取得する。それぞれの運転モードにはそれぞれ、順に 0x41/0x42/0x43/0x44/0x45 のプロパティ値が対応するものとする。
プロパティ値のとる値については、本クラスを実装する機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。例えば、本クラスを搭載する実機器が送風機能をその機能として搭載していない場合は、送風に対する 0x45 を実装する必要はない。
動作状態プロパティ（0x80）が OFF（0x31）の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(3) 温度設定値１
室内機の現在の「運転モード設定」における温度設定値を１℃の単位で設定し、設定状態を取得する。エアコンは本プロパティがとる値を目標温度として動作する。
動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(4) 除湿モード時相対湿度設定値１
「運転モード設定」(EPC=0xB0)が、除湿モードの場合の相対湿度設定値を１%の単位で設定し、

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

設定状態を取得する。
本プロパティを実装する場合は、「運転モード設定」(EPC=0xB0)の現在設定が、除湿ﾓｰﾄﾞ以外の場合も設定／参照が可能である。動作状態プロパティ（0x80）が OFF（0x31）の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(5) 冷房モード時温度設定値１
「運転モード設定」(EPC=0xB0)が、冷房モードの場合の温度設定値を 1℃の単位で設定し、設定状態を取得する。
本プロパティを実装する場合は、「運転モード設定」(EPC=0xB0)の現在設定が、冷房ﾓｰﾄﾞ以外の場合も設定／参照が可能である。
本プロパティを実装する場合は、「温度設定値」(EPC=0xB3)のプロパティ値と一致させなければならない。動作状態プロパティ（0x80）が OFF（0x31）の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(6) 暖房モード時温度設定値１
「運転モード設定」(EPC=0xB0)が、暖房モードの場合の温度設定値を 1℃の単位で設定し、設定状態を取得する。
本プロパティを実装する場合は、「運転モード設定」(EPC=0xB0)の現在設定が、暖房ﾓｰﾄﾞ以外の場合も設定／参照が可能である。
本プロパティを実装する場合は、「温度設定値」(EPC=0xB3)のプロパティ値と一致させなければならない。動作状態プロパティ（0x80）が OFF（0x31）の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(7) 除湿モード時温度設定値１
「運転モード設定」(EPC=0xB0)が、除湿モードの場合の温度設定値を 1℃の単位で設定し、設定状態を取得する。
本プロパティを実装する場合は、「運転モード設定」(EPC=0xB0)の現在設定が、除湿ﾓｰﾄﾞ以外の場合も設定／参照が可能である。
本プロパティを実装する場合は、「温度設定値」(EPC=0xB3)のプロパティ値と一致させなければならない。動作状態プロパティ（0x80）が OFF（0x31）の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(8) 室内定格消費電力値
室内機の冷房／暖房／除湿／送風の各運転モード時の定格消費電力（カタログ値)を W の単位で示す。各モード毎の消費電力は、0x0000～0xFFFD(0～65533W)とし、冷房／暖房／除湿／送風の順に、上位 Byte からプロパティ値とする。実機器が、その機能として、いずれか

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

の運転モードをサポートしない場合は、アンダーフローコード 0xFFFE を用いるものとする。
動作状態プロパティ（0x80）が 0FF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(9) 室内消費電流計測値

室内機の現在の消費電流を 0.1A の単位で示す。対象となる電流が交流の場合は、実効値を示すものとする。プロパティ値は、0x0000～0xFFFD(0～6553.3A)とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFFFF、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0xFFFE を用いるものとする。

(10) 室内相対湿度計測値１

室内相対湿度計測値を１%の単位で示す。プロパティの値域は、0x00～0x64(0～100%)とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFF、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0xFE を用いるものとする。また、計測値を返せない場合は、０ｘFD を用いるものとする。
動作状態プロパティ（0x80）が 0FF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(11) 室内温度計測値１

室内温度計測値を１℃の単位で示す。プロパティの値域は、0x81～0x7D(－127～125℃)とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0x7F、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0x80 を用いるものとする。また、計測値を返せない場合は、0x7E を用いるものとする。
動作状態プロパティ(0x80)が 0FF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(12) 相対温度設定値

業務用パッケージエアコン室内機が運転中の動作モードにおいて目標としている温度（目標温度）に対し、「高め」「低め」を相対値で設定し、設定内容状態を取得する。また、絶対値での温度設定を目標値としない運転モード、例えば自動等においても、「高め」「低め」を相対値で設定する。本プロパティ値は、0.1℃刻みで－12.7℃～12.5℃（0x81～0x7D）の範囲を取る。実機器のプロパティ値が、プロパティ値の上限を超える場合には、オーバーフローコード 0x7F、実機器のプロパティ値が、プロパティ値の下限未満の場合は、アンダーフローコード 0x80 を用いるものとする。また、設定値を返せない場合は、0x7E を用いるものと

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

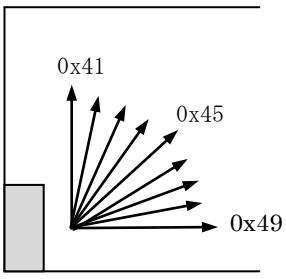
する。1.0℃低めの場合は 0xF6 を指定し、1.0℃高めの場合は 0x0A を指定する。
動作状態プロパティ（0x80）が 0FF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(13) 風量設定

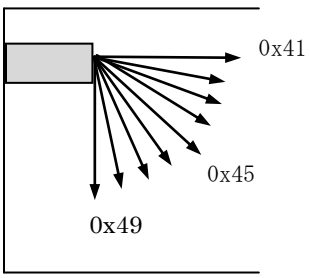
風量レベルおよび、風量自動状態の設定を設定し、設定状態を取得する。風量自動状態のプロパティの値は、0x41 とする。
風量レベルを８段階で設定し、0x31～0x38 のプロパティ値をとるものとする。
各風量レベルの具体的な値は規定しないが、0x31 を風量最小、0x38 を風量最大とする。
動作状態プロパティ（0x80）が 0FF（0x31）の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(14) 風向上下設定

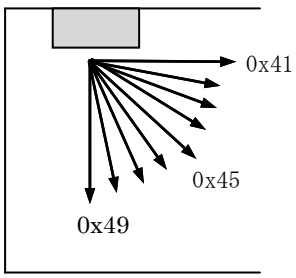
風向の上下方向および、風向上下自動状態、上下スイング状態の設定を設定し、設定状態を取得する。
自動=0x31、スイング=0x32、または、0x41～0x49 の９段階の設定とする。
0x41 は風向が最も上を表し、0x49 は風向が最も下を表す。0x42～0x48 は上下間の相対位置をしめすが、中間位置の場合は 0x45 のプロパティ値とする事を推奨する。
プロパティ値のとる値については、本クラスを実装する実機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。また、スイング動作中に対する本プロパティの有効性は機器依存とする。



床置き



壁掛け



天井取付け

(15) 風向左右設定

風向の左右方向および、風向左右自動状態、左右スイング状態を設定し、設定状態を取得する。
自動=0x31、スイング=0x32、右＝0x41、左＝0x42、中央＝0x43、左右＝0x44
プロパティ値のとる値については、本クラスを実装する実機器が、その機能として取りうるプロパティ

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

値のみを実装すればよいものとする。また、スイング動作中に対する本プロパティの有効性は機器依存とする。

(16) 特殊状態

業務用パッケージエアコンが、除霜状態、予熱状態、排熱状態にあることを示す。
除霜状態にある場合のプロパティ値を 0x41、予熱状態にある場合のプロパティ値を 0x42、排熱状態にある場合のプロパティ値を 0x43 とする。なお、いずれの状態でもない場合のプロパティ値を 0x40 とする。
予熱状態とは、暖房運転起動直後、あるいは除霜復帰直後から暖風温度が上昇し吹き出すまでの室内ファン停止状態または室内ファンが低回転状態などを言う。
排熱状態とは、運転停止(特に暖房運転)した際に、エアコンの機器内に残っている熱を排出するために、ファン(通常室内ファン)および冷凍サイクルを回している状態などを言う。
動作状態プロパティ（0x80）が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(17) サーモ状態

業務用パッケージエアコン室内機のサーモ ON／OFF 状態を示す。
サーモ ON／OFF にそれぞれ、0x41/0x42 のプロパティ値が対応するものとする。
動作状態プロパティ（0x80）が OFF（0x31）の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(18) 自動運転時運転モード状態

業務用パッケージエアコン室内機において、「運転モード設定」(EPC=0xB0)が“自動モード”の時の、実機器の運転モードを取得する。冷房／暖房／除湿／送風／その他の順に 0x42/0x43/0x44/0x45/0x40 のプロパティ値が対応するものとする。「その他」というモードは、機器自体は動作しているが、他のいずれの運転モードも機能していない運転モードである。
プロパティ値のとる値については、本クラスを実装する機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。例えば、本クラスを搭載する実機器が送風機能をその機能として搭載していない場合は、送風に対する 0x45 を実装する必要はない。
動作状態プロパティ（0x80）が OFF（0x31）の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(19) 換気モード設定

業務用パッケージエアコンに搭載されている換気機能および全熱交換器の換気モードを設定し、設定状態を取得する。
普通換気＝0x41、全熱交換気=0x42、自動換気=0x43

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

動作状態プロパティ（0x80）が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。普通換気とは、外気を熱交換せずにそのまま取り入れる換気方式を指し、全熱交換気とは、外気を熱交換しながら取り入れる換気方式を言う。自動換気とは、室内温度、外気温度の関係により、普通換気と全熱交換気を自動的に切り換える換気方式を言う。

(20) 全熱交換器連動設定

室内機と全熱交換器の連動動作を設定し、設定状態を取得する。

全熱交換器連動=0x41、全熱交換器非連動=0ｘ42 動作状態プロパティ（0x80）が OFF(０ｘ３１)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。連動（0x43）とは、室内機との連動を指し、１台のリモコンで室内機と全熱交換器を制御するシステムにおいてリモコンからの運転信号により室内機と全熱交換器が連動して両方運転する方式を指す。

(21) 換気風量設定

換気風量レベルおよび、換気風量自動状態を設定し、設定内容を取得する。換気風量自動状態のプロパティの値は、0x41 とする。換気風量レベルを 8 段階で設定し、0x31～0x38 のプロパティ値を取るものとする。各換気風量レベルの具体的な値は、規定しないが、0x31 を換気風量最小、0x38 を換気風量最大とする。

動作状態プロパティ（0x80）が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(22) 強制停止設定

業務用パッケージエアコン室内機の強制停止／解除を設定し、設定状態を取得する。

強制停止／解除にそれぞれ、0x41/0x42 のプロパティ値が対応するものとする。

エアコンは、本プロパティのとる値が強制停止(0x41)のとき、「動作状態」(EPC=0x80)は OFF：0x31 となり、手元リモコン操作、或いは「動作状態」(EPC=0x80) 等によるいかなる運転指令にも従わず停止状態を維持する。

（運転していたエアコンは停止する）

また、解除(0x42)とは、強制停止状態が解かれ、エアコンが手元リモコン、或いは「動作状態」(EPC=0x80)等による運転指令に従い運転できる状態を示す。(停止していたエアコンが運転するわけではない)

動作状態プロパティ（0x80）が OFF（0x31）の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(23) 強制サーモモード設定

業務用パッケージエアコン室内機のサーモ設定を無視して運転するか否かを設定し、設定状態を取得する。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

通常設定＝0x40、強制サーモＯＮ=0x41、強制サーモＯＦＦ=0x42
通常設定とは、室内外温度の変化に応じて運転／停止(エアコンとしては運転状態)する設定を指し、”強制サーモＯＮ”は、設定温度を無視して熱交換をしつづける運転設定であり、”強制サーモＯＦＦ”は、設定温度に関わらず熱交換を停止する運転設定を指している。
動作状態プロパティ（0x80）が OFF（0x31）の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(24) フィルターサイン設定
業務用パッケージエアコン室内機のフィルターサインの点灯／消灯を設定し、設定状態を取得する。
点灯／消灯にそれぞれ、0x41/0x42 のプロパティ値が対応するものとする。
動作状態プロパティ（0x80）が OFF（0x31）の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(25) 室内消費電力計測値
室内機の消費電力計測値を、１W の単位で示す。プロパティの値域は、0x0000～0xFFFD（0W～65533W）とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、0xFFFF、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を下回る場合は、0xFFFE を用いるものとする。

(26) 膨張弁開度レベル
室内膨張弁開度レベルを％で示す。プロパティの値域は 0x00～0x64（0%～100%）とし、膨張弁全閉時を 0%、膨張弁全開時を 100%とする。
室内膨張弁開度レベルは、各室内ユニットへの冷媒流量分配を制御する場合などに使用する。

(27) 温度設定値２
業務用パッケージエアコン室内機の現在の「運転ﾓｰﾄﾞ」における温度設定値を 0.1℃の単位で設定し、設定状態を取得する。
エアコンは本プロパティがとる値を目標温度値として動作する。動作状態プロパティ（0x80）が OFF（0x31）の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(28) 除湿モード時相対湿度設定値２
「運転モード設定」(EPC=0xB0)が、除湿モードの場合の相対湿度設定値を 0.1%の単位で設定し、設定状態を取得する。
本プロパティを実装する場合は、「運転モード設定」(EPC=0xB0)の現在設定が、除湿ﾓｰﾄﾞ以外の場合も設定／参照が可能である。動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

(29) 冷房モード時温度設定値２

「運転モード設定」(EPC=0xB0)が、冷房モードの場合の温度設定値を 0.1℃の単位で設定し、設定状態を取得する。

本プロパティを実装する場合は、「運転モード設定」(EPC=0xB0)の現在設定が、冷房ﾓｰﾄﾞ以外の場合も設定／参照が可能である。

本プロパティを実装する場合は、「温度設定値」(EPC=0xB3)のプロパティ値と一致させなければならない。動作状態プロパティ（0x80）が 0FF（0x31）の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(30) 暖房モード時温度設定値２

「運転モード設定」(EPC=0xB0)が、暖房モードの場合の温度設定値を 0.1℃の単位で設定し、設定状態を取得する。

本プロパティを実装する場合は、「運転モード設定」(EPC=0xB0)の現在設定が、暖房ﾓｰﾄﾞ以外の場合も設定／参照が可能である。

本プロパティを実装する場合は、「温度設定値」(EPC=0xB3)のプロパティ値と一致させなければならない。動作状態プロパティ（0x80）が 0FF（0x31）の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(31) 除湿モード時温度設定値２

「運転モード設定」(EPC=0xB0)が、除湿モードの場合の温度設定値を 0.1℃の単位で設定し、設定状態を取得する。

本プロパティを実装する場合は、「運転モード設定」(EPC=0xB0)の現在設定が、除湿ﾓｰﾄﾞ以外の場合も設定／参照が可能である。

本プロパティを実装する場合は、「温度設定値」(EPC=0xB3)のプロパティ値と一致させなければならない。動作状態プロパティ（0x80）が 0FF（0x31）の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(32) 室内相対湿度計測値２

室内相対湿度計測値を 0.1％の単位で示す。プロパティの値域は、0x0000～0x3E8(0.0～100.0%)とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFFFF、実機器のプロパティが、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0xFFFE を用いるものとする。

また、計測値を返せない場合は 0xFFFD を用いるものとする。動作状態プロパティ（0x80）が 0FF（0x31）の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

(33) 室内温度計測値２

室内温度計測値を 0.1℃の単位で示す。プロパティの値域は、0xF554～0x7FFD(-273.2～3276.5℃)とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0x7FFF、実機器のプロパティが、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0x8000 を用いるものとする。
また、計測値を返せない場合は 0x7FFE を用いるものとする。
動作状態プロパティ（0x80）が OFF（0x31）の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(34) ON タイマ予約設定

ON タイマの予約の入、切を設定し、設定状態を取得する。本プロパティは、「ON タイマ時刻設定値」もしくは、「ON タイマ相対時間設定値」と関連する。
時刻予約、相対時間予約共に入＝0x41、予約切＝0x42、時刻予約のみ入り＝0x43、
相対時間予約のみ入り＝0x44。
動作状態プロパティ（0x80）が OFF（0x31）の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(35) ON タイマ時刻設定値

「ON タイマ予約設定」が入の場合に、エアコンが ON になる時刻を時：0x00～0x17(0～23)、分：0x00～0x3B(0～59)で設定し、設定状態を取得する。時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。
動作状態プロパティ（0x80）が OFF（0x31）の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(36) ON タイマ相対時間設定値

「ON タイマ予約設定」が入の場合に、エアコンが ON になる時間を現在時刻からの相対時間で設定し、更新された時間を取得する。
データ形式は、時：0x00～0xFF(0～255)、分：0x00～0x3B(0～59)とし、時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。
動作状態プロパティ（0x80）が OFF（0x31）の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(37) OFF タイマ予約設定

OFF タイマの予約の入、切を設定し、設定状態を取得する。本プロパティは、「OFF タイマ時刻設定値」もしくは、「OFF タイマ相対時間設定値」と関連する。
時刻予約、相対時間予約共に入＝0x41、予約切＝0x42、時刻予約のみ入り＝0x43、
相対時間予約のみ入り＝0x44

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

動作状態プロパティ（0x80）が OFF（0x31）の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(38) OFF タイマ時刻設定値

「OFF タイマ予約設定」が入の場合に、エアコンが OFF になる時刻を時:0x00～0x17(0～23)、分：0x00～0x3B(0～59)で設定し、設定状態を取得する。時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。

動作状態プロパティ（0x80）が OFF（0x31）の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(39) OFF タイマ相対時間設定値

「OFF タイマ予約設定」が入の場合に、エアコンが OFF になる時間を現在時刻からの相対時間で設定し、更新された時間を取得する。

データ形式は、時：0x00～0xFF(0～255)、分：0x00～0x3B(0～59)とし、時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．２．９ 業務用パッケージエアコン室外機クラス規定

クラスグループコード　：　0x01
クラスコード　　：0x46
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
運転モード設定	0xB0	自動／冷房／暖房／除湿／送風の設定状態を取得する。 順番に以下のｺｰﾄﾞが対応 0x41/0x42/0x43/0x44/0x45	unsigned char	1 Byte		Set / Get		○	
室外定格消費電力値	0xB8	冷房／暖房／除湿の各運転モード時の定格消費電力 0x0000～0xFFFD (0～65533W) 冷房：暖房：除湿	unsigned short × 3	6 Byte	W	Get			
室外消費電流計測値	0xB9	消費電流計測値 0x0000～0xFFFD (0～6553.3A)	unsigned short	2 Byte	0.1 A	Get			
外気温度計測値１	0xBE	外気温度計測値を取得する。 0x81～0x7D (－127～125℃)	signed char	1 Byte	1℃	Get			
特殊状態	0xAA	エアコンが特殊状態にあることを示す。 通常状態=0x40、除霜状態=0x41	unsigned char	1 Byte	－	Get			
圧縮機動作状態	0xD0	圧縮機の動作状態 ON/OFF を取得する。 圧縮機 ON=0x41 圧縮機 OFF=0x42	unsigned char	1 Byte		Get			
運転モード状態	0xD1	運転モード状態を取得する。 冷房／暖房／除湿／その他 順番に以下のｺｰﾄﾞが対応 0x42/0x43/0x44/0x40	unsigned char	1 Byte		Get	○		
ファン回転レベル	0xD2	室外機ファン風量を取得する。 0x00～0x64　(0～100%)	unsigned char	1 Byte	%	Get			
室外消費電力計測値	0xDB	室外機の消費電力計測値 0x0000～0xFFFD (0～65533W)	unsigned short	2 Byte	W	Get			
外気温度計測値２	0xEE	外気温度計測値を取得する。 0xF554～0x7FFD (-273.2～3276.5℃)	signed short	2 Byte	0.1℃	Get			

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1) 動作状態（スーパークラスのプロパティを継承）

業務用パッケージエアコン室外機が、制御受付が可能な状態（ＯＮ状態）であるか否か（ＯＦＦ状態）を示す。

ON 状態には 0x30 を、OFF 状態には 0x31 を対応させる。業務用パッケージエアコン室外機ク

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

ラスを搭載する
ノードにおいて、ノードの動作開始とともに、業務用パッケージエアコン室外機が制御受付可能状態になる場合は、本プロパティを固定値 0x30 で実装することも可能である。

(2) 運転モード設定
業務用パッケージエアコン室外機の自動/冷房/暖房/除湿/送風の各運転モードの設定状態を取得する。
例えば、本プロパティの取る値が「冷房」のとき、室外機は冷房運転でのみ運転できることを示し、マルチエアコンにおいて暖房室内機と冷房室内機とが混在したような場合は、いずれか一方の値をとる。それぞれの運転モードにはそれぞれ、順に 0x41/0x42/0x43/0x44/0x45 のﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ値が対応するものとする。
ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ値のとる値については､本クラスを実装する機器が、その機能として取りうるﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ値のみを実装すればよいものとする。例えば、本クラスを搭載する実機器が暖房をその機能として搭載していない場合は、暖房に対する 0x42 を実装する必要はない。なお、現在の運転モードは、運転モード状態の Get で取得できる。
動作状態プロパティ（0x80）が OFF（0x31）の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(3) 室外定格消費電力値
冷房／暖房／除湿の各運転モード時の定格消費電力（カタログ値)を W の単位で示す。各モード毎の消費電力は､0x0000～0xFFFD(0～65533W)とし､冷房／暖房／除湿の順に､上位 Byte からプロパティ値とする。実機器が、その機能として、いずれかの運転モードをサポートしない場合は、アンダーフローコード 0xFFFE を用いるものとする。
動作状態プロパティ（0x80）が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(4) 室外消費電流計測値
現在の消費電流を 0.1A の単位で示す。対象となる電流が交流の場合は、実効値を示すものとする。プロパティ値は、0x0000～0xFFFD(0～6553.3A)とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFFFF、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0xFFFE を用いるものとする。

(5) 外気温度計測値１
業務用パッケージエアコン室外機が設置されている場所の温度計測値(外気温度)を 1℃の単位で示す。プロパティの値域は､0x81～0x7D(－127～125℃)とし､実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は､オーバーフローコード 0x7F､実機器のプロパティ値が、

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0x80 を用いるものとする。また、計測値を返せない場合は、０ｘ7E を用いるものとする。
動作状態プロパティ（0x80）が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(6) 特殊状態

業務用パッケージエアコンが、除霜状態にあることを示す。
除霜状態にある場合のプロパティ値を 0x41 とする。なお、いずれの状態でもない場合のプロパティ値を 0x40 とする。動作状態プロパティ（0x80）が OFF（０ｘ３１）の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(7) 圧縮機動作状態

業務用パッケージエアコン室外機に搭載されている圧縮機の動作状態の ON/OFF を示す。ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ値は、圧縮機 ON：0x41、圧縮機 OFF：0x42 とする。複数の圧縮機が搭載されている場合は、全圧縮機 OFF の状態を圧縮機 OFF とする。動作状態プロパティ（0x80）が OFF（0x31）の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(8) 運転モード状態

現在の運転モードの状態を取得する。例えば、本プロパティの取る値が「冷房」のとき、室外機は冷房運転していることを示す。取得できる運転モードには、冷房/暖房/除湿/その他に対し、順に 0x42/0x43/0x44/0x40 のﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ値が対応するものとする。その他は送風など冷房でも暖房でもない状態を表すものに利用する。ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ値のとる値については､本クラスを実装する機器が､その機能として取りうるﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ値のみを実装すればよいものとする。

(9) ファン回転レベル

ファン回転数を、%の単位で示す。
プロパティの値域は、0x00～0x64（0～100%）とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、0xFF、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を下回る場合は、0xFE を用いるものとする。

(10) 室外消費電力計測値

室外機の消費電力計測値を、１Ｗの単位で示す。　プロパティの値域は、0x0000～0xFFFD（0W～65533W）とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を**超える**場合は、0xFFFF、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を下回る場合は、0xFFFE を用いるものとする。

(11) 外気温度計測値２

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

業務用パッケージエアコン室外機が設置されている場所の温度計測値（外気温度）を 0.1℃の単位で示す。
ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨの値域は、0xF554～0x7FFD(-273.2～3276.5℃)とし、実機器のﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ値が、ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0x7FFF、実機器のﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ値が、ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0x8000 を用いるものとする。また、計測値を返せない場合は、0x7FFE を用いるものとする。
動作状態プロパティ（0x80）が 0FF（0x31）の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．３ 住宅・設備関連機器クラスグループ

本節では、機器オブジェクトの内、住宅・設備関連機器クラスグループ（クラスグループコード X1=0x02）に属する ECHONET オブジェクト毎に、コードやプロパティの詳細を規定する。本節で詳細を規定するオブジェクトクラスの一覧を、表７に示し、各クラス毎の詳細を項を設けて規定を示す。クラス規定において、「必須」の記述のあるものは、各クラスを搭載する機器には、そのプロパティとサービスの組み合わせの実装が必須であることを示す。

表７　住宅・設備関連機器クラスグループのオブジェクト一覧表（１／２）

クラスグループコード	クラスコード	クラス名	詳細規定の有無	備考
0x02	0x00～0x5F	For future reserved		
	0x60	電動ブラインド･日よけ	○	
	0x61	電動シャッター	○	
	0x62	電動カーテン		
	0x63	電動雨戸・シャッター	○	
	0x64	電動ゲート	○	
	0x65	電動窓	○	
	0x66	電動玄関ドア・引戸	○	
	0x67	散水器（庭用）	○	
	0x68	散水器（火災用）		
	0x69	噴水		
	0x6A	瞬間湯沸器		
	0x6B	電気温水器	○	
	0x6C	太陽熱温水器		
	0x6D	循環ポンプ		
	0x6E	電気便座（温水洗浄便座、暖房便座など）	○	
	0x6F	電気錠	○	
	0x70	ガス元弁		
	0x71	ホームサウナ		
	0x72	瞬間式給湯器	○	
	0x73	浴室暖房乾燥機	○	
	0x74	ホームエレベータ		
	0x75	電動間仕切り		
	0x76	水平トランスファ		
	0x77	電動物干し		
	0x78	浄化槽		
	0x79	住宅用太陽光発電	○	
	0x7A	冷温水熱源機	○	
	0x7B	床暖房	○	

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

	0x7C	燃料電池	○	
	0x7D	蓄電池	○	
	0x7E	電気自動車充放電器	○	
	0x7F	エンジンコージェネレーション	○	

住宅・設備関連機器クラスグループのオブジェクト一覧表（2／2）

0x02	0x80	電力量メータ	○	
	0x81	水流量メータ	○	
	0x82	ガスメータ	○	
	0x83	LP ガスメータ	○	
	0x84	時計		
	0x85	自動ドア		
	0x86	業務用エレベータ		
	0x87	分電盤メータリング	○	
	0x88	スマート電力量メータ	○	
	0x89	スマートガスメータ	○	
	0x8A～0x8F	For future reserved		
	0x90※1)	一般照明	○	シャンデリア、スタンド、ブランケット、ダウンライト、スポット照明、ペンダント照明、シーリングライト、ウォールライト等を含む
	0x91～0x98※1)	For future reserved		
	0x99※2)	非常照明		誘導灯、非常灯、保安灯、防犯灯等を含む
	0x9A～0x9C※2)	For future reserved		
	0x9D	設備照明		
	0xA0	ブザー	○	
	0x9E～0x9F 0xA1～0xFF	For future reserved		

注）○：APPENDIX でプロパティ構成を含めた詳細を規定。

※1）Version 2.10 以前においては、シャンデリア、スタンド、ブランケット、ダウンライト、スポット照明、ペンダント照明、シーリングライト、ウォールライトに個別クラスコードを割り当てていたが、Version 2.11 以降は全て一般照明に統合する。

※2）Version 2.10 以前においては、誘導灯、非常灯、保安灯、防犯灯には、個別にクラスコードを割り当てていたが、Version 2.11 以降は全て非常照明に統合する。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．３．１ 電動ブラインド・日よけクラス規定

クラスグループコード　：　0x02
クラスコード　　：0x60
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時アナウンス	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
異常内容 (復帰可能な異常)	0x89	異常内容 下位１バイト リセットボタンを押し再操作＝0x02 上位１バイト 障害物挟込み＝0x04 停電復帰＝0x05 タイムアウト＝0x06 電池残量低下＝0x07 0x45～0xFF はユーザー定義	unsigned short	2 byte	－	Get		○	
タイマ動作設定	0x90	タイマ動作の ON・OFF ON＝0x41，OFF＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get		○	
風検知状態	0xC2	風検知の有無を示す 風有＝0x41，風無＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get		○	
日差し検知状態	0xC3	日差しの有無を示す 日差し有＝0x41、 日差し無＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get		○	
開（張出し）速度設定	0xD0	通常使う開（張出し）速度を３段階で指定 低＝0x41，中＝0x42， 高＝0x43	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
閉（収納）速度設定	0xD1	通常使う閉（収納）速度を３段階で指定 低＝0x41，中＝0x42， 高＝0x43	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
動作時間設定値	0xD2	動作させる時間を秒数で指定 0x00～0xFD（0～253 秒）	unsigned char	1 Byte	second	Set/ Get			
自動動作設定	0xD4	自動動作の ON・OFF ON=0x41，OFF＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get		○	
開閉（張出し／収納）動作設定	0xE0	開／閉／停止 開＝0x41，閉＝0x42 停止＝0x43	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get	○	○	
開度レベル設定	0xE1	開度レベルを％で指定。 0x00～0x64(0～100％)	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get	Ⓔ Ⓗa		

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

ブラインド角度設定値	0xE2	ブラインド角度値 0x00～0xB4 (0～180degree)	unsigned char	1 Byte	degree	Set/ Get			
開閉（張出し／収納）速度設定	0xE3	低／中／高 低＝0x41，中＝0x42，高＝0x43	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
電気錠設定	0xE5	電気錠の施錠・開錠 施錠＝0x41，開錠＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
遠隔操作設定状態	0xE8	遠隔操作の許可・禁止の設定状態を示す。 ON（許可）＝0x41, OFF（禁止）＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get		○	
選択開（張出し）度動作設定	0xE9	指定された値で停止させる設定 開度レベル設定位置開=0x41 動作時間設定値開=0x42 動作時間設定値閉=0x43 ローカル設定位置=0x44 以降はユーザー定義 （開度レベル設定のショートカットなど）	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get		○	
開閉（張出し／収納）状態	0xEA	開閉状態を示す。 全開=0x41，全閉＝0x42, 開動作中＝0x43, 閉動作中＝0x44, 途中停止＝0x45	unsigned char	1 Byte	－	Get		○	
ワンタイム開（張出し）速度設定	0xEE	開動作 1 回のみの速度を 3 段階で指定 低＝0x41，中＝0x42, 高＝0x43、無し＝0x44	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
ワンタイム閉（収納）速度設定	0xEF	閉動作 1 回のみの速度を 3 段階で指定 低＝0x41，中＝0x42, 高＝0x43、無し＝0x44	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			

注1） 状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1) 動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）

電動ブラインド・日よけが、制御受付が可能な状態（ＯＮ状態）であるか否か（ＯＦＦ状態）を示す。ＯＮ状態には 0x30 を、ＯＦＦ状態には 0x31 を対応させる。電動ブラインド・日よけクラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、電動ブラインド・日よけが制御受付可能状態になる場合は、本プロパティを固定値 0x30 で実装することも可能である。このプロパティがＯＦＦ（0x31）のときは、本規格で特別に規定されている場合を除いて、その他のプロパティで取得した値は保証されるものではない。

(2) 異常内容（スーパークラスのプロパティを継承）

スーパークラスで規定されていない部分についてのみ記載する。電動ブラインド・日よけの復帰可能な異常内容を小分類まで取得する。異常内容の大分類は、下位バイトを固定とし、スーパークラスの分類にあるリセットボタンを押し再操作＝0x02 とする。異常内容の小分

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

類は、上位バイトとし障害物挟込み＝0x04、停電復帰＝0x05、タイムアウト＝0x06、電池残量低下＝0x07、0x45～0xFF はユーザー定義とする。

(3) タイマ動作設定

機器に予め設定された時刻に開閉動作を開始するタイマ動作において、タイマ動作を有効にする場合はＯＮ＝0x41 を設定し、無効にする場合はＯＦＦ＝0x42 を設定し、設定内容を取得する。

(4) 風検知状態

機器に予め登録された風速レベルに達したか否かを示す。達している場合は風有＝0x41 とし、達していない場合は、風無 0x42 とする。

(5) 日差し検知状態

機器に予め登録された照度レベルに達したか否かを示す。達している場合は、日差し有 0x41 とし、達してない場合は、日差し無 0x42 とする。

(6) 開（張出し）速度設定

開(張出し)方向の速度を繰返し使える値として指定し、低/中/高の3段階で示す。

(7) 閉（収納）速度設定

閉(収納)方向の速度を繰返し使える値として指定し、低/中/高の3段階で示す。

(8) 動作時間設定値

開閉(張出し／収納)動作設定プロパティ(0xE0)で動作を指定する場合の電動ブラインド・日よけの動作させる時間を秒数で設定し、設定内容を取得する。動作時間は 0～253 秒(0x00～0xFD)で示す。

(9) 自動動作設定

機器の持つ自動動作において、自動動作を有効にする場合はON＝Ox41 を設定し、無効にする場合はOFF＝0x42 を設定し、設定内容を取得する。

(10) 開閉（張出し／収納）動作設定

電動ブラインド・日よけの開閉（張出し／収納）・停止動作を設定し、設定内容を取得する。開（張出し）動作設定の場合は 0x41、閉（収納）動作設定の場合は 0x42 とし、停止動作設定を 0x43 とする。このプロパティによる動作設定の目標位置は、開（張出し）は全開、閉（収納）は全閉とし、全開、全閉以外の位置で停止させる場合は、動作中に停止動作設定

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

0x43 を行なうか、選択開（張出し）度動作設定プロパティ（0xE9）を使用する

(11) 開度レベル設定

選択開度動作設定プロパティ（0xE9）で開度レベル設定位置開（0x41）を指定する場合の電動ブラインド・日よけの開度レベルを 0 ～100%で設定し、動作結果を取得する。0x00（開度レベル 0%）を最も閉状態に近い状態（全閉ではない状態）とし、0x64（開度レベル 100%）を最も開状態（全開）とする。尚、電動ブラインド・日よけが目標位置に到達する過程においては、目標となる開度レベル設定位置を返すものとする。

「快適生活支援サービス」「エネルギーサービス」に対応する場合、本プロパティの搭載は必須とする。

(12)ブラインド角度設定値

電動ブラインドの室内側を基準とした、ブラインド角度を degree の単位で示す。

水平ブラインドの場合は、ブラインドが水平である状態を 90 degree、ブラインド室内側が最も高い状態（遮光側（凸面外側）が垂直）を 0 degree とする。

垂直ブラインドの場合は、ブラインド室外側が室内側から見て最も右にある状態を 0degree、ブラインド室外側が室内側から見て最も左にある状態を 180degree、両者の中間の状態を 90degree とする。

(13)開閉（張出し／収納）速度設定

開閉（張出し／収納）速度を低／中／高の 3 段階で示す。

(14)電気錠設定

電動ブラインド・日よけの電気錠の施錠・開錠を設定し、施錠状態を取得する。施錠状態の場合 0x41 とし、開錠状態の場合は 0x42 とする。

(15)遠隔操作設定状態

電動ブラインド・日よけが、外部からの遠隔操作が許可されている状態か、禁止の状態かを取得する。外部からの遠隔操作許可の状態は ON＝0x41 を、遠隔操作禁止の状態は OFF＝0x42 とする。また、電動ブラインド・日よけを単独では使わず、常に遠隔操作する場合には固定値 ON＝0x41 を実装する事も可能である。

(16)選択開（張出し）度動作設定

電動ブラインド・日よけを他のプロパティや機器で指定した値により動作し停止させる設定を示す。開度レベル設定（0xE1）による動作設定を 0x41、動作時間設定値（0xD2）で開（張出し）方向に動作する設定を 0x42、動作時間設定値（0xD2）で閉（収納）方向に動作

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

する設定を 0x43、電動ブラインド・日よけ単独で記憶している停止位置で止まる設定を 0x44 とする。また、開（張出し）レベル設定で停止させる動作も 1 つの信号で行える様にユーザー定義できる事とする。

(17)開閉（張出し／収納）状態

電動ブラインド・日よけの開閉（張出し／収納）状態を取得する。全開（張出し）状態は、上限で停止している状態で全開（張出し）0x41 とする。全閉（収納）状態は、下限で停止している状態で全閉（収納）0x42 とする。開（張出し）動作状態は、電動ブラインド・日よけが開（張出し）方向に動作中を開（張出し）動作中 0x43 とする。閉（収納）動作状態は、電動ブラインド・日よけが閉（収納）方向に動作中を閉（収納）動作中 0x44 とする。上限でも下限でもない状態で電動ブラインド・日よけが停止している状態は、途中停止 0x45 とする。

(18)ワンタイム開（張出し）速度設定

開（張出し）方向の速度を一回限りで指定し、低/中/高の 3 段階で示す。設定し、設定内容を取得する。低速度設定の場合 0x41、中速度設定の場合 0x42、高速度設定の場合 0x43 とし、設定無しの場合 0x44 とする。本プロパティで設定された速度で 1 度動作した後、0x44 に遷移する。本プロパティが 0x44 を示す場合、開速度設定プロパティの速度で動作する。

(19)ワンタイム閉（収納）速度設定

閉（収納）方向の速度を一回限りで指定し、低/中/高の 3 段階で示す。設定し、設定内容を取得する。低速度設定の場合 0x41、中速度設定の場合 0x42、高速度設定の場合 0x43 とし、設定無しの場合 0x44 とする。本プロパティで設定された速度で 1 度動作した後、0x44 に遷移する。本プロパティが 0x44 を示す場合、閉速度設定プロパティの速度で動作する。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．３．２ 電動シャッタークラス規定

クラスグループコード　：　0x02
クラスコード　：　0x61
インスタンスコード　：　0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 byte	－	Set Get	 ○	○	
異常内容 (復帰可能な異常)	0x89	異常内容 下位 1 バイト リセットボタンを押し再操作 ＝0x02 上位 1 バイト 障害物挟込み＝0x04 停電復帰＝0x05 タイムアウト＝0x06 電池残量低下＝0x07 0x45～0xFF はユーザー定義	unsigned short	2 byte	－	Get		○	
タイマ動作設定	0x90	タイマ動作の ON・OFF ON＝0x41，OFF＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get		○	
開速度設定	0xD0	通常使う開速度を 3 段階で指定 低＝0x41，中＝0x42， 高＝0x43	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
閉速度設定	0xD1	通常使う閉速度を 3 段階で指定 低＝0x41，中＝0x42， 高＝0x43	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
動作時間設定値	0xD2	動作させる時間を秒数で指定 0x00～0xFD（0～253 秒）	unsigned char	1 Byte	second	Set/ Get			
開閉動作設定	0xE0	開／閉／停止 開＝0x41，閉＝0x42、 停止＝0x43	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get	○	○	
開度レベル設定	0xE1	開度レベルを%で指定。 0x00～0x64(0～100%)	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
ブラインド角度設定値	0xE2	ブラインド角度値 0x00～0xB4 (0～180degree)	unsigned char	1 Byte	degree	Set/ Get			
開閉速度設定	0xE3	低／中／高 低＝0x41，中＝0x42，高＝0x43	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
電気錠設定	0xE5	電気錠の施錠・開錠 施錠＝0x41，開錠＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
遠隔操作設定状態	0xE8	遠隔操作の許可・禁止の設定状態を示す。 ON（許可）＝0x41， OFF（禁止）＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get		○	

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

選択開度動作設定	0xE9	指定された値で停止させる設定 開度レベル設定位置開=0x41 動作時間設定値開=0x42 動作時間設定値閉=0x43 ローカル設定位置=0x44 スリット開度設定=0x45 以降はユーザー定義 （開度レベル設定のショートカットなど）	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get		○	
開閉状態	0xEA	開閉状態を示す。 全開=0x41，全閉＝0x42, 開動作中＝0x43, 閉動作中＝0x44, 途中停止＝0x45	unsigned char	1 Byte	－	Get		○	
スリット開度設定	0xED	開度レベルを８段階で指定 0x31～0x38	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
ワンタイム開速度設定	0xEE	開動作１回のみの速度を３段階で指定 低＝0x41，中＝0x42, 高＝0x43、無し＝0x44	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
ワンタイム閉速度設定	0xEF	閉動作１回のみの速度を３段階で指定 低＝0x41，中＝0x42, 高＝0x43、無し＝0x44	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			

注1） 状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

本電動シャッタークラスはシャッターが単独で設置される場合に使用することを推奨する。シャッターが窓、引き戸等と併設される場合は電動雨戸・シャッタークラスを使用することを推奨する。

(1) 動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）

電動シャッターが、制御受付が可能な状態（ON 状態）であるか否か（OFF 状態）を示す。ON 状態には 0x30 を、OFF 状態には 0x31 を対応させる。電動シャッタークラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、電動シャッターが制御受付可能状態になる場合は、本プロパティを固定値 0x30 で実装することも可能である。このプロパティが OFF(０ｘ３１)のときは、本規格で特別に規定されている場合を除いて、その他のプロパティで取得した値は保証されるものではない。

(2) 異常内容（スーパークラスのプロパティを継承）

スーパークラスで規定されていない部分についてのみ記載する。電動シャッターの復帰可能な異常内容を小分類まで取得する。異常内容の大分類は、下位バイトを固定とし、スーパークラスの分類にあるリセットボタンを押し再操作＝0x02 とする。異常内容の小分類は、上位バイトとし障害物挟込み＝0x04、停電復帰＝0x05、タイムアウト＝0x06、電池残量低下＝0x07、0x45～0xFF はユーザー定義とする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

(3) タイマ動作設定

機器に予め設定された時刻に開閉動作を開始するタイマ動作において、タイマ動作を有効にする場合はＯＮ＝0x41 を設定し、無効にする場合はＯＦＦ＝0x42 を設定し、設定内容を取得する。

(4) 開速度設定

開く方向の速度を繰返し使える値として指定し、低/中/高の3段階で示す。

(5) 閉速度設定

閉じる方向の速度を繰返し使える値として指定し、低/中/高の3段階で示す。

(6) 動作時間設定値

開閉動作設定プロパティ(0xE0)で動作を指定する場合の電動シャッターの動作させる時間を秒数で設定し、設定内容を取得する。動作時間は 0～253 秒(0x00～0xFD)で示す。

(7) 開閉動作設定

電動シャッターの開閉・停止動作を設定し、設定内容を取得する。開動作設定の場合は 0x41、閉動作設定の場合は 0x42 とし、停止動作設定を 0x43 とする。このプロパティによる動作設定の目標位置は、開は全開、閉は全閉とし、全開、全閉以外の位置で停止させる場合は、動作中に停止動作設定 0x43 を設定するか、選択開度動作設定プロパティ（0xE9）を使用する。

(8) 開度レベル設定

選択開度動作設定プロパティ（0xE9）で開度レベル設定位置開（0x41）を指定する場合の電動シャッターの開度レベルを０～100%で設定し、動作結果を取得する。0x00（開度レベル 0%）を最も閉状態に近い状態（全閉ではない状態）とし、0x64（開度レベル 100%）を最も開状態（全開）とする。尚、電動シャッターが目標位置に到達する過程においては、目標となる開度レベル設定位置を返すものとする。

(9) ブラインド角度設定値

電動ブラインドの室内側を基準とした、ブラインド角度を degree の単位で示す。
水平ブラインドの場合は、ブラインドが水平である状態を 90 degree、ブラインド室内側が最も高い状態（遮光側（凸面外側）が垂直）を 0 degree とする。
垂直ブラインドの場合は、ブラインド室外側が室内側から見て最も右にある状態を 0degree、ブラインド室外側が室内側から見て最も左にある状態を 180degree、両者の中間の状態を

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

90degree とする。

(10) 開閉速度設定

電動シャッター開閉速度を低／中／高の 3 段階で示す。

(11) 電気錠設定

電動シャッターの電気錠の施錠・開錠を設定し、施錠状態を取得する。施錠状態の場合 0x41 とし、開錠状態の場合は 0x42 とする。

(12) 遠隔操作設定状態

電動シャッターが、外部からの遠隔操作が許可されている状態か、禁止の状態かを取得する。外部からの操作許可の状態は ON＝0x41 を、操作禁止の状態は OFF＝0x42 とする。また、電動シャッターを単独では使わず、常に遠隔操作する場合には固定値 ON＝0x41 を実装する事も可能である。

(13) 選択開度動作設定

電動シャッターを他のプロパティや機器で指定した値により動作し停止させる設定を示す。開度レベル設定（0xE1）による動作設定を 0x41、動作時間設定値（0xD2）で開方向に動作する設定を 0x42、動作時間設定値（0xD2）で閉方向に動作する設定を 0x43、電動シャッター単独で記憶している停止位置で止まる設定を 0x44、スリット開度設定（0xED）によるスリットの動作設定を 0x45 とする。また、開レベル設定で停止させる動作も 1 つの信号で行える様にユーザー定義できる事とする。

(14) 開閉状態

電動シャッターの開閉状態を取得する。全開状態は、上限で停止している状態で全開 0x41 とする。全閉状態は、下限で停止している状態で全閉 0x42 とする。なおスリット付きのシャッターは、スリットまで閉まりきった状態に適応する。開動作状態は、電動シャッターが開く方向に動作中を開動作中 0x43 とする。閉動作状態は、電動シャッターが閉じる方向に動作中を閉動作中 0x44 とする。上限でも下限でもない状態で電動シャッターが停止している状態は、途中停止 0x45 とする。

(15) スリット開度設定

スリット付きのシャッターにおいて、スリットの開度を8段階で示し、設定内容を取得する。各レベルの具体的な状態は規定しないが、0x31 を最も開状態とし、0x38 を最も閉状態に近い状態（全閉ではない状態）とする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

(16) ワンタイム開速度設定

開方向の速度を一回限りで指定し、低/中/高の 3 段階で示す。設定し、設定内容を取得する。低速度設定の場合 0x41、中速度設定の場合 0x42、高速度設定の場合 0x43 とし、設定無しの場合 0x44 とする。本プロパティで設定された速度で 1 度動作した後、0x44 に遷移する。本プロパティが 0x44 を示す場合、開速度設定プロパティの速度で動作する。

(17) ワンタイム閉速度設定

閉方向の速度を一回限りで指定し、低/中/高の 3 段階で示す。設定し、設定内容を取得する。低速度設定の場合 0x41、中速度設定の場合 0x42、高速度設定の場合 0x43 とし、設定無しの場合 0x44 とする。本プロパティで設定された速度で 1 度動作した後、0x44 に遷移する。本プロパティが 0x44 を示す場合、閉速度設定プロパティの速度で動作する。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．３．３ 電動雨戸・シャッタークラス規定

クラスグループコード　：　0x02
クラスコード　：　0x63
インスタンスコード　：　0x01～0x7F（0x00　全インスタンス指定コード）

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 byte	－	Set Get	 ○	○	
異常内容 (復帰可能な異常)	0x89	異常内容 下位 1 バイト リセットボタンを押し再操作 ＝0x02 上位 1 バイト 障害物挟込み＝0x04 停電復帰＝0x05 タイムアウト＝0x06 電池残量低下＝0x07 0x45～0xFF はユーザー定義	unsigned short	2 byte	－	Get		○	
タイマ動作設定	0x90	タイマ動作の ON・OFF ON＝0x41，OFF＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get		○	
開速度設定	0xD0	通常使う開速度を 3 段階で指定 低＝0x41，中＝0x42， 高＝0x43	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
閉速度設定	0xD1	通常使う閉速度を 3 段階で指定 低＝0x41，中＝0x42， 高＝0x43	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
動作時間設定値	0xD2	動作させる時間を秒数で指定 0x00～0xFD（0～253 秒）	unsigned char	1 Byte	second	Set/ Get			
開閉動作設定	0xE0	開／閉／停止 開＝0x41，閉＝0x42、 停止＝0x43	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get	○	○	
開度レベル設定	0xE1	開度レベルを%で指定。 0x00～0x64(0～100%)	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
ブラインド角度設定値	0xE2	ブラインド角度値 0x00～0xB4 (0～180degree)	unsigned char	1 Byte	degree	Set/ Get			
開閉速度設定	0xE3	低／中／高 低＝0x41，中＝0x42，高＝0x43	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
電気錠設定	0xE5	電気錠の施錠・開錠 施錠＝0x41，開錠＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
遠隔操作設定状態	0xE8	遠隔操作の許可・禁止の設定状態を示す。 ON（許可）＝0x41， OFF（禁止）＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get		○	

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

選択開度動作設定	0xE9	指定された値で停止させる設定 開度レベル設定位置開=0x41 動作時間設定値開=0x42 動作時間設定値閉=0x43 ローカル設定位置=0x44 スリット開度設定＝0x45 以降はユーザー定義 （開度レベル設定のショートカットなど）	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get		○	
開閉状態	0xEA	開閉状態を示す。 全開=0x41，全閉＝0x42, 開動作中＝0x43, 閉動作中＝0x44, 途中停止＝0x45	unsigned char	1 Byte	－	Get		○	
スリット開度設定	0xED	開度レベルを 8 段階で指定 0x31～0x38	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
ワンタイム開速度設定	0xEE	開動作 1 回のみの速度を 3 段階で指定 低＝0x41，中＝0x42, 高＝0x43、無し＝0x44	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
ワンタイム閉速度設定	0xEF	閉動作 1 回のみの速度を 3 段階で指定 低＝0x41，中＝0x42, 高＝0x43、無し＝0x44	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			

注1） 状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

本電動雨戸・シャッタークラスはシャッターが窓、引き戸等と併設される場合に使用することを推奨する。シャッターが単独で設置される場合は電動シャッタークラスを使用することを推奨する。

(1) 動作状態(スーパークラスのプロパティを継承)

電動雨戸・シャッターが、制御受付が可能な状態（ON 状態）であるか否か（OFF 状態）を示す。ON 状態には 0x30 を、OFF 状態には 0x31 を対応させる。電動雨戸・シャッタークラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、電動雨戸・シャッターが制御受付可能状態になる場合は、本プロパティを固定値 0x30 で実装することも可能である。このプロパティが OFF(０ｘ３１)のときは、本規格で特別に規定されている場合を除いて、その他のプロパティで取得した値は保証されるものではない。

(2) 異常内容（スーパークラスのプロパティを継承）

スーパークラスで規定されていない部分についてのみ記載する。電動雨戸・シャッターの復帰可能な異常内容を小分類まで取得する。異常内容の大分類は、下位バイトを固定とし、スーパークラスの分類にあるリセットボタンを押し再操作＝0x02 とする。異常内容の小分類は、上位バイトとし障害物挟込み＝0x04、停電復帰＝0x05、タイムアウト＝0x06、電池残量低下＝0x07、0x45～0xFF はユーザー定義とする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

(3) タイマ動作設定

機器に予め設定された時刻に開閉動作を開始するタイマ動作において、タイマ動作を有効にする場合はＯＮ＝0x41 を設定し、無効にする場合はＯＦＦ＝0x42 を設定し、設定内容を取得する。

(4) 開速度設定

開く方向の速度を繰返し使える値として指定し、低/中/高の3段階で示す。

(5) 閉速度設定

閉じる方向の速度を繰返し使える値として指定し、低/中/高の3段階で示す。

(6) 動作時間設定値

開閉動作設定プロパティ(0xE0)で動作を指定する場合の電動雨戸・シャッターの動作させる時間を秒数で設定し、設定内容を取得する。動作時間は 0～253 秒(0x00～0xFD)で示す。

(7) 開閉動作設定

電動雨戸・シャッターの開閉・停止動作を設定し、設定内容を取得する。開設定の場合 0x41、閉設定の場合は 0x42 とし、停止設定を 0x43 とする。このプロパティによる動作設定の目標位置は、開は全開、閉は全閉とし、全開、全閉以外の位置で停止させる場合は、動作中に停止動作設定 0x43 を設定するか、選択開度動作設定プロパティ（0xE9）を使用する。

(8) 開度レベル設定

選択開度動作設定プロパティ（0xE9）で開度レベル設定位置開（0x41）を指定する場合の電動雨戸・シャッターの開度レベルを０～100％で設定し、動作結果を取得する。0x00（開度レベル 0%）を最も閉状態に近い状態（全閉ではない状態）とし、0x64（開度レベル 100%）を最も開状態（全開）とする。尚、電動雨戸・シャッターが目標位置に到達する過程においては、目標となる開度レベル設定位置を返すものとする。

(9) ブラインド角度設定値

電動雨戸・シャッターの室内側を基準とした、ブラインド角度を degree の単位で示す。
水平ブラインドの場合は、ブラインドが水平である状態を 90 degree、ブラインド室内側が最も高い状態（遮光側（凸面外側）が垂直）を 0 degree とする。
垂直ブラインドの場合は、ブラインド室外側が室内側から見て最も右にある状態を 0degree、ブラインド室外側が室内側から見て最も左にある状態を 180degree、両者の中間の状態を 90degree とする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

(10) 開閉速度設定

電動雨戸・シャッター開閉速度を低／中／高の 3 段階で示す。

(11) 電気錠設定

電動雨戸・シャッターの電気錠の施錠・開錠を設定し、施錠状態を取得する。施錠状態の場合 0x41 とし、開錠状態の場合は 0x42 とする。

(12) 遠隔操作設定状態

電動雨戸・シャッターが、外部からの遠隔操作が許可されている状態か、禁止の状態かを取得する。外部からの遠隔操作許可の状態は ON＝0x41 を、操作禁止の状態は OFF＝0x42 とする。また、電動雨戸・シャッターを単独では使わず、常に遠隔操作する場合には固定値 ON＝0x41 を実装する事も可能である。

(13) 選択開度動作設定

電動雨戸・シャッターを他のプロパティや機器で指定した値により動作し停止させる設定を示す。開度レベル設定（0xE1）による動作設定を 0x41、動作時間設定値（0xD2）で開方向に動作する設定を 0x42、動作時間設定値（0xD2）で閉（収納）方向に動作する設定を 0x43、電動雨戸・シャッター単独で記憶している停止位置で止まる設定を 0x44、スリット開度設定（0xED）によるスリットの動作設定を 0x45 とする。また、開レベル設定で停止させる動作も 1 つの信号で行える様にユーザー定義できる事とする。

(14) 開閉状態

電動雨戸・シャッターの開閉状態を取得する。全開状態は、上限で停止している状態で全開 0x41 とする。全閉状態は、下限で停止している状態で全閉 0x42 とする。なおスリット付きのシャッターは、スリットまで閉まりきった状態に適応する。開動作状態は、電動雨戸・シャッターが開く方向に動作中を開動作中 0x43 とする。閉動作状態は、電動雨戸・シャッターが閉じる方向に動作中を閉動作中 0x44 とする。上限でも下限でもない状態で電動雨戸・シャッターが停止している状態は、途中停止 0x45 とする。

(15) スリット開度設定

スリット付きの雨戸・シャッターにおいて、スリットの開度を8段階で示し、設定内容を取得する。各レベルの具体的な状態は規定しないが、0x31 を最も開状態とし、0x38 を最も閉状態に近い状態（全閉ではない状態）とする。

(16) ワンタイム開速度設定

開方向の速度を一回限りで指定し、低/中/高の 3 段階で示す。設定し、設定内容を取得する。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

低速度設定の場合 0x41、中速度設定の場合 0x42、高速度設定の場合 0x43 とし、設定無しの場合 0x44 とする。本プロパティで設定された速度で 1 度動作した後、0x44 に遷移する。本プロパティが 0x44 を示す場合、開速度設定プロパティの速度で動作する。

(17) ワンタイム閉速度設定

閉方向の速度を一回限りで指定し、低/中/高の 3 段階で示す。設定し、設定内容を取得する。低速度設定の場合 0x41、中速度設定の場合 0x42、高速度設定の場合 0x43 とし、設定無しの場合 0x44 とする。本プロパティで設定された速度で 1 度動作した後、0x44 に遷移する。本プロパティが 0x44 を示す場合、閉速度設定プロパティの速度で動作する。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．３．４ 電動ゲートクラス規定

クラスグループコード　：　0x02
クラスコード　：　0x64
インスタンスコード　：　0x01～0x7F（0x00　全インスタンス指定コード）

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 byte	－	Set Get	 ○	○	
異常内容 (復帰可能な異常)	0x89	異常内容 下位 1 バイト リセットボタンを押し再操作 ＝0x02 上位 1 バイト 障害物挟込み＝0x04 停電復帰＝0x05 タイムアウト＝0x06 電池残量低下＝0x07 0x45～0xFF はユーザー定義	unsigned short	2 byte	－	Get		○	
開速度設定	0xD0	通常使う開速度を 3 段階で指定 低＝0x41，中＝0x42， 高＝0x43	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
閉速度設定	0xD1	通常使う閉速度を 3 段階で指定 低＝0x41，中＝0x42， 高＝0x43	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
動作時間設定値	0xD2	動作させる時間を秒数で指定 0x00～0xFD（0～253 秒）	unsigned char	1 Byte	second	Set/ Get			
開閉動作設定	0xE0	開／閉／停止 開＝0x41，閉＝0x42、 停止＝0x43	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get	○	○	
開度レベル設定	0xE1	開度レベルを％で指定。 0x00～0x64(0～100%)	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
開閉速度設定	0xE3	低／中／高 低＝0x41，中＝0x42，高＝0x43	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
電気錠設定	0xE5	電気錠の施錠・開錠 施錠＝0x41，開錠＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
遠隔操作設定状態	0xE8	遠隔操作の許可・禁止の設定状態を示す。 ON（許可）＝0x41， OFF（禁止）＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get		○	
選択開度動作設定	0xE9	指定された値で停止させる設定 開度レベル設定位置開=0x41 動作時間設定値開=0x42 動作時間設定値閉=0x43 ローカル設定位置=0x44 以降はユーザー定義（開度レベル設定のショートカットなど）	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get		○	

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

開閉状態	0xEA	開閉状態を示す。 全開=0x41，全閉＝0x42, 開動作中＝0x43, 閉動作中＝0x44, 途中停止＝0x45	unsigned char	1 Byte	－	Get		○	
ワンタイム開速度設定	0xEE	開動作 1 回のみの速度を 3 段階で指定 低＝0x41，中＝0x42, 高＝0x43、無し＝0x44	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
ワンタイム閉速度設定	0xEF	閉動作 1 回のみの速度を 3 段階で指定 低＝0x41，中＝0x42, 高＝0x43、無し＝0x44	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			

注1） 状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1) 動作状態(スーパークラスのプロパティを継承

電動ゲートが、制御受付が可能な状態（ON 状態）であるか否か（OFF 状態）を示す。ON 状態には 0x30 を、OFF 状態には 0x31 を対応させる。電動ゲートクラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、電動ゲートが制御受付可能状態になる場合は、本プロパティを固定値 0x30 で実装することも可能である。このプロパティが OFF(０ｘ３１)のときは、本規格で特別に規定されている場合を除いて、その他のプロパティで取得した値は保証されるものではない。

(2) 異常内容（スーパークラスのプロパティを継承）

スーパークラスで規定されていない部分についてのみ記載する。電動ゲートの復帰可能な異常内容を小分類まで取得する。異常内容の大分類は、下位バイトを固定とし、スーパークラスの分類にあるリセットボタンを押し再操作＝0x02 とする。異常内容の小分類は、上位バイトとし障害物挟込み＝0x04、停電復帰＝0x05、タイムアウト＝0x06、電池残量低下＝0x07、0x45～0xFF はユーザー定義とする。

(3) 開速度設定

開く方向の速度を繰返し使える値として指定し、低/中/高の3段階で示す。

(4) 閉速度設定

閉じる方向の速度を繰返し使える値として指定し、低/中/高の3段階で示す。

(5) 動作時間設定値

開閉動作設定プロパティ(0xE0)で動作を指定する場合の電動ゲートの動作させる時間を秒数で設定し、設定内容を取得する。動作時間は 0～253 秒(0x00～0xFD)で示す。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

(6) 開閉動作設定

電動ゲートの開閉・停止動作を設定し、設定内容を取得する。開設定の場合 0x41、閉設定の場合は 0x42 とし、停止設定を 0x43 とする。このプロパティによる動作設定の目標位置は、開は全開、閉は全閉とし、全開、全閉以外の位置で停止させる場合は、動作中に停止動作設定 0x43 を設定するか、選択開度動作設定プロパティ（0xE9）を使用する。

(7) 開度レベル設定

選択開度動作設定プロパティ（0xE9）で開度レベル設定位置開（0x41）を指定する場合の電動ゲートの開度レベルを 0 ～100%で設定し、動作結果を取得する。0x00（開度レベル 0%）を最も閉状態に近い状態（全閉ではない状態）とし、0x64（開度レベル 100%）を最も開状態（全開）とする。尚、電動ゲートが目標位置に到達する過程においては、目標となる開度レベル設定位置を返すものとする。

(8) 開閉速度設定

電動ゲート開閉速度を低／中／高の 3 段階で示す。

(9) 電気錠設定

電動ゲートの電気錠の施錠・開錠を設定し、施錠状態を取得する。施錠状態の場合 0x41 とし、開錠状態の場合は 0x42 とする。

(10) 遠隔操作設定状態

電動ゲートが、外部からの遠隔操作が許可されている状態か、禁止の状態かを取得する。外部からの遠隔操作許可の状態は ON＝0x41 を、操作禁止の状態は OFF＝0x42 とする。また、電動ゲートを単独では使わず、常に遠隔操作する場合には固定値 ON＝0x41 を実装する事も可能である。

(11) 選択開度動作設定

電動ゲートを他のプロパティや機器で指定した値により動作し停止させる設定を示す。開度レベル設定（0xE1）による動作設定を 0x41、動作時間設定値（0xD2）で開方向に動作する設定を 0x42、動作時間設定値（0xD2）で閉方向に動作する設定を 0x43、電動ゲート単独で記憶している停止位置で止まる設定を 0x44 とする。また、開レベル設定で停止させる動作も 1 つの信号で行える様にユーザー定義できる事とする。

(12) 開閉状態

電動ゲートの開閉状態を取得する。全開状態は、上限で停止している状態で全開 0x41 とする。全閉状態は、下限で停止している状態で全閉 0x42 とする。開動作状態は、電動ゲート

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

が開く方向に動作中を開動作中 0x43 とする。閉動作状態は、電動ゲートが閉じる方向に動作中を閉動作中 0x44 とする。上限でも下限でもない状態で電動ゲートが停止している状態は、途中停止 0x45 とする。

(13) ワンタイム開速度設定

開方向の速度を一回限りで指定し、低/中/高の 3 段階で示す。設定し、設定内容を取得する。低速度設定の場合 0x41、中速度設定の場合 0x42、高速度設定の場合 0x43 とし、設定無しの場合 0x44 とする。本プロパティで設定された速度で 1 度動作した後、0x44 に遷移する。本プロパティが 0x44 を示す場合、開速度設定プロパティの速度で動作する。

(14) ワンタイム閉速度設定

閉方向の速度を一回限りで指定し、低/中/高の 3 段階で示す。設定し、設定内容を取得する。低速度設定の場合 0x41、中速度設定の場合 0x42、高速度設定の場合 0x43 とし、設定無しの場合 0x44 とする。本プロパティで設定された速度で 1 度動作した後、0x44 に遷移する。本プロパティが 0x44 を示す場合、閉速度設定プロパティの速度で動作する。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．３．５ 電動窓クラス規定

クラスグループコード　：　0x02
クラスコード　：　0x65
インスタンスコード　：　0x01～0x7F（0x00　全インスタンス指定コード）

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 byte	－	Set Get	 ○	○	
異常内容 (復帰可能な異常)	0x89	異常内容 下位 1 バイト リセットボタンを押し再操作 ＝0x02 上位 1 バイト 障害物挟込み＝0x04 停電復帰＝0x05 タイムアウト＝0x06 電池残量低下＝0x07 0x45～0xFF はユーザー定義	unsigned short	2 byte	－	Get		○	
タイマ動作設定	0x90	タイマ動作の ON・OFF ON＝0x41，OFF＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get		○	
登録温度検知状態	0xC0	登録温度に達したかを示す 登録温度検知有=0x41 登録温度検知無＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get			
雨検知状態	0xC1	雨検知の有無を示す 雨検知＝0x41，雨検知無＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get			
開速度設定	0xD0	通常使う開速度を 3 段階で指定 低＝0x41，中＝0x42, 高＝0x43	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
閉速度設定	0xD1	通常使う閉速度を 3 段階で指定 低＝0x41，中＝0x42, 高＝0x43	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
動作時間設定値	0xD2	動作させる時間を秒数で指定 0x00～0xFD（0～253 秒）	unsigned char	1 Byte	second	Set/ Get			
自動動作設定	0xD4	自動動作の ON・OFF ON=0x41，OFF＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get		○	
開閉動作設定	0xE0	開／閉／停止 開＝0x41，閉＝0x42、 停止＝0x43	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get	○	○	
開度レベル設定	0xE1	開度レベルを%で指定。 0x00～0x64(0～100%)	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
開閉速度設定	0xE3	低／中／高 低＝0x41，中＝0x42，高＝0x43	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
電気錠設定	0xE5	電気錠の施錠・開錠 施錠＝0x41，開錠＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

遠隔操作設定状態	0xE8	遠隔操作の許可・禁止の設定状態を示す。 ON（許可）＝0x41, OFF（禁止）＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get		○	
選択開度動作設定	0xE9	指定された値で停止させる設定 開度レベル設定位置開=0x41 動作時間設定値開=0x42 動作時間設定値閉=0x43 ローカル設定位置=0x44 以降はユーザー定義（開度レベル設定のショートカットなど）	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get		○	
開閉状態	0xEA	開閉状態を示す。 全開=0x41，全閉＝0x42, 開動作中＝0x43, 閉動作中＝0x44, 途中停止＝0x45	unsigned char	1 Byte	－	Get		○	
ワンタイム開速度設定	0xEE	開動作１回のみの速度を３段階で指定 低＝0x41，中＝0x42, 高＝0x43、無し＝0x44	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
ワンタイム閉速度設定	0xEF	閉動作１回のみの速度を３段階で指定 低＝0x41，中＝0x42, 高＝0x43、無し＝0x44	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			

注1） 状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1) 動作状態(スーパークラスのプロパティを継承)

電動窓が、制御受付が可能な状態（ON 状態）であるか否か（OFF 状態）を示す。ON 状態には 0x30 を､OFF 状態には 0x31 を対応させる｡電動窓クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、電動窓が制御受付可能状態になる場合は、本プロパティを固定値 0x30 で実装することも可能である。このプロパティが OFF(０ｘ３１)のときは、本規格で特別に規定されている場合を除いて、その他のプロパティで取得した値は保証されるものではない。

(2) 異常内容（スーパークラスのプロパティを継承）

スーパークラスで規定されていない部分についてのみ記載する。電動窓の復帰可能な異常内容を小分類まで取得する。異常内容の大分類は、下位バイトを固定とし、スーパークラスの分類にあるリセットボタンを押し再操作＝0x02 とする。異常内容の小分類は、上位バイトとし障害物挟込み＝0x04、停電復帰＝0x05、タイムアウト＝0x06、電池残量低下＝0x07、0x45～0xFF はユーザー定義とする。

(3) タイマ動作設定

機器に予め設定された時刻に開閉動作を開始するタイマ動作において、タイマ動作を有効にする場合はＯＮ＝0x41 を設定し、無効にする場合はＯＦＦ＝0x42 を設定し、設定内容を取

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

得する。

(4) 登録温度検知状態

予め登録された温度に達したか否かを示す。達している場合は登録温度検知有＝0x41 とし、達していない場合は、登録温度検知無＝0x42 とする。

(5) 雨検知状態

雨検知の有無を示す。雨検知有＝0x41 とし、雨検知無＝0x42 とする。

(6) 開速度設定

開く方向の速度を繰返し使える値として指定し、低/中/高の3段階で示す。

(7) 閉速度設定

閉じる方向の速度を繰返し使える値として指定し、低/中/高の3段階で示す。

(8) 動作時間設定値

開閉動作設定プロパティ(0xE0)で動作を指定する場合の電動窓の動作させる時間を秒数で設定し、設定内容を取得する。動作時間は 0～253 秒(0x00～0xFD)で示す。

(9) 自動動作設定

機器の持つ自動動作において、自動動作を有効にする場合はON＝Ox41 を設定し、無効にする場合はOFF＝0x42 を設定し、設定内容を取得する。

(10) 開閉動作設定

電動窓の開閉・停止動作を設定し、設定内容を取得する。開設定の場合 0x41、閉設定の場合は 0x42 とし、停止設定を 0x43 とする。このプロパティによる動作設定の目標位置は、開は全開、閉は全閉とし、全開、全閉以外の位置で停止させる場合は、動作中に停止動作設定 0x43 を設定するか、選択開度動作設定プロパティ（0xE9）を使用する。

(11) 開度レベル設定

選択開度動作設定プロパティ（0xE9）で開度レベル設定位置開（0x41）を指定する場合の電動窓の開度レベルを 0 ～100%で設定し、動作結果を取得する。0x00（開度レベル 0%）を最も閉状態に近い状態（全閉ではない状態）とし、0x64（開度レベル 100%）を最も開状態（全開）とする。尚、電動窓が目標位置に到達する過程においては、目標となる開度レベル設定位置を返すものとする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

(12) 開閉速度設定

電動窓の開閉速度を低／中／高の 3 段階で示す。

(13) 電気錠設定

電動窓の電気錠の施錠・開錠を設定し、施錠状態を取得する。施錠状態の場合 0x41 とし、開錠状態の場合は 0x42 とする。

(14) 遠隔操作設定状態

電動窓が、外部からの遠隔操作が許可されている状態か、禁止の状態かを取得する。外部からの遠隔操作許可の状態は ON＝0x41 を、遠隔操作禁止の状態は OFF＝0x42 とする。また、電動窓を単独では使わず、常に遠隔操作する場合には固定値 ON＝0x41 を実装する事も可能である。

(15) 選択開度動作設定

電動窓を他のプロパティや機器で指定した値により動作し停止させる設定を示す。開度レベル設定（0xE1）による動作設定を 0x41、動作時間設定値（0xD2）で開方向に動作する設定を 0x42、動作時間設定値（0xD2）で閉方向に動作する設定を 0x43、電動窓単独で記憶している停止位置で止まる設定を 0x44 とする。また、開レベル設定で停止させる動作も 1 つの信号で行える様にユーザー定義できる事とする。

(16) 開閉状態

電動窓の開閉状態を取得する。全開状態は、上限で停止している状態で全開 0x41 とする。全閉状態は、下限で停止している状態で全閉 0x42 とする。開動作状態は、電動窓が開く方向に動作中を開動作中 0x43 とする。閉動作状態は、電動窓が閉じる方向に動作中を閉動作中 0x44 とする。上限でも下限でもない状態で電動窓が停止している状態は、途中停止 0x45 とする。

(17) ワンタイム開速度設定

開方向の速度を一回限りで指定し、低/中/高の 3 段階で示す。設定し、設定内容を取得する。低速度設定の場合 0x41、中速度設定の場合 0x42、高速度設定の場合 0x43 とし、設定無しの場合 0x44 とする。本プロパティで設定された速度で 1 度動作した後、0x44 に遷移する。本プロパティが 0x44 を示す場合、開速度設定プロパティの速度で動作する。

(18) ワンタイム閉速度設定

閉方向の速度を一回限りで指定し、低/中/高の 3 段階で示す。設定し、設定内容を取得する。低速度設定の場合 0x41、中速度設定の場合 0x42、高速度設定の場合 0x43 とし、設定無し

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

の場合 0x44 とする。本プロパティで設定された速度で 1 度動作した後、0x44 に遷移する。
本プロパティが 0x44 を示す場合、閉速度設定プロパティの速度で動作する。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．３．６ 電動玄関ドア・引戸クラス規定

クラスグループコード　：　0x02
クラスコード　：　0x66
インスタンスコード　：　0x01～0x7F（0x00　全インスタンス指定コード）

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 byte	－	Set Get	 ○	○	
異常内容 (復帰可能な異常)	0x89	異常内容 下位 1 バイト リセットボタンを押し再操作 ＝0x02 上位 1 バイト 障害物挟込み＝0x04 停電復帰＝0x05 タイムアウト＝0x06 電池残量低下＝0x07 0x45～0xFF はユーザー定義	unsigned short	2 byte	－	Get		○	
開速度設定	0xD0	通常使う開速度を 3 段階で指定 低＝0x41，中＝0x42， 高＝0x43	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
閉速度設定	0xD1	通常使う閉速度を 3 段階で指定 低＝0x41，中＝0x42， 高＝0x43	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
動作時間設定値	0xD2	動作させる時間を秒数で指定 0x00～0xFD（0～253 秒）	unsigned char	1 Byte	second	Set/ Get			
開放時間設定値	0xD5	開放時間を指定。MM:SS 0～0x3B：0～0x3B （=0～59 分）：（=0～59 秒） 開放＝0xFFFF	unsigned char×2	2 Byte		Set/ Get		○	
開閉動作設定	0xE0	開／閉／停止 開＝0x41，閉＝0x42、 停止＝0x43	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get	○	○	
開度レベル設定	0xE1	開度レベルを％で指定。 0x00～0x64(0～100％)	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
開閉速度設定	0xE3	低／中／高 低＝0x41，中＝0x42，高＝0x43	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
遠隔操作設定状態	0xE8	遠隔操作の許可・禁止の設定状態を示す。 ON（許可）＝0x41， OFF（禁止）＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get		○	
選択開度動作設定	0xE9	指定された値で停止させる設定	unsigned	1	－	Set/		○	

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

		開度レベル設定位置開=0x41 動作時間設定値開=0x42 動作時間設定値閉=0x43 ローカル設定位置=0x44 以降はユーザー定義（開度レベル設定のショートカットなど）	char	Byte		Get			
開閉状態	0xEA	開閉状態を示す。 全開=0x41，全閉＝0x42, 開動作中＝0x43, 閉動作中＝0x44, 途中停止＝0x45	unsigned char	1 Byte	－	Get		○	
ワンタイム開速度設定	0xEE	開動作 1 回のみの速度を 3 段階で指定 低＝0x41，中＝0x42, 高＝0x43、無し＝0x44	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
ワンタイム閉速度設定	0xEF	閉動作 1 回のみの速度を 3 段階で指定 低＝0x41，中＝0x42, 高＝0x43、無し＝0x44	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			

注1） 状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1) 動作状態(スーパークラスのプロパティを継承)

電動玄関ドア・引戸が、制御受付が可能な状態（ON 状態）であるか否か（OFF 状態）を示す。ON 状態には 0x30 を、OFF 状態には 0x31 を対応させる。電動玄関ドア・引戸クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、電動玄関ドア・引戸が制御受付可能状態になる場合は、本プロパティを固定値 0x30 で実装することも可能である。このプロパティが OFF(０ｘ３１)のときは、本規格で特別に規定されている場合を除いて、その他のプロパティで取得した値は保証されるものではない。

(2) 異常内容（スーパークラスのプロパティを継承）

スーパークラスで規定されていない部分についてのみ記載する。電動玄関ドア・引戸の復帰可能な異常内容を小分類まで取得する。異常内容の大分類は、下位バイトを固定とし、スーパークラスの分類にあるリセットボタンを押し再操作＝0x02 とする。異常内容の小分類は、上位バイトとし障害物挟込み＝0x04、停電復帰＝0x05、タイムアウト＝0x06、電池残量低下＝0x07、0x45～0xFF はユーザー定義とする。

(3) 開速度設定

開く方向の速度を繰返し使える値として指定し、低/中/高の3段階で示す。

(4) 閉速度設定

閉じる方向の速度を繰返し使える値として指定し、低/中/高の3段階で示す。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

(5) 動作時間設定値

開閉動作設定プロパティ(0xE0)で動作を指定する場合の電動玄関ドア・引戸の動作させる時間を秒数で設定し、設定内容を取得する。動作時間は 0～253 秒(0x00～0xFD)で示す。

(6) 開放時間設定値

電動玄関ドア・引戸を開放時に一定時間経過後に自動で閉じる機能において、開放時間を設定し、設定内容を取得する。データ形式は、分:0x00～0x3B(0～59 分)、秒:0x00～0x3B(0～59 秒)とし、自動で閉じず開け放しの設定を 0xFFFF とする。

(7) 開閉動作設定

電動玄関ドア・引戸の開閉・停止動作を設定し、設定内容を取得する。開設定の場合 0x41、閉設定の場合は 0x42 とし、停止設定を 0x43 とする。このプロパティによる動作設定の目標位置は、開は全開、閉は全閉とし、全開、全閉以外の位置で停止させる場合は、動作中に停止動作設定 0x43 を設定するか、選択開度動作設定プロパティ（0xE9）を使用する。

(8) 開度レベル設定

選択開度動作設定プロパティ（0xE9）で開度レベル設定位置開（0x41）を指定する場合の電動玄関ドア・引戸の開度レベルを 0 ～100%で設定し、動作結果を取得する。0x00（開度レベル 0%）を最も閉状態に近い状態（全閉ではない状態）とし、0x64（開度レベル 100%）を最も開状態（全開）とする。尚、電動玄関ドア・引戸が目標位置に到達する過程においては、目標となる開度レベル設定位置を返すものとする。

(9) 開閉速度設定

電動玄関ドア・引戸の開閉速度を低／中／高の 3 段階で示す。

(10) 遠隔操作設定状態

電動玄関ドア・引戸が、外部からの遠隔操作が許可されている状態か、禁止の状態かを取得する。外部からの遠隔操作許可の状態は ON＝0x41 を、遠隔操作禁止の状態は OFF＝0x42 とする。また、電動玄関ドア・引戸を単独では使わず、常に遠隔操作する場合には固定値 ON＝0x41 を実装する事も可能である。

(11) 選択開度動作設定

電動玄関ドア・引戸を他のプロパティや機器で指定した値により動作し停止させる設定を示す。開度レベル設定（0xE1）による動作設定を 0x41、動作時間設定値（0xD2）で開方向に動作する設定を 0x42、動作時間設定値（0xD2）で閉方向に動作する設定を 0x43、電動玄関ドア・引戸単独で記憶している停止位置で止まる設定を 0x44 とする。また、開レベル

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

設定で停止させる動作も 1 つの信号で行える様にユーザー定義できる事とする。

(12) 開閉状態

電動玄関ドア・引戸の開閉状態を取得する。全開状態は、上限で停止している状態で全開 0x41 とする。全閉状態は、下限で停止している状態で全閉 0x42 とする。開動作状態は、電動玄関ドア・引戸が開く方向に動作中を開動作中 0x43 とする。閉動作状態は、電動玄関ドア・引戸が閉じる方向に動作中を閉動作中 0x44 とする。上限でも下限でもない状態で電動玄関ドア・引戸が停止している状態は、途中停止 0x45 とする。

(13) ワンタイム開速度設定

開方向の速度を一回限りで指定し、低/中/高の 3 段階で示す。設定し、設定内容を取得する。低速度設定の場合 0x41、中速度設定の場合 0x42、高速度設定の場合 0x43 とし、設定無しの場合 0x44 とする。本プロパティで設定された速度で 1 度動作した後、0x44 に遷移する。本プロパティが 0x44 を示す場合、開速度設定プロパティの速度で動作する。

(14) ワンタイム閉速度設定

閉方向の速度を一回限りで指定し、低/中/高の 3 段階で示す。設定し、設定内容を取得する。低速度設定の場合 0x41、中速度設定の場合 0x42、高速度設定の場合 0x43 とし、設定無しの場合 0x44 とする。本プロパティで設定された速度で 1 度動作した後、0x44 に遷移する。本プロパティが 0x44 を示す場合、閉速度設定プロパティの速度で動作する。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．３．７ 散水器（庭用）クラス規定

クラスグループコード　：　0x02
クラスコード　：　0x67
インスタンスコード　：　0x01～0x7F（0x00　全インスタンス指定コード）

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
散水弁　開閉設定	0xE0	散水弁の開・閉 自動 ON=0x40　手動 ON＝0x41，手動 OFF＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get	○		
水やり間隔設定	0xE1	切／毎日／１日おき／２日おき／週１回 0x40／0x41／0x42／0x43／0x44	unsigned long	1 Byte	－	Set/ Get			
水やり回数設定	0xE2	１日の水やり回数（２回まで） １番目 ON／２番目 ON／両方 ON 0x41／0x42／0x43	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
水やり時刻設定 1	0xE3	設定するタイマ値ＨＨ：MMを設定し、更新された時間を取得する。 0~0x17：0~0x3B (=0~23)：(=0~59)	unsigned char ×2	2 Byte	－	Set/ Get			
水やり時刻設定 2	0xE4	設定するタイマ値ＨＨ：MMを設定し、更新された時間を取得する。 0~0x17：0~0x3B (=0~23)：(=0~59)	unsigned char ×2	2 Byte	－	Set/ Get			
水やり時間設定	0xE5	設定するタイマ値 MM を設定 ０～５９分 0～0x3B (=0~59)	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)動作状態（スーパークラスのプロパティを継承）

本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)散水弁　開閉設定

散水器の電磁弁の開・閉を設定し、開閉状態を取得する。自動 ON／手動 ON／手動 OFF の３つの設定を 0x40／0x41／0x42 で示す。自動 ON は、散水弁の開を水やり時間 (0xE5) 持続させる。散水器の電磁弁を手動で開・閉は、手動 ON、手動 OFF で設定する。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

(3)水やり間隔設定

水やりする日の間隔（切／毎日／１日おき／２日おき／週１回）の５段階を 0x40／0x41／0x42／0x43／0x44 で示す。切は水やりを行わないことを意味する。

(4)水やり回数設定

１日の水やり回数は２回までとし､水やりは１番目の ON 設定､２番目の ON 設定を可能とする。水やり回数の設定は、１番目 ON／２番目 ON／両方 ON の３段階を 0x41／0x42／0x43 で示す。それぞれの水やり時刻は、0xE3（１番目）と 0xE4（２番目）で設定する。

(5)水やり時刻設定 1

水やり時刻設定を、時：0x00～0x17(0～23)、分：0x00～0x3B(0～59)で示す。時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。

(6)水やり時刻設定 2

水やり時刻設定を、時：0x00～0x17(0～23)、分：0x00～0x3B(0～59)で示す。時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。

(7)水やり時間設定

水やり時間を分：0x00～0x3B(0～59)で示す。

(8)水やり時間設定

現在時刻を、時：0x00～0x17(0～23)、分：0x00～0x3B(0～59)で示す。時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。本プロパティは、ON タイマ、OFF タイマで設定する時刻に対応する現在時刻を設定する目的で使用するものである。

(9)現在時刻設定値

現在時刻を、時：0x00～0x17(0～23)、分：0x00～0x3B(0～59)で設定し、更新された時刻を取得する。時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。動作状態プロパティ（0x80）が OFF（0x31）の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．３．８ 電気温水器クラス規定

クラスグループコード　：　0x02
クラスコード　　：0x6B
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時 ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
沸き上げ自動設定	0xB0	自動沸き上げ ON／OFF を表す。 自動沸き上げ＝0x41, 手動沸き上げ停止＝0x43 手動沸き上げ＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get	○		
沸き上げ湯温自動設定	0xB1	AUTO／非 AUTO AUTO＝0x41，非 AUTO＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
沸き上げ中状態	0xB2	沸き上げ中状態を示す。 沸き上げ中＝0x41, 非沸き上げ中＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get			
沸き上げ湯温設定値	0xB3	沸き上げ湯温設定値を℃で示す。 0x00～0x64（0～100℃）	unsigned char	1 Byte	℃	Set/ Get			
手動沸き上げ停止日数設定値	0xB4	手動沸き上げ停止日数を日で示す。 0~0xFC(=0～252 日) 無限：0xFD	unsigned char	1 Byte	日	Set/ Get			
手動沸き上げ OFF タイマ相対時間設定値	0xB5	タイマ値 HH:MM 0～0x17：0～0x3B (=0～23 時)：(=0～59 分)	unsigned char ×2	2 Byte	－	Set/ Get			
タンク運転モード設定	0xB6	運転モード設定を示す。 標準=0x41 節約=0x42 多め=0x43	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
昼間沸き増し許可設定	0xC0	昼間沸き増しの許可／禁止を示す。 昼間沸き増し許可＝0x41, 昼間沸き増し禁止＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get	○		
温水器湯温計測値	0xC1	温水器内の現在湯温を℃で示す。 0x00～0x64（0～100℃）	unsigned char	1 Byte	℃	Get			
警報発生状態	0xC2	何らかの警報の発生を示す。	unsigned	4	－	Get		○	

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

		1 バイト目 ビット 0：湯切れ警報 0　正常 1　発生 ビット 1 ：漏水警報 0　正常 1　発生 ビット 2 ：凍結警報 0　正常 1　発生 ビット 3-7 : for future reserved 2-4 バイト目 for future reserved	char ×4	Byte					
給湯中状態	0xC3	給湯中状態を示す。 給湯中=0x41，非給湯中=0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get	○	○	
風呂保温運転相対時間設定値	0xC4	タイマ値 HH:MM 0～0x17：0～0x3B (=0～23 時)：(=0～59 分)	unsigned char ×2	2 Byte	－	Set/ Get			
給湯温度設定値	0xD1	給湯温度設定値を℃で示す。 0x00～0x64（0～100℃）	unsigned char	1 Byte	℃	Set/ Get			
風呂温度設定値	0xD3	風呂温度設定値を℃で示す。 0x00～0x64（0～100℃）	unsigned char	1 Byte	℃	Set/ Get			
沸き上げ湯量設定値	0xE0	沸き上げ湯量設定値を%で示す。 0x00～0x64（0～100%）	unsigned char	1 Byte	%	Set/ Get			
残湯量計測値	0xE1	残湯量計測値をﾘｯﾄﾙで示す。 0x0000～0xFFFD(0～65533 ﾘｯﾄﾙ)	unsigned short	2 Byte	ﾘｯﾄﾙ	Get			
タンク容量値	0xE2	タンク容量値をﾘｯﾄﾙで示す。 0x0000～0xFFFD(0～65533 ﾘｯﾄﾙ)	unsigned short	2 Byte	ﾘｯﾄﾙ	Get			
風呂自動モード設定	0xE3	風呂自動モード入／解除 自動入＝0x41，自動解除＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get	Ⓜ		
浴室優先設定	0xE9	浴室優先入／切 浴室優先入＝0x41,浴室優先切＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get			
風呂動作状態監視	0xEA	風呂の状態を示す 湯張り中=0x41、保温中=0x43、停止中=0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get		○	
手動風呂追い焚き動作設定	0xE4	追い焚き入／切 追い焚き入＝0x41,追い焚き切＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
手動風呂足し湯動作 設定	0xE5	足し湯入／切 足し湯入＝0x41,足し湯切＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
手動風呂ぬるめ動作設定	0xE6	ぬるめ入／切 ぬるめ入＝0x41,ぬるめ切＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
風呂湯量設定 1	0xE7	風呂湯量をﾘｯﾄﾙの単位で示す。 0x00～0xFD (0～253 ﾘｯﾄﾙ)	unsigned char	1 Byte	ﾘｯﾄﾙ	Set/ Get			
風呂湯量設定 2	0xE8	風呂湯量を 8 段階で指定。 0x31～0x38	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
風呂湯量設定 3	0xEE	風呂湯量をﾘｯﾄﾙの単位で示す。	unsigned	2	ﾘｯﾄﾙ	Set/			

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

		0x0000～0xFFFD(0～65533 ﾘｯﾄﾙ)	short	Byte		Get			
風呂湯量設定 4	0xD4	風呂湯量を段階数で指定 0x01～0xFF	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
風呂湯量設定 4 設定可能最大レベル	0xD5	風呂湯量設定 4 の最大段階数 0x01～0xFF	unsigned char	1 Byte	－	Get			
ＯＮタイマ予約設定	0x90	予約入／予約切 予約入＝0x41, 予約切＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
ＯＮタイマ時刻設定値	0x91	時刻　HH:MM 0～0x17: 0～0x3B (=0～23):(=0～59)	unsigned char × 2	2 Byte	－	Set/ Get			
冬季 H/P ユニット定格消費電力	0xDB	冬季（12、1、2、3 月）の沸き上げ時の定格消費電力を示す 0x0000～0xFFFD(0～65533)	unsigned short	2 Byte	W	Get			
中間期 H/P ユニット定格消費電力	0xDC	中間期（4、5、10、11 月）の沸き上げ時の定格消費電力を示す 0x0000～0xFFFD(0～65533)	unsigned short	2 Byte	W	Get			
夏季 H/P ユニット定格消費電力	0xDD	夏季（6、7、8、9 月）の沸き上げ時の定格消費電力を示す 0x0000～0xFFFD(0～65533)	unsigned short	2 Byte	W	Get			

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)　動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）

本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)　沸き上げ自動設定

タンク内の沸き上げを自動的に行うか否かの設定を示す。自動沸き上げ状態を 0x41 とする。また、沸き上げ設定を手動で行った状態を 0x42 とし、沸き上げ停止設定を手動で行った状態を 0x43 とする。

(3)　沸き上げ湯温自動設定

タンク内の沸き上げ湯温設定値を、電気温水器の自動設定アルゴリズム等により、自動で設定するか否かの設定を示す。自動(AUTO)状態を 0x41 とし、非自動状態の場合は 0x42 とする。

(4)　沸き上げ中状態

電気温水器のタンク内の水が、現在沸き上げ中であるか否かの状態を、沸き上げ中：0x41, 非沸き上げ中：0x42 で示す。

(5)　沸き上げ湯温設定値

タンク内の沸き上げ湯温の設定値を℃の単位で示す。プロパティ値の範囲は、0x00～0x64(0

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

～100℃)とする。「沸き上げ湯温自動設定」が AUTO 状態であるために本プロパティで表す温度設定目標値が不明となってしまう場合に本プロパティがとる値は 0 xFD（沸き上げ湯温設定値不明）とする。

(6) 手動沸き上げ停止日数設定値

「沸き上げ自動設定」（EPC=0xB0）が手動沸き上げ停止（=0x43）の場合に自動沸き上げ（=0x41）に戻るまでの日数を設定し、更新した日数を取得する。設定範囲は 0x00～0xFC（0～252 日)。自動沸き上げ（=0x41）に戻るまでの日数が無限の場合は 0xFD とする。実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFF、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0xFE を用いるものとする。本プロパティは「沸き上げ自動設定」（EPC=0xB0）が手動沸き上げ停止（=0x43）のときにのみ有効なデータとする。

(7) 手動沸き上げ OFF タイマ相対時間設定値

「沸き上げ自動設定」（EPC=0xB0）の手動沸き上げ（=0x42）が自動沸き上げ（=0x41）に戻るまでの時間を現在時刻からの相対時間で設定し、更新された時間を取得する。データ形式は、時：0x00～0x17（0～23)、分：0x00～0x3B（0～59）とし、時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。本プロパティは「沸き上げ自動設定」（EPC=0xB0）が手動沸き上げ（=0x42）のときにのみ有効なデータとする。

(8) タンク運転モード設定

タンクにお湯を沸き上げる運転モード設定を示す。本プロパティは、「沸き上げ自動設定」（EPC=0xB0）が「自動沸き上げ：0x41」のときに有効になり、プロパティ値は、標準：0x41、節約：0x42、多め：0x43、とする。

「節約」とは､使用できるお湯の量が標準よりも少なく､消費電力量が小さいモードである。

「多め」とは、使用できるお湯の量が標準よりも多く、消費電力量が大きいモードである。

(9) 昼間沸き増し許可設定

タンク内の昼間時間帯の沸き増しの許可／禁止を示す。プロパティ値は、昼間沸き増し許可：0x41、昼間沸き増し禁止：0x42 とする。

(10) 温水器湯温計測値

タンク内の現在湯温を℃の単位で示す。プロパティ値の範囲は、0x00～0x64(0～100℃)とする。

(11) 警報発生状態

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

湯切れ警報

沸き上げ制御時に、HEMS 等から沸き上げ禁止設定された時、或いは禁止設定中に湯切れの可能性を検出した際に出力する。

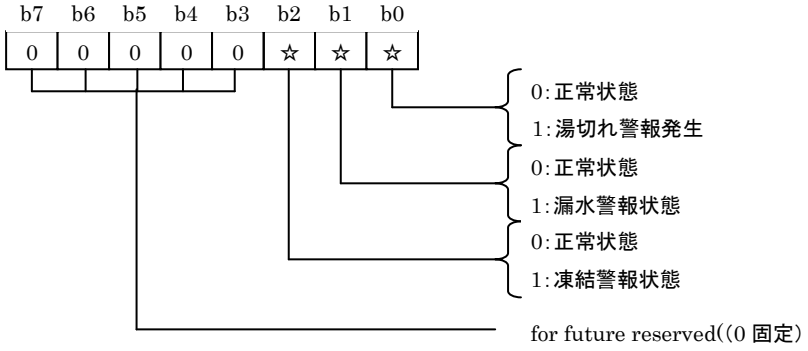
漏水警報

日常想定できる使用時間以上の長時間にわたり出湯し続けていることを検出した場合に出力する。

凍結警報

機器内部および外部の設置配管が凍結の可能性を検出した場合に出力する。

1 バイト目



2-4 バイト目

for future reserved (0 固定)

b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
0	0	0	0	0	0	0	0

(12) 給湯中状態

台所の蛇口や浴室のシャワーなどでお湯を使用している状態であるか否かを、給湯中:0x41、非給湯中：0x42 で示す。本プロパティの給湯は、風呂湯はりは除くものとする。
生活者の見守りサービスのために、状変時アナウンスを必須とする。

(13) 風呂保温運転相対時間設定値

「風呂動作状態監視」（EPC=0xEA）の保温中の時間を相対値で設定する。データ形式は、時：0x00～0x17（0～23)、分：0x00～0x3B（0～59）とし、時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。

(14) 給湯温度設定値

電気温水器が給湯端末に供給する湯の温度設定値を℃の単位で表す。プロパティ値の範囲は、

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

0x00～0x64 (0～100℃)とする。

(15) 風呂温度設定値
風呂沸き上がり温度設定値を℃の単位で示す。プロパティ値の範囲は、0x00～0x64 (0～100℃)とする。

(16) 沸き上げ湯量設定値
沸き上げる湯量のタンク容量に占める割合を%の単位で設定する。プロパティ値の範囲は、0x00～0x64(0～100%)とする。

(17) 残湯量計測値
タンク内に残っている湯量をﾘｯﾄﾙの単位で表す。プロパティ値の範囲は、0x0000～0xFFFD(0～65533 ﾘｯﾄﾙ)とし、実機器のプロパティ値がプロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFFFF、実機器のプロパティ値がプロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0xFFFE を用いるものとする。

(18) タンク容量値
タンク容量値をﾘｯﾄﾙの単位で示す。プロパティ値の範囲は、0x0000～0xFFFD(0～65533 ﾘｯﾄﾙ)とし、実機器のプロパティ値がプロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFFFF、実機器のプロパティ値がプロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0xFFFE を用いるものとする。

(19) 風呂自動モード設定
風呂自動モード入／切を示す。プロパティ値は、風呂自動入：0x41、風呂自動解除：0x42 とする。「モバイルサービス」に対応する場合、本プロパティの搭載は必須とする。

(20) 浴室優先設定
温水器の制御・操作が浴室優先状態であるか否かを、浴室優先入：0x41、浴室優先切：0x42 で示す。安全性を考慮し、Get のみとする。優先される内容については実装依存とする。機器実装例：浴室優先入の場合には、浴室内のリモコンのみ給湯温度の変更操作が可能で、その他のリモコンや HEMS などからの給湯温度の操作を禁止としている。

(21) 風呂動作状態監視
風呂自動モード時の浴槽の状態監視を行う。
風呂自動モード設定（風呂自動入：0x41）時の、風呂浴槽の状態を監視し、湯張り中：0x41、保温中：0x43、停止中：0x42 を示す。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

(19)風呂自動モード設定で「風呂自動入」の時の、風呂動作状態を示す。
湯張り中：湯張り、湯張り完了の目標温度設定値までの追い焚きを含む
保温中　：保温中状態の足し湯・追い焚き等を含む
風呂自動モード設定で「風呂自動解除」の時の、風呂動作状態監視は、「停止中」になる。

(22) 手動風呂追い焚き動作設定
風呂追い焚き動作入／切を示す。プロパティ値は、風呂追い焚き動作入：0x41、風呂追い焚き動作解除：0x42 とする。

(23) 手動風呂足し湯動作設定
風呂足し湯動作入／切を示す。プロパティ値は、風呂足し湯動作入：0x41、風呂足し湯動作解除：0x42 とする。

(24) 手動風呂ぬるめ動作設定
風呂ぬるめ動作の ON/OFF 設定を、風呂ぬるめ動作入：0x41、風呂ぬるめ動作切：0x42 で示す。風呂ぬるめ動作 ON の時は、風呂に足し水を行うなどして風呂湯温を下げる動作を行う。

(22) 手動風呂追い焚き動作設定、(23)手動風呂足し湯動作設定、(24)手動風呂ぬるめ動作設定は、湯張り中を除く(19)風呂自動モード設定の設定に関わらず、設定が可能である。

(25) 風呂湯量設定 1
風呂湯量設定を、ﾘｯﾄﾙの単位で示す。プロパティ値の範囲は、0x00～0xFD (0～253L)とし、、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFF 、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0xFE を用いるものとする。

(26) 風呂湯量設定 2
風呂湯量設定を 8 段階のレベルで設定する。0x31 を最小値、0x38 を最大値とする.。各レベルの具体的な値については、規定しない。

(27) 風呂湯量設定 3
風呂湯量設定を、ﾘｯﾄﾙの単位で示す。プロパティ値の範囲は、0x0000～0xFFFD(0～65533 ﾘｯﾄﾙ)とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFFFF 、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコ

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

ード 0xFFFE を用いるものとする。

(28) 風呂湯量設定 4

風呂湯量設定をレベルで設定する。0x01 を最小値、風呂湯量設定 4 設定可能最大レベルを最大値とする.。各レベルの具体的な値については、規定しない。本プロパティは、「風呂湯量設定 4 設定可能最大レベル」と関連する。

(29) 風呂湯量設定 4 設定可能最大レベル

風呂湯量設定 4 の設定可能レベルの最大値を示す。0x01 を最小値、0xFF を最大値とする.。各レベルの具体的な値については、規定しない。本プロパティは、「風呂湯量設定 4」と関連する。

(30) 冬季 H/P ユニット定格消費電力

冬季のヒートポンプの定格消費電力を W の単位で示す。(出湯温度 65℃、給水温度 9℃)プロパティの値域は、0x0000～0xFFFD(0～65533)とし、実機器のプロパティ値が、プロパティ値域を超える場合はオーバーフローコード 0xFFFF、プロパティ値を下回る場合は、アンダーフローコード 0xFFFE を用いるものとする。

(31) 中間期 H/P ユニット定格消費電力

中間期のヒートポンプの定格消費電力を W の単位で示す。(出湯温度 65℃、給水温度 17℃)プロパティの値域は、0x0000～0xFFFD(0～65533)とし、実機器のプロパティ値が、プロパティ値域を超える場合はオーバーフローコード 0xFFFF、プロパティ値を下回る場合は、アンダーフローコード 0xFFFE を用いるものとする。

(32) 夏季 H/P ユニット定格消費電力

夏季のヒートポンプの定格消費電力を W の単位で示す。(出湯温度 65℃、給水温度 24℃)プロパティの値域は、0x0000～0xFFFD(0～65533)とし、実機器のプロパティ値が、プロパティ値域を超える場合はオーバーフローコード 0xFFFF、プロパティ値を下回る場合は、アンダーフローコード 0xFFFE を用いるものとする。

(33) ＯＮタイマ予約設定

風呂自動モードの予約状態の予約入／予約切を示す。プロパティ値は、予約入：0x41、予約切：0x42 とする。本プロパティは、「ＯＮタイマ時刻設定値」と関連する。

(34) ＯＮタイマ時刻設定値

「ＯＮタイマ予約設定」が入の場合に、風呂自動モード設定（EPC＝0xE3）が風呂自動入

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

＝0x41 になる時刻を、時：0x00～0x17(0～23)、分：0x00～0x3B(0～59)で示す。時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．３．９ 電気便座（温水洗浄便座・暖房便座など）クラス規定

クラスグループコード　：　0x02
クラスコード　：　0x6E
インスタンスコード　：　0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
便座温度レベル設定	0xE0	低～高（10 段階） 0x31 が最低、0x3A が最高レベル 0x31～0x3A	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
便座ヒータ設定	0xE1	ON／OFF ON＝0x41，OFF＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get	○		
便座ヒータ一時停止設定	0xE2	連続設定／一回設定／設定なし 連続設定＝0x41, 一回設定=0x42，設定なし＝0x43	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
便座ヒータ一時停止開始時刻設定値	0xE3	一時停止開始時刻 タイマ値 HH:MM 0～0x17: 0～0x3B (=0～23):(=0～59)	unsigned char ×2	2 Byte	－	Set/ Get			
便座ヒータ一時停止時間設定値	0xE4	一時停止時間 タイマ値 HH:MM 0～0x17: 0～0x3B (=0～23):(=0～59)	unsigned char ×2	2 Byte	－	Set/ Get			
部屋暖房温度レベル設定	0xE5	低／中／高 0x31／0x32／0x33	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
部屋暖房設定	0xE6	部屋暖房 ON／部屋暖房 OFF／タイマモード設定 0x41／0x42／0x43	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
部屋暖房状態	0xE7	部屋暖房 ON／部屋暖房 OFF ON＝0x41，OFF＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get			
部屋暖房開始時刻設定値	0xE8	タイマ値 HH:MM 0～0x17: 0～0x3B (=0～23):(=0～59)	unsigned char ×2	2 Byte	－	Set/ Get			
部屋暖房運転時間設定値	0xE9	運転時間　HH:MM 0～0x17: 0～0x3B (=0～23):(=0～59)	unsigned char ×2	2 Byte	－	Set/ Get			
特別運転モード設定	0xEA	部屋暖房の特別運転モードを設定し、設定状態を取得する。 設定なし：0x40 冷え込み防止：0x41 for future reserved：0x42～	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
人体検知状態	0xEB	人体検知有無を示す。	unsigned	1	－	Get			

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

		人体検知有＝0x41，人体検知無＝0x42	char	Byte					
着座検知状態	0xEC	着座検知有無を示す。 着座検知有＝0x41，着座検知無＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get			

(1)動作状態（スーパークラスのプロパティを継承）

暖房便座が、制御受付が可能な状態（ON 状態）であるか否か（OFF 状態）を示す。ON 状態には 0x30 を、OFF 状態には 0x31 を対応させる。暖房便座クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、暖房便座が制御受付可能状態になる場合は、本プロパティを固定値 0x30 で実装することも可能である。このプロパティが OFF(０ｘ３１)のときは、本規格で特別に規定されている場合を除いて、その他のプロパティで取得した値は保証されるものではない。

(2)便座温度レベル設定

便座の暖める設定温度を　低～高の１０段階とし、0x31～0x3A で示す。0x31 が最低レベルで、0x3A が最高レベルを示す。動作状態プロパティ（0x80）が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(3)便座ヒータ設定

便座ヒータの ON、OFF を設定する。便座ヒータ ON＝0x41,便座ヒータ OFF＝0x42

(4)便座ヒーター一時停止設定

便座ヒータの一時停止を設定し、設定状態を取得する。一時停止設定には、常に設定が有効である連続設定と、一時停止が解除されると無効になる一回設定がある。本プロパティは、「便座ヒーター一時停止開始時刻設定」と、「便座ヒーター一時停止時間設定」と関連する。

連続設定＝0x41,一回設定＝0x42,設定なし=0x43

(5)便座ヒーター一時停止開始時刻設定値

便座ヒーター一時停止設定が連続設定もしくは一回設定の場合に、便座ヒータが OFF になる時刻を時：0x00～0x17(0～23)、分：0x00～0x3B(0～59)で示す。時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。

(6)便座ヒーター一時停止時間設定値

便座ヒーター一時停止開始から便座ヒータがＯＮになるまでの時間を設定し、設定状態を取得する。データ形式は、時：0x00～0x17(0～23)、分：0x00～0x3B(0～59)とし、時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。

(7)部屋暖房温度レベル設定

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

部屋暖房の設定温度を　低／中／高の３段階とし、0x31／0x32／0x33 で示す。動作状態プロパティ（0x80）が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(8)部屋暖房設定

部屋暖房の ON、OFF、タイマモードを設定する。本プロパティは、「部屋暖房開始時刻設定」もしくは、「部屋暖房運転時間設定」と関連する。

部屋暖房 ON＝0x41,部屋暖房 OFF＝0x42、タイマモード設定＝0x43

(９)部屋暖房状態

部屋暖房の ON、OFF 状態を取得する。

部屋暖房 ON＝0x41,部屋暖房 OFF＝0x42

(10)部屋暖房開始時刻設定値

部屋暖房タイマモード設定の場合に、部屋暖房機が ON になる時刻を時：0x00～0x17(0～23)、分：0x00～0x3B(0～59)で示す。時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。

(11)部屋暖房運転時間設定

部屋暖房タイマモード設定の場合に、部屋暖房機が ON になる時間を開始時刻からの運転時間で示す。データ形式は、時：0x00～0x17(0～23)、分：0x00～0x3B(0～59)とし、時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。

(12)特別運転モード設定

部屋暖房のより詳細な運転モードを設定し、設定状態を取得する。プロパティ値は、冷え込み防止を 0x41、設定なしを 0x40 とする。プロパティ値のとる値については、本クラスを実装する実機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。

動作状態プロパティ（0x80）がＯＦＦ（0x31）の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(13)人体検知状態

人体検知有、無状態を示す。本プロパティ値は状態が変化するまで値は保持される。

人体検知有＝0x41，人体検知無＝0x42

(14)着座検知状態

着座検知有、無状態を示す。本プロパティ値は状態が変化するまで値は保持される。

着座検知有＝0x41，着座検知無＝0x42

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

３．３．１０ 電気錠クラス規定

クラスグループコード　：　0x02
クラスコード　：　0x6F
インスタンスコード　：　0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
施錠設定１	0xE0	主電気錠の施錠・解錠 施錠＝0x41，解錠＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get	○	○	
施錠設定２	0xE1	副電気錠の施錠・解錠 施錠＝0x41，解錠＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
ドアガード施錠状態	0xE2	ドアガードの施錠状態 施錠＝0x41，解錠＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get			
扉開閉状態	0xE3	扉の開閉状態 開＝0x41，閉＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get			
在室・不在状態	0xE4	人の在室・不在状態 在室＝0x41，不在＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get			
警報状態	0xE5	電気錠の警報状態 通常状態（警報なし）＝0x40 こじ開け＝0x41，扉開放＝0x42 手動解錠＝0x43，タンパ＝0x44	unsigned char	1 Byte	－	Get		○	
自動施錠モード設定	0xE6	自動施錠モードの入切を設定し、設定状態を取得する 入＝0x41，切＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
電池残量状態	0xE7	電池残量が低下し、電池交換が必要な状態を取得する 通常＝0x40，交換通知有＝0x41	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get		○	

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）

電気錠が、制御受付が可能な状態（ON 状態）であるか否か（OFF 状態）を示す。ON 状態には 0x30 を、OFF 状態には 0x31 を対応させる。電気錠クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、電気錠が制御受付可能状態になる場合は、本プロパティを固定値 0x30 で実装することも可能である。このプロパティが OFF(０x31)のときは、本規格で特別に規定されている場合を除いて、その他のプロパティで取得した値は保証されるものではない。

(2)施錠設定１

主電気錠の施錠・解錠を設定し、施錠状態を取得する。施錠状態の場合 0x41 とし、解錠状態の

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

場合は 0x42 とする。

(3)施錠設定２

主電気錠と同じ扉に設置された副電気錠の施錠・解錠を設定し、施錠状態を取得する。施錠状態の場合 0x41 とし、解錠状態の場合は 0x42 とする。

(4)ドアガード状態

電気錠が、ドアをある一定の隙間しか開けられない「ドアガード」の状態であるか否かを取得する。ドアガード状態の場合を 0x41 とし、ドアガード状態でない場合を 0x42 とする。

(5)扉開閉状態

主電気錠と副電気錠が設置された扉の開閉状態を取得する。開状態を 0x41、閉状態を 0x42 とする。

(6)在室・不在状態

人の在室・不在の状態を示す。在室状態を 0x41、不在状態を 0x42 とする。

(7)警報状態

電気錠の警報状態を示す。通常状態（警報なし）を 0x40、こじ開け状態を 0x41，扉開放状態を 0x42、手動解錠状態を 0x43，タンパ状態を 0x44 とする。

それぞれの警報の意味合い例を以下に示す。

・こじ開け：施錠状態で扉が開いた場合
・扉開放：ある一定時間以上扉が開いている場合
・手動解錠：電気的な解錠以外は NG としている場合に手動で解錠した場合
・タンパ（tamper）：電気錠のカバーを外される等のいたずらをされた場合

(8)自動施錠モード設定

電気錠の自動施錠モードの入切を設定し、設定状態を取得する。自動モード入りとは、電気錠を解錠後、扉が閉まったら自動的に施錠する。切りの場合は、扉が閉まっても施錠せず解錠のままで、即ち施錠設定で設定した状態を保持する。

(9)電池残量状態

電池式の電気錠において、通常の状態を 0x40、電池の残量が電池交換を促すための設定値を下回った場合（電池交換通知有）に 0x41 とし、状態を取得する。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．３．１１ 瞬間式給湯器クラス規定

クラスグループコード　：0x02
クラスコード　　：0x72
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時アナウンス	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
給湯器燃焼状態	0xD0	給湯器燃焼状態を示す。 給湯燃焼状態有＝0x41，無＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get	○		
給湯温度設定値	0xD1	給湯温度設定値を℃で示す。 0x00～0x64 (0～100)	unsigned char	1 Byte	℃	Set/ Get			
給湯保温設定	0xD2	給湯保温設定 給湯保温動作＝0x41, 給湯保温動作解除＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
自動運転時間設定値	0xDA	タイマ値 HH:MM 0～0x17: 0～0x3B (=0～23):(=0～59) 無限：0xFFFF	unsigned char ×2	2 Byte	－	Set/ Get			
自動運転残時間	0xDB	タイマ値 HH:MM 0～0x17: 0～0x3B (=0～23):(=0～59) 無限：0xFFFF	unsigned char ×2	2 Byte	－	Get			
風呂温度設定値	0xE1	風呂温度設定値を℃で示す。 0x00～0x64 (0～100)	unsigned char	1 Byte	℃	Set/ Get			
風呂給湯器燃焼状態	0xE2	風呂給湯器の燃焼状態を示す。 燃焼状態有＝0x41，無＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get	○		
風呂自動モード設定	0xE3	風呂自動モード入／解除 自動入＝0x41,自動解除＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get	Ⓜ		
風呂追い焚き動作設定	0xE4	追い焚き入／切 追い焚き入＝0x41,追い焚き切＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
風呂足し湯動作設定	0xE5	足し湯入／切 足し湯入＝0x41,足し湯切＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
風呂ぬるめ動作設定	0xE6	ぬるめ入／切 ぬるめ入＝0x41,ぬるめ切＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
風呂湯量設定１	0xE7	風呂湯量をﾘｯﾄﾙの単位で示す。 0x00～0xFD (0～253 ﾘｯﾄﾙ)	unsigned char	1 Byte	ﾘｯﾄﾙ	Set/ Get			
風呂湯量設定２	0xE8	風呂湯量を８段階で指定。 0x31～0x38	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
風呂湯量設定３	0xEE	風呂湯量をﾘｯﾄﾙの単位で示す。 0x0000～0xFFFD (0～65533 ﾘｯﾄﾙ)	unsigned short	2 Byte	ﾘｯﾄﾙ	Set/ Get			
風呂湯量設定４	0xD4	風呂湯量を段階数で指定	unsigned	1	－	Set/			

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

		0x01～0xFF	char	Byte		Get			
風呂湯量設定 4 設定可能最大レベル	0xD5	風呂湯量設定 4 の最大段階数 0x01～0xFF	unsigned char	1 Byte	－	Get			
浴室優先設定	0xE9	浴室優先入／切 浴室優先入＝0x41,浴室優先切＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
シャワー給湯状態	0xEA	シャワー給湯状態有／無 シャワー給湯状態有＝0x41, シャワー給湯状態無＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get			
台所給湯状態	0xEB	台所給湯状態有／無 台所給湯状態有＝0x41, 台所給湯状態無＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get			
給湯保温 ON タイマ予約設定	0xEC	予約入／予約切 予約入＝0x41,予約切＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
給湯保温 ON タイマ時刻設定値	0xED	タイマ値 HH:MM 0～0x17: 0～0x3B (=0～23):(=0～59)	unsigned char ×2	2 Byte	－	Set/ Get			
風呂自動 ON タイマ 予約設定	0x90	予約入／予約切 予約入＝0x41,予約切＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
風呂自動 ON タイマ 時刻設定値	0x91	タイマ値 HH:MM 0～0x17: 0～0x3B (=0～23):(=0～59)	unsigned char ×2	2 Byte	－	Set/ Get			
風呂自動 ON タイマ 相対時間設定値	0x92	タイマ値 HH:MM 0～0x17: 0～0x3B (=0～23):(=0～59)	unsigned char ×2	2 Byte	－	Set/ Get			

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

本クラスは、ガス・灯油などの化石燃料を使った瞬間式給湯器、およびヒートポンプを使った瞬間式給湯器の場合に使用し、貯湯式の場合は「電気温水器」クラス(ｸﾗｽｺｰﾄﾞ 0x026B)の使用を推奨する。
瞬間式給湯器には、給水側からの水を燃焼部で熱交換する機能を持つ給湯器と、浴槽に貯めてある湯または水を風呂燃焼部において熱交換しながら循環させる機能を持つ風呂給湯器の両方を含むものとし、「給湯(機)」と「風呂給湯(機)」で区別する。尚、「足し湯」は、「給湯(機)」に属する。また、「給湯(機)」と「風呂給湯(機)」両方を示す場合においては「瞬間式給湯器」として区分する。

(1)　動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）
瞬間式給湯器が、制御受付が可能な状態(ON 状態)であるか否か(OFF 状態)を示す。ON 状態には 0x30 を、OFF 状態には 0x31 を対応させる。瞬間式給湯器クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、瞬間式給湯器が制御受付可能状態になる場合は、本プロパティを固定値 0x30 で実装することも可能である。このプロパティが OFF(0x31)のときは、本規格で特別に規定されている場合を除いて、その他のプロパティで取得した値は保証されるものではない。

(2)　給湯器燃焼状態
給湯器が燃焼状態であるか否かを、燃焼中有：0x41、燃焼中無：0x42 で示す。
ヒートポンプ式の場合は、圧縮機が動作中の場合に燃焼中有：0x41、停止中の場合に燃焼中無：0x42 で示す。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

給湯器とは別の風呂給湯器を有する場合、風呂給湯器の燃焼状態は風呂機燃焼状態プロパティ（EPC：E2）を実装すること。

(3) 給湯温度設定値

給湯器が給湯端末に供給する湯の温度設定値を℃の単位で表す。プロパティ値の範囲は、0x00～0x64 (0～100℃)とする。

(4) 給湯保温設定

給湯保温状態の ON/OFF 設定を、給湯保温動作：0x41、給湯保温動作解除：0x42 で示す。
給湯保温動作とは、給湯器から給湯端末に至る部分の保温機能を指し、サブタンク保温方式や給水の循環保温方式などの保温機能がある。

(5) 自動運転時間設定値

風呂自動モード設定（EPC＝0xE3）が自動解除＝0x42 になるまでの時間を示し、風呂自動モード設定が「自動入」になった時点からの相対時間で示す。データ形式は、時：0x00～0x17(0～23)、分：0x00～0x3B(0～59)とし、時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。
自動解除＝0x42 になるまでの時間が無限の場合は、0xFFFF を設定する。
本プロパティは、時間が経過しても更新されず設定値が継続され、自動運転残時間（EPC：0xDB）プロパティで状態を得る。

(6) 自動運転残時間

風呂自動モード設定（EPC＝0xE3）が自動解除＝0x42 になるまでの残り時間を示す。
データ形式は、時：0x00～0x17(0～23)、分：0x00～0x3B(0～59)とし、時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。
自動解除＝0x42 になるまでの残時間が無限の場合は、0xFFFF で示される。

(7) 風呂温度設定値

風呂沸き上がり温度設定値を℃の単位で示す。プロパティ値の範囲は、0x00～0x64（0～100℃）とする。また、給湯器で風呂保温機能（自動足し湯による保温）を実装する場合では風呂保温温度を兼ねることが出来る。

(8) 風呂給湯器燃焼状態

風呂給湯器が燃焼状態であるか否かを、燃焼中有：0x41、燃焼中無：0x42 で示す。
風呂給湯器燃焼状態は、給湯器と独立した風呂給湯器の燃焼状態を示し、給湯器燃焼状態(EPC：0xD0)とは独立した状態を示す。
風呂給湯器が無い給湯器においては、常に燃焼中無：0x42 としプロパティを実装すること。

ヒートポンプ式の場合は、圧縮機が動作中の場合に燃焼中有：0x41、停止中の場合に燃焼中無：0x42 で示す。
また、熱交換器が一体型の場合、切り替え弁の状態に置き換えてもよい。

(9) 風呂自動モード設定

風呂自動モード入／切を示す。プロパティ値は、風呂自動入：0x41、風呂自動解除：0x42 とする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

風呂自動モードの定義は給湯器により仕様の差があるため、実装依存とする。一般には、「湯張り、足し湯、追い焚き、保温」の一連動作や「開栓（排水）、洗浄、閉栓、湯張り、足し湯、追い焚き、保温」などの一連動作をさす。「モバイルサービス」に対応する場合、本プロパティの搭載は必須とする。

(10) 風呂追い焚き動作設定

風呂追い焚き動作入／切を示す。プロパティ値は、風呂追い焚き動作入：0x41、風呂追い焚き動作解除：0x42 とする。

(11) 風呂足し湯動作設定

風呂足し湯動作入／切を示す。プロパティ値は、風呂足し湯動作入：0x41、風呂足し湯動作解除：0x42 とする。

(12) 風呂ぬるめ動作設定

風呂ぬるめ動作の ON/OFF 設定を、風呂ぬるめ動作入：0x41、風呂ぬるめ動作切：0x42 で示す。
風呂ぬるめ動作 ON の時は、風呂に足し水を行うなどして風呂湯温を下げる動作を行う。

(13) 風呂湯量設定 1

風呂湯量設定を、ﾘｯﾄﾙの単位で示す。プロパティ値の範囲は、0x00～0xFD (0～253L)とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFF 、
実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0xFE
を用いるものとする。
風呂湯量設定 1 プロパティと風呂湯量設定 2（EPC：0xE8）または風呂湯量設定 3（EPC：0xEE）を同時に実装する場合は、それぞれが連動しなければならない。

(14) 風呂湯量設定 2

風呂湯量設定を 8 段階のレベルで設定する。0x31 を最小値、0x38 を最大値とする.。各レベルの具体的な値については、規定しない。
風呂湯量設定 2 プロパティと風呂湯量設定 1（EPC：0xE7）または風呂湯量設定 3（EPC：0xEE）を同時に実装する場合は、それぞれが連動しなければならない。

(15) 風呂湯量設定 3

風呂湯量設定を、ﾘｯﾄﾙの単位で示す。プロパティ値の範囲は、0x0000～0xFFFD(0～65533 ﾘｯﾄﾙ)とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFFFF 、
実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0xFFFE を用いるものとする。
風呂湯量設定 3 プロパティと風呂湯量設定 1（EPC：0xE7）または風呂湯量設定 2（EPC：0xE8）を同時に実装する場合は、それぞれが連動しなければならない。

(16) 風呂湯量設定 4

風呂湯量設定をレベルで設定する。0x01 を最小値、風呂湯量設定 4 設定可能最大レベルを最大値とする.。各レベルの具体的な値については、規定しない。本プロパティは、「風呂湯量設定 4 設定可能最大レベル」と関連する。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

(17) 風呂湯量設定 4 設定可能最大レベル

風呂湯量設定 4 の設定可能レベルの最大値を示す。0x01 を最小値、0xFF を最大値とする.。各レベルの具体的な値については、規定しない。本プロパティは、「風呂湯量設定 4」と関連する。

(18) 浴室優先状態

給湯器の制御・操作が浴室優先状態であるか否かを、浴室優先有：0x41、浴室優先無：0x42 で示す。

優先される内容については実装依存とする。

(19) シャワー給湯状態

シャワー利用による給湯状態（シャワーを使用している状態）であるか否かを、シャワー給湯状態有：0x41、シャワー給湯状態無：0x42 で示す。

(20) 台所給湯状態

台所での利用による給湯状態であるか否かを、台所給湯状態有：0x41、台所給湯状態無：0x42 で示す。

(21) 給湯保温 ON タイマ予約設定

給湯保温の ON タイマの予約の入、切を設定する。本プロパティは、「給湯保温 ON タイマ時刻設定値」と関連する。

(22) 給湯保温 ON タイマ時刻設定値

「給湯保温 ON タイマ予約状態」が入の場合に、給湯保温状態（EPC＝0xD2）が給湯保温入＝0x41 になる時刻を、時：0x00～0x17(0～23)、分：0x00～0x3B(0～59)で示す。

時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。

(23) 風呂自動 ON タイマ予約設定

ON タイマの予約の入､切を設定する｡本プロパティは、「ON タイマ時刻設定値」もしくは、「ON タイマ相対時間設定値」と関連する。

(24) 風呂自動 ON タイマ時刻設定値

「風呂自動 ON タイマ予約状態」が入の場合に、風呂自動モード設定（EPC＝0xE3）が風呂自動入＝0x41 になる時刻を、時：0x00～0x17(0～23)、分：0x00～0x3B(0～59)で示す。時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。

(25) 風呂自動 ON タイマ相対時間設定値

「風呂自動 ON タイマ予約状態」が入の場合に、風呂自動モード設定（EPC＝0xE3）が風呂自動入＝0x41 になる時間を、現在時刻からの相対時間で示す。データ形式は、時：0x00～0x17(0～23)、分：0x00～0x3B(0～59)とし、時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．３．１２ 浴室暖房乾燥機クラス規定

クラスグループコード　：0x02
クラスコード　　：0x73
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時アナウンス	備考
動作状態	0x80	ON／OFFの状態を示す。 ON :0x30 OFF :0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
運転設定	0xB0	換気／入浴前予備暖房／入浴中暖房／乾燥／涼風の各運転モードと停止を設定し、設定状態を取得する。 換気運転 :0x10 入浴前予備暖房運転 :0x20 入浴中暖房運転 :0x30 乾燥運転 :0x40 涼風運転 :0x50 停止 :0x00	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get	○		
換気運転設定	0xB1	換気モード時の換気風量レベルを設定し、設定状態を取得する。 自動 :0x41 標準 :0x42 風量レベル :0x31～38	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
入浴前予備暖房運転設定	0xB2	入浴前予備暖房モード時の運転能力レベルを設定し、設定状態を取得する。 自動 :0x41 標準 :0x42 能力レベル :0x31～38	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get	○		
入浴中暖房運転設定	0xB3	入浴中暖房モード時の運転能力レベルを設定し、設定状態を取得する。 自動 :0x41 標準 :0x42 能力レベル :0x31～38	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
乾燥運転設定	0xB4	乾燥モード時の運転能力レベルを設定し、設定状態を取得する。 自動 :0x41 標準 :0x42 能力レベル :0x31～38	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get	○		
涼風運転設定	0xB5	涼風モード時の運転能力レベルを設定し、設定状態を取得する。 自動 :0x41 標準 :0x42 能力レベル :0x31～38	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
室内相対湿度計測値	0xBA	浴室内の相対湿度計測値を取得する。 0x00～0x64 (0～100%)	unsigned char	1 Byte	%	Get			
室内温度計測値	0xBB	浴室内の温度計測値を取得する。 0x81～0x7D (-127～125℃)	signed char	1 Byte	℃	Get			
換気風量設定	0xC2	24時間換気の風量レベルを設定し、設定状態を取得する。	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

		自動 :0x41 風量レベル :0x31～38							
フィルタサイン設定	0xCF	フィルタサインの点灯／消灯を設定し、状態を取得する。 点灯 :0x41 消灯 :0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
人体検知状態	0xE0	人体検知の状態を取得する。 人体検知あり :0x41 人体検知なし :0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get			
ONタイマ予約設定1	0x90	予約入／予約切を設定し、設定状態を取得する。 予約入 :0x41 予約切 :0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
ONタイマ予約設定2	0xE1	運転開始時のモードを設定して予約入／予約切を設定し、設定状態を取得する。 換気運転予約 :0x10 入浴前予備暖房運転予約 :0x20 入浴中暖房運転予約 :0x30 乾燥運転予約 :0x40 涼風運転予約 :0x50 予約切 :0x00	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
ONタイマ時刻設定値	0x91	タイマ値 HH:MM を設定し、設定状態を取得する。 0～0x17: 0～0x3B (=0～23):(=0～59)	unsigned char ×2	2 Byte	－	Set/ Get			
ONタイマ相対時間設定値	0x92	タイマ値 HH:MM を設定し、設定状態を取得する。 0～0x17：0～0x3B (=0～23)：(=0～59)	unsigned char ×2	2 Byte	－	Set/ Get			
OFFタイマ予約設定	0x94	予約入／予約切を設定し、設定状態を取得する。 予約入 :0x41 予約切 :0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
OFFタイマ時刻設定値	0x95	タイマ値 HH:MM を設定し、設定状態を取得する。 0～0x17：0～0x3B (=0～23)：(=0～59)	unsigned char ×2	2 Byte	－	Set/ Get			
OFFタイマ相対時間設定値	0x96	タイマ値 HH:MM を設定し、設定状態を取得する。 0～0x17：0～0x3B (=0～23)：(=0～59)	unsigned char ×2	2 Byte	－	Set/ Get			

注1） 状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1) 動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）

浴室暖房乾燥機が、制御受付が可能な状態（ON状態）であるか否か（OFF状態）を示す。

ON状態には0x30 を、OFF状態には0x31を対応させる。

浴室暖房乾燥機クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、浴室暖房乾燥機が制御受付可能状態になる場合は、本プロパティを固定値0x30で実装することも可能である。

このプロパティがOFF(0x31)のときは、本規格で特別に規定されている場合を除いて、その他のプロパティで取得した値は保証されるものではない。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

(2)　運転設定

浴室暖房乾燥機の換気／入浴前予備暖房／入浴中暖房／乾燥／涼風の各運転モード及び停止を設定し、設定状態を取得する。各運転モードには、それぞれ下記のコードを割り当てる。

換気運転	：0x10
入浴前予備暖房運転	：0x20
入浴中暖房運転	：0x30
乾燥	：0x40
涼風	：0x50
停止	：0x00

なお、プロパティ値のとる値については、本クラスを実装する実機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。

動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(3)　換気運転設定

換気モード時の換気風量レベルを設定し、設定状態を取得する。

・　「自動」状態のプロパティの値は0x41とする。「自動」状態の具体的な機能については規定しない。
・　「標準」状態のプロパティの値は0x42とする。「標準」状態とは、本クラスを実装する実機器の標準的な換気風量レベルとする。
・　また、風量レベルを8段階で設定し、0x31～0x38のプロパティ値をとるものとする。各風量レベルの具体的な値は規定しないが、0x31を風量最小、0x38を風量最大とする。

プロパティ値のとる値については、本クラスを実装する実機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。

本プロパティを実装する場合は、運転設定プロパティ（0xB0）の現在の設定が換気モード以外の場合も、設定／取得を可能とする。

動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(4)　入浴前予備暖房運転設定

入浴前予備暖房モード時の運転能力レベルを設定し、設定状態を取得する。

・　「自動」状態のプロパティの値は0x41とする。「自動」状態の具体的な機能については規定しない。
・　「標準」状態のプロパティの値は0x42とする。「標準」状態とは、本クラスを実装する実機器の標準的な運転能力レベルとする。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

・　また、能力レベルを8段階で設定し、0x31～0x38のプロパティ値をとるものとする。各能力レベルの具体的な値は規定しないが、0x31を能力最小、0x38を能力最大とする。

プロパティ値のとる値については、本クラスを実装する実機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。

本プロパティを実装する場合は、運転設定プロパティ（0xB0）の現在の設定が入浴前予備暖房モード以外の場合も、設定／取得を可能とする。

動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(5)　入浴中暖房運転設定

入浴中暖房モード時の運転能力レベルを設定し、設定状態を取得する。

・　「自動」状態のプロパティの値は0x41とする。「自動」状態の具体的な機能については規定しない。

・　「標準」状態のプロパティの値は0x42とする。「標準」状態とは、本クラスを実装する実機器の標準的な運転能力レベルとする。

・　また、能力レベルを8段階で設定し、0x31～0x38のプロパティ値をとるものとする。各能力レベルの具体的な値は規定しないが、0x31を能力最小、0x38を能力最大とする。

プロパティ値のとる値については、本クラスを実装する実機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。

本プロパティを実装する場合は、運転設定プロパティ（0xB0）の現在の設定が入浴中暖房モード以外の場合も、設定／取得を可能とする。

動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(6)　乾燥運転設定

乾燥モード時の運転レベルを設定し、設定状態を取得する。

・　「自動」状態のプロパティの値は0x41とする。「自動」状態の具体的な機能については規定しない。

・　「標準」状態のプロパティの値は0x42とする。「標準」状態とは、本クラスを実装する実機器の標準的な運転能力レベルとする。

・　また、能力レベルを8段階で設定し、0x31～0x38のプロパティ値をとるものとする。各能力レベルの具体的な値は規定しないが、0x31を能力最小、0x38を能力最大とする。

プロパティ値のとる値については、本クラスを実装する実機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。

本プロパティを実装する場合は、運転設定プロパティ（0xB0）の現在の設定が乾燥モード以外の場合も、設定／取得を可能とする。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(7)　涼風運転設定

涼風モード時の運転能力レベルを設定し、設定状態を取得する。

・　「自動」状態のプロパティの値は0x41とする。「自動」状態の具体的な機能については規定しない。

・　「標準」状態のプロパティの値は0x42とする。「標準」状態とは、本クラスを実装する実機器の標準的な運転能力レベルとする。

・　また、能力レベルを8段階で設定し、0x31～0x38のプロパティ値をとるものとする。各能力レベルの具体的な値は規定しないが、0x31を能力最小、0x38を能力最大とする。

プロパティ値のとる値については、本クラスを実装する実機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。

本プロパティを実装する場合は、運転設定プロパティ（0xB0）の現在の設定が涼風モード以外の場合も、設定／取得を可能とする。

動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(8)　室内相対湿度計測値

浴室内相対湿度計測値を%の単位で示す。

プロパティの値域は、0x00～0x64(0～100%)とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード0xFF、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード0xFEを用いるものとする。また、計測値が返せない場合は、0xFDを用いるものとする。

動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(9)　室内温度計測値

浴室内温度計測値を℃の単位で示す。

プロパティの値域は、0x81～0x7D(-127～125℃)とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード0x7F、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード0x80を用いるものとする。また、計測値が返せない場合は、0x7Eを用いるものとする。

動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

(10)　人体検知状態

人感センサによる人体検知の状態を示す。

人体検知有り　　：0x41

人体検知無し　　：0x42

(11)　フィルタサイン設定

フィルタサインの点灯／消灯を設定し、設定状態を取得する。

点灯　　：0x41

消灯　　：0x42

動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(12)　換気風量設定

24時間換気の換気風量レベルを設定し、設定状態を取得する。

・　「自動」状態のプロパティの値は0x41とする。

・　また、風量レベルを8段階で設定し、0x31～0x38のプロパティ値をとるものとする。各風量レベルの具体的な値は規定しないが、0x31を風量最小、0x38を風量最大とする。

動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(13)　ONタイマ予約設定1

ONタイマの予約の入、切を設定し、設定状態を取得する。運転開始時の運転モードについては規定しない。本プロパティは、「ONタイマ時刻設定」もしくは、「ONタイマ相対時間設定値」と関連する。

予約入　　：0x41

予約切　　：0x42

動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(14)　ONタイマ予約設定2

運転開始時のモードを設定してONタイマの予約の入、切を設定し、設定状態を取得する。本プロパティは、「ONタイマ時刻設定」もしくは、「ONタイマ相対時間設定値」と関連する。各運転モードには、それぞれ下記のコードを割り当てる。

換気運転予約　　：0x10

入浴前予備暖房運転予約　　：0x20

入浴中暖房運転予約　　：0x30

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

乾燥運転予約　　：0x40
涼風運転予約　　：0x50
予約切　　：0x00
なお、プロパティ値のとる値については、本クラスを実装する実機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。
動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(15)　ONタイマ時刻設定値
「ONタイマ予約設定1」または「ONタイマ予約設定2」が入の場合に、浴室暖房乾燥機がONになる時刻を示す。
データ形式は、時：0x00～0x17(0～23)、分：0x00～0x3B(0～59)とし、時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。
動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(16)　ONタイマ相対時間設定値
「ONタイマ予約設定1」または「ONタイマ予約設定2」が入の場合に、浴室暖房乾燥機がONになる時間を現在時刻からの相対時間で示す。
データ形式は、時：0x00～0x17(0～23)、分：0x00～0x3B(0～59)とし、時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。
動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(17)　OFFタイマ予約設定
OFFタイマの予約の入、切を設定する。本プロパティは、「OFFタイマ時刻設定値」もしくは、「OFFタイマ相対時間設定値」と関連する。
予約入　　：0x41
予約切　　：0x42
動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(18)　OFFタイマ時刻設定値
「OFFタイマ予約設定」が入の場合に、浴室暖房乾燥機がOFFになる時刻を示す。
データ形式は、時：0x00～0x17(0～23)、分：0x00～0x3B(0～59)とし、時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(19) OFFタイマ相対時間設定値

「OFFタイマ予約設定」が入の場合に、浴室暖房乾燥機がOFFになる時間を現在時刻からの相対時間で示す。

データ形式は、時：0x00～0x17(0～23)、分：0x00～0x3B(0～59)とし、時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。

動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．３．１３ 住宅用太陽光発電クラス規定

クラスグループコード　：0x02
クラスコード　　：0x79
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	—	Set Get	 ○	○	
系統連系状態	0xD0	系統連系状態のタイプを示す。 系統連系（逆潮流可）＝0x00 独立＝0x01 系統連系（逆潮流不可）＝0x02	unsigned char	1 Byte	—	Get			
瞬時発電電力計測値	0xE0	瞬時発電電力を W で示す。 0x0000～0xFFFD（0～65533）	unsigned short	2 Byte	W	Get	○		
積算発電電力量計測値	0xE1	積算電力量を 0.001kWh で示す。 0x00000000～0x3B9AC9FF (0～999,999.999kWh)	unsigned long	4 Byte	0.001 kWh	Get	○		
積算発電電力量リセット設定	0xE2	0x00 を書き込むことにより積算発電電力量をリセットする リセット＝0x00	unsigned char	1 Byte	－	Set			
積算売電電力量計測値	0xE3	売電電力の積算値を 0.001kWh で示す。 0x00000000～0x3B9AC9FF (0～999,999.999kWh)	unsigned long	4 Byte	0.001 kWh	Get			
積算売電電力量リセット設定	0xE4	0x00 を書き込むことにより積算買電電力量をリセットする リセット＝0x00	unsigned char	1 Byte	－	Set			
発電電力制限設定１	0xE5	発電電力制限値を定格発電電力値の%で設定し、設定状態を取得する。 0x00～0x64（0～100%）	unsigned char	1 Byte	%	Set/ Get			
発電電力制限設定２	0xE6	発電電力制限値を W で設定し、設定状態を取得する 0x0000～0xFFFD（0～65533）	unsigned short	2 Byte	W	Set/ Get			
売電電力制限設定	0xE7	売電電力制限値を W で設定し、設定状態を取得する 0x0000～0xFFFD（0～65533）	unsigned short	2 Byte	W	Set/ Get			
定格発電電力値（系統連系時）	0xE8	系統連系時の定格発電電力値を W で示す 0x0000～0xFFFD（0～65533）	unsigned short	2 Byte	W	Set/ Get			
定格発電電力値（独立時）	0xE9	独立時の定格発電電力値を W で示す 0x0000～0xFFFD（0～65533）	unsigned short	2 Byte	W	Set/ Get			

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)　動作状態

本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)　系統連系状態

現在の系統との接続状態(系統連系状態)を示す。
系統連系(逆潮流可)＝0x00, 独立＝0x01, 系統連系(逆潮流不可)=0x02

(3)　瞬時発電電力計測値

瞬時発電力を W の単位で示す。プロパティの値域は、0x0000～0xFFFD とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFFFF、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0xFFFE を用いるものとする。

(4)　積算発電電力量計測値

積算発電電力量を 0.001kWh の単位で示す。プロパティの値域は、0x00000000～0x3B9AC9FF(0～999,999.999kWh）とし、積算電力量のオーバーフロー時は、0x00000000 から再インクリメントするものとする。

(5)　積算発電電力量リセット設定

0x00 をセットすることにより、積算発電電力量をゼロにリセットする。

(6)　積算売電電力量計測値

積算売電電力量を 0.001kWh の単位で示す。プロパティの値域は、0x00000000～0x3B9AC9FF(0～999,999.999kWh）とし、積算電力量のオーバーフロー時は、0x00000000 から再インクリメントするものとする。

(7)　積算売電電力量リセット設定

0x00 をセットすることにより、積算売電電力量をゼロにリセットする。

(8)　発電電力制限設定１

発電電力を定格発電電力値の％で設定し、設定状態を取得する。プロパティの値域は、0～100（0x00～0x64）とし、単位は％とする。本プロパティ値が 100 の場合は、制限なしを

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

示す。本プロパティに設定された値での発電電力値制限が不可能な場合は、設定された値を越えない範囲で最も近い値での制限を行う。

(9) 発電電力制限設定２

発電電力を W の単位で設定し、設定状態を取得する。プロパティの値域は、0x0000～0xFFFD（0～65533）とする。本プロパティに設定された値での発電電力値制限が不可能な場合は、設定された値を越えない範囲で最も近い値での制限を行う。

(10) 売電電力制限設定

売電電力を W の単位で設定し、設定状態を取得する。プロパティの値域は、0x0000～0xFFFD（0～65533）とする。本プロパティに設定された値での発電電力値制限が不可能な場合は、設定された値を越えない範囲で最も近い値での制限を行う。

(11) 定格発電電力値（系統連系時）

系統連系（逆潮流可・逆潮流不可）時の定格発電電力（カタログ値）を W の単位で示す。プロパティの値域は、0x0000～0xFFFD（0～65533）とする。

(12) 定格発電電力値（独立時）

独立時の定格発電電力（カタログ値）を W の単位で示す。プロパティの値域は、0x0000～0xFFFD（0～65533）とする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．３．１４ 冷温水熱源機クラス規定

クラスグループコード　：　0x02
クラスコード　：　0x7A
インスタンスコード　：　0x01～0x7F（0x00　全インスタンス指定コード）

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
運転モード設定	0xE0	暖房（温水）／冷房（冷水）の運転モードを設定し、設定状態を取得する 暖房＝0x41,冷房＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
水温設定１	0xE1	水温設定値を表す。 0x00～0x64（0～100℃） AUTO＝0x71	unsigned char	1 Byte	℃	Set/ Get	○ *1		
水温設定２	0xE2	水温設定レベルを 15 段階で表す 冷房(冷水)：0x21～0x2F 暖房(温水)：0x31～0x3F いずれも最低レベル～最高レベル AUTO＝0x41	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get	○ *1		
往き水温計測値（出口水温）	0xE3	往き水温計測値 0x00～0x64（0～100℃）	unsigned char	1 Byte	℃	Get			
戻り水温計測値（入口水温）	0xE4	戻り水温計測値 0x00～0x64（0～100℃）	unsigned char	1 Byte	℃	Get			
特殊運転設定	0xE5	通常運転／ひかえめ運転／ハイパワー運転を設定し、設定状態を取得する 通常運転＝0x41,ひかえめ運転＝0x42、ハイパワー運転＝0x43	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
デイリータイマー設定	0xE6	デイリータイマー入／切 最大 2 種のタイマー使用可能 ﾀｲﾏｰ切＝0x40,ﾀｲﾏｰ 1＝0x41 ﾀｲﾏｰ 2＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
デイリータイマー１設定	0xE7	デイリータイマーの設定値 24 時間を 30 分単位で分割、全 6 バイトを割当て、 各ビット１：運転、０：停止	unsigned char ×6	6 Byte	－	Set/ Get			
デイリータイマー２設定	0xE8	デイリータイマー２の設定値 24 時間を 30 分単位で分割、全 6 バイトを割当て、 各ビット１：運転、０：停止	unsigned char ×6	6 Byte	－	Set/ Get			
ON タイマ予約設定	0x90	予約入／予約切 予約入＝0x41,予約切＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
ON タイマ時刻設定値	0x91	タイマ値 HH:MM 0～0x17: 0～0x3B (=0～23):(=0～59)	unsigned char ×2	2 Byte	－	Set/ Get			
ON タイマ相対時間設定値	0x92	タイマ値 HH:MM 0～0x17: 0～0x3B (=0～23):(=0～59)	unsigned char ×2	2 Byte	－	Set/ Get			

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

OFF タイマ 予約設定	0x94	予約入／予約切 予約入＝0x41,予約切＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
OFF タイマ 時刻設定値	0x95	タイマ値 HH:MM 0～0x17: 0～0x3B (=0～23):(=0～59)	unsigned char ×2	2 Byte	－	Set/ Get			
OFF タイマ 相対時間設定値	0x96	タイマ値 HH:MM 0～0x17: 0～0x3B (=0～23):(=0～59)	unsigned char ×2	2 Byte	－	Set/ Get			

注1） *1 「水温設定値１ EPC:0xE1」または「水温設定値２ EPC:0xE2」のどちらかを必須とする。

注2） 状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1) 動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）

熱源機の運転／停止を示す。運転／停止にそれぞれ、0x30/0x31 のプロパティ値が対応するものとする。

(2) 運転モード設定

暖房（温水）／冷房（冷水）の各運転モードを設定し、設定状態を取得する。順に 0x41／0x42 のプロパティ値が対応する。熱源にヒートポンプを使用する場合、床暖房用の温水のみでなく冷水も生成できるため、その場合の運転モードの切替に本プロパティを使用する。

動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(3) 水温設定１

水温設定値を℃の単位で示し、プロパティ値は 0℃～100℃（0x00～0x64）とする。

また、熱源機本体の自動温度設定値アルゴリズム等により動作する自動運転を示す場合は、AUTO=0x71（温度自動）を設定する。

動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

本プロパティまたは、水温設定２（0xE2）の何れか一方の実装を必須とする。

(4) 水温設定２

温度設定値を 15 段階で示し、プロパティ値は冷房(冷水)時：0x21～0x2F、暖房(温水)時：0x31～0x3F とする。各温度レベルは具体的な数値（℃）を規定しないが、0x21、あるいは 0x31 を最低温度 0x2F、あるいは 0x3F を最高温度とする。

また、熱源機本体の自動温度設定値アルゴリズム等により動作する自動運転を示す場合は、AUTO=0x41（温度自動）を設定する。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。
本プロパティまたは、水温設定１（0xE1）の何れか一方の実装を必須とする。

(5) 往き水温（出口水温）計測値
熱源機から出て行く往き側水温計測値を℃の単位で示す。プロパティの値域は、0x00～0x64(0～100℃)とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0x7F、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0x80 を用いるものとする。また、計測値が返せない場合は、0x7E を用いるものとする。
動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(6) 戻り水温（入口水温）計測値
熱源機へ入ってくる戻り側水温計測値を℃の単位で示す。プロパティの値域は、0x00～0x64(0～100℃)とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの**値域**を超える場合は、オーバーフローコード 0x7F、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0x80 を用いるものとする。また、計測値が返せない場合は、0x7E を用いるものとする。
動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(7) 特殊運転設定
通常運転／ひかえめ運転／ハイパワー運転を設定し、設定状態を取得する。それぞれに 0x41／0x42／0 x 43 のプロパティ値が対応する。
ひかえめ運転は水温設定値に対し一時的に低めの温度にて制御を行う。またハイパワー運転は水温設定値に対し一時的に高めの温度にて制御を行う。

(8) デイリータイマー設定
デイリータイマーの入／切を設定し、設定状態を取得する。
2 種類のデイリータイマーを設定できる(例えば平日と休日で使い分ける)。
タイマー切：０ｘ４０　　タイマー１入：０ｘ４１　　タイマー２入：０ｘ４２
動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(9) デイリータイマー１設定

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

(10) デイリータイマー２設定

「デイリータイマー設定」のタイマー１、タイマー２に対応したデイリータイマーの設定値を設定し、設定状態を取得する。

24 時間を 30 分単位で分割、全 6 バイトを使用し、各ビット　1：運転　0：停止　とする。

動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

1byte 目

b 0	b 1	b 2	b 3	b 4	b 5	b 6	b 7
0:00～ 0:29	0:30～ 0:59	1:00～ 1:29	1:30～ 1:59	2:00～ 2:29	2:30～ 2:59	3:00～ 3:29	3:30～ 3:59

2 byte 目

b 0	b 1	b 2	b 3	b 4	b 5	b 6	b 7
4:00～ 4:29	4:30～ 4:59	5:00～ 5:29	5:30～ 5:59	6:00～ 6:29	6:30～ 6:59	7:00～ 7:29	7:30～ 7:59

3 byte 目

b 0	b 1	b 2	b 3	b 4	b 5	b 6	b 7
8:00～ 8:29	8:30～ 8:59	9:00～ 9:29	9:30～ 9:59	10:00～ 10:29	10:30～ 10:59	11:00～ 11:29	11:30～ 11:59

4 byte 目

b 0	b 1	b 2	b 3	b 4	b 5	b 6	b 7
12:00～ 12:29	12:30～ 12:59	13:00～ 13:29	13:30～ 13:59	14:00～ 14:29	14:30～ 14:59	15:00～ 15:29	15:30～ 15:59

5 byte 目

b 0	b 1	b 2	b 3	b 4	b 5	b 6	b 7
16:00～ 16:29	16:30～ 16:59	17:00～ 17:29	17:30～ 17:59	18:00～ 18:29	18:30～ 18:59	19:00～ 19:29	19:30～ 19:59

6 byte 目

b 0	b 1	b 2	b 3	b 4	b 5	b 6	b 7
20:00～ 20:29	20:30～ 20:59	21:00～ 21:29	21:30～ 21:59	22:00～ 22:29	22:30～ 22:59	23:00～ 23:29	23:30～ 23:59

(11) ON タイマ予約設定

ON タイマの予約の入、切を設定する。本プロパティは、「ON タイマ時刻設定」もしくは、「ON タイマ相対時間設定値」と関連する。

予約入＝0x41,予約切＝0x42

動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

(12) ON タイマ時刻設定値

「ON タイマ予約設定」が入の場合に、熱源機が ON になる時刻を時 : 0x00～0x17(0～23)、分 : 0x00～0x3B(0～59)で示す。時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。

動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(13) ON タイマ相対時間設定値

「ON タイマ予約設定」が入の場合に、熱源機が ON になる時間を現在時刻からの相対時間で示す。データ形式は、時 : 0x00～0x17(0～23)、分 : 0x00～0x3B(0～59)とし、時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。

動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(14) OFF タイマ予約設定

OFF タイマの予約の入、切を設定する。本プロパティは、「OFF タイマ時刻設定値」もしくは、「OFF タイマ相対時間設定値」と関連する。

予約入＝0x41,予約切＝0x42

動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(15) OFF タイマ時刻設定値

「OFF タイマ予約設定」が入の場合に、熱源機が OFF になる時刻を時 : 0x00～0x17(0～23)、分 : 0x00～0x3B(0～59)で示す。時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。

動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(16) OFF タイマ相対時間設定値

「OFF タイマ予約設定」が入の場合に、熱源機が OFF になる時間を現在時刻からの相対時間で示す。データ形式は、時 : 0x00～0x17(0～23)、分 : 0x00～0x3B(0～59)とし、時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。

動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．３．１５ 床暖房クラス規定

クラスグループコード　：　0x02
クラスコード　：　0x7B
インスタンスコード　：　0x01～0x7F（0x00　全インスタンス指定コード）

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	○ ○	○	
温度設定１	0xE0	温度設定値を表す。 0x00～0x32（0～50℃） AUTO＝0x41	unsigned char	1 Byte	℃	Set/ Get	○ *1		
温度設定２	0xE1	温度設定レベルを 15 段階で表す 0x31～0x3F 0x31 が最低、0x3F が最高レベル AUTO＝0x41	unsigned char	1 Byte		Set/ Get	○ *1		
室内温度計測値	0xE2	室内温度計測値 0x81～0x7D(-127～125℃)	signed char	1 Byte	℃	Get			
床温度計測値	0xE3	床温度計測値 0x81～0x7D(-127～125℃)	signed char	1 Byte	℃	Get			
ゾーン切替え設定	0xE4	制御の対象とする領域を設定し、対象可能な領域数を取得する。 b0～b7 を各々ゾーン 0～7 に割当 各ビット１：制御有り、0：制御無し	unsigned char	1 Byte		Set/ Get			
特殊運転設定	0xE5	通常運転／ひかえめ運転／ハイパワー運転を設定し､設定状態を取得する 通常運転＝0x41,ひかえめ運転＝0x42､ハイパワー運転＝0x43	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
デイリータイマー設定	0xE6	デイリータイマー入／切 最大２種のタイマー使用可能 ﾀｲﾏｰ切＝0x40,ﾀｲﾏｰ１＝0x41 ﾀｲﾏｰ２＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
デイリータイマー１設定	0xE7	デイリータイマー１の設定値 24 時間を 30 分単位で分割、全 6 バイトを割当て、 各ビット１：運転、０：停止	unsigned char ×６	6 Byte	－	Set/ Get			
デイリータイマー２設定	0xE8	デイリータイマー２の設定値 24 時間を 30 分単位で分割、全 6 バイトを割当て、 各ビット１：運転、０：停止	unsigned char ×６	6 Byte	－	Set/ Get			
ON タイマ予約設定	0x90	予約入／予約切 予約入＝0x41,予約切＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
ON タイマ時刻設定値	0x91	タイマ値 HH:MM 0～0x17: 0～0x3B (=0～23):(=0～59)	unsigned char ×2	2 Byte	－	Set/ Get			

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

ON タイマ 相対時間設定値	0x92	タイマ値 HH:MM 0～0x17: 0～0x3B (=0～23):(=0～59)	unsigned char ×2	2 Byte	－	Set/ Get			
OFF タイマ 予約設定	0x94	予約入／予約切 予約入＝0x41,予約切＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
OFF タイマ 時刻設定値	0x95	タイマ値 HH:MM 0～0x17: 0～0x3B (=0～23):(=0～59)	unsigned char ×2	2 Byte	－	Set/ Get			
OFF タイマ 相対時間設定値	0x96	タイマ値 HH:MM 0～0x17: 0～0x3B (=0～23):(=0～59)	unsigned char ×2	2 Byte	－	Set/ Get			

注1） * 1 「温度設定値１ EPC:0xE0」または「温度設定値２ EPC:0xE1」のどちらかを必須とする。

注2） 状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1) 動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）

床暖房器の運転／停止を示す。運転／停止にそれぞれ、0x30/0x31 のプロパティ値が対応するものとする。また、床暖房器ではアクセスルール「Set」の実装も必須とする。

(2) 温度設定１

温度設定値を℃の単位で示し、プロパティ値は 0℃～50℃（0x00～0x32）とする。

また、床暖房の自動温度設定値アルゴリズム等により動作する自動運転を示す場合は、AUTO=0x41（温度自動）を設定する。

温度の種類は、床暖房が制御するもの（室内温度、床温度等）とし、ここでは具体的な温度の種類を問わない。

動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

本プロパティまたは、温度設定２（0xE1）の何れか一方の実装を必須とする。

(3) 温度設定２

温度設定値を１５段階で示し、プロパティ値は 0x31～0x3F とする。各温度レベルは具体的な数値（℃）を規定しないが、0x31 を最低温度 0x3F を最高温度とする。

また、床暖房の自動温度設定値アルゴリズム等により動作する自動運転を示す場合は、AUTO=0x41（温度自動）を設定する。

動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

本プロパティまたは、温度設定１（0xE0）の何れか一方の実装を必須とする。

(4) 室内温度計測値

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

室内温度計測値を℃の単位で示す。プロパティの値域は、0x81～0x7D(-127～125℃)とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの**値域**を**超える**場合は、オーバーフローコード 0x7F、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0x80 を用いるものとする。また、計測値が返せない場合は、0x7E を用いるものとする。
動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(5) 床温度計測値

床温度計測値を℃の単位で示す。プロパティの値域は、-127℃～125℃ (0x81～0x7D) とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0x7F、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0x80 を用いるものとする。また、計測値が返せない場合は、0x7E を用いるものとする。

(6) ゾーン切替え設定

対象となるフロアをいくつかのゾーンに分割し制御する場合に、制御対象するゾーンを設定し、設定可能なゾーンを取得する。フロアの分割ゾーン数は最大８ゾーンとし、各ゾーンをビットマップにて示す。ｂ０～ｂ７を各々ゾーン０～７に割り当て、各ビット　１：制御有り、０：制御無しとする。
動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(7) 特殊運転設定

通常運転／ひかえめ運転／ハイパワー運転を設定し、設定状態を取得する。それぞれに 0x41／0x42／0 x 43 のプロパティ値が対応する。
ひかえめ運転は夜間や不在時など、温度設定値に対し一時的に一定値低めに制御を行う。またハイパワー運転は温度設定値に対し一時的に高めの温度にて制御を行う。

(8) デイリータイマー設定

デイリータイマーの入／切を設定し、設定状態を取得する。
2 種類のデイリータイマーを設定できる(例えば平日と休日で使い分ける)。
タイマー切：０ｘ４０　　タイマー１入：０ｘ４１　　タイマー２入：０ｘ４２
動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(9) デイリータイマー１設定

(10) デイリータイマー２設定

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

「デイリータイマー設定」のタイマー１、タイマー２に対応したデイリータイマーの設定値を設定し､設定状態を取得する。

24 時間を 30 分単位で分割、全 6 バイトを使用し、各ビット　1：運転　0：停止　とする

動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

1 byte 目

b 0	b 1	b 2	b 3	b 4	b 5	b 6	b 7
0:00～ 0:29	0:30～ 0:59	1:00～ 1:29	1:30～ 1:59	2:00～ 2:29	2:30～ 2:59	3:00～ 3:29	3:30～ 3:59

2 byte 目

b 0	b 1	b 2	b 3	b 4	b 5	b 6	b 7
4:00～ 4:29	4:30～ 4:59	5:00～ 5:29	5:30～ 5:59	6:00～ 6:29	6:30～ 6:59	7:00～ 7:29	7:30～ 7:59

3 byte 目

b 0	b 1	b 2	b 3	b 4	b 5	b 6	b 7
8:00～ 8:29	8:30～ 8:59	9:00～ 9:29	9:30～ 9:59	10:00～ 10:29	10:30～ 10:59	11:00～ 11:29	11:30～ 11:59

4 byte 目

b 0	b 1	b 2	b 3	b 4	b 5	b 6	b 7
12:00～ 12:29	12:30～ 12:59	13:00～ 13:29	13:30～ 13:59	14:00～ 14:29	14:30～ 14:59	15:00～ 15:29	15:30～ 15:59

5 byte 目

b 0	b 1	b 2	b 3	b 4	b 5	b 6	b 7
16:00～ 16:29	16:30～ 16:59	17:00～ 17:29	17:30～ 17:59	18:00～ 18:29	18:30～ 18:59	19:00～ 19:29	19:30～ 19:59

6 byte 目

b 0	b 1	b 2	b 3	b 4	b 5	b 6	b 7
20:00～ 20:29	20:30～ 20:59	21:00～ 21:29	21:30～ 21:59	22:00～ 22:29	22:30～ 22:59	23:00～ 23:29	23:30～ 23:59

(11) ON タイマ予約設定

ON タイマの予約の入、切を設定する。本プロパティは、「ON タイマ時刻設定」もしくは、「ON タイマ相対時間設定値」と関連する。

予約入＝0x41,予約切＝0x42

動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(12) ON タイマ時刻設定値

「ON タイマ予約設定」が入の場合に、床暖房器が ON になる時刻を時：0x00～0x17(0～23)、分：0x00～0x3B(0～59)で示す。時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(13) ON タイマ相対時間設定値

「ON タイマ予約設定」が入の場合に、床暖房器が ON になる時間を現在時刻からの相対時間で示す。データ形式は、時：0x00～0x17(0～23)、分：0x00～0x3B(0～59)とし、時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。

動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(14) OFF タイマ予約設定

OFF タイマの予約の入、切を設定する。本プロパティは、「OFF タイマ時刻設定値」もしくは、「OFF タイマ相対時間設定値」と関連する。

予約入＝0x41,予約切＝0x42

動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(15) OFF タイマ時刻設定値

「OFF タイマ予約設定」が入の場合に、床暖房器が OFF になる時刻を時：0x00～0x17(0～23)、分：0x00～0x3B(0～59)で示す。時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。

動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(16) OFF タイマ相対時間設定値

「OFF タイマ予約設定」が入の場合に、床暖房器が OFF になる時間を現在時刻からの相対時間で示す。データ形式は、時：0x00～0x17(0～23)、分：0x00～0x3B(0～59)とし、時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。

動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．３．１６ 燃料電池クラス規定

クラスグループコード　：　0x02
クラスコード　　：0x7C
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
温水器湯温計測値	0xC1	温水器内の現在湯温を℃で示す。 0x00～0x64（0～100℃）	unsigned char	1 Byte	℃	Get			
定格発電量	0xC2	定格発電量をWで示す。 0x0000～0xFFFD （0～65,533W）	unsigned short	2 Byte	W	Get			
貯湯槽熱量	0xC3	貯湯タンクの熱量を MJ で示す。 0x0000～0xFFFD （0～65,533MJ）	unsigned short	2 Byte	MJ	Get			
瞬時発電電力計測値	0xC4	瞬時発電電力を W で示す。 0x0000～0xFFFD （0～65,533W）	unsigned short	2 Byte	W	Get	○		
積算発電電力量計測値	0xC5	積算電力量 0.001kWh で示す。 0x00000000～0x3B9AC9FF （0～999,999.999kWh）	unsigned long	4 Byte	0.001 kWh	Get	○		
積算発電電力量リセット設定	0xC6	0x00 を書き込むことにより積算発電電力量をリセットする リセット＝0x00	unsigned char	1 Byte	－	Set			
瞬時ガス消費量計測値	0xC7	瞬時ガス消費量を 0.001m3/h で示す。 0x0000～0xFFFD （0～65.533m3/h）	unsigned short	2 Byte	0.001 m3/h	Get			
積算ガス消費量計測値	0xC8	積算ガス消費量を 0.001m3 で示す。 0x00000000～0x3B9AC9FF （0～999,999.999m3）	unsigned long	4 Byte	0.001 m3	Get			
積算ガス消費量リセット設定	0xC9	0x00 を書き込むことにより積算ガス消費量をリセットする リセット＝0x00	unsigned char	1 Byte	－	Set			
発電動作設定	0xCA	発電の動作／停止設定を示す 発電動作=0x41, 発電停止=0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/Get			
発電動作状態	0xCB	発電の動作状態を示す。 発電中=0x41、停止中＝0x42、起動中＝0x43、停止動作中＝0x44、アイドル中＝0x45	unsigned char	1 Byte	－	Get			
宅内瞬時消費電力計測値	0xCC	宅内の瞬時消費電力を W で示す。	unsigned short	2 Byte	W	Get			

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

		0x0000～0xFFFD （0～65,533W）							
宅内積算消費電力量計測値	0xCD	宅内の積算消費電力量を 0.001kWh で示す。 0x00000000～0x3B9AC9FF （0～999,999.999kWh）	unsigned long	4 Byte	0.001 kWh	Get			
宅内積算消費電力量リセット設定	0xCE	0x00 を書き込むことにより宅内の積算発電電力量をリセットする リセット＝0x00	unsigned char	1 Byte	－	Set			
系統連系状態	0xD0	系統連系状態のタイプを示す。 系統連系（逆潮流可）＝0x00 独立＝0x01 系統連系（逆潮流不可）＝0x02	unsigned char	1 Byte	—	Get			
残湯量計測値	0xE1	残湯量計測値をﾘｯﾄﾙで示す。 0x0000～0xFFFD（0～65,533 ﾘｯﾄﾙ）	unsigned short	2 Byte	ﾘｯﾄﾙ	Get			
タンク容量値	0xE2	タンク容量値をﾘｯﾄﾙで示す。 0x0000 ～ 0xFFFD （ 0 ～ 65,533 ﾘｯﾄﾙ）	unsigned short	2 Byte	ﾘｯﾄﾙ	Get			

注1） 状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1) 動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）

本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2) 温水器湯温計測値

貯湯槽内の現在湯温を℃の単位で示す。プロパティ値の範囲は、0x00～0x64(0～100℃)とする。

(3) 定格発電量

定格発電量を W で示す。プロパティの値域は、0x0000～0xFFFD とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFFFF、実機器のプロパティ値が、プロパティ値域未満の場合は、アンダーフローコード 0xFFFE を用いるものとする。

(4) 貯湯槽熱量

貯湯槽熱量を MJ の単位で示す。プロパティの値域は、0x0000～0xFFFD とし、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFFFF、実機器のプロパティ値が、プロパティ値域未満の場合は、アンダーフローコード 0xFFFE を用いるものとする。

(5) 瞬時発電電力計測値

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

瞬時発電電力を W の単位で示す。プロパティの値域は、0x0000～0xFFFD とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFFFF、実機器のプロパティ値が、プロパティ値域未満の場合は、アンダーフローコード 0xFFFE を用いるものとする。

(6) 積算発電電力計測値

積算発電電力を 0.001kWh の単位で示す。プロパティの値域は、0x00000000～0x3B9AC9FF (0～999,999.999kWh) とし、積算電力量のオーバーフロー時は、0x00000000 から再インクリメントするものとする。

(7) 積算発電電力リセット設定

0x00 をセットすることにより、積算発電電力量をゼロにリセットする。

(8) 瞬時ガス消費量計測値

瞬時ガス消費量を 0.001m3/h の単位で示す。プロパティの値域は、0x0000～FFFD (0～65.533m3/h)とし、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFFFF、実機器のプロパティ値が、プロパティ値域未満の場合は、アンダーフローコード 0xFFFE を用いるものとする。

(9) 積算ガス消費量計測値

積算ガス消費量を 0.001m3 の単位で示す。プロパティの値域は、0x00000000～0x3B9AC9FF (0～999,999.999m3)とし、積算ガス消費量のオーバーフロー時は、0x00000000 から再インクリメントするものとする。

(10) 積算ガス消費量リセット設定

0x00 をセットすることにより、積算ガス消費量をゼロにリセットする。

(11) 発電動作設定

燃料電池の発電動作設定を示す。プロパティ値は、発電動作：0x41、発電停止：0x42 とする。

(12) 発電動作状態

燃料電池の発電動作状態を示す。プロパティ値は、発電中：0x41、停止中：0x42、起動中：0x43、停止動作中：0x44、アイドル中：0x45 とする。

(13) 宅内瞬時消費電力計測値

宅内瞬時消費電力を W の単位で示す。プロパティの値域は、0x0000～0xFFFD とし、実機

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFFFF、実機器のプロパティ値が、プロパティ値域未満の場合は、アンダーフローコード 0xFFFE を用いるものとする。

逆潮流防止 CT を設置した箇所の電力と発電電力を合算した電力を宅内瞬時消費電力とする。

(14) 宅内積算消費電力量計測値

宅内積算消費電力量を 0.001kWh の単位で示す。プロパティの値域は、0x00000000～0x3B9AC9FF (0～999,999.999kWh) とし、積算電力量のオーバーフロー時は、0x00000000 から再インクリメントするものとする。
逆潮流防止 CT を設置した箇所の電力と発電電力を合算した電力を宅内積算消費電力量とする。

(15) 宅内積算消費電力量リセット設定

0x00 をセットすることにより、宅内積算消費電力量をゼロにリセットする。

逆潮流防止 CT を設置した箇所の電力と発電電力を合算した電力を宅内積算消費電力量とする。

(16) 系統連系状態

現在の系統との接続状態（系統連系状態）を示す。

系統連系（逆潮流可）＝0x00、独立＝0x01、系統連系（逆潮流不可）=0x02

(17) 残湯量計測値

タンク内に残っている湯量をﾘｯﾄﾙの単位で表す。プロパティ値の範囲は、0x0000～0xFFFD（0～65,533 ﾘｯﾄﾙ）とし、実機器のプロパティ値がプロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFFFF、実機器のプロパティ値がプロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0xFFFE を用いるものとする。

(18) タンク容量値

タンク容量値をﾘｯﾄﾙの単位で示す。プロパティの範囲は、0x0000～0xFFFD（0～65,533 ﾘｯﾄﾙ）とし、実機器のプロパティ値がプロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFFFF、実機器のプロパティ値がプロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0xFFFE を用いるものとする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．３．１７ 蓄電池クラス規定

クラスグループコード　：　0x02
クラスコード　　：0x7D
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時 ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
最小最大充電電力値	0xC8	蓄電池への充電電力の最小値および最大値を､それぞれ W で示す 0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999,999W） 最小充電電力値：最大充電電力値	unsigned long ×2	8 Byte	W	Get			
最小最大放電電力値	0xC9	蓄電池からの放電電力の最小値および最大値を､それぞれ W で示す 0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999,999W） 最小放電電力値：最大放電電力値	unsigned long ×2	8 Byte	W	Get			
最小最大充電電流値	0xCA	蓄電池への充電電流の最小値および最大値を、それぞれ 0.1A で示す 0x0000～0x7FFE（0～3,276.6A） 最小充電電流値：最大充電電流値	unsigned short ×2	4 Byte	0.1A	Get			
最小最大放電電流値	0xCB	蓄電池からの放電電流の最小値および最大値を、それぞれ 0.1A で示す 0x0000～0x7FFE（0～3,276.6A） 最小放電電流値：最大放電電流値	unsigned short ×2	4 Byte	0.1A	Get			
運転動作状態	0xCF	蓄電池の動作状態を示す 急速充電＝0x41，充電＝0x42，放電＝0x43，待機＝0x44，テスト=0x45、その他＝0x40	unsigned char	1 Byte	－	Get	○	○	
定格電力量	0xD0	蓄電池の定格電力量を Wh で示す 0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999,999Wh）	unsigned long	4 Byte	Wh	Get			
定格容量	0xD1	蓄電池の定格充電容量を0.1Ah で示す 0x0000 ～ 0x7FFE （ 0 ～ 3,276.6Ah）	unsigned short	2 Byte	0.1 Ah	Get			
定格電圧	0xD2	蓄電池の定格電圧を V で示す 0x0000～0x7FFE（0～32,766V）	unsigned short	2 Byte	V	Get			
瞬時充放電電力計	0xD3	瞬時充放電電力を±W で示す	signed	4	W	Get			

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

測値		0x00000001～0x3B9AC9FF（1～999,999,999W）：充電時（プラス値）、0xFFFFFFFF～0xC4653601（－1～－999,999,999W）：放電時（マイナス値）	long	Byte					
瞬時充放電電流計測値	0xD4	瞬時充放電電流を±0.1A で示す 0x0001 ～ 0x7FFE（0.1 ～ 3,276.6A）：充電時（プラス値）、0xFFFF～0x8001（－0.1～－3,276.7A）：放電時（マイナス値）	signed short	2 Byte	0.1A	Get			
瞬時充放電電圧計測値	0xD5	瞬時充放電電圧を±V で示す 0x0001 ～ 0x7FFE（1 ～ 32,766V）：充電時（プラス値）、0xFFFF ～ 0x8001（－1～－32,767V）：放電時（マイナス値）	signed short	2 Byte	V	Get			
積算放電電力量計測値	0xD6	積算放電電力量を 0.001kWh で示す 0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999.999kWh）	unsigned long	4 Byte	0.001kWh	Get			
積算放電電力量リセット設定	0xD7	積算放電電力量をリセットする リセット＝0x00	unsigned char	1 Byte	－	Set			
積算充電電力量計測値	0xD8	積算充電電力量を 0.001kWh で示す 0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999.999kWh）	unsigned long	4 Byte	0.001kWh	Get			
積算充電電力量リセット設定	0xD9	積算充電電力量をリセットする リセット＝0x00	unsigned char	1 Byte	－	Set			
運転モード設定	0xDA	急速充電/充電/放電/待機/テスト/自動/その他の運転モードを設定する 急速充電＝0x41, 充電＝0x42, 放電＝0x43, 待機＝0x44, テスト=0x45, 自動＝0x46, その他＝0x40	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get	○	○	
系統連系状態	0xDB	系統連系状態のタイプを示す。 系統連系（逆潮流可）＝0x00 独立＝0x01 系統連系（逆潮流不可）＝0x02	unsigned char	1 Byte	－	Get			
最小最大充電電力値（独立時）	0xDC	独立時の蓄電池への充電電力の最小値および最大値を、それぞれWで示す 0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999,999W） 最小充電電力値：最大充電電力値	unsigned long ×2	8 Byte	W	Get			
最小最大放電電力値（独立時）	0xDD	独立時の蓄電池からの放電電力の最小値および最大値を、それぞれWで示す 0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999,999W） 最小放電電力値：最大放電電力値	unsigned long ×2	8 Byte	W	Get			
最小最大充電電流値（独立時）	0xDE	独立時の蓄電池への充電電流の最小値および最大値を、それぞれ 0.1A で示す	unsigned short ×2	4 Byte	0.1A	Get			

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

		0x0000～0x7FFE（0～3,276.6A） 最小充電電流値：最大充電電流値							
最小最大放電電流値（独立時）	0xDF	独立時の蓄電池からの放電電流の最小値および最大値を、それぞれ 0.1A で示す	unsigned short ×2	4 Byte	0.1A	Get			
充放電量設定値 1	0xE0	充電/放電の電力量を±Wh で指定する	signed long	4 Byte	Wh	Set/ Get			*1
		0x00000001～0x3B9AC9FF（1～999,999,999Wh）：充電時（プラス値）、0xFFFFFFFF～0xC4653601（－1～－999,999,999Wh）：放電時（マイナス値）							
充放電量設定値 2	0xE1	充電/放電の容量を±0.1Ah で指定する	signed short	2 Byte	0.1 Ah	Set/ Get			*1
		0x0001～0x7FFE（0.1～3,276.6Ah）：充電時（プラス値）、0xFFFF～0x8001（－0.1～－3,276.7Ah）：放電時（マイナス値）							
蓄電残量 1	0xE2	蓄電残量を Wh で示す	unsigned long	4 Byte	Wh	Get	○ * 2		
		0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999,999Wh）							
蓄電残量 2	0xE3	蓄電残量を 0.1Ah で示す	unsigned short	2 Byte	0.1 Ah	Get	○ * 2		
		0x0000～0x7FFE（0～3,276.6Ah）							
蓄電残量 3	0xE4	蓄電残量を%で示す	unsigned char	1 Byte	%	Get	○ * 2		
		0x00～0x64 (0～100%)							
劣化状態	0xE5	蓄電池の劣化状態（健康状態）を%で示す	unsigned char	1 Byte	%	Get			
		0x00～0x64 (0～100%)							
蓄電池タイプ	0xE6	電池の種類を示す	unsigned char	1 Byte		Get	○		
		タイプ=0x00～0xFF							
充電量設定値 1	0xE7	充電の電力量を Wh で指定する	unsigned long	4 Byte	Wh	Set/ Get			*3
		0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999,999Wh）							
放電量設定値 1	0xE8	放電の電力量を Wh で指定する	unsigned long	4 Byte	Wh	Set/ Get			*4
		0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999,999Wh）							
充電量設定値 2	0xE9	充電の容量を 0.1Ah で指定する	unsigned short	2 Byte	0.1 Ah	Set/Get			*3
		0x0000～0x7FFE（0～3,276.6Ah）							
放電量設定値 2	0xEA	放電の容量を 0.1Ah で指定する	unsigned short	2 Byte	0.1 Ah	Set/ Get			*4
		0x0000～0x7FFE（0～3,276.6Ah）							
充電電力設定値	0xEB	充電の電力を W で指定する	unsigned long	4 Byte	W	Set/ Get			
		0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999,999W）							
放電電力設定値	0xEC	放電の電力を W で指定する	unsigned long	4 Byte	W	Set/ Get			
		0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999,999W）							
充電電流設定値	0xED	充電の電流を 0.1A で指定する	unsigned	2	0.1A	Set/			

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

		0x0000～0xFFFD (0～6,553.3A)	short	Byte		Get			
放電電流設定値	0xEE	放電の電流を 0.1A で指定する	unsigned short	2 Byte	0.1A	Set/ Get			
		0x0000～0xFFFD (0～6,553.3A)							
定格電圧（独立時）	0xEF	独立時の蓄電池の定格電圧をＶで示す	unsigned short	2 Byte	V	Get			
		0x0000～0x7FFE（0～32,766V）							

注1） 状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

注2）

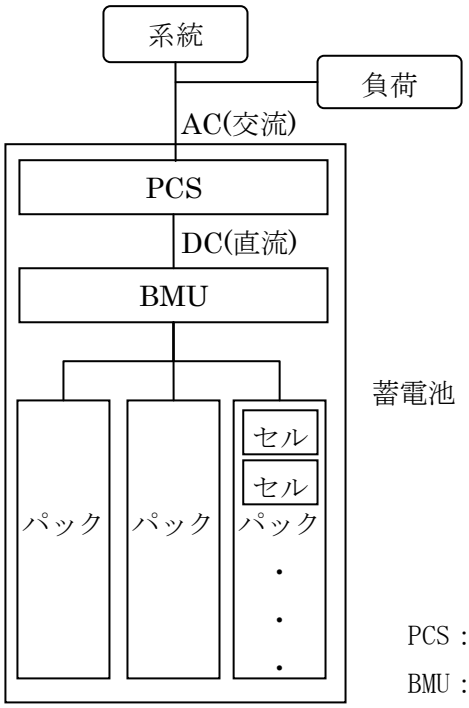
*1：充放電量設定値１（または２）を使用する場合は、充放電量設定値２（または１）、充電量設定１、放電量設定値１、充電量設定値２、放電量設定値２を使用しない。

*2：蓄電残量 1、蓄電残量 2、蓄電残量 3 はいずれかの搭載を必須とする。

*3：充電量設定値 1（または 2）を使用する場合は充電量設定値 2（または 1)、充放電量設定値１，２を使用しない。

*4：放電量設定値 1（または 2）を使用する場合は放電量設定値 2（または 1)、充放電量設定値１，２を使用しない。

本クラスで取り扱う電流、電圧、電力の値は AC として取り扱う事とする（下図は一構成例)。



(1) 動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）

本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

(2) 最小最大充電電力値

系統連系状態が「系統連系(逆潮流可)」時または「系統連系(逆潮流不可)」時の充電電力の最小値および最大値を W の単位で示す。それぞれの値域は、0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999,999W）とし、最小/最大の順に上位 Byte からプロパティ値とする。実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFFFFFFFF を用いるものとする。充電機能がない場合は 0 とする。最小最大充電電力値（独立時）(EPC=0xDC)を使用しない場合は本プロパティが独立時の値を兼ねても良い。

(3) 最小最大放電電力値

系統連系状態が「系統連系(逆潮流可)」時または「系統連系(逆潮流不可)」時の放電電力の最小値および最大値を W の単位で示す。それぞれの値域は、0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999,999W）とし、最小/最大の順に上位 Byte からプロパティ値とする。実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFFFFFFFF を用いるものとする。放電機能がない場合は 0 とする。最小最大放電電力値（独立時）(EPC=0xDD)を使用しない場合は本プロパティが独立時の値を兼ねても良い。

(4) 最小最大充電電流値

系統連系状態が「系統連系(逆潮流可)」時または「系統連系(逆潮流不可)」時の充電電流の最小値および最大値を 0.1A の単位で示す。それぞれの値域は、0x0000～0x7FFE（0～3,276.6A）とし、最小/最大の順に上位 Byte からプロパティ値とする。実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFFFF を用いるものとする。充電機能がない場合は 0 とする。最小最大充電電流値（独立時）(EPC=0xDE)を使用しない場合は本プロパティが独立時の値を兼ねても良い。

(5) 最小最大放電電流値

系統連系状態が「系統連系(逆潮流可)」時または「系統連系(逆潮流不可)」時の放電電流の最小値および最大値を 0.1A の単位で示す。それぞれの値域は、0x0000～0x7FFE（0～3,276.6A）とし、最小/最大の順に上位 Byte からプロパティ値とする。実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFFFF を用いるものとする。放電機能がない場合は 0 とする。最小最大放電電流値（独立時）(EPC=0xDF)を使用しない場合は本プロパティが独立時の値を兼ねても良い。

(6) 運転動作状態

蓄電池の運転動作状態として、急速充電 (0x41)、充電 (0x42)、放電 (0x43)、待機 (0x44)、テスト（0x45)、その他（0x40）のいずれかを示す。充電状態、放電状態、待機状態の各運転モードは必須とする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

(7) 定格電力量

定格電力量（カタログ値）を Wh の単位で示す。プロパティの値域は、0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999,999Wh）とする。

(8) 定格容量

定格容量（カタログ値）を 0.1Ah の単位で示す。プロパティの値域は、0x0000～0x7FFE（0～3,276.6Ah）とする。

(9) 定格電圧

系統連系状態が「系統連系(逆潮流可)」時または「系統連系(逆潮流不可)」時の定格電圧（カタログ値）を V の単位で示す。プロパティの値域は、0x0000～0x7FFE（0～32,766V）とする。定格電圧（独立時）(EPC=0xEF)を使用しない場合は本プロパティが独立時の値を兼ねても良い。

(10) 瞬時充放電電力計測値

充放電時の瞬時電力量を W の単位で示す。プロパティの値域は、充電時には、0x00000001～0x3B9AC9FF（1～999,999,999W）とし、放電時には、0xFFFFFFFF～0xC4653601（－1～－999,999,999W）とする。プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0x7FFFFFFF、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0x80000000 を用いるものとする。充放電をしていない時は 0。

(11) 瞬時充放電電流計測値

充放電時の瞬時電流を 0.1A の単位で示す。プロパティの値域は、充電時には、0x0001～0x7FFE（0.1～3,276.6A）とし、放電時には、0xFFFF～0x8001（－0.1～－3,276.7A）とする。実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0x7FFF、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0x8000 を用いるものとする。充放電をしていない時は 0。

(12) 瞬時充放電電圧計測値

充放電時の瞬時電圧を V の単位で示す。プロパティの値域は、充電時には、0x0001～0x7FFE（1～32,766V）とし、放電時には、0xFFFF～0x8001（－1～－32,767V）とする。実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0x7FFF、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0x8000 を用いるものとする。充放電をしていない時は 0。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

(13) 積算放電電力量計測値

放電時の積算電力量を 0.001kWh の単位で示す。プロパティの値域は、0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999.999kWh）とし、積算電力量のオーバーフロー時は、0x00000000から再インクリメントするものとする。

(14) 積算放電電力量リセット設定

0x00 をセットすることにより、積算放電電力量計測値をゼロにリセットを行う。

(15) 積算充電電力量計測値

充電時の積算電力量を 0.001kWh の単位で示す。プロパティの値域は、0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999.999kWh）とし、積算電力量のオーバーフロー時は、0x00000000から再インクリメントするものとする。

(16) 積算充電電力量リセット設定

0x00 をセットすることにより、積算充電電力量計測値をゼロにリセットを行う。

(17) 運転モード設定

運転モードとして、急速充電（0x41）、充電（0x42）、放電（0x43）、待機（0x44）、テスト（0x45）、自動（0x46）、その他（0x40）のいずれかを示す。「自動」とは、蓄電池が自律的に動作することを想定するモードである。充電状態、放電状態、待機状態の各運転モードは必須とする。

(18) 系統連系状態

現在の系統との接続状態（系統連系状態）を示す。
系統連系（逆潮流可）＝0x00, 独立＝0x01,系統連系（逆潮流不可）=0x02

(19) 最小最大充電電力値（独立時）

系統連系状態が「独立」時の充電電力の最小値および最大値を W の単位で示す。それぞれの値域は、0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999,999W）とし、最小/最大の順に上位 Byte からプロパティ値とする。実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFFFFFFFF を用いるものとする。充電機能がない場合は 0 とする。本プロパティを使用しない場合は最小最大充電電力値(EPC=0xC8)が独立時の値を兼ねても良い。

(20) 最小最大放電電力値（独立時）

系統連系状態が「独立」時の放電電力の最小値および最大値を W の単位で示す。それぞれ

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

の値域は、0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999,999W）とし、最小/最大の順に上位 Byte からプロパティ値とする。実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFFFFFFFF を用いるものとする。放電機能がない場合は 0 とする。本プロパティを使用しない場合は最小最大放電電力値(EPC=0xC9)が独立時の値を兼ねても良い。

(21) 最小最大充電電流値（独立時）

系統連系状態が「独立」時の充電電流の最小値および最大値を 0.1A の単位で示す。それぞれの値域は、0x0000～0x7FFE（0～3,276.6A）とし、最小/最大の順に上位 Byte からプロパティ値とする。実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFFFF を用いるものとする。充電機能がない場合は 0 とする。本プロパティを使用しない場合は最小最大充電電流値(EPC=0xCA)が独立時の値を兼ねても良い。

(22) 最小最大放電電流値（独立時）

系統連系状態が「独立」時の放電電流の最小値および最大値を 0.1A の単位で示す。それぞれの値域は、0x0000～0x7FFE（0～3,276.6A）とし、最小/最大の順に上位 Byte からプロパティ値とする。実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFFFF を用いるものとする。放電機能がない場合は 0 とする。本プロパティを使用しない場合は最小最大充電電力値(EPC=0xCB)が独立時の値を兼ねても良い。

(23) 充放電量設定値 1

充電および放電する電力量を±Wh の単位で指定する（充電および放電後の蓄電池の残量を指定するものではないことに注意）。プロパティの値域は、充電時には、0x00000001～0x3B9AC9FF（1～999,999,999Wh）とし、放電時には、0xFFFFFFFF～0xC4653601（－1～－999,999,999Wh）とする。充放電状態に応じての値の変化は起こらない。充放電完了時は運転モードが「待機」となる。完全充電を行う場合は本設定値に対して定格電力量以上の値を指定する。完全放電を行う場合は本設定値に対して定格電力量以上の値をマイナス指定する。

(24) 充放電量設定値 2

充電および放電する容量を±0.1Ah の単位で指定する（充電および放電後の蓄電池の残容量を指定するものではないことに注意）。充電時には、0x0001～0x7FFE（0.1～3,276.6Ah）とし、放電時には、0xFFFF～0x8001（－0.1～－3,276.7Ah）とする。充放電状態に応じての値の変化は起こらない。充放電完了時は運転モードが「待機」となる。完全充電を行う場合は本設定値に対して定格容量以上の値を指定する。完全放電を行う場合は本設定値に対して定格容量以上の値をマイナス指定する。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

(25) 蓄電残量 1

定格放電電流で放電する際の残量（電力量）を Wh の単位で示す。プロパティの値域は、0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999,999Wh）とする。

(26) 蓄電残量 2

定格放電電流で放電する際の残容量を 0.1Ah の単位で示す。プロパティの値域は、0x0000～0x7FFE（0～3,276.6Ah）とする。

(27) 蓄電残量 3

蓄電池の充電率を%表記で示す。プロパティの値域は、0x00～0x64（0～100）とする。
（電池残量） / （満充電容量） * 100 の値とする。

(28) 劣化状態

蓄電池の劣化状態（健全度）を（%）表記で表す。プロパティの値域は、0x00～0x64（0～100）とする。
例：(劣化時の満充電容量） / （初期の満充電容量） * 100

(29) 蓄電池タイプ

蓄電池タイプとして、不明（0x00)、鉛（0x01)、ニッケル水素（0x02)、ニッケルカドミウム（0x03)、リチウムイオン（0x04)、亜鉛（0x05)、充電式アルカリ（0x06)、For future reserved（0x07～0xFF）のいずれかを示す。

(30) 充電量設定値 1

充電する電力量を Wh の単位で指定する(充電後の蓄電池の残量を指定するものではないことに注意)。プロパティの値域は、0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999,999Wh）とする。充電状態に応じての値の変化は起こらない。充電完了時は運転モードが「待機」となる。
完全充電を行う場合は本設定値に対して定格電力量以上の値を指定する。

(31) 放電量設定値 1

放電する電力量を Wh の単位で指定する(放電後の蓄電池の残量を指定するものではないことに注意)。プロパティの値域は、0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999,999Wh）とする。放電状態に応じての値の変化は起こらない。放電完了時は運転モードが「待機」となる。
完全放電を行う場合は本設定値に対して定格電力量以上の値を指定する。

(32) 充電量設定値 2

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

充電する容量を 0.1Ah の単位で指定する（充電後の蓄電池の残容量を指定するものではないことに注意）。プロパティの値域は、0x0000～0x7FFE（0～3,276.6Ah）とする。充電状態に応じての値の変化は起こらない。充電完了時は運転モードが「待機」となる。完全充電を行う場合は本設定値に対して定格容量以上の値を指定する。

(33) 放電量設定値 2

放電する容量を 0.1Ah の単位で指定する（放電後の蓄電池の残容量を指定するものではないことに注意）。プロパティの値域は、0x0000～0x7FFE（0～3,276.6Ah）とする。放電状態に応じての値の変化は起こらない。放電完了時は運転モードが「待機」となる。完全放電を行う場合は本設定値に対して定格容量以上の値を指定する。

(34) 充電電力設定値

充電する際の電力を W の単位で指定する。プロパティの値域は、0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999,999W）とする。

(35) 放電電力設定値

放電する際の電力を W の単位で指定する。プロパティの値域は、0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999,999W）とする。

(36) 充電電流設定値

充電する際の電流を 0.1A の単位で指定する。プロパティの値域は、0x0000～0xFFFD（0～6,553.3A）とする。

(37) 放電電流設定値

放電する際の電流を 0.1A の単位で指定する。プロパティの値域は、0x0000～0xFFFD（0～6,553.3A）とする。

(38) 定格電圧（独立時）

系統連系状態が「独立」時の定格電圧（カタログ値）を V の単位で示す。プロパティの値域は、0x0000～0x7FFE（0～32,766V）とする。本プロパティを使用しない場合は定格電圧(EPC=0xD2)が独立時の値を兼ねても良い。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．３．１８ 電気自動車充放電器クラス規定

クラスグループコード　：　0x02
クラスコード　　：0x7E
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す ON＝0x30，OFF＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
車載電池の放電可能容量値 1	0xC0	充放電器に接続された電気自動車の車載電池の放電可能容量を Wh で示す 0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999,999Wh）	unsigned long	4 Byte	Wh	Get	○ *1		
車載電池の放電可能容量値 2	0xC1	充放電器に接続された電気自動車の車載電池の放電可能容量を 0.1Ah で示す 0x0000～0x7FFE（0～3,276.6Ah）	unsigned short	2 Byte	0.1Ah	Get	○ *1		
車載電池の放電可能残容量 1	0xC2	充放電器に接続された電気自動車の車載電池の放電可能残容量を Wh で示す 0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999,999Wh）	unsigned long	4 Byte	Wh	Get	○ *2		
車載電池の放電可能残容量 2	0xC3	充放電器に接続された電気自動車の車載電池の放電可能残容量を 0.1Ah で示す 0x0000～0x7FFE（0～3,276.6Ah）	unsigned short	2 Byte	0.1Ah	Get	○ *2		
車載電池の放電可能残容量 3	0xC4	充放電器に接続された電気自動車の車載電池の放電可能残容量（%）を示す 0x00～0x64（0～100%）	unsigned char	1 Byte	%	Get	○ *2		
定格充電能力	0xC5	電気自動車用充放電器における定格充電能力を W で示す 0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999,999W）	unsigned long	4 Byte	W	Get	○		
定格放電能力	0xC6	電気自動車用充放電器における定格放電能力を W で示す 0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999,999W）	unsigned long	4 Byte	W	Get	○		
車両接続・充放電可否状態	0xC7	電気自動車用充放電器における充放電の可否を示す 車両未接続=0x30 車両接続・充電不可・放電不可=0x40 車両接続・充電可・放電不可=0x41 車両接続・充電不可・放電可=0x42 車両接続・充電可・放電可=0x43	unsigned char	1 Byte	－	Get	○	○	

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

最小最大充電電力値	0xC8	電気自動車用充放電器への充電電力の最小値および最大値を、それぞれWで示す 0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999,999W） 最小充電電力値：最大充電電力値	unsigned long ×2	8 Byte	W	Get	○		
最小最大放電電力値	0xC9	電気自動車用充放電器からの放電電力の最小値および最大値を、それぞれWで示す 0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999,999W） 最小放電電力値：最大放電電力値	unsigned long ×2	8 Byte	W	Get	○		
最小最大充電電流値	0xCA	電気自動車用充放電器への充電電流の最小値および最大値を、それぞれ 0.1A で示す 0x0000～0x7FFE（0～3,276.6A） 最小充電電流値：最大充電電流値	unsigned short ×2	4 Byte	0.1A	Get	○		
最小最大放電電流値	0xCB	電気自動車用充放電器からの放電電流の最小値および最大値を、それぞれ 0.1A で示す 0x0000～0x7FFE（0～3,276.6A） 最小放電電流値：最大放電電流値	unsigned short ×2	4 Byte	0.1A	Get	○		
車載電池の使用容量値 1	0xD0	充放電器に接続された電気自動車の車載電池の容量を Wh で示す 0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999,999Wh）	unsigned long	4 Byte	Wh	Get	○ *3		
車載電池の使用容量値 2	0xD1	充放電器に接続された電気自動車の車載電池の容量を 0.1Ah で示す 0x0000～0x7FFE（0～3,276.6Ah）	unsigned short	2 Byte	0.1Ah	Get	○ *3		
定格電圧	0xD2	通常時の電気自動車用充放電器の定格電圧を V で示す 0x0000～0x7FFE（0～32,766V）	unsigned short	2 Byte	V	Get			
瞬時充放電電力計測値	0xD3	瞬時充放電電力を±W で示す 0x00000001～0x3B9AC9FF（1～999,999,999W）：充電時（プラス値）、0xFFFFFFFF～0xC4653601（－1～－999,999,999W）：放電時（マイナス値）	signed long	4 Byte	W	Get			
瞬時充放電電流計測値	0xD4	瞬時充放電電流を±0.1A で示す 0x0001 ～ 0x7FFE （ 0.1 ～ 3,276.6A）：充電時（プラス値）、0xFFFF ～ 0x8001 （ － 0.1 ～ － 3,276.7A）：放電時（マイナス値）	signed short	2 Byte	0.1A	Get			
瞬時充放電電圧計測値	0xD5	瞬時充放電電圧を±V で示す 0x0001～0x7FFE（1～32,766V）：充電時（プラス値）、0xFFFF～0x8001（－1～－32,767V）：放電時（マイナス値）	signed short	2 Byte	V	Get			
積算放電電力量計測値	0xD6	積算放電電力量を 0.001kWh で示す 0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999.999kWh	unsigned long	4 Byte	0.001 kWh	Get			
積算放電電力量リセット設定	0xD7	積算放電電力量をリセットする リセット=0x00	unsigned char	1 Byte	－	Set			

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

積算充電電力量計測値	0xD8	積算充電電力量を 0.001kWh で示す 0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999.999kWh	unsigned long	4 Byte	0.001 kWh	Get			
積算充電電力量リセット設定	0xD9	積算充電電力量をリセットする リセット=0x00	unsigned char	1 Byte	－	Set			
運転モード設定	0xDA	急速充電/充電/放電/待機/テスト/その他の運転モードを設定する 急速充電＝0x41, 充電＝0x42, 放電＝0x43, 待機＝0x44, テスト=0x45, その他＝0x40	unsigned char	1 Byte	－	Set /Get	○	○	
系統連系状態	0xDB	電気自動車用充放電器の系統連系状態を示す。 系統連系（逆潮流可）＝0x00 独立＝0x01 系統連系（逆潮流不可）＝0x02	unsigned char	1 Byte	－	Get			
車載電池の電池残容量 1	0xE2	充放電器に接続された電気自動車の車載電池の残容量を Wh で示す 0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999,999Wh）	unsigned long	4 Byte	Wh	Get	○ *4		
車載電池の電池残容量 2	0xE3	充放電器に接続された電気自動車の車載電池の残容量を 0.1Ah で示す 0x0000～0x7FFE（0～3,276.6Ah）	unsigned short	2 Byte	0.1Ah	Get	○ *4		
車載電池の電池残容量 3	0xE4	充放電器に接続された電気自動車の車載電池残容量（%）を示す 0x00～0x64（0～100%）	unsigned char	1 Byte	%	Get	○ *4		
充電量設定値 1	0xE7	充電の電力量を Wh で指定する 0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999,999Wh）	unsigned long	4 Byte	Wh	Set/ Get			*5
充電量設定値 2	0xE9	充電の容量を 0.1Ah で指定する 0x0000～0x7FFE（0～3,276.6Ah）	unsigned short	2 Byte	0.1Ah	Set/ Get			*5
充電電力設定値	0xEB	充電の電力を W で指定する 0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999,999W）	unsigned long	4 Byte	W	Set/ Get			
放電電力設定値	0xEC	放電の電力を W で指定する 0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999,999W）	unsigned long	4 Byte	W	Set/ Get			
充電電流設定値	0xED	充電の電流を 0.1A で指定する 0x0000～0xFFFD（0～6,553.3A）	unsigned short	2 Byte	0.1A	Set/ Get			
放電電流設定値	0xEE	放電の電流を 0.1A で指定する 0x0000～0xFFFD（0～6,553.3A）	unsigned short	2 Byte	0.1A	Set/ Get			
定格電圧（独立時）	0xEF	独立時の電気自動車用充放電器の定格電圧を V で示す 0x0000～0x7FFE（0～32,766V）	unsigned short	2 Byte	V	Get			

注1） 状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

注 2)

*1：車載電池の放電可能容量値 1、車載電池の放電可能容量値 2 は、充放電器に接続された電気自動車から出力される場合、いずれかの搭載を必須とする。応答できない状況にある場合、不可応答を返す。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

*2：車載電池の放電可能残容量 1、車載電池の放電可能残容量 2、車載電池の放電可能残容量 3 は、充放電器に接続された電気自動車から出力される場合、いずれかの搭載を必須とする。応答できない状況にある場合、不可応答を返す。
*3：車載電池の使用容量値 1、車載電池の使用容量値 2 は、充放電器に接続された電気自動車から出力される場合、いずれかの搭載を必須とする。応答できない状況にある場合、不可応答を返す。
*4：車載電池の電池残容量 1、車載電池の電池残容量 2、車載電池の電池残容量 3 は、充放電器に接続された電気自動車から出力される場合、いずれかの搭載を必須とする。応答できない状況にある場合、不可応答を返す。
*5：充電量設定値 1（または 2）を使用する場合は充電量設定値 2（または 1）を使用しない

※電気自動車充放電器は、電気自動車と接続される EVPS（Electric Vehicle Power System）を含む充放電器である。電気自動車用充放電器に接続される電気自動車は変更可能であるため、電気自動車用充放電器に接続される電気自動車に応じて、電気自動車充放電器の各プロパティ値も変化する。そのため、車両接続・充放電可否状態が車両未接続から車両接続に変化した際に、接続する電気自動車が変わっている可能性があるため、電気自動車と EVPS により定まる諸元に関するプロパティ値を再取得することが望ましい。

例：車載電池の使用容量値 1、車載電池の使用容量値 2、車載電池の放電可能可能容量値 1、車載電池の放電可能容量値 2、車載電池の放電可能残容量値 1、車載電池の放電可能残容量値 2、車載電池の放電可能残容量値 3

なお、本クラスで取り扱う電流、電圧、電力の値は AC として取り扱う事とする。

(1) 動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）
電気自動車充放電器が、制御受付が可能な状態（ON 状態）であるか否か（OFF 状態）を示す。ON 状態には 0x30 を、OFF 状態には 0x31 を対応させる。電気自動車が接続されない場合は OFF とする。

(2) 車載電池の放電可能容量値 1
充放電器に接続された電気自動車の車載電池の放電可能容量を Wh 単位で示す。プロパティの値域は、0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999,999Wh）とする。

(3) 車載電池の放電可能容量値 2
充放電器に接続された電気自動車の車載電池の放電可能容量を 0.1Ah 単位で示す。プロパティの値域は、0x0000～0x7FFE（0～3,276.6Ah）とする。

(4) 車載電池の放電可能残容量 1

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

充放電器に接続された電気自動車の車載電池の放電可能残容量を Wh で示す。プロパティの値域は、0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999,999Wh）とする。

(5) 車載電池の放電可能残容量 2

充放電器に接続された電気自動車の車載電池の放電可能残容量を 0.1Ah で示す。プロパティの値域は、0x0000～0x7FFE（0～3,276.6Ah）とする。

(6) 車載電池の放電可能残容量 3

充放電器に接続された電気自動車の車載電池の放電可能残容量を%で示す。プロパティの値域は、0x00～0x64（0～100%）とする。

(7) 定格充電能力

電気自動車用充放電器の定格充電能力を W 単位で示す。プロパティの値域は、0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999,999W）とする。充電機能が存在しない場合は 0W とする。

(8) 定格放電能力

電気自動車用充放電器の定格放電能力を W 単位で示す。プロパティの値域は、0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999,999W）とする。放電機能が存在しない場合は 0W とする。

(9) 車両接続・充放電可否状態

電気自動車充放電器における充放電の可否を示す。車両と接続されていない場合を 0x30 で示す。車両と接続され、充電不可かつ放電不可の場合を 0x40、充電可かつ放電不可の場合を 0x41、充電不可かつ放電可の場合を 0x42、充電可かつ放電可の場合を 0x43 で示す。
充放電を開始しないと車両状態がわからない場合、充電可及び放電可の状態については、充電開始または放電開始指示を与えられたときに出力するものとする。

(10) 最小最大充電電力値

電気自動車充放電器への充電電力の最小値および最大値を W の単位で示す。それぞれの値域は、0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999,999W）とし、最小/最大の順に上位 Byte からプロパティ値とする。実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFFFFFFFF を用いるものとする。充電機能がない場合は 0 とする。

(11) 最小最大放電電力値

電気自動車充放電器への放電電力の最小値および最大値を W の単位で示す。それぞれの値域は、0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999,999W）とし、最小/最大の順に上位 Byte からプロパティ値とする。実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オ

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

ーバーフローコード 0xFFFFFFFF を用いるものとする。放電機能がない場合は 0 とする。

(12) 最小最大充電電流値

電気自動車充放電器への充電電流の最小値および最大値を 0.1A の単位で示す。それぞれの値域は、0x0000～0x7FFE（0～3,276.6A）とし、最小/最大の順に上位 Byte からプロパティ値とする。実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFFFF を用いるものとする。充電機能がない場合は 0 とする。

(13) 最小最大放電電流値

電気自動車充放電器からの放電電流の最小値および最大値を 0.1A の単位で示す。それぞれの値域は、0x0000～0x7FFE（0～3,276.6A）とし、最小/最大の順に上位 Byte からプロパティ値とする。実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFFFF を用いるものとする。放電機能がない場合は 0 とする。

(14) 車載電池の使用容量値 1

充放電器に接続された電気自動車に搭載された電池の容量を Wh の単位で示す。プロパティの値域は、0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999,999Wh）とする。

(15) 車載電池の使用容量値 2

充放電器に接続された電気自動車に搭載された電池の容量を 0.1Ah の単位で示す。プロパティの値域は、0x0000～0x7FFE（0～3,276.6Ah）とする。

(16) 定格電圧

通常時の電気自動車用充放電器の定格電圧を V の単位で示す。プロパティの値域は、0x0000～0x7FFE（0～32,766V）とする。

(17) 瞬時充放電電力計測値

電気自動車充放電器の充放電時の瞬時電力を W の単位で示す。プロパティの値域は、充電時には、0x00000001～0x3B9AC9FF（1～999,999,999W）とし、放電時には、0xFFFFFFFF～0xC4653601（－1～－999,999,999W）とする。実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0x7FFFFFFF、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0x80000000 を用いるものとする。充放電をしていないときは 0。

(18) 瞬時充放電電流計測値

電気自動車充放電器の充放電時の瞬時電流を 0.1A の単位で示す。プロパティの値域は、充

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

電時には、0x0001～0x7FFE（0.1～3,276.6A）とし、放電時には、0xFFFF～0x8001（－0.1～－3,276.7A）とする。実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0x7FFF、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0x8000 を用いるものとする。充放電をしていないときは 0。

(19) 瞬時充放電電圧計測値

電気自動車充放電器の充放電時の瞬時電圧を V の単位で示す。プロパティの値域は、充電時には、0x0001～0x7FFE（1～32,766V）とし、放電時には、0xFFFF～0x8001（－1～－32,767V）とする。実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0x7FFF、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0x8000 を用いるものとする。充放電をしていないときは 0。

(20) 積算放電電力量計測値

電気自動車充放電器の放電時の積算電力量を 0.001kWh の単位で示す。プロパティの値域は、0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999.999kWh）とし、積算電力量のオーバーフロー時は、0x00000000 から再インクリメントするものとする。

(21) 積算放電電力量リセット設定

0x00 をセットすることにより、積算放電電力量計測値をゼロにリセットを行う。

(22) 積算充電電力量計測値

電気自動車充放電器の充電時の積算電力量を 0.001kWh の単位で示す。プロパティの値域は、0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999.999kWh）とし、積算電力量のオーバーフロー時は、0x00000000 から再インクリメントするものとする。

(23) 積算充電電力量リセット設定

0x00 をセットすることにより、積算充電電力量計測値をゼロにリセットを行う。

(24) 運転モード設定

電気自動車充放電器の運転モードを示す。運転モードとして、急速充電（0x41）、充電（0x42）、放電（0x43）、待機（0x44）、テスト（0x45）、その他（0x40）のいずれかを示す。

(25) 系統連系状態

現在の系統と電気自動車用充放電器の接続状態（系統連系状態）を示す。
系統連系（逆潮流可）＝0x00, 独立＝0x01,系統連系（逆潮流不可）=0x02

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

(26) 車載電池の電池残容量 1

充放電器に接続された電気自動車に搭載された電池の残容量を Wh で示す。プロパティの値域は、0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999,999Wh）とする。

(27) 車載電池の電池残容量 2

充放電器に接続された電気自動車に搭載された電池の残容量を 0.1Ah で示す。プロパティの値域は、0x0000～0x7FFE（0～3,276.6Ah）とする。

(28) 車載電池の電池残容量 3

充放電器に接続された電気自動車に搭載された電池の残容量（SOC: State of Charge）を%で示す。プロパティの値域は、0x00～0x64（0～100%）とする。

(29) 充電量設定値 1

充電する際の電力量を Wh の単位で指定する。プロパティの値域は、0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999,999Wh）とする。充電をしていない時は 0。

(30) 充電量設定値 2

充電する際の容量を 0.1Ah の単位で指定する。プロパティの値域は 0x0000～0x7FFE（0～3,276.6Ah）とする。充電をしていない時は 0。

(31) 充電電力設定値

充電する際の電力を W の単位で指定する。プロパティの値域は、0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999,999W）とする。

(32) 放電電力設定値

系統連系の場合に、放電する際の電力を W の単位で指定する。プロパティの値域は、0x00000000～0x3B9AC9FF（0～999,999,999W）とする。放電をしていない時は 0。独立時の場合には、不可応答を返す。

(33) 充電電流設定値

充電する際の電流を 0.1A の単位で指定する。プロパティの値域は、0x0000～0xFFFD（0～6,553.3A）とする。充電をしていない時は 0。

(34) 放電電流設定値

系統連系の場合に、放電する際の電流を 0.1A の単位で指定する。プロパティの値域は、0x0000～0xFFFD（0～6,553.3A）とする。放電をしていない時は 0。独立時の場合には、

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

不可応答を返す。

(35) 定格電圧（独立時）

系統連系状態が「独立」時の定格電圧（カタログ値）を V の単位で示す。プロパティの値域は、0x0000～0x7FFE（0～32,766V）とする。本プロパティを使用しない場合は定格電圧(EPC=0xD2)が独立時の値を兼ねても良い。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．３．１９ エンジンコージェネレーションクラス規定

クラスグループコード　：　0x02
クラスコード　　：0x7F
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時アナウンス	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ON=0x30, OFF=0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
温水器湯温計測値	0xC1	温水器内の現在湯温を℃で示す。 0x00～0x64（0～100℃）	unsigned char	1 Byte	℃	Get			
定格発電量	0xC2	定格発電量を W で示す。 0x0000～0xFFFD(0～65,533W)	unsigned short	2 Byte	W	Get			
貯湯槽熱量	0xC3	貯湯タンクの熱量を MJ で示す。 0x0000～0xFFFD（0～65,533MJ）	unsigned short	2 Byte	MJ	Get			
瞬時発電電力計測値	0xC4	瞬時発電電力を W で示す。 0x0000～0xFFFD(0～65,533W)	unsigned short	2 Byte	W	Get	○		
積算発電電力量計測値	0xC5	積算電力量 0.001kWh で示す。 0x00000000～0x3B9AC9FF (0～999,999.999kWh)	unsigned long	4 Byte	0.001 kWh	Get	○		
積算発電電力量リセット設定	0xC6	0x00 を書き込むことにより積算発電電力量をリセットする リセット=0x00	unsigned char	1 Byte	－	Set			
瞬時ガス消費量計測値	0xC7	瞬時ガス消費量を 0.001m3/h で示す。 0x0000～0xFFFD (0～65.533m3/h)	unsigned short	2 Byte	0.001 m3/h	Get			
積算ガス消費量計測値	0xC8	積算ガス消費量を 0.001m3 で示す。 0x00000000～0x3B9AC9FF (0～999,999.999m3)	unsigned long	4 Byte	0.001 m3	Get			
積算ガス消費量リセット設定	0xC9	0x00 を書き込むことにより積算ガス消費量をリセットする リセット=0x00	unsigned char	1 Byte	－	Set			
発電動作設定	0xCA	発電の動作／停止設定を示す。 発電動作=0x41、 発電停止=0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/Get			
発電動作状態	0xCB	発電の動作状態を示す。 発電中=0x41，停止中＝0x42、アイドル中=0x45	unsigned char	1 Byte	－	Get			
宅内瞬時消費電力計測値	0xCC	宅内の瞬時消費電力を W で示す。 0x0000～0xFFFD（0～65,533W）	unsigned short	2 Byte	W	Get			
宅内積算消費電力量計測値	0xCD	宅内の積算消費電力量を 0.001kWh で示す。 0x00000000～0x3B9AC9FF （0～999,999.999kWh）	unsigned long	4 Byte	0.001 kWh	Get			
宅内積算消費電力量リセット設定	0xCE	0x00 を書き込むことにより宅内の積算発電電力量をリセットする。 リセット=0x00	unsigned char	1 Byte	－	Set			

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

系統連系状態	0xD0	系統連系状態のタイプを示す。 系統連系（逆潮流可）=0x00 独立=0x01 系統連系（逆潮流不可）=0x02	unsigned char	1 Byte	—	Get			
残湯量計測値	0xE1	残湯量計測値をﾘｯﾄﾙで示す。 0x0000～0xFFFD（0～65,533 ﾘｯﾄﾙ）	unsigned short	2 Byte	ﾘｯﾄﾙ	Get			
タンク容量値	0xE2	タンク容量値をﾘｯﾄﾙで示す。 0x0000～0xFFFD（0～65,533 ﾘｯﾄﾙ）	unsigned short	2 Byte	ﾘｯﾄﾙ	Get			

注）状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1) 動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）

本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30(動作状態 ON)で実装することも可能である。

(2) 温水器湯温計測値

貯湯槽内の現在湯温を℃の単位で示す。

プロパティ値の範囲は、0x00～0x64(0～100℃)とする。

(3) 定格発電量

定格発電量を W で示す。プロパティの値域は 0x0000～0xFFFD とし、実機器のプロパティ値がプロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFFFF、実機器のプロパティ値がプロパティ値域未満の場合は、アンダーフローコード 0xFFFE を用いるものとする。

(4) 貯湯槽熱量

貯湯槽熱量を MJ の単位で示す。プロパティの値域は、0x0000～0xFFFD とし、

プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFFFF、実機器のプロパティ値がプロパティ値域未満の場合は、アンダーフローコード 0xFFFE を用いるものとする。

(5) 瞬時発電電力計測値

瞬時発電電力を W の単位で示す。プロパティの値域は、0x0000～0xFFFD とし、実機器のプロパティ値がプロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFFFF、実機器のプロパティ値がプロパティ値域未満の場合は、アンダーフローコード 0xFFFE を用いるものとする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

(6) 積算発電電力計測値

積算発電電力を 0.001kWh の単位で示す。プロパティの値域は、0x00000000～0x3B9AC9FF (0～999,999.999kWh)とし、積算電力量のオーバーフロー時は、0x00000000 から再インクリメントするものとする。

(7) 積算発電電力リセット設定

0x00 をセットすることにより、積算発電電力量をゼロにリセットする。

(8) 瞬時ガス消費量計測値

瞬時ガス消費量を 0.001m3/h の単位で示す。プロパティの値域は、0x0000～FFFD (0～65.533m3/h)とし、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFFFF、実機器のプロパティ値が、プロパティ値域未満の場合は、アンダーフローコード 0xFFFE を用いるものとする。

(9) 積算ガス消費量計測値

積算ガス消費量を 0.001m3 の単位で示す。プロパティの値域は、0x00000000～0x3B9AC9FF (0～999,999.999m3)とし、積算ガス消費量のオーバーフロー時は、0x00000000 から再インクリメントするものとする。

(10) 積算ガス消費量リセット設定

0x00 をセットすることにより、積算ガス消費量をゼロにリセットする。

(11) 発電動作設定

エンジンコージェネレーションの発電動作／停止設定を示す。
プロパティ値は、発電動作：0x41、発電停止：0x42 とする。

(12) 発電動作状態

エンジンコージェネレーションの発電動作状態を示す。
プロパティ値は、発電中:0x41、停止中 0x42、アイドル中:0x45 とする。

(13) 宅内瞬時消費電力計測値

宅内瞬時消費電力を W の単位で示す。プロパティの値域は、0x0000～0xFFFD とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFFFF、実機器のプロパティ値が、プロパティ値域未満の場合は、アンダーフローコード 0xFFFE を用いるものとする。逆潮流防止 CT を設置した箇所の電力と発電電力を合算した電力を宅内瞬時消費電力とする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

(14) 宅内積算消費電力量計測値

宅内積算消費電力量を 0.001kWh の単位で示す。プロパティの値域は、0x00000000～0x3B9AC9FF(0～999,999.999kWh)とし、積算電力量のオーバーフロー時は、0x00000000 から再インクリメントするものとする。逆潮流防止 CT を設置した箇所の電力と発電電力を合算した電力を宅内積算消費電力量とする。

(15) 宅内積算消費電力量リセット設定

0x00 をセットすることにより、宅内積算消費電力量をゼロにリセットする。逆潮流防止 CT を設置した箇所の電力と発電電力を合算した電力を宅内積算消費電力量とする。

(16) 系統連系状態

現在の系統との接続状態(系統連系状態)を示す。

系統連系(逆潮流可)=0x00、独立=0x01、系統連系(逆潮流不可)=0x02

(17) 残湯量計測値

タンク内に残っている湯量をﾘｯﾄﾙの単位で表す。プロパティ値の範囲は、0x0000～0xFFFD (0～65533 ﾘｯﾄﾙ)とし、実機器のプロパティ値がプロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFFFF、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0xFFFE を用いるものとする。

(18) タンク容量値

タンク容量値をﾘｯﾄﾙの単位で示す。プロパティの範囲は、0x0000～0xFFFD (0～65533 ﾘｯﾄﾙ)とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFFFF、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0xFFFE を用いるものとする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．３．２０ 電力量メータクラス規定

クラスグループコード　：　0x02
クラスコード　　：0x80
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
積算電力量計測値	0xE0	積算電力量を 10 進表記において、8 桁で示す。 0x00000000～0x05F5E0FF (0～99,999,999)	unsigned long	4 Byte	0.1 or 0.01 kWh	Get	○		
積算電力量単位	0xE2	積算電力量計測値(0xE0)の単位を示す。 0x01：0.1kWh 0x02：0.01kWh	unsigned char	1 Byte	－	Get	○		
積算電力量計測値履歴 1	0xE3	積算電力量(8 桁)の計測結果履歴を、30 分毎データを過去 24 時間で示す。 0x00000000～0x05F5E0FF (0～99,999,999)	unsigned long ×48	192 Byte	0.1 or 0.01 kWh	Get			
積算電力量計測値履歴 2	0xE4	積算電力量(8 桁)の計測結果履歴を、30 分毎データの 1 日単位データを、過去 45 日で示す。 0x00000000～0x05F5E0FF (0～99,999,999)	unsigned long ×48 ×45	192 Byte × 45	0.1 or 0.01 kWh	GetM			

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)　動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）
本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)　積算電力量計測値
積算電力量計測値を 10 進表記において 8 桁で示す。積算電力量単位(EPC＝0xE2)のプロパティ値により単位を示す。積算電力量単位(EPC＝0xE2)が、0x01 の場合 0.1kWh の単位、0x02 の場合 0.01kWh の単位を取るものとする。プロパティの値域は、0x00000000～05F5E0FF(0～99,999,999)とし、積算電力量のオーバーフロー時は、0x00000000 から再インクリメントするものとする。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

(3) 積算電力量単位

積算電力量計測値(EPC＝0xE0)の単位を示す。プロパティ値が 0x01 の場合、積算電力量計測値(EPC＝0xE0)が 0.1kWh の単位、プロパティ値が 0x02 の場合、積算電力量計測値(EPC＝0xE0)が 0.01kWh の単位を取るものとする。

(4) 積算電力量計測値履歴 1

積算電力量計測値(EPC＝0xE0)の計測結果履歴の 30 分毎データを過去 24 時間分データで示す。積算電力量単位(EPC＝0xE2)のプロパティ値により単位を示し、積算電力量単位(EPC＝0xE2)が、0x01 の場合 0.1kWh の単位、積算電力量単位(EPC＝0xE2)が、0x02 の場合 0.01kWh の単位を取るものとする。30 分毎の積算電力量計測値は、プロパティ名称「現在時刻設定値」(EPC=0x97)で設定する時刻に基づき、毎 0 分、30 分の 8 桁単位の計測値を、0x00000000～05F5E0FF(0～99,999,999)のデータとし、時系列に上位バイトから順にプロパティ値とするものとする。計測値履歴の未計測の時刻のデータに関しては、0xFFFFFFFE を用いるものとする。

(5) 積算電力量計測値履歴 2

積算電力量計測値(EPC＝0xE0)の計測結果履歴を、30 分毎データの 1 日単位データ(4 Byte×48)を 1 配列要素とし、過去 45 日で示す。積算電力量単位(EPC＝0xE2)のプロパティ値により単位を示し、積算電力量単位(EPC＝0xE2)が、0x01 の場合 0.1kWh の単位、積算電力量単位(EPC＝0xE2)が、0x02 の場合 0.01kWh の単位を取るものとする。30 分毎の積算電力量計測値は、プロパティ名称「現在時刻設定値」(EPC=0x97)で設定する時刻に基づき、毎 0 分、30 分の 8 桁単位の計測値を、0x00000000～05F5E0FF(0～99,999,999)のデータとし、45 日前の 0 時 0 分の積算電力量計測値のデータから、時系列に上位バイトから順に 1 日単位データ(4 Byte×48)を 1 配列要素の 45 日分データをプロパティ値とするものとする。計測履歴の未計測の時刻のデータに関しては、0xFFFFFFFE を用いるものとする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．３．２１ 水流量メータクラス規定

クラスグループコード　：0x02
クラスコード　　：0x81
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
水流区分	0xD0	水流量メータの種別を示す。 0x30：上水 0x31：中水 0x32：温水 0x33：その他	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
所有者区分	0xD1	メータの所有者を区分で示す。 0x30：指定なし 0x31：事業体 0x32：民間会社 0x33：個人	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
積算水流量計測値	0xE0	積算水流量の消費量を 9 桁で示す。 0～0x3B9AC9FF (0～999,999,999)	unsigned long	4 Byte	m^3	Get	○		
積算水流量計測値単位	0xE1	積算水流量及び履歴の計測値の単位（乗率）を示す。 0x00：1m^3 0x01：0.1m^3 0x02：0.01m^3 0x03：0.001m^3 0x04：0.0001m^3（初期値） 0x05：0.00001m^3 0x06：0.000001m^3	unsigned char	1 Byte	－	Get	○		
積算水流量計測値履歴	0xE2	積算水流量消費量の計測結果履歴を、30 分毎データを過去 24 時間で示す。 0x00000000～0x3B9AC9FF (0～999,999.999m^3)	unsigned long ×48	192 Byte	0.001 m^3	Get			
検針データ異常検知状態	0xE3	メータが検針データの異常を検知した状態を示す。 異常検知有 0x41 異常検知無 0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get		○	
セキュリティデータ情報	0xE4	メータが作動した保安情報をビット割付で定義するセキュリティデータを示す。 0～0xFFFFFFFF	unsigned long	4 Byte	－	Get			
ID 番号設定	0xE5	メータの ID 番号を表す。 ASCII コードで指定。 （初期値　：“000000”）	unsigned char	6 Byte		Set/ Get			

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

検定満期情報	0xE6	メータの検定満了年月を示す。 ASCII コードで指定。 xxxx xx 年　月	unsigned char	6 Byte		Set/ Get			

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1) 動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）
本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2) 水流量メータ区分
計器により計量されている種別をメータ区分として示す。

(3) 所有者区分
計器の所有者を所有者区分として示す。

(4) 積算水流量計測値
積算水流量計測値を 10 進表記において 9 桁で示す。積算水流量計測値単位(EPC＝0xE1)のプロパティ値により単位を示す。積算水流量計測値単位（積算水流量計測値に対する倍率）が、0x00 の場合 1 m^3、0x01 の場合 0.1m^3、0x02 の場合 0.01m^3、0x03 の場合 0.001m^3、0x04 の場合 0.0001m^3、0x05 の場合 0.00001m^3、0x06 の場合 0.000001m^3 の単位を取るものとする。プロパティの値域は、0x00000000～3B9AC9FF(0～999,999,999)とし、積算水流量計測値のオーバーフロー時は、0x00000000 から再インクリメントするものとする。
例）積算水流量計測値 123456789　積算水流量計測値単位（0x04）の場合
123456789×0.0001m^3=12345.6789m^3（実測値）

(5) 積算水流量計測値単位
積算水流量計測値の単位を示す。

プロパティ値	積算水流量計測値（倍率）
0x00	1m^3
0x01	0.1 m^3
0x02	0.01 m^3
0x03	0.001 m^3
0x04	0.0001 m^3
0x05	0.00001 m^3
0x06	0.000001 m^3

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

(6) 積算水流量量計測値履歴

積算水流量計測値(0.001 m^3)の計測結果履歴の 30 分毎データを過去 24 時間分データで示す。30 分毎の積算水流量計測値は、プロパティ名称「現在時刻設定値」(EPC=0x97)で設定する時刻に基づき、毎 0 分、30 分の 0.001 m^3 単位の計測値を、0x00000000～0x3B9AC9FF(0～999,999.999m^3）のデータとし、時系列に上位バイトから順にプロパティ値とするものとする。計測値履歴の未計測の時刻のデータに関しては、0xFFFFFFFE を用いるものとする。

(7) 検針データ異常検知状態

検針データに異常を検知した状態を示す。異常検知有の場合 0x41、異常検知無の場合 0x42 を取るものとする。

(8) セキュリティデータ情報

メータが異常検知した保安情報をビット割付で定義するセキュリティデータで示す。

(9) ID 番号設定

計測器の ID 番号を示す。設定範囲は半角英数文字 6 桁とする。
ID 番号は、メータが複数あった場合に利用。

(10) 検定満期情報

計器が検定品である場合、検定期間満了年月を示す。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．３．２２ ガスメータクラス規定

クラスグループコード　：　0x02
クラスコード　　：0x82
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
積算ガス消費量計測値	0xE0	積算ガス消費量を 0.001m³ で示す。 0x00000000～0x3B9AC9FF (0～999,999.999m³)	unsigned long	4 Byte	0.001 m³	Get	○		
積算ガス消費量計測値履歴	0xE2	積算ガス消費量の計測結果履歴を、30 分毎データを過去 24 時間で示す。 0x00000000～0x3B9AC9FF (0～999,999.999m³)	unsigned long ×48	192 Byte	0.001 m³	Get			

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)　動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）
本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)　積算ガス消費量計測値
積算ガス消費量を 0.001 m³ の単位で示す。プロパティの値域は、0x00000000～0x3B9AC9FF(0～999,999.999m³）とし、積算ガス消費量のオーバーフロー時は、0x00000000 から再インクリメントするものとする。

(3)　積算ガス消費量計測値履歴
積算ガス消費量(0.001 m³)の計測結果履歴の 30 分毎データを過去 24 時間分データで示す。30 分毎の積算ガス消費量計測値は、プロパティ名称「現在時刻設定値」(EPC=0x97)で設定する時刻に基づき、毎 0 分、30 分の 0.001 m³ 単位の計測値を、0x00000000～0x3B9AC9FF(0～999,999.999m³）のデータとし、時系列に上位バイトから順にプロパティ値とするものとする。計測値履歴の未計測の時刻のデータに関しては、0xFFFFFFFＥを用いるものとする。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

３．３．２３ ＬＰガスメータクラス規定

クラスグループコード　：　0x02
クラスコード　　：0x83
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
検針データ 積算ガス消費量計測値１	0xE0	積算ガス消費量を 0.0001m³ で示す。 0～0x005F5E0FF (0～9,999.9999m³)	unsigned long	4 Byte	0.0001 m³	Get	○		
検針データ 積算ガス消費量計測値２	0xE1	積算ガス消費量を 0.001m³ で示す。 0～0x005F5E0FF (0～99,999.999m³)	unsigned long	4 Byte	0.001m³	Get	○		
検針データ 異常検知状態	0xE2	メータが検針データの異常を検知した状態を示す。 異常検知有 0x41 異常検知無 0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get		○	
セキュリティデータ情報１	0xE3	メータが作動した保安情報をビット割付で定義するセキュリティデータを示す。 0～0xFFFFFFFF	unsigned long	4 Byte	－	Get			
セキュリティデータ情報２	0xE4	メータが作動した保安情報をビット割付で定義するセキュリティデータを示す。 0～0xFFFFFFFF	unsigned long	4 Byte	－	Get			
センター弁遮断状態	0xE5	メータのガス遮断弁をセンターが遮断した状態を示す。 センター弁遮断有り 0x41 センター弁遮断無し 0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get		○	
センター弁遮断復帰許可状態	0xE6	メータのガス遮断弁の遮断状態からの復帰許可状態を示す。 センター弁遮断復帰許可 0x41 センター弁遮断復帰非許可 0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get			
緊急弁遮断状態	0xE7	メータのガス遮断弁を緊急に遮断した状態を示す。 緊急弁遮断有り 0x41 緊急弁遮断無し 0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get			
遮断弁開閉状態	0xE8	遮断弁の開閉状態を示す。 遮断弁開状態 0x41 遮断弁閉状態 0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get			

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

残量管理警告レベル	0xE9	残量僅少の警告示す。 残量管理警告レベル 1　0x31 残量管理警告レベル 2　0x32 残量管理警告レベル 3　0x33 残量管理警告無し　0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get		○	
残量管理警告レベル設定値 1	0xEA	残量管理警告レベル 1 を設定する 0 ～ 0xFFFFFF(0 ～ 16,777,215)	unsigned char ×3	3 Byte	リットル	Set/ Get			
残量管理警告レベル設定値 2	0xEB	残量管理警告レベル 2 を設定する 0 ～ 0xFFFFFF(0 ～ 16,777,215)	unsigned char ×3	3 Byte	リットル	Set/ Get			
残量管理警告レベル設定値 3	0xEC	残量管理警告レベル 3 を設定する 0 ～ 0xFFFFFF(0 ～ 16,777,215)	unsigned char ×3	3 Byte	リットル	Set/ Get			
微少漏洩タイマ値(ガス流量継続)	0xED	ガス流量が継続している日数を示す 0～0xFD(0～253) (0～253 日)	unsigned char	1 Byte	日	Get			
微少漏洩タイマ値(圧力上昇無し)	0xEE	ガスの圧力上昇が見られずガス漏れ監視をしている日数を示す 0～0xFD(0～253) (0～253 日)	unsigned char	1 Byte	日	Get			
遮断理由履歴情報	0xEF	遮断弁によりガスを遮断した理由の履歴を各 1 バイトでビット割付で定義する。履歴を過去 3 回分示す。 履歴 3：履歴 2：履歴 1 0xFF：0 x FF：0 x FF	unsigned char ×3	3 Byte	－	Get			
供給圧力データ最大値	0xD0	供給圧力データの最大値を 0.01kPa の単位で示す。 0x0000 ～ 0xFFFD(0 ～ 655.33) (0～655.33kPa)	unsigned short	2 Byte	0.01 kPa	Get			
供給圧力データ最小値	0xD1	供給圧力データの最小値を 0.01kPa の単位で示す。 0x0000 ～ 0xFFFD(0 ～ 655.33) (0～655.33kPa)	unsigned short	2 Byte	0.01 kPa	Get			
供給圧力データ現在値	0xD2	供給圧力データの現在地を 0.01kPa の単位で示す。 0x0000 ～ 0xFFFD(0 ～ 655.33) (0～655.33kPa)	unsigned short	2 Byte	0.01 kPa	Get			
閉塞圧力データ最大値	0xD3	閉塞圧力データの最大値を 0.01kPa の単位で示す。 0x0000 ～ 0xFFFD(0 ～ 655.33) (0～655.33kPa)	unsigned short	2 Byte	0.01 kPa	Get			

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

閉塞圧力データ最小値	0xD4	閉塞圧力データの最小値を 0.01kPa の単位で示す。 0x0000 ～ 0xFFFD(0 ～ 655.33) (0～655.33kPa)	unsigned short	2 Byte	0.01 kPa	Get			
閉塞圧力データ現在値	0xD5	閉塞圧力データの現在値を 0.01kPa の単位で示す。 0x0000 ～ 0xFFFD(0 ～ 655.33) (0～655.33kPa)	unsigned short	2 Byte	0.01 kPa	Get			
閉塞圧力･供給圧力異常日回数情報	0xD6	閉塞圧力・供給圧力の異常日数および回数を各 1 バイトで示す。 閉塞圧力異常日数：供給圧力異常日数：閉塞圧力異常回数：供給圧力異常回数	unsigned char ×4	4 Byte	－	Get			
テスト発呼設定	0xD7	テスト発呼動作を設定する。 テスト発呼動作あり 0x41 テスト発呼動作なし 0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			

注）状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1) 動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）

ＬＰガスメータが、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、ＬＰガスメータの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2) 検針データ積算ガス消費量計測値 1

積算ガス消費量を 0.0001m³ の単位で示す。プロパティの値域は、0x00000000～0x005F5E0FF（0～9,999.9999m³）とし、積算ガス消費量のオーバーフロー時は、0x00000000 から再インクリメントするものとする。検針データ積算ガス消費量計測値 1 プロパティ(EPC=0xE0)もしくは、検針データ積算ガス消費量計測値 2 プロパティ(EPC=0xE1)のいづれかの搭載を必須とする。

(3) 検針データ積算ガス消費量計測値 2

積算ガス消費量を 0.001 m³ の単位で示す。プロパティの値域は、0x00000000～0x005F5E0FF（0～99,999.999m³）とし、積算ガス消費量のオーバーフロー時は、0x00000000 から再インクリメントするものとする。検針データ積算ガス消費量計測値 1 プロパティ(EPC=0xE0)もしくは、検針データ積算ガス消費量計測値 2 プロパティ(EPC=0xE1)のいづれかの搭載を必須とする。

(4) 検針データ異常検知状態

検針データに異常を検知した状態を示す。異常検知有の場合 0x41、異常検知無の場合 0x42

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

を取るものとする。

(5) セキュリティデータ情報１
メータが異常検知した保安情報をビット割付で定義するセキュリティデータで示す。

(6) セキュリティデータ情報２
メータが異常検知した保安情報をビット割付で定義するセキュリティデータで示す。

(7) センター弁遮断状態
センターからメータのガス遮断弁を遮断した状態を示す。センター弁遮断有りの状態では、センター弁遮断復帰許可(0x41)を受け付けるまで遮断弁開要求を受け付けない。

(8) センター弁遮断復帰許可状態
メータのガス遮断弁の遮断状態からの復帰許可状態を示す。センター弁遮断復帰許可は、0x41、センター弁遮断復帰非許可は 0x42 とする。

(9) 緊急弁遮断状態
メータのガス遮断弁を緊急に遮断した状態を示す。緊急弁遮断ありを 0x41、緊急弁遮断なしを 0x42 とする。

(10) 遮断弁開閉状態
遮断弁の開閉状態を示す。遮断弁開状態を 0x41、遮断弁閉状態を 0x42 とする。

(11) 残量管理警告レベル
残量僅少の警告を示す。残量管理警告レベル１による警告を 0x31、残量管理警告レベル２による警告を 0x32、残量管理警告レベル３による警告を 0x33 で示し、残量管理警告なしは 0x42 を示す。残量がそれぞれの残量管理警告レベル設定値（残量管理警告レベル設定値１、残量管理警告レベル設定値２、残量管理警告レベル設定値３の各プロパティ値）以下となった場合、対応する上記プロパティ値をとるものとする。各警告レベルに対応する残量は、残量管理警告レベル設定値１＞残量管理警告レベル設定値２＞残量管理警告レベル設定値３の順番とする。

(12) 残量管理警告レベル設定値１
残量管理警告プロパティ（0xE9）の値が残量警告レベル１（0x31）に遷移するガス残量を設定する。プロパティの値域は、0～0xFFFFFF(0～16,777,215 ﾘｯﾄﾙ)とする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

(13) 残量管理警告レベル設定値２

残量管理警告プロパティ（0xE9）の値が残量警告レベル２（0x32）に遷移するガス残量を設定する。プロパティの値域は、0～0xFFFFFF(0～16,777,215 ﾘｯﾄﾙ)とする。

(14) 残量管理警告レベル設定値３

残量管理警告プロパティ（0xE9）の値が残量警告レベル３（0x33）に遷移するガス残量を設定する。プロパティの値域は、0～0xFFFFFF(0～16,777,215 ﾘｯﾄﾙ)とする。

(15) 微小漏洩タイマ値（ガス流量継続）

ガス流量が継続している日数を表す。プロパティの値域は、0～0xFD(0～253 日)とする。

(16) 微小漏洩タイマ値（圧力上昇なし）

ガスの圧力上昇が見られない状態で、ガス漏れ監視をしている日数を示す。プロパティの値域は、0～0xFD(0～253 日)とする。

(17) 遮断理由履歴情報

遮断弁によりガスを遮断した理由の履歴を各 1 バイトでビット割付で定義する。履歴を過去 3 階示す。履歴 3 : 履歴 2 : 履歴 1 の順に上位バイトからプロパティ値を構成するものとし、履歴 3 は前々回、履歴には前回、履歴 1 は最後の履歴を示すものとする。

(18) 供給圧力データ最大値

供給圧力データの最大値を 0.01Pa の単位で示す。プロパティの値域は、0x0000～0xFFFD（0～655.33Pa）とする。

(19) 供給圧力データ最小値

供給圧力データの最小値を 0.01Pa の単位で示す。プロパティの値域は、0x0000～0xFFFD（0～655.33Pa）とする。

(20) 供給圧力データ現在値

供給圧力データの現在値を 0.01Pa の単位で示す。プロパティの値域は、0x0000～0xFFFD（0～655.33Pa）とする。

(21) 閉塞圧力データ最大値

閉塞圧力データの最大値を 0.01Pa の単位で示す。プロパティの値域は、0x0000～0xFFFD（0～655.33Pa）とする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

(22) 閉塞圧力データ最小値

閉塞圧力データの最小値を 0.01Pa の単位で示す。プロパティの値域は、0x0000～0xFFFD（0～655.33Pa）とする。

(23) 閉塞圧力データ現在値

閉塞圧力データの現在値を 0.01Pa の単位で示す。プロパティの値域は、0x0000～0xFFFD（0～655.33Pa）とする。

(24) 閉塞圧力・供給圧力異常日回数情報

供給圧力、閉塞圧力の異常日数、および回数を各 1 バイトで示す。閉塞圧力異常日数 : 供給圧力異常日数 : 閉塞圧力異常回数 ; 供給圧力異常回数の順で、上位バイトからプロパティ値を構成するものとする。

(25) テスト発呼設定

テスト発呼動作設定を行う。本プロパティに対し、テスト発呼動作有り（0x41）を設定することにより、テスト発呼を行う。また、テスト発呼動作なし（0x42）を設定することにより、テスト発呼を停止する。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．３．２４ 分電盤メータリングクラス規定

クラスグループコード　：　0x02
クラスコード　　：0x87
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
積算電力量計測値（正方向）	0xC0	積算電力量を 10 進表記において、8 桁で示す。 0x00000000～0x05F5E0FF (0～99,999,999)	unsigned long	4 Byte	kWh	Get	○		
積算電力量計測値（逆方向）	0xC1	積算電力量を 10 進表記において、8 桁で示す。 0x00000000～0x05F5E0FF (0～99,999,999)	unsigned long	4 Byte	kWh	Get	○		
積算電力量単位	0xC2	積算電力量計測値及び履歴の単位（乗率）を示す。 0x00：1kWh 0x01：0.1kWh 0x02：0.01kWh 0x03：0.001kWh（初期値） 0x04：0.0001kWh 0x0A：10kWh 0x0B：100kWh 0x0C：1000kWh 0x0D：10000kWh	unsigned char	1 Byte	－	Get	○		
積算電力量計測値履歴（正方向）	0xC3	積算履歴収集日及び積算電力量(8 桁)の計測結果履歴を、30 分毎データを過去 24 時間で示す。 0x0000～0x0063：0x00000000～0x05F5E0FF (0～99)：(0～99,999,999)	unsigned short ＋ unsigned long ×48	194 Byte	kWh	Get			

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

積算電力量 計測値履歴 （逆方向）	0xC4	積算履歴収集日及び積算電力量(8 桁)の計測結果履歴を、30 分毎データを過去 24 時間で示す。 0x0000～0x0063： 0x00000000～0x05F5E0FF (0～99)：(0～99,999,999)	unsigned short ＋ unsigned long ×48	194 Byte	kWh	Get			
積算履歴収集日	0xC5	30 分毎の計測値履歴データを収集する日を示す。 0x00～0x63 (0～99) 0:当日　1～99:前日の日数	unsigned char	1 Byte		Set/ Get			
瞬時電力計測値	0xC6	電力実効値の瞬時値を W で示す。 0x80000001～0x7FFFFFFD (-2,147,483,647～ 2,147,483,645)	signed long	4 Byte	W	Get			
瞬時電流計測値	0xC7	実効電流値の瞬時値を A で R 相 T 相を並べて示す。 単相 2 線式の場合は、T 相に 0x7FFE をセット。 0x8001～0x7FFD（R 相） ：0x8001～0x7FFD（T 相） (-3,276.7～3,276.5): (-3,276.7～3,276.5)	signed short ×2	4 Byte	0.1 A	Get			
瞬時電圧計測値	0xC8	実効電圧値の瞬時値を V で R-S(N)間､S(N) - T 間を並べて示す。単相 2 線式の場合は、S(N)-T 間に 0xFFFE をセット。 0x0000～0xFFFD(R-S(N)間)： 0x0000～0xFFFD(S(N)-T)間) (0～6,553.3)：(0～6,553.3)	unsigned short ×2	4 Byte	0.1 V	Get			
計測チャンネル 1	0xD0	計測チャンネル 1 の計測データを kWh,A(R 相),A(T 相)で並べて示す。 kWh は、0xC0 の形式 (単位は、0xC2 を参照) A は、0xC7 の形式	unsigned long ＋ signed short ×2	8 Byte	kWh + 0.1A ×2	Get			
計測チャンネル 2	0xD1	計測チャンネル 2 の計測データを kWh,A(R 相),A(T 相)で並べて示す。 kWh は、0xC0 の形式 (単位は、0xC2 を参照) A は、0xC7 の形式	unsigned long ＋ signed short ×2	8 Byte	kWh + 0.1A ×2	Get			

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

計測チャンネル 3	0xD2	計測チャンネル 3 の計測データを kWh,A(R 相),A(T 相)で並べて示す。 kWh は、0xC0 の形式 (単位は、0xC2 を参照) A は、0xC7 の形式	unsigned long ＋ signed short ×2	8 Byte	kWh ＋ 0.1A ×2	Get			
計測チャンネル 4	0xD3	計測チャンネル 4 の計測データを kWh,A(R 相),A(T 相)で並べて示す。 kWh は、0xC0 の形式 (単位は、0xC2 を参照) A は、0xC7 の形式	unsigned long ＋ signed short ×2	8 Byte	kWh ＋ 0.1A ×2	Get			
計測チャンネル 5	0xD4	計測チャンネル 5 の計測データを kWh,A(R 相),A(T 相)で並べて示す。 kWh は、0xC0 の形式 (単位は、0xC2 を参照) A は、0xC7 の形式	unsigned long ＋ signed short ×2	8 Byte	kWh ＋ 0.1A ×2	Get			
計測チャンネル 6	0xD5	計測チャンネル 6 の計測データを kWh,A(R 相),A(T 相)で並べて示す。 kWh は、0xC0 の形式 (単位は、0xC2 を参照) A は、0xC7 の形式	unsigned long ＋ signed short ×2	8 Byte	kWh ＋ 0.1A ×2	Get			
計測チャンネル 7	0xD6	計測チャンネル 7 の計測データを kWh,A(R 相),A(T 相)で並べて示す。 kWh は、0xC0 の形式 (単位は、0xC2 を参照) A は、0xC7 の形式	unsigned long ＋ signed short ×2	8 Byte	kWh ＋ 0.1A ×2	Get			
計測チャンネル 8	0xD7	計測チャンネル 8 の計測データを kWh,A(R 相),A(T 相)で並べて示す。 kWh は、0xC0 の形式 (単位は、0xC2 を参照) A は、0xC7 の形式	unsigned long ＋ signed short ×2	8 Byte	kWh ＋ 0.1A ×2	Get			
計測チャンネル 9	0xD8	計測チャンネル 9 の計測データを kWh,A(R 相),A(T 相)で並べて示す。 kWh は、0xC0 の形式 (単位は、0xC2 を参照) A は、0xC7 の形式	unsigned long ＋ signed short ×2	8 Byte	kWh ＋ 0.1A ×2	Get			

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

計測チャンネル 10	0xD9	計測チャンネル 10 の計測データを kWh,A(R 相),A(T 相)で並べて示す。 kWh は、0xC0 の形式 (単位は、0xC2 を参照) A は、0xC7 の形式	unsigned long ＋ uigned short ×2	8 Byte	kWh ＋ 0.1A ×2	Get			
計測チャンネル 11	0xDA	計測チャンネル 11 の計測データを kWh,A(R 相),A(T 相)で並べて示す。 kWh は、0xC0 の形式 (単位は、0xC2 を参照) A は、0xC7 の形式	unsigned long ＋ signed short ×2	8 Byte	kWh ＋ 0.1A ×2	Get			
計測チャンネル 12	0xDB	計測チャンネル 12 の計測データを kWh,A(R 相),A(T 相)で並べて示す。 kWh は、0xC0 の形式 (単位は、0xC2 を参照) A は、0xC7 の形式	unsigned long ＋ signed short ×2	8 Byte	kWh ＋ 0.1A ×2	Get			
計測チャンネル 13	0xDC	計測チャンネル 13 の計測データを kWh,A(R 相),A(T 相)で並べて示す。 kWh は、0xC0 の形式 (単位は、0xC2 を参照) A は、0xC7 の形式	unsigned long ＋ signed short ×2	8 Byte	kWh ＋ 0.1A ×2	Get			
計測チャンネル 14	0xDD	計測チャンネル 14 の計測データを kWh,A(R 相),A(T 相)で並べて示す。 kWh は、0xC0 の形式 (単位は、0xC2 を参照) A は、0xC7 の形式	unsigned long ＋ signed short ×2	8 Byte	kWh ＋ 0.1A ×2	Get			
計測チャンネル 15	0xDE	計測チャンネル 15 の計測データを kWh,A(R 相),A(T 相)で並べて示す。 kWh は、0xC0 の形式 (単位は、0xC2 を参照) A は、0xC7 の形式	unsigned long ＋ signed short ×2	8 Byte	kWh ＋ 0.1A ×2	Get			
計測チャンネル 16	0xDF	計測チャンネル 16 の計測データを kWh,A(R 相),A(T 相)で並べて示す。 kWh は、0xC0 の形式 (単位は、0xC2 を参照) A は、0xC7 の形式	unsigned long ＋ signed short ×2	8 Byte	kWh ＋ 0.1A ×2	Get			

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

計測チャンネル 17	0xE0	計測チャンネル 17 の計測データを kWh,A(R 相),A(T 相)で並べて示す。 kWh は、0xC0 の形式 (単位は、0xC2 を参照) A は、0xC7 の形式	unsigned long ＋ signed short ×2	8 Byte	kWh ＋ 0.1A ×2	Get			
計測チャンネル 18	0xE1	計測チャンネル 18 の計測データを kWh,A(R 相),A(T 相)で並べて示す。 kWh は、0xC0 の形式 (単位は、0xC2 を参照) A は、0xC7 の形式	unsigned long ＋ signed short ×2	8 Byte	kWh ＋ 0.1A ×2	Get			
計測チャンネル 19	0xE2	計測チャンネル 19 の計測データを kWh,A(R 相),A(T 相)で並べて示す。 kWh は、0xC0 の形式 (単位は、0xC2 を参照) A は、0xC7 の形式	unsigned long ＋ signed short ×2	8 Byte	kWh ＋ 0.1A ×2	Get			
計測チャンネル 20	0xE3	計測チャンネル 1 の計測データを kWh,A(R 相),A(T 相)で並べて示す。 kWh は、0xC0 の形式 (単位は、0xC2 を参照) A は、0xC7 の形式	unsigned long ＋ signed short ×2	8 Byte	kWh ＋ 0.1A ×2	Get			
計測チャンネル 21	0xE4	計測チャンネル 21 の計測データを kWh,A(R 相),A(T 相)で並べて示す。 kWh は、0xC0 の形式 (単位は、0xC2 を参照) A は、0xC7 の形式	unsigned long ＋ signed short ×2	8 Byte	kWh ＋ 0.1A ×2	Get			
計測チャンネル 22	0xE5	計測チャンネル 22 の計測データを kWh,A(R 相),A(T 相)で並べて示す。 kWh は、0xC0 の形式 (単位は、0xC2 を参照) A は、0xC7 の形式	unsigned long ＋ signed short ×2	8 Byte	kWh ＋ 0.1A ×2	Get			
計測チャンネル 23	0xE6	計測チャンネル 23 の計測データを kWh,A(R 相),A(T 相)で並べて示す。 kWh は、0xC0 の形式 (単位は、0xC2 を参照) A は、0xC7 の形式	unsigned long ＋ signed short ×2	8 Byte	kWh ＋ 0.1A ×2	Get			

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

計測チャンネル 24	0xE7	計測チャンネル 24 の計測データを kWh,A(R 相),A(T 相)で並べて示す。 kWh は、0xC0 の形式 (単位は、0xC2 を参照) A は、0xC7 の形式	unsigned long ＋ signed short ×2	8 Byte	kWh ＋ 0.1A ×2	Get			
計測チャンネル 25	0xE8	計測チャンネル 25 の計測データを kWh,A(R 相),A(T 相)で並べて示す。 kWh は、0xC0 の形式 (単位は、0xC2 を参照) A は、0xC7 の形式	unsigned long ＋ signed short ×2	8 Byte	kWh ＋ 0.1A ×2	Get			
計測チャンネル 26	0xE9	計測チャンネル 26 の計測データを kWh,A(R 相),A(T 相)で並べて示す。 kWh は、0xC0 の形式 (単位は、0xC2 を参照) A は、0xC7 の形式	unsigned long ＋ signed short ×2	8 Byte	kWh ＋ 0.1A ×2	Get			
計測チャンネル 27	0xEA	計測チャンネル 27 の計測データを kWh,A(R 相),A(T 相)で並べて示す。 kWh は、0xC0 の形式 (単位は、0xC2 を参照) A は、0xC7 の形式	unsigned long ＋ signed short ×2	8 Byte	kWh ＋ 0.1A ×2	Get			
計測チャンネル 28	0xEB	計測チャンネル 28 の計測データを kWh,A(R 相),A(T 相)で並べて示す。 kWh は、0xC0 の形式 (単位は、0xC2 を参照) A は、0xC7 の形式	unsigned long ＋ signed short ×2	8 Byte	kWh ＋ 0.1A ×2	Get			
計測チャンネル 29	0xEC	計測チャンネル 29 の計測データを kWh,A(R 相),A(T 相)で並べて示す。 kWh は、0xC0 の形式 (単位は、0xC2 を参照) A は、0xC7 の形式	unsigned long ＋ signed short ×2	8 Byte	kWh ＋ 0.1A ×2	Get			
計測チャンネル 30	0xED	計測チャンネル 30 の計測データを kWh,A(R 相),A(T 相)で並べて示す。 kWh は、0xC0 の形式 (単位は、0xC2 を参照) A は、0xC7 の形式	unsigned long ＋ signed short ×2	8 Byte	kWh ＋ 0.1A ×2	Get			
計測チャンネル 31	0xEE	計測チャンネル 31 の計測データを kWh,A(R 相),A(T 相)で並べて示す。 kWh は、0xC0 の形式 (単位は、0xC2 を参照) A は、0xC7 の形式	unsigned long ＋ signed short ×2	8 Byte	kWh ＋ 0.1A ×2	Get			

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

計測チャンネル 32	0xEF	計測チャンネル 32 の計測データを kWh,A(R 相),A(T 相)で並べて示す。 kWh は、0xC0 の形式 (単位は、0xC2 を参照) A は、0xC7 の形式	unsigned long + signed short ×2	8 Byte	kWh + 0.1A ×2	Get			

注1） 状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1) 動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）

本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2) 積算電力量計測値（正方向、逆方向）

積算電力量計測値を 10 進表記において 8 桁で示す。正方向を潮流、逆方向を逆潮流とする。積算電力量単位(EPC＝0xC１)のプロパティ値により単位を示す。積算電力量単位（積算電力量に対する倍率）が、0x00 の場合 1 kWh、0x01 の場合 0.1kWh の単位、0x02 の場合 0.01kWh、0x03 の場合 0.001kWh、0x04 の場合 0.0001kWh、0x0A の場合 10kWh、0x0B の場合 100kWh、0x0C の場合 1000kWh、0x0D の場合 10000kWh の単位を取るものとする。プロパティの値域は、0x00000000～05F5E0FF(0～99,999,999)とし、積算電力量のオーバーフロー時は、0x00000000 から再インクリメントするものとする。

例）積算電力量 12345678　積算電力量単位（0x03）の場合

12345678×0.001kW=12345.678kWh（実測値）

オーバーフロー：0x00000000 から再インクリメント

データなし　　：0xFFFFFFFE

(3) 積算電力量単位

積算電力量計測値（EPC=0xC0、0xC1）の単位を示す。

プロパティ値	積算電力量計測単位（倍率）
0x00	1kWh
0x01	0.1kWh
0x02	0.01kWh
0x03	0.001kWh
0x04	0.0001kWh
0x0A	10kWh
0x0B	100kWh
0x0C	1000kWh
0x0D	10000kWh

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

(4) 積算電力量計測値履歴（正方向、逆方向）

積算履歴収集日（EPC=0xC5）に設定しているデータ 0x00～0x63（0～99）及び設定した積算履歴収集日の積算電力量計測値を計測結果履歴の 30 分毎データとして過去 24 時間分データで示す。積算電力量単位のプロパティ値により単位を示し、積算電力量単位が、0x00 の場合 1kWh、0x01 の場合 0.1kWh の単位、0x02 の場合 0.01kWh、0x03 の場合 0.001kWh、0x04 の場合 0.0001kWh、0x0A の場合 10kWh、0x0B の場合 100kWh、0x0C の場合 1000kWh、0x0D の場合 10000kWh の単位を取るものとする。30 分毎の積算電力量計測値は、プロパティ名称「現在時刻設定値」(EPC=0x97)で設定する時刻に基づき、毎 0 分、30 分の 8 桁単位の計測値（計測器の読み値、30 分間の積算量ではない）を、0x00000000～0x05F5E0FF(0～99,999,999)のデータとし、時系列に上位バイトから順にプロパティ値とするものとする。計測値履歴の未計測の時刻のデータに関しては、0xFFFFFFFE を用いるものとする。

(5) 積算履歴収集日（正方向、逆方向）

積算計測値履歴（EPC=0xC3,C4）で呼び出す日を 0x00～0x63（0～99）で設定する。

0x00（0）は、当日（前時限値まで）データ

0x63（99）は、99 日前データ

該当データがない場合は、積算計測値履歴の積算履歴収集日に 0xFF をセットし 30 分値は全て 0xFFFFFFFE をセットする。

(6) 瞬時電力計測値

電力実効値の瞬時値を W で示す。値域は 0x80000001～0x7FFFFFFD（－2147483647～2147483645）で示す。

範囲：－2,147,483,647～2,147,483,645W （計測単位:W）

＊アンダーフロー：0x80000000

オーバーフロー：0x7FFFFFFF

データなし　　：0x7FFFFFFE

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

(7) 瞬時電流計測値

電流実効値の瞬時値を 0.1A で R 相 T 相を並べて示す。値域は 0x8001～0x7FFD（－3276.7～3276.5）で示す。

（但し単相 2 線式の場合は R 相エリアにデータ，T 相エリアに 0x7FFE をセット）

範囲：－3276.7～3276.5A（計測単位:0.1A）

（例）単相 3 線式　0x03E9 0x03E7　→　100.1,099.9（A）

　　単相 2 線式　0xFC19 0x7FFE　→　 - 99.9 未計測（A）

＊アンダーフロー：0x8000

　オーバーフロー：0x7FFF

　データなし　　：0x7FFE

(8) 瞬時電圧計測値

電圧実効値の瞬時値を V で R-S(N)間、S(N)-T 間を並べて示す。値域は 0x0000～0xFFFD（0～6553.3）で示す。

（但し単相 2 線式の場合は R-S(N)間にデータ、S(N)-T 間に 0xFFFE をセット）

範囲： 0.0～6553.3V（計測単位:0.1V）

（例）単相 3 線式　0x0451 0x03E7　→ 110.5 099.9（V）

　　単相 2 線式　0x03E7 0xFFFE → 99.9 未計測（V）

＊オーバーフロー：0xFFFF

　データなし　　：0xFFFE

(9) 計測チャンネル１～３２

一つの EPC コードに積算電力量を kWh、電流実効値の瞬時値を 0.1A で並べて示す。

データの形式は、積算電力量は積算電力量計則値プロパティ（0xC0）と同じ形式で示し、電流実行値の瞬時値は、瞬時電流計測値プロパティ（0xC7）と同じ形式で示す。積算電力量の単位は、積算電力量単位プロパティ（0xC2）の単位を利用する。

*電圧要素は、0xC8 より収集する。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．３．２５ スマート電力量メータクラス規定

クラスグループコード　：　0x02
クラスコード　　：0x88
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
電力区分	0xD0	電力量メータの種別を示す。 0x30：電力会社 0x31：太陽光 0x32：燃料電池 0x33：蓄電池 0x34：EV 0x35：その他	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
所有者区分	0xD1	メータの所有者を区分で示す。 0x30：指定なし 0x31：電力会社 0x32：電力会社以外 0x33：個人	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
相線式設定状態	0xD2	相線式の設定状態を示す。 単相２線：0x30 単相３線：0x31 三相３線：0x32 三相４線：0x33	unsigned char	1 Byte		Get			
合成変成比	0xD3	合成変成比を 10 進表記において 6 桁で示す。 0x00000000～0x000F423F (000000～999999)	unsigned long	4 Byte		Get			
合成変成比の倍率	0xD4	合成変成比の倍率を示す。 0x00：×1 0x01：×0.1 0x02：×0.01 0x03：×0.001	unsigned char	1 Byte		Get			
計器認定番号	0xD5	型式認定計器番号を 10 桁の文字列で示す。 (型式認定計器番号記載方法に従う)	unsigned char × 10	10 Byte		Get			
検定満了年月	0xD6	メータの検定満了年月を ASCII コードで示す。 YYYYMM YYYY（西暦），MM（月）	unsigned char × 6	6 Byte		Set/ Get			
積算電力量有効桁数	0xD7	積算電力量計測値の有効桁数を示す。 0x01～0x08 (1～8)	unsigned char	1 Byte	桁	Get	○		

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

積算電力量 計測値 (正方向計測値)	0xE0	積算電力量を 10 進表記において、最大 8 桁で示す。 0x00000000～0x05F5E0FF (0～99,999,999)	unsigned long	4 Byte	kWh	Get	○ ※1		
積算電力量単位 （正方向、 逆方向計測値）	0xE1	積算電力量計測値、履歴の単位（乗率）を示す。 0x00：1kWh 0x01：0.1kWh 0x02：0.01kWh 0x03：0.001kWh 0x04：0.0001kWh 0x0A：10kWh 0x0B：100kWh 0x0C：1000kWh 0x0D：10000kWh	unsigned char	1 Byte	－	Get	○		
積算電力量 計測値履歴 1 (正方向計測値)	0xE2	積算履歴収集日 1 と該当収集日の 24 時間 48 コマ分（0 時 0 分～23 時 30 分）の正方向の定時積算電力量計測値の履歴データを時系列順に上位バイトからプロパティ値として示す。 0x0000～0x0063： 0x00000000～0x05F5E0FF (0～99)：(0～99,999,999)	unsigned short ＋ unsigned long ×48	194 Byte	kWh	Get			
積算電力量計測値 (逆方向計測値)	0xE3	積算電力量を 10 進表記において、最大 8 桁で示す。 0x00000000～0x05F5E0FF (0～99,999,999)	unsigned long	4 Byte	kWh	Get			
積算電力量 計測値履歴 1 (逆方向計測値)	0xE4	積算履歴収集日 1 と該当収集日の 24 時間 48 コマ分（0 時 0 分～23 時 30 分）の逆方向の定時積算電力量計測値の履歴データを時系列順に上位バイトからプロパティ値として示す。 0x0000～0x0063： 0x00000000～0x05F5E0FF (0～99)：(0～99,999,999)	unsigned short ＋ unsigned long ×48	194 Byte	kWh	Get			
積算履歴収集日 1	0xE5	30 分毎の計測値履歴データを収集する日を示す。 0x00～0x63 (0～99) 0:当日　1～99:前日の日数	unsigned char	1 Byte		Set/ Get			
瞬時電力計測値	0xE7	電力実効値の瞬時値を W で示す。 0x80000001～0x7FFFFFFD (-2,147,483,647～ 2,147,483,645)	signed long	4 Byte	W	Get			
瞬時電流計測値	0xE8	実効電流値の瞬時値を A で R 相 T 相を並べて示す。 単相 2 線式の場合は、T 相に 0x7FFE をセット。 0x8001～0x7FFD（R 相） ：0x8001～0x7FFD（T 相） (-3,276.7～3,276.5): (-3,276.7～3,276.5)	signed short ×2	4 Byte	0.1 A	Get			

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

瞬時電圧計測値	0xE9	実効電圧値の瞬時値を V で R-S(N)間、S(N) - T 間を並べて示す。単相 2 線式の場合は、S(N)-T 間に 0xFFFE をセット。 0x0000～0xFFFD(R-S(N)間) : 0x0000～0xFFFD(S(N)-T)間) (0～6,553.3) : (0～6,553.3)	unsigned short ×2	4 Byte	0.1 V	Get			
定時 積算電力量 計測値 (正方向計測値)	0xEA	最新の 30 分毎の計測時刻における積算電力量(正方向計測値)を、計測年月日を4バイト、計測時刻を3バイト、積算電力量(正方向計測値)4 バイトで示す。 ・計測年月日 YYYY:MM:DD ・計測時刻 hh:mm:ss ・積算電力量 10進表記で最大8桁 1～4バイト目:計測年月日 YYYY:0x0001～0x270F (1～9999) MM:0x01～0x0C(1～12) DD:0x01～0x1F(1～31) 5～7バイト目:計測時刻 hh:0x00～0x17(0～23) mm:0x00～0x3B(0～59) ss:0x00～0x3B(0～59) 8～11 バイト目: 0x00000000～0x05F5E0FF (0～99,999,999)	unsigned char×4 + unsigned char×3 + unsigned long	11 Byte	年月日, 時分秒, kWh	Get	○ ※1		
定時 積算電力量 計測値 (逆方向計測値)	0xEB	最新の 30 分毎の計測時刻における積算電力量(逆方向計測値)を、計測年月日を 4 バイト、計測時刻を 3 バイト、積算電力量（逆方向計測値）4 バイトで示す。 ・計測年月日 YYYY:MM:DD ・計測時刻 hh:mm:ss ・積算電力量 10 進表記で最大 8 桁 1～4 バイト目：計測年月日 YYYY:0x0001～0x270F (1～9999) MM:0x01～0x0C(1～12) DD:0x01～0x1F(1～31) 5～7 バイト目：計測時刻 hh:0x00～0x17(0～23) mm:0x00～0x3B(0～59) ss:0x00～0x3B(0～59) 8～11 バイト目： 0x00000000～0x05F5E0FF (0～99,999,999)	unsigned char×4 + unsigned char×3 + unsigned long	11 Byte	年月日, 時分秒, kWh	Get			

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

積算電力量計測値履歴 2（正方向、逆方向計測値）	0xEC	積算履歴収集日時、収集コマ数及び積算電力量(最大 8 桁)の計測結果履歴を、正・逆 30 分毎のデータで過去最大 6 時間分示す。 ・積算履歴収集日時 YYYY:MM:DD:hh:mm ・収集コマ数 ・積算電力量 10 進表記において最大 8 桁、最大 6 時間分 1～6 バイト目：積算履歴収集日時 YYYY:0x0001～0x270F (1～9999 年) MM:0x01～0x0C(1～12 月) DD:0x01～0x1F(1～31 日) hh:0x00～0x17(0～23 時) mm:0x00/0x1E(0/30 分) 7 バイト目：収集コマ数 0x01～0x0C(1～12 コマ) 8 バイト目以降： 積算電力量計測値(正方向) 0x00000000～0x05F5E0FF (0～99,999,999) 積算電力量計測値(逆方向) 0x00000000～0x05F5E0FF (0～99,999,999)	unsigned short ＋ unsigned char ×4 ＋ unsigned char ＋ (unsigned long ＋ unsigned long) × (Max)12	Max 103 Byte	年月日, 時分, kWh	Get			
積算履歴収集日 2	0xED	30 分毎の計測値履歴データを収集する日時(30 分単位)、及び 30 分毎の計測値履歴データを 1 コマとし、収集するコマ数を示す。 1～6 バイト目：積算履歴収集日時 YYYY:0x0001～0x270F (1～9999 年) MM:0x01～0x0C(1～12 月) DD:0x01～0x1F(1～31 日) hh:0x00～0x17(0～23 時) mm:0x00/0x1E(0/30 分) 7 バイト目：収集コマ数 0x01～0x0C(1～12 コマ)	unsigned short ＋ unsigned char ×4 ＋ unsigned char	7 Byte		Set/ Get			

注1） ※1 0xE0(積算電力量計測値(正方向計測値))又は 0xEA(定時積算電力量計測値(正方向計測値))のいずれかを必須とする。

注2） 状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

(1) 動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）

本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2) 電力区分

計器に供給している電力の種別を電力区分として示す。

(3) 所有者区分

計器の所有者を所有者区分として示す。

(4) 相線式設定状態

計器の相線式の設定状態を示す。0x30（単相２線)、0x31（単相３線)、0x32（三相３線)、0x33（三相４線)。

(5) 合成変成比（変流器、変圧器を利用した場合）

合成変成比を 10 進表記において６桁で示す。また、合成変成比の倍率のプロパティにより倍率を示す。合成変成比に合成変成比の倍率を乗じた値を、計器の合成変成比とする。

(6) 合成変成比の倍率（変流器、変圧器を利用した場合）

合成変成比の倍率を示す。

合成変成比に合成変成比の倍率を乗じた値を、計器の合成変成比とする。

大電流及び大電圧の場合は、計器を直接接続することができないため、変圧器（VT）及び変流器（CT）を介した二次側の電力量等を計測するケースがある。

この場合、変圧器及び変流器の二次側の計測値を計器の合成変成比倍して一次側の計測値に換算する。

〈例〉

単相 3 線式　100V（変圧器なし)、200A/5A の変流器が付属した計器で 100V,5A を計測した場合

・合成変成比=(100V/100V)×(200A/5A)=40

・倍率=1

・計器の合成変成比＝合成変成比×倍率＝40×1＝40

二次側電力=100V×5A×2=1kW

一次側の換算した電力値は、1kW×40=40kW となる。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

(7) 計器認定番号

型式認定計器番号を 10 桁の半角英数文字列で示す。

日本国内の場合は、型式承認番号(日本電気計器検定所発番)の計器番号を示す。

非型式品の場合は 0xFFFFFFFFFFFFFFFFFFFF で示す。

(8) 検定満了年月

計器が検定品である場合、検定期間満了年月を ASCII コード 6byte、YYYY 年 MM 月の形式で示す。2012 年 7 月であれば、0x323031323037（201207）となる。

(9) 積算電力量有効桁数

積算電力量計測値のデータサイズ（4 バイト：桁数としては 8 桁）に対してその中で下位側から有効な桁数（有効桁数）を示す。

例）積算電力量有効桁数 0x06（下位側から 6 桁）

積算電力量は 0x000F423F（999999）でオーバーフローし、0x00000000（0）から再インクリメントする。

(10) 積算電力量計測値（正方向計測値）

正方向（潮流）の積算電力量計測値を 10 進表記において最大 8 桁で示す。積算電力量単位(EPC＝0xE1)のプロパティ値により単位を示す。プロパティの値域は、0x00000000～0x05F5E0FF(0～99,999,999)とし、積算電力量が積算電力量有効桁数(EPC＝0xD7)で指定された有効桁数の値をオーバーフローした時は、0x00000000(0)から再インクリメントするものとする。また、合成変成比（EPC=0xD3）、合成変成比の倍率（EPC=0xD4）が指定されている場合は、合成変成比ならびに合成変成比の倍率の乗算した値を一次側の計測値とする。

例）積算電力量計測値（正方向計測値）：0x00BC614E（12345678）

積算電力量単位（EPC=0xE1）：0x03（0.001kWh）の場合

12345678×0.001kW=12345.678kWh（実測値）

オーバーフロー：0x00000000 から再インクリメント

データなし　　：0xFFFFFFFE

(11) 積算電力量単位（正方向計測値、逆方向計測値）

積算電力量計測値(正方向計測値、逆方向計測値)及び履歴の単位を示す。

プロパティ値	積算電力量計測単位（倍率）
0x00	1kWh
0x01	0.1kWh
0x02	0.01kWh
0x03	0.001kWh

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

0x04	0.0001kWh
0x0A	10kWh
0x0B	100kWh
0x0C	1000kWh
0x0D	10000kWh

(12) 積算電力量計測値履歴 1（正方向計測値）

積算履歴収集日 1（EPC=0xE5）で指定されている積算履歴収集日 0x0000～0x0063（0～99）と該当収集日の毎時 0 分、30 分の 30 分毎の正方向の積算電力量計測値（計測器の読み値、30 分間の積算量ではない）を 24 時間 48 コマ分（0 時 0 分～23 時 30 分）の履歴データとして時系列順に上位バイトからプロパティ値として示す。

積算電力量は 10 進表記において最大 8 桁で示す。積算電力量単位(EPC＝0xE1)のプロパティ値により単位を示す。また、合成変成比（EPC=0xD3）、合成変成比の倍率（EPC=0xD4）が指定されている場合は、合成変成比ならびに合成変成比の倍率の乗算した値を一次側の計測値とする。プロパティの値域は、0x00000000～0x05F5E0FF(0～99,999,999)とし、積算電力量が積算電力量有効桁数(EPC＝0xD7)で指定された有効桁数の値をオーバーフローした時は、0x00000000（0）から再インクリメントするものとする。積算電力量（正方向）をもたない場合は、データなしとして、0xFFFFFFFE の値とする。

(13) 積算電力量計測値（逆方向計測値）

逆方向（逆潮流）の積算電力量計測値を 10 進表記において最大 8 桁で示す。積算電力量単位(EPC＝0xE1)のプロパティ値により単位を示す。プロパティの値域は、0x00000000～0x05F5E0FF(0～99,999,999)とし、積算電力量が積算電力量有効桁数(EPC＝0xD7)で指定された有効桁数の値をオーバーフローした時は、0x00000000(0)から再インクリメントするものとする。また、合成変成比（EPC=0xD3）、合成変成比の倍率（EPC=0xD4）が指定されている場合は、合成変成比ならびに合成変成比の倍率の乗算した値を一次側の計測値とする。

オーバーフロー　：0x00000000 から再インクリメント
データなし　　：0xFFFFFFFE

(14) 積算電力量計測値履歴 1（逆方向計測値）

積算履歴収集日 1（EPC=0xE5）で指定されている積算履歴収集日 0x0000～0x0063（0～99）と該当収集日の毎時 0 分、30 分の 30 分毎の逆方向の積算電力量計測値（計測器の読み値、30 分間の積算量ではない）を 24 時間 48 コマ分（0 時 0 分～23 時 30 分）の履歴データとして時系列順に上位バイトからプロパティ値として示す。

積算電力量は 10 進表記において最大 8 桁で示す。積算電力量単位(EPC＝0xE1)のプロパティ値により単位を示す。また、合成変成比（EPC=0xD3）、合成変成比の倍率（EPC=0xD4）

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

が指定されている場合は、合成変成比ならびに合成変成比の倍率の乗算した値を一次側の計測値とする。プロパティの値域は、0x00000000～0x05F5E0FF(0～99,999,999)とし、積算電力量が積算電力量有効桁数(EPC＝0xD7)で指定された有効桁数の値をオーバーフローした時は、0x00000000（0）から再インクリメントするものとする。積算電力量（逆方向）をもたない場合は、データなしとして、0xFFFFFFFE の値とする。

(15) 積算履歴収集日 1

積算計測値履歴 1 （EPC=0xE2,0xE4）で呼び出す日を 0x00～0x63（0～99）で設定する。

0x00（0）は、当日（前時限値まで）データ

0x63（99）は、99 日前データ

該当データがない場合は、積算計測値履歴の積算履歴収集日に 0xFF をセットし 30 分値は全て 0xFFFFFFFE をセットする。

(16) 瞬時電力計測値

電力実効値の瞬時値を W で示す。値域は 0x80000001～0x7FFFFFFD（－2147483647～2147483645）で示す。

範囲：－2,147,483,647～2,147,483,645W （計測単位:W）

＊アンダーフロー：0x80000000

オーバーフロー：0x7FFFFFFF

データなし　　：0x7FFFFFFE

(17) 瞬時電流計測値

電流実効値の瞬時値を A で R 相 T 相を並べて示す。値域は 0x8001～0x7FFD（－3276.7～3276.5）で示す。（但し単相 2 線式の場合は R 相エリアにデータ，T 相エリアに 0x7FFE をセット）

範囲：－3276.7～3276.5A（計測単位:0.1A）

（例）単相 3 線式　0x03E9 0x03E7　→　100.1,099.9（A）

単相 2 線式　0x FC19 0x7FFE　→　 - 99.9 未計測（A）

＊アンダーフロー：0x8000

オーバーフロー：0x7FFF

データなし　　：0x7FFE

(18) 瞬時電圧計測値

電圧実効値の瞬時値を V で R-S(N)間、S(N)-T 間を並べて示す。値域は 0x0000～0xFFFD

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

（0～6553.3）で示す。
（但し単相 2 線式の場合は R-S(N)間にデータ、S(N)-T 間に 0xFFFE をセット）
範囲： 0.0～6553.3V（計測単位:0.1V）
（例）単相 3 線式　0x0451 0x03E7　→ 110.5 099.9（V）
　　単相 2 線式　0x03E7 0xFFFE → 99.9 未計測（V）
＊オーバーフロー：0xFFFF
　データなし　　：0xFFFE

(19) 定時積算電力量計測値(正方向計測値)
毎時 0 分、30 分の 30 分毎の積算電力量計測値（計測器の読み値、30 分間の積算量ではない）の内、メータが保有している最新の定時計測時刻における積算電力量(正方向)を、計測年月日 4 バイト、計測時刻 3 バイト、積算電力量（正方向）4 バイトの順で示す。計測年月日は、年 2 バイト、月 1 バイト、日 1 バイトで示す。計測時刻は、時 1 バイト、分 1 バイト、秒 1 バイトで示す。メータが計測時刻として秒の情報を持たない場合、秒には 0x00 を設定する。積算電力量計測値は 10 進表記において最大 8 桁で示す。積算電力量単位(EPC＝0xE1)のプロパティ値により単位を示す。また、合成変成比（EPC=0xD3）、合成変成比の倍率（EPC=0xD4）が指定されている場合は、合成変成比ならびに合成変成比の倍率の乗算した値を一次側の計測値とする。プロパティの値域は、0x00000000～0x05F5E0FF(0～99,999,999)とし、積算電力量が積算電力量有効桁数(EPC＝0xD7)で指定された有効桁数の値をオーバーフローした時は、0x00000000（0）から再インクリメントするものとする。積算電力量（正方向）をもたない場合は、データなしとして、0xFFFFFFFE の値とする。

オーバーフロー　　：0x00000000 から再インクリメント
　データなし　　：0xFFFFFFFE

例） 定時積算電力量計測値(正方向計測値)
・YYYY=0x07DC（2012 年）、MM=0x03(3 月)、DD=0x0F（15 日）
・hh=0x07（7 時）、mm=0x00（0 分）、ss=0x00（0 秒）
・積算電力量（正方向）=0x0001E240（00123456）
積算電力量有効桁数（EPC=0xD7）：0x06（下位側から 6 桁）
積算電力量単位（EPC=0xE1）：0x02（0.01kWh）の場合

計測年月日 2012 年 3 月 15 日
計測時間　7 時 0 分 0 秒
積算電力量（正方向） 123456×0.01kWh=1234.56kWh（実測値）

(20) 定時積算電力量計測値(逆方向計測値)
毎時 0 分、30 分の 30 分毎の積算電力量計測値（計測器の読み値、30 分間の積算量ではない）の

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

内、メータが保有している最新の定時計測時刻における積算電力量(逆方向)を、計測年月日 4 バイト、計測時刻 3 バイト、積算電力量(逆方向)4 バイトの順で示す。計測年月日は、年 2 バイト、月 1 バイト、日 1 バイトで示す。計測時刻は、時 1 バイト、分 1 バイト、秒 1 バイトで示す。メータが計測時刻として秒の情報を持たない場合、秒には 0x00 を設定する。積算電力量は 10 進表記において最大 8 桁で示す。積算電力量単位(EPC＝0xE1)のプロパティ値により単位を示す。また、合成変成比（EPC=0xD3)、合成変成比の倍率（EPC=0xD4）が指定されている場合は、合成変成比ならびに合成変成比の倍率の乗算した値を一次側の計測値とする。プロパティの値域は、0x00000000～0x05F5E0FF(0～99,999,999)とし、積算電力量が積算電力量有効桁数(EPC＝0xD7)で指定された有効桁数の値をオーバーフローした時は、0x00000000(0)から再インクリメントするものとする。積算電力量(逆方向)をもたない場合は、データなしとして、0xFFFFFFFE の値とする。

オーバーフロー　　:0x00000000 から再インクリメント
データなし　　:0xFFFFFFFE

例） 定時積算電力量計測値(逆方向計測値)

・YYYY=0x07DC(2012 年)、MM=0x03(3 月)、DD=0x0F(15 日)
・hh=0x07(7 時)、mm=0x00(0 分)、ss=0x00(0 秒)
・積算電力量(逆方向)=0x0001E240(00123456)

積算電力量有効桁数(EPC=0xD7):0x06(下位側から 6 桁)
積算電力量単位(EPC=0xE1):0x02(0.01kWh)の場合

計測年月日 2012 年 3 月 15 日
計測時間　7 時 0 分 0 秒
積算電力量(逆方向)　123456×0.01kWh=1234.56kWh(実測値)

(21) 積算電力量計測値履歴2(正方向、逆方向計測値)

積算履歴収集日2(EPC=0xED)に設定しているデータ YYYY:MM:DD:hh:mm、収集コマ数及び設定した積算履歴収集日時の正方向(潮流)の積算電力量計測値(正方向)と逆方向(逆潮流)の積算電力量計測値(逆方向)を計測結果履歴の 30 分毎データとして、過去最大 6 時間分データで示す。

積算履歴収集日時は、年月日 4 バイト、時刻 2 バイトの順で示し、時刻における分は 0x00(0 分)もしくは 0x1E(30 分)とする。

収集コマ数は、30 分毎の積算電力量計測値を収集する個数を 1 バイトで示し、値域は 0x01～0x0C（1～12）とする。

積算電力量計測値(毎時 0 分、30 分の 30 分毎の計測器の読み値であり、30 分毎の積算量ではない)は、10 進表記において最大 8 桁で示す。積算電力量単位(EPC=0xD1)のプロパティ値により単位を示す。また、合成変成比(EPC=0xD3)、合成変成比の倍率(EPC=0xD4)が指定されている場

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

合は、合成変成比ならびに合成変成比の倍率の乗算した値を一次側の計測値とする。プロパティの値域は、0x00000000～0x05F5E0FF（0～99,999,999）とする。積算履歴収集日時に設定した時刻における積算電力量計測値（正方向）及び（逆方向）を上位バイトとして、積算履歴収集日２（EPC=0xED）にて指定されたコマ数分、逆時系列にプロパティ値とする。積算電力量が積算電力量有効桁数（EPC=0xD7）で指定された有効桁数の値をオーバーフローした時は、0x00000000（0）から再インクリメントするものとする。積算電力量計測値が未計測または履歴保持期間外の時刻のデータに関しては、データなしとして 0xFFFFFFFE の値とする。

積算履歴収集日２（EPC=0xED）が設定されていない初期値の場合は、積算履歴収集日時に 0xFFFFFFFFFFFF、収集コマ数に 0x01 をセットし、30 分値は正方向、逆方向それぞれ 1 コマ分に 0xFFFFFFFE をセットする。

(22) 積算履歴収集日２

積算電力量計測値履歴２（正方向、逆方向計測値）（EPC=0xEC）で呼び出す対象の積算履歴収集日時及び 30 分毎の計測値履歴データを 1 コマとした、収集するコマ数を示す。

積算履歴収集日時は、収集するデータの最新日時とし、年 2 バイト、月 1 バイト、日 1 バイト、時 1 バイト、分 1 バイトで示す。積算電力量計測値履歴２（正方向・逆方向計測値）は 30 分毎のデータであるため、分には 0x00（0 分）もしくは 0x1E（30 分）を設定する。

収集コマ数は、積算履歴収集日時より以前の 30 分毎の積算電力量計測値を収集する個数を示す。プロパティの値域は 0x01～0x0C（1～12）とする。

本プロパティの初期値は、積算履歴収集日時を 0xFFFFFFFFFFFF、収集コマ数を 0x01 とする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．３．２６ スマートガスメータクラス規定

クラスグループコード　：　0x02
クラスコード　　：0x89
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ON＝0x30，OFF＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
ガス区分設定	0xE0	ガスメータの種別を示す。 0x30：都市ガス 0x31：LP ガス 0x32：天然 0x33：その他	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
所有者区分設定	0xE1	メータの所有者を区分で示す。 0x30：指定なし 0x31：都市ガス 0x32：LP ガス 0x33：民間会社 0x34：個人	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
積算ガス消費量計測値	0xE2	積算ガス消費量を示す。 0x00000000～0x3B9AC9FF (0～999,999.999 ㎥)	unsigned long	4 Byte	0.001 m^3	Get	○ *1		
積算ガス消費量計測値単位	0xE3	積算ガス消費量計測値、履歴の単位（乗率）を示す。 0x00：1m^3 0x01：0.1m^3 0x02：0.01m^3 0x03：0.001m^3 0x04：0.0001m^3 0x05：0.00001m^3 0x06：0.000001m^3	unsigned char	1 Byte	－	Get			
積算ガス消費量履歴情報	0xE4	積算履歴収集日及び積算ガス消費量の計測結果履歴を、30 分毎データを過去 24 時間で示す。 0x0000～0x0063： 0x00000000～0x3B9AC9FF (0～99)：(0～999,999.999 ㎥)	unsigned short ＋ unsigned long ×48	194 Byte	0.001 m^3	Get			
積算ガス消費量履歴収集日設定	0xE5	30 分毎の計測値履歴データを収集する日を示す。 0x00～0x63 (0～99) 0:当日　1～99:前日の日数	unsigned char	1 Byte		Set/ Get			
検針データ異常検知状態	0xE6	メータが検針データの異常を検知した状態を示す。 異常検知有 0x41 異常検知無 0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get			

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

セキュリティデータ情報	0xE7	メータが作動した保安情報をビット割付で定義するセキュリティデータを示す。 詳細は説明(9)参照	unsigned char ×10	10 Byte	－	Get			
センター弁遮断状態	0xE8	メータのガス遮断弁をセンターが遮断した状態を示す。 センター弁遮断有り 0x41 センター弁遮断無し 0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get			
センター弁遮断復帰許可状態	0xE9	メータのガス遮断弁の遮断状態からの復帰許可状態を示す。 センター弁遮断復帰許可 0x41 センター弁遮断復帰非許可 0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get			
緊急弁遮断状態	0xEA	メータのガス遮断弁を緊急に遮断した状態を示す。 緊急弁遮断有り 0x41 緊急弁遮断無し 0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get			
遮断弁開閉状態	0xEB	遮断弁の開閉状態を示す。 遮断弁開状態 0x41 遮断弁閉状態 0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get			
遮断理由履歴情報	0xEC	遮断弁によりガスを遮断した理由の履歴を各 1 バイトでビット割付で定義する。履歴を過去 3 回分示す。 履歴 3：履歴 2：履歴 1 0xFF：0xFF：0xFF	unsigned char ×3	3 Byte	－	Get			
ID 番号設定	0xED	メータの ID 番号を表す。 000000～FFFFFF （初期値　：“000000”）	unsigned char	6 Byte		Set/ Get			
検定満期設定	0xEE	メータの検定満了年月を示す。 YYYYMM YYYY（西暦），MM（月）	unsigned char	6 Byte		Set/ Get			
日時付積算ガス消費量計測値情報	0xD0	積算ガス消費量及び計測年月日、時刻を示す。 ・計測年月日　YYYY:MM:DD ・計測時刻　　HH:MM：SS ・積算ガス消費量　9 桁 1～4 バイト目： 0～0x270f:1～0x0C:1～0x1F (=0～9999):(=1～12):(1～31) 5～7 バイト目： 0～0x17:0～0x3B:0～0x3B (=0～23):(=0～59): (=0～59) 8～11 バイト目： 0x00000000～0x3B9AC9FF (0～999,999,999)	unsigned char×4 ＋ unsigned char×3 ＋ unsigned long	11 Byte	年月日 ＋ 時分秒 ＋ 0.001 m^3	Get	○ *1		

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

ガス消費量履歴情報	0xD1	ガス消費量履歴、履歴スタート年月日・時刻、履歴スタート指針値及び積算間隔を示す。 ・年月日　YYYY:MM:DD ・時刻　HH:MM:SS ・ガス消費量履歴データ ・履歴スタート時積算ガス消費量 ・積算時間間隔（5 桁：分） 1～4 バイト目： 0～0x270f:1～0x0C:1～0x1F (=0～9999):(=1～12):(1～31) 5～7 バイト目： 0～0x17:0～0x3B:0～0x3B (=0～23):(=0～59): (=0～59) 8～103 バイト目： 0x00000000～0x0001869F×24 (0～99.999m^3)×24 104～107 バイト目： 0x00000000～0x3B9AC9FF (0～999,999,999~~m^3~~) 108～109 バイト目： 0x0001～0xFFFF (1～65535)	unsigned char×4 ＋ unsigned char×3 ＋ unsigned long×24 ＋ unsigned long ＋ unsigned short	109 Byte	年月日, ＋ 時分秒, ＋ 0.001 m^3 ＋ 0.001 m^3 ＋ 分	Get			

注1)　*1：EPC が 0xE2（積算ガス消費量計測値）又は 0xD0（日時付積算ガス消費量計測値情報）のいずれかを必須とする。

注2)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)　動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）

本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)　ガスメータ区分設定

計器により計量されている種別をメータ区分として設定する。

(3)　所有者区分設定

計器の所有者を所有者区分として設定する。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

(4) 積算ガス消費量計測値

積算ガス消費量を 10 進表記において 9 桁で示す。積算ガス消費量計測値単位(EPC＝0xE3)のプロパティ値により単位を示すが、同単位（EPC=0xE3）の実装が行われていない場合には、単位は 0.001m³ として取り扱う。

同単位（EPC=0xE3）の実装されている場合については、そのプロパティ値により以下の単位で取り扱うものとする。積算ガス消費量計測値単位（積算ガス消費量計測値に対する倍率）が、0x00 の場合 1 m³、0x01 の場合 0.1 m³、0x02 の場合 0.01 m³、0x03 の場合 0.001 m³、0x04 の場合 0.0001 m³、0x05 の場合 0.00001 m³、0x06 の場合 0.000001 m³ の単位を取るものとする。

プロパティの値域は、0x00000000～3B9AC9FF(0～999,999.999 m³)とし、積算ガス消費量計測値のオーバーフロー時は、0x00000000 から再インクリメントするものとする。

例）積算ガス消費量計測値 123456789　積算ガス消費量計測値単位（0x03）の場合

123456789×0.001 m³=123456.789 m³（実測値）

オーバーフロー：0x00000000 から再インクリメント

データなし　　：0xFFFFFFFE

※ EPC が 0xE2（積算ガス消費量計測値）又は 0xD0（日時付積算ガス消費量計測値情報）のいずれかを必須とする。

(5) 積算ガス消費量計測値単位

積算ガス消費量の単位を示す。

プロパティ値	積算ガス消費量（倍率）
0x00	1m³
0x01	0.1 m³
0x02	0.01 m³
0x03	0.001 m³
0x04	0.0001 m³
0x05	0.00001 m³
0x06	0.000001 m³

＊本プロパティを搭載しない場合は、積算ガス消費量計測値単位を 0.001m³ とする。

(6) 積算ガス消費量履歴情報

積算ガス消費量履歴収集日（EPC=0xE5）に設定しているデータ 0x0000～0x0063（0～99）及び設定した積算ガス消費量履歴収集日の積算ガス消費量(0.001 m³)を計測結果履歴の 30

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

分毎データとして過去 24 時間分データで示す。30 分毎の積算ガス消費量計測値は、プロパティ名称「現在時刻設定値」(EPC=0x97)で設定する時刻に基づき、毎 0 分、30 分の 0.001 m^3 単位の計測値を、0x00000000～0x3B9AC9FF(0～999,999.999m^3）のデータとし、時系列に上位バイトから順にプロパティ値とするものとする。

(7) 積算ガス消費量履歴収集日設定

積算ガス消費量履歴情報で呼び出す日を 0x00～0x63（0～99）で設定する。

0x00（0）は、当日（前時限値まで）データ

0x63（99）は、99 日前データ

該当データがない場合は、積算ガス消費量履歴情報（EPC=0xE4）の積算履歴収集日に 0xFF をセットし 30 分値は全て 0xFFFFFFFE をセットする。

(8) 検針データ異常検知状態

検針データに異常を検知した状態を示す。異常検知有の場合 0x41、異常検知無の場合 0x42 を取るものとする。

(9) セキュリティデータ情報

メータが異常検知した保安情報をビット割付で定義するセキュリティデータで示す。

	Char1	Char2	Char3	Char4	Char5		Char10
Bit1	Arr01	Arr09	Arr17	Arr25	Arr33		Arr73
Bit2	Arr02	Arr10	Arr18	Arr26	Arr34		Arr74
Bit3	Arr03	Arr11	Arr19	Arr27	Arr35		Arr75
Bit4	Arr04	Arr12	Arr20	Arr28	Arr36	・・・	Arr76
Bit5	Arr05	Arr13	Arr21	Arr29	Arr37		Arr78
Bit6	Arr06	Arr14	Arr22	Arr30	Arr38		Arr77
Bit7	Arr07	Arr15	Arr23	Arr31	Arr39		Arr79
Bit8	Arr08	Arr16	Arr24	Arr32	Arr40		Arr80

Arr は、アラーム情報

(10) センター弁遮断状態

センターからメータのガス遮断弁を遮断した状態を示す。センター弁遮断有りの状態では、センター弁遮断復帰許可(0x41)を受け付けるまで遮断弁開要求を受け付けない。

(11) センター弁遮断復帰許可状態

メータのガス遮断弁の遮断状態からの復帰許可状態を示す。センター弁遮断復帰許可は、0x41、センター弁遮断復帰非許可は 0x42 とする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

(12) 緊急弁遮断状態

メータのガス遮断弁を緊急に遮断した状態を示す。緊急弁遮断ありを 0x41、緊急弁遮断なしを 0x42 とする。

(13) 遮断弁開閉状態

遮断弁の開閉状態を示す。遮断弁開状態を 0x41、遮断弁閉状態を 0x42 とする。

(14) 遮断理由履歴情報

遮断弁によりガスを遮断した理由の履歴を各 1 バイトでビット割付で定義する。履歴を過去 3 階示す。履歴 3 : 履歴 2 : 履歴 1 の順に上位バイトからプロパティ値を構成するものとし、履歴 3 は前々回、履歴には前回、履歴 1 は最後の履歴を示すものとする。

(15) ID 番号設定

計測器の ID 番号を示す。設定範囲は半角英数文字 6 桁とする。

ID 番号は、メータが複数あった場合に利用。

(16) 検定満期設定

計器が検定品である場合、検定期間満了年月を示す。

(17) 日時付積算ガス消費量計測値情報

積算ガス消費量及び計測年月日、時刻を、計測年月日 4 バイト、計測時刻 3 バイト、積算ガス消費量 4 バイトの並びで示す。

計測年月日は、年 2 バイト、月 1 バイト、日 1 バイトで示す。計測時刻は、時 1 バイト、分 1 バイト、秒 1 バイトで示す。メータが計測時刻として秒の情報を持たない場合、秒には 0x00 を設定する。

積算ガス消費量は「(4) 積算ガス消費量計測値」の定義に従う。

※ EPC が 0xE2（積算ガス消費量計測値）又は 0xD0（日時付積算ガス消費量計測値情報）のいずれかを必須とする。

(18) ガス消費量履歴情報

1 時間毎のガス消費量の履歴を、履歴スタート年月日 4 バイト、履歴スタート時刻 3 バイト、ガス消費量履歴データ 4 バイト×24 個、履歴スタート時積算ガス消費量 4 バイト、積算時間間隔 2 バイトの並びで示す。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

履歴スタート年月日は、年 2 バイト、月 1 バイト、日 1 バイトで示す。履歴スタート時刻は、時 1 バイト、分 1 バイト、秒 1 バイトで示す。メータが計測時刻として秒の情報を持たない場合、秒には 0x00 を設定する。
ガス消費量履歴データは積算間隔ごとのガス消費量（単位 0.001m³）を 10 進表記において 5 桁で示し、プロパティの値域は、0x00000～0xF423F(0～99.999m³）とする。
履歴スタート時積算ガス消費量については、「(4) 積算ガス消費量計測値」の定義に従う。
積算時間間隔の値域は、0x0001～0xFFFF(1～65535 分）とする。

例）2012 年 3 月 1 日 00 時 00 分 00 秒（指針値：123,456.789m³）からの 60 分毎の積算値（1 時間毎の指針値の増分値）24 個を 3 月 2 日 00 時すぎに送付する場合

履歴スタート年月日（YYYY:MM:DD）　＝　0x07DC0301（2012:03:01）
履歴スタート時刻（hh:mm:ss）　＝　0x000000（00:00:00）
ガス消費量履歴データ　＝　下表参照（Vol.01～Vol.24 の 24 個）
履歴スタート時積算ガス消費量　＝　0x075BCD15（123,456.789 m³）
積算時間間隔　＝　0x3C（60 分）

補足）積算ガス消費量の推移例と対応するガス消費量履歴データ・例

No.	年月日	時刻	指針値	ガス消費量履歴データ Vol.01～24
	20120301	000000	123456789	
01	20120301	010000	123456799	00010　(=123456799-123456789)
02	20120301	020000	123456819	00020　(=123456819-123456799)
03	20120301	030000	123456849	00030　(=123456849-123456819)
04	20120301	040000	123456889	00040　(=123456889-123456849)
・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・
21	20120301	210000	123461234	01000　(=123461234-123460234)
22	20120301	220000	123461756	00522　(=123461756-123461234)
23	20120301	230000	123461756	00000　(=123461756-123461756)
24	20120302	000000	123461756	00000　(=123461756-123461756)

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

３．３．２７ 一般照明クラス規定

クラスグループコード　：　0x02
クラスコード　　：0x90
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	○ ○	○	
照度レベル設定	0xB0	照度レベルを%で示す。 0x00～0x64(0～100%)	unsigned char	1 Byte	%	Set/ Get			
光色設定	0xB1	光色を設定する 電球色＝0x41，白色＝0x42，昼白色＝0x43，昼光色＝0x44,その他=0x40	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
照度レベル段数設定	0xB2	照度レベルを段数で設定し、設定状態を取得する。 0x01～設定可能照度レベル最大値　(暗～明)	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
光色レベル段数設定	0xB3	光色レベルを段数で設定し、設定状態を取得する。 0x01～設定可能光色レベル最大値　(電球色～白色)	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
設定可能レベル最大値	0xB4	通常灯モード時の照度及び光色設定可能レベル最大値を取得する。 1Byte 目:照度 2Byte 目:光色 0x01～0xFF(1～255 段階) 0x00(機能を搭載していない場合)	unsigned char ×2	2 Byte	－	Get			
常夜灯設定可能レベル最大値	0xB5	常夜灯モード時の照度及び光色設定可能レベル最大値を取得する。 1Byte 目:照度 2Byte 目:光色 0x01～0xFF(1～255 段階) 0x00(機能を搭載していない場合)	unsigned char ×2	2 Byte	－	Get			
点灯モード設定	0xB6	自動／通常灯／常夜灯／カラー灯 自動=0x41，通常灯=0x42，常夜灯=0x43，カラー灯=0x45	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get	○		
通常灯モード時照度レベル設定	0xB7	通常灯モード時の照度レベルを%で示す。 0x00～0x64(0～100%)	unsigned char	1 Byte	%	Set/ Get			

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

通常灯モード時照度レベル段数設定	0xB8	通常灯モード時照度レベルを段数で設定し、設定状態を取得する。 0x01～設定可能照度レベル最大値 (暗～明)	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
常夜灯モード時照度レベル設定	0xB9	常夜灯モード時の照度レベルを%で示す。 0x00～0x64(0～100%)	unsigned char	1 Byte	%	Set/ Get			
常夜灯モード時照度レベル段数設定	0xBA	常夜灯モード時照度レベルを段数で設定し、設定状態を取得する。 0x01～設定可能照度レベル最大値 (暗～明)	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
通常灯モード時光色設定	0xBB	通常灯モード時光色を設定する 電球色＝0x41, 白色＝0x42, 昼白色＝0x43, 昼光色＝0x44,その他=0x40	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
通常灯モード時光色レベル段数設定	0xBC	通常灯モード時光色レベルを段数で設定し、設定状態を取得する。 0x01～設定可能光色レベル最大値 (電球色～白色)	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
常夜灯モード時光色設定	0xBD	常夜灯モード時光色を設定する 電球色＝0x41, 白色＝0x42, 昼白色＝0x43, 昼光色＝0x44,その他=0x40	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
常夜灯モード時光色レベル段数設定	0xBE	常夜灯モード時光色レベルを段数で設定し、設定状態を取得する。 0x01～設定可能光色レベル最大値 (電球色～白色)	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
自動モード時点灯モード状態	0xBF	自動モード時の点灯モード状態を取得する 通常灯=0x42, 常夜灯=0x43,消灯=0x44, カラー灯=0x45	unsigned char	1 Byte	－	Get			
カラー灯モード時 RGB 設定	0xC0	カラー灯モード時の RGB 値を設定し、設定状態を取得する。 1Byte 目:R 2Byte 目:G 3Byte 目:B 0x00～0xFF(0～255) 最低輝度=0x00,最高輝度=0xFF	unsigned char×3	3 Byte	－	Set/Get			
ON タイマ予約設定	0x90	予約入／予約切 予約入＝0x41,予約切＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
ON タイマ時刻設定値	0x91	タイマ値 HH:MM 0～0x17: 0～0x3B (=0～23):(=0～59)	unsigned char ×2	2 Byte	－	Set/ Get			
OFF タイマ予約設定	0x94	予約入／予約切 予約入＝0x41,予約切＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
OFF タイマ	0x95	タイマ値 HH:MM	unsigned	2	－	Set/			

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

時刻設定値		0～0x17: 0～0x3B (=0～23):(=0～59)	char ×2	Byte		Get			

注1） 状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1) 動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）

動作状態 ON

照度レベルプロパティ（0xB0、0xB2）が存在しない場合 ：点灯状態

照度レベルプロパティ（0xB0、0xB2）が存在する場合 ：照度レベルが点灯照度に反映されている状態

尚、点灯モードプロパティ（0xB6）の自動モード(0x41）が存在する場合は、自動モードで消灯状態の場合もある。

動作状態 OFF

消灯状態

(2) 照度レベル設定

照明の現在の「点灯モード設定」における照度レベルを%で示す。照度レベルを設定し、設定状態を取得する。実機器の照度レベル設定が%単位より少ない場合、もしくは、多い場合も、必ず、本プロパティで規定する%単位のプロパティ値に実機器のプロパティを割り当てるものとする。

本プロパティと「照度レベル段数設定」(0xB2)とを実装する場合は、両者の値を互いに関連付けしなければならない。

本プロパティで示す照度レベル設定値は、点灯モード設定(0xB6)の自動(0x41)の機能が実装されていない場合、または実装されているが点灯モード設定が通常(0x42)／常夜灯(0x43)の状態をとる場合に、実機器の照度レベル設定値である。また、点灯モード設定が自動(0x41)の状態の時は、取得した時点の照度レベル設定値であることを推奨する。ただし、自動状態であるために、本プロパティで表す照度レベル設定値が不明となってしまう場合に本プロパティが取る値は 0xFD(設定値不明)とする。

動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(3) 光色設定

本プロパティの設定により照明の現在の「点灯モード設定」における光色(電球色/白色/昼白色/昼光色/その他 0x40)の設定し、設定状態を取得する。「その他」とは、他のいずれの光色にも該当しない光色である。プロパティ値の取る値については、本クラスを実装する機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。例えば、本クラスを搭載する実機器が昼白色をその機能として搭載していない場合は、昼白色に対する 0x43

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

を実装する必要はない。また、本プロパティと「光色レベル段数設定」（EPC=0xB3）とを実装する場合は、両者の値を互いに関連付けなければならない。

本プロパティで示す光色設定値は、点灯モード設定(0xB6)の自動(0x41)の機能が実装されていない場合、または実装されているが点灯モード設定が通常(0x42)／常夜灯(0x43)の状態をとる場合に、実機器の光色設定値である。また、点灯モード設定が自動(0x41)の状態の時は、取得した時点の光色設定値であることを推奨する。ただし、自動状態であるために、本プロパティで表す光色設定値が不明となってしまう場合に本プロパティが取る値は 0xFD(設定値不明)とする。

動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(4) 照度レベル段数設定

照明の現在の「点灯モード設定」における照度レベルを段数で示す。照度レベルを設定し、設定状態を取得する。設定可能な照度レベルの最大値は EPC=0xB4「設定可能レベル最大値」及び EPC=0xB5「常夜灯設定可能レベル最大値」で取得する。照度レベルの具体的な値は規定しないが、レベル設定値が小さいほど、明るさが暗い状態となり、大きいほど明るい状態となる。プロパティ値のとる値については、本クラスを実装する実機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。本プロパティと「照度レベル設定」（EPC=0xB0）とを実装する場合は、両者の値を互いに関連付けなければならない。また、本プロパティを実装する場合は、設定可能レベル最大値（0xB4）を実装することを必須とする。また、点灯モード設定(0xB6)の常夜灯(0x43) 機能を実装するときは、常夜灯設定可能レベル最大値(0xB5)も実装することを必須とする。

本プロパティで示す照度レベル段数設定値は、点灯モード設定(0xB6)の自動(0x41)の機能が実装されていない場合、または実装されているが点灯モード設定が通常(0x42)／常夜灯(0x43)の状態をとる場合に、実機器の照度レベル段数設定値である。また、点灯モード設定が自動(0x41)の状態の時は、取得した時点の照度レベル段数設定値であることを推奨する。ただし、自動状態であるために、本プロパティで表す照度レベル段数設定値が不明となってしまう場合に本プロパティが取る値は 0x00(設定値不明)とする。

動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(5) 光色レベル段数設定

照明の現在の「点灯モード設定」における光色レベルを段数で示す。光色レベルを設定し、設定状態を取得する。設定可能な光色レベルの最大値は EPC=0xB4「設定可能レベル最大値」及び EPC=0xB5「常夜灯設定可能レベル最大値」で取得する。照度レベルの具体的な値は規定しないが、レベル設定値が小さいほど、電球色状態となり、大きいほど白色状態となる。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

プロパティ値のとる値については、本クラスを実装する実機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。本プロパティと「光色設定」（EPC=0xB1）とを実装する場合は、両者の値を互いに関連付けなければならない。また、本プロパティを実装する場合は、設定可能レベル最大値（0xB4）を実装することを必須とする。また、点灯モード設定(0xB6)の常夜灯(0x43) 機能を実装するときは、常夜灯設定可能レベル最大値(0xB5)も実装することを必須とする。

本プロパティで示す光色レベル段数設定値は、点灯モード設定(0xB6)の自動(0x41)の機能が実装されていない場合、または実装されているが点灯モード設定が通常(0x42)／常夜灯(0x43)の状態をとる場合に、実機器の光色レベル段数設定値である。また、点灯モード設定が自動(0x41)の状態の時は、取得した時点の光色レベル段数設定値であることを推奨する。ただし、自動状態であるために、本プロパティで表す光色レベル段数設定値が不明となってしまう場合に本プロパティが取る値は 0x00(設定値不明)とする。

動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても､本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(6) 設定可能レベル最大値

通常灯の設定可能レベル最大値を取得する。本プロパティのデータサイズは 2Byte で、設定可能レベル最大値をそれぞれ 1Byte、255 段階（0x01～0xFF）で表現する。2Byte のうち、1Byte 目は照度レベル段数設定、2Byte 目は光色レベル段数設定を表す。なお、搭載していない機能の設定可能レベル最大値は、0x00 とする。

(7) 常夜灯設定可能レベル最大値

常夜灯の設定可能レベル最大値を取得する。本プロパティのデータサイズは 2Byte で、設定可能レベル最大値をそれぞれ 1Byte、255 段階（0x01～0xFF）で表現する。2Byte のうち、1Byte 目は照度レベル段数設定、2Byte 目は光色レベル段数設定を表す。なお、搭載していない機能の設定可能レベル最大値は、0x00 とする。

(8) 点灯モード設定

照明の自動／通常灯／常夜灯／カラー灯の各点灯モードを設定し、設定状態を取得する。

自動(0x41) ：照度センサや自動調光アルゴリズム等により、照明器具が自動的に
通常灯／常夜灯の選択、照度レベル設定、または照度レベル段数設定、
光色設定、または光色レベル段数設定を制御している状態

通常灯(0x42)：メイン光源が点灯するモード

常夜灯(0x43)：メイン光源ではなく、常夜灯（豆電球など）が点灯するモード

カラー灯(0x45)：カラー灯が点灯するモード

本プロパティを実装する実機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すれば

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

良いものとする。例えば、自動機能を搭載していない場合は、自動に対する 0x41 を実装する必要は無い。

(9) 通常灯モード時照度レベル設定

「点灯モード設定」(EPC=0xB6)が、通常灯モードの場合の照度レベルを%で示す。照度レベルを設定し、設定状態を取得する。実機器の照度レベル設定が%単位より少ない場合、もしくは、多い場合も、必ず、本プロパティで規定する%単位のプロパティ値に実機器のプロパティを割り当てるものとする。

本プロパティを実装する場合は、点灯モード設定(0xB6)の現在の設定が、通常灯モード以外の場合も設定／取得が可能である。また、本プロパティと「通常灯モード時照度レベル段数設定」(0xB8)とを実装する場合は、両者の値を互いに関連付けしなければならない。

動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(10) 通常灯モード時照度レベル段数設定

「点灯モード設定」(EPC=0xB6)が、通常灯モードの場合の照度レベルを段数で示す。照度レベルを設定し、設定状態を取得する。設定可能な照度レベルの最大値は EPC=0xB4「設定可能レベル最大値」で取得する。照度レベルの具体的な値は規定しないが、レベル設定値が小さいほど、明るさが暗い状態となり、大きいほど明るい状態となる。プロパティ値のとる値については、本クラスを実装する実機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。本プロパティと「通常灯モード時照度レベル設定」(EPC=0xB7)とを実装する場合は、両者の値を互いに関連付けなければならない。また、本プロパティを実装する場合は、設定可能レベル最大値（0xB4）を実装することを必須とする。

本プロパティを実装する場合は、点灯モード設定(0xB6)の現在の設定が、通常灯モード以外の場合も設定／取得が可能である。

動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(11) 常夜灯モード時照度レベル設定

「点灯モード設定」(EPC=0xB6)が、常夜灯モードの場合の照度レベルを%で示す。照度レベルを設定し、設定状態を取得する。実機器の照度レベル設定が%単位より少ない場合、もしくは、多い場合も、必ず、本プロパティで規定する%単位のプロパティ値に実機器のプロパティを割り当てるものとする。

本プロパティを実装する場合は、点灯モード設定(0xB6)の現在の設定が、常夜灯モード以外の場合も設定／取得が可能である。また、本プロパティと「常夜灯モード時照度レベル段数設定」(0xBA)とを実装する場合は、両者の値を互いに関連付けしなければならない。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(12) 常夜灯モード時照度レベル段数設定

「点灯モード設定」(EPC=0xB6)が、常夜灯モードの場合の照度レベルを段数で示す。照度レベルを設定し、設定状態を取得する。設定可能な照度レベルの最大値は EPC=0xB5「常夜灯設定可能レベル最大値」で取得する。照度レベルの具体的な値は規定しないが、レベル設定値が小さいほど、明るさが暗い状態となり、大きいほど明るい状態となる。プロパティ値のとる値については、本クラスを実装する実機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。本プロパティと「常夜灯モード時照度レベル設定」（EPC=0xB9）とを実装する場合は、両者の値を互いに関連付けなければならない。また、本プロパティを実装する場合は、常夜灯設定可能レベル最大値（0xB5）を実装することを必須とする。

本プロパティを実装する場合は、点灯モード設定(0xB6)の現在の設定が、常夜灯モード以外の場合も設定／取得が可能である。

動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(13) 通常灯モード時光色設定

「点灯モード設定」(EPC=0xB6)が、通常灯モードの場合の光色(電球色 0x41/白色 0x42/昼白色 0x43/昼光色 0x44/その他 0x40)を設定し、設定状態を取得する。「その他」とは、他のいずれの光色にも該当しない光色である。プロパティ値の取る値については、本クラスを実装する機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。例えば、本クラスを搭載する実機器が昼白色をその機能として搭載していない場合は、昼白色に対する 0x43 を実装する必要はない。

本プロパティを実装する場合は、点灯モード設定(0xB6)の現在の設定が、通常モード以外の場合も設定／取得が可能である。また、本プロパティと「通常灯モード時光色レベル段数設定」(0xBC)とを実装する場合は、両者の値を互いに関連付けしなければならない。

動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(14) 通常灯モード時光色レベル段数設定

「点灯モード設定」(EPC=0xB6)が、通常灯モードの場合の光色レベルを段数で示す。光色レベルを設定し、設定状態を取得する。設定可能な光色レベルの最大値は EPC=0xB4「設定可能レベル最大値」で取得する。光色レベルの具体的な値は規定しないが、レベル設定値が小さいほど、電球色状態となり、大きいほど白色状態となる。プロパティ値のとる値につい

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

ては、本クラスを実装する実機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。また、本プロパティを実装する場合は、設定可能レベル最大値（0xB4）を実装することを必須とする。

本プロパティを実装する場合は、点灯モード設定(0xB6)の現在の設定が、通常モード以外の場合も設定／取得が可能である。また、本プロパティと「通常灯モード時光色設定」(0xBB)とを実装する場合は、両者の値を互いに関連付けしなければならない。

動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(15) 常夜灯モード時光色設定

「点灯モード設定」(EPC=0xB6)が、常夜灯モードの場合の光色(電球色 0x41/白色 0x42/昼白色 0x43/昼光色 0x44/その他 0x40)を設定し、設定状態を取得する。「その他」とは、他のいずれの光色にも該当しない光色である。プロパティ値の取る値については、本クラスを実装する機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。例えば、本クラスを搭載する実機器が昼白色をその機能として搭載していない場合は、昼白色に対する 0x43 を実装する必要はない。

本プロパティを実装する場合は、点灯モード設定(0xB6)の現在の設定が、常夜灯モード以外の場合も設定／取得が可能である。また、本プロパティと「常夜灯モード時光色レベル段数設定」(0xBE)とを実装する場合は、両者の値を互いに関連付けしなければならない。

動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(16) 常夜灯モード時光色レベル段数設定

「点灯モード設定」(EPC=0xB6)が、常夜灯モードの場合の光色レベルを段数で示す。光色レベルを設定し、設定状態を取得する。設定可能な光色レベルの最大値は EPC=0xB5「常夜灯設定可能レベル最大値」で取得する。光色レベルの具体的な値は規定しないが、レベル設定値が小さいほど、電球色状態となり、大きいほど白色状態となる。プロパティ値のとる値については、本クラスを実装する実機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。また、本プロパティを実装する場合は、常夜灯設定可能レベル最大値（0xB5）を実装することを必須とする。

本プロパティを実装する場合は、点灯モード設定(0xB6)の現在の設定が、常夜灯モード以外の場合も設定／取得が可能である。また、本プロパティと「常夜灯モード時光色設定」(0xBD)とを実装する場合は、両者の値を互いに関連付けしなければならない。

動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

(17) 自動モード時点灯モード状態

「点灯モード設定」(EPC=0xB6)が、自動モード(0x41)の場合の、実機器の点灯状態を取得する。通常灯=0x42、常夜灯=0x43 、消灯=0x44、カラー灯=0x45 のプロパティ値が対応する。

プロパティ値のとる値については、本クラスを実装する実機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。例えば、本クラスを搭載する実機器が常夜灯をその機能として搭載していない場合は、常夜灯に対する 0x43 を実装する必要はない。

(18) カラー灯モード時 RGB 設定

「点灯モード設定」(EPC=0xB6)が、カラー灯モード(0x45)の場合の、RGB 値を設定し、状態を取得する。RGB 値の具体的な値は規定しない。プロパティ値のとる値については、本クラスを実装する実機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。本プロパティに設定された値での RGB 設定が不可能な場合は、設定可能な最も近い値が設定される。本プロパティを実装する場合は、点灯モード設定(EPC=0xB6)の現在の設定が、カラー灯モード(0x45)以外の場合も設定／取得が可能である。

(19) ON タイマ予約設定

ON タイマの予約の入､切を設定する｡本プロパティは､｢ON タイマ時刻設定｣と関連する。

予約入＝0x41,予約切＝0x42

動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(20) ON タイマ時刻設定値

「ON タイマ予約設定」が入の場合に、ON になる時刻を時 : 0x00～0x17(0～23)、分 : 0x00～0x3B(0～59)で示す。時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。

動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても､本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(21) OFF タイマ予約設定

OFF タイマの予約の入、切を設定する。本プロパティは､｢OFF タイマ時刻設定値」と関連する。

予約入＝0x41,予約切＝0x42

動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても､本プロパティの有効性は保証されるものとする。

(22) OFF タイマ時刻設定値

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

「OFF タイマ予約設定」が入の場合に、OFF になる時刻を時：0x00～0x17(0～23)、分：0x00～0x3B(0～59)で示す。時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。
動作状態プロパティ(0x80)が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．３．２８ ブザークラス規定

クラスグループコード　：　0x02
クラスコード　　：0xA0
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
音発生設定	0x B1	ブザー音の発生設定を示す。 音発生有=0x41，音発生無=0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
ブザー音種別設定	0x E0	ブザー音の種類（８種類）を示す。 0x31～0x38	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			

注1）　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)　動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）
本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。
尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)　音発生設定
ブザーの発生設定を示す。
ブザー音が有る設定状態は、0x41。ブザー音が無い設定状態は、0x42 を用いるものとする。

(3)　ブザー音種別設定
ブザーの音の種類を示す。
具体的な値と音の種類の対応づけは特に規定しない。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

３．４ 調理・家事関連機器クラスグループ

本節では、機器オブジェクトの内、調理・家事関連機器クラスグループ（クラスグループ指定コード X1=0x03）に属する ECHONET オブジェクト毎に、コードやプロパティの詳細を規定する。本節で詳細を規定するクラスの一覧を、表８に示し、各クラス毎の詳細を項を設けて規定を示す。クラス規定において、「必須」の記述のあるものは、各クラスを搭載する機器には、そのプロパティとサービスの組み合わせの実装が必須であることを示す。

表８　調理・家事関連機器クラスグループのオブジェクト一覧表（１／２）

クラス グループコード	クラスコード	クラス名	詳細規定の有無	備考
0x03	0x00～0xAF	For future reserved		
	0xB0	コーヒーメーカ		
	0xB1	コーヒーミル		
	0xB2	電気ポット	○	
	0xB3	電気こんろ		
	0xB4	トースタ		
	0xB5	ジューサ・ミキサ		
	0xB6	フードプロセッサ		
	0xB7	冷凍冷蔵庫	○	
	0xB8	オーブンレンジ	○	
	0xB9	クッキングヒータ	○	
	0xBA	オーブン		
	0xBB	炊飯器	○	
	0xBC	電子ジャー		
	0xBD	食器洗い機		
	0xBE	食器乾燥機		
	0xBF	電気もちつき機		
	0xC0	保温機		
	0xC1	精米機		
	0xC2	自動製パン機		
	0xC3	スロークッカ		
	0xC4	電気漬物機		
	0xC5	洗濯機	○	
	0xC6	衣類乾燥機	○	
	0xC7	電気アイロン		
	0xC8	ズボンプレッサ		
	0xC9	ふとん乾燥機		
	0xCA	小物・くつ乾燥機		
	0xCB	電気掃除機(セントラルクリーナ含		

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

	む)		
0xCC	ディスポーザ		
0xCD	電気蚊取り機		
0xCE	業務用ショーケース		
0xCF	業務用冷蔵庫		
0xD0	業務用ホットケース		
0xD1	業務用フライヤー		
0xD2	業務用電子レンジ		
0xD3	洗濯乾燥機	○	
0xD4～0xFF	For future reserved		

注）○：APPENDIX でプロパティ構成を含めた詳細を規定。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．４．１ 電気ポットクラス規定

クラスグループコード　：　0x03
クラスコード　　：0xB2
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
蓋開閉状態	0xB0	蓋開／閉状態 蓋開＝0x41，蓋閉＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get			
湯切れ警告状態	0xB1	電気ポットの湯切れ状態を通知する 湯切れ有り＝0x41 湯切れなし＝0x40	unsigned char	1 Byte	－	Get		○	
沸騰設定	0xB2	沸騰設定 沸騰開始＝0x41 沸騰停止／保温＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
沸騰／保温モード設定	0xE0	クエン酸洗浄／通常保温／省エネ保温を示す。 クエン酸洗浄＝0x41, 通常保温＝0x42,省エネ保温＝0x43	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
保温温度設定値	0xE1	保温温度設定値を℃で示す。 0x00～0x64(0～100)	unsigned char	1 Byte	℃	Set/ Get			
出湯状態	0xE2	出湯状態 出湯有＝0x41，出湯無＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get		○	
ロック状態	0xE3	出湯ロック状態 ロック有＝0x41，ロック無＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get			

注）状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)　動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）
本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)　蓋開閉状態
電気ポット（ジャーポット）の蓋の開閉状態を示す。
蓋開状態は、0x41。蓋閉状態は、0x42 を用いるものとする。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

(3) 湯切れ警告状態

本プロパティの値は、電気ポットが湯切れ状態になった場合に値が 0x40 から 0x41 に遷移するものとする。また電気ポットに水、あるいはお湯が入れられたときに、0x41 から 0x40 へ復帰するものとする。

(4) 沸騰設定

電気ポットの沸騰開始、沸騰停止／保温状態を設定する。プロパティ値としては、それぞれ 0x41,、0x42 が対応するものとする。なお、本プロパティは、電気ポットが沸騰動作を終了すると、その値は自動的に 0x42 に遷移しなくてはならない。

(5) 沸騰／保温モード

電気ポット(ジャーポット)のクエン酸洗浄／通常保温／省エネ保温の設定を示す。
それぞれの運転モードにそれぞれ、順に 0x41/0x42/0x43 のプロパティ値が対応するものとする。
プロパティ値のとる値については、本クラスを搭載する実機器が、その機能として持つ機能に対応するプロパティ値のみを実装すればよいものとする。

(6) 保温温度設定値

保温温度設定値を℃の単位で示す。
プロパティ値の範囲は、0x00～0x64 (0～100℃)とする。

(7) 出湯状態

出湯操作の状態を、出湯操作有:0x41、出湯操作無:0x42 で示す。具体的には、人の操作により湯が出ている状態が出湯操作有であり、通常何も湯の出ていない状態は出湯操作無となる。

(8) ロック状態

電気ポット（ジャーポット）操作のロック状態を、ロック有：0x41、ロック無：0x42 で示す。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．４．２ 冷凍冷蔵庫クラス規定

クラスグループコード　：　0x03
クラスコード　　：0xB7
インスタンスコード　　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
ドア開閉状態	0xB0	ドア開／閉状態 ドア開＝0x41，ドア閉＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get	Ⓜ		
ドア開放警告状態	0xB1	ドア開放警告状態 ドア開放警告有＝0x41，ドア開放警告無＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get		○	
冷蔵室ドア開閉状態	0xB2	冷蔵室ドア開／閉状態を取得する。 ドア開=0x41,ドア閉=0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get			
冷凍室ドア開閉状態	0xB3	冷凍室ドア開／閉状態を取得する。 ドア開=0x41,ドア閉=0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get			
氷温室ドア開閉状態	0xB4	氷温室ドア開／閉状態を取得する。 ドア開=0x41,ドア閉=0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get			
野菜室ドア開閉状態	0xB5	野菜室ドア開／閉状態を取得する。 ドア開=0x41,ドア閉=0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get			
切換室ドア開閉状態	0xB6	切換室ドア開／閉状態を取得する。 ドア開=0x41,ドア閉=0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get			
設定可能温度レベル最大値	0xE0	冷蔵庫各室の設定可能温度レベル最大値を取得する。 1Byte 目:冷蔵室 2Byte 目:冷凍室 3Byte 目:氷温室 4Byte 目:野菜室 5Byte 目:切換室 6～8Byte 目: for future reserved 0x01～0xFF(1～255 段階) 0x00(室を搭載していない場合)	unsigned char ×8	8 Byte	－	Get			
冷蔵室温度設定値	0xE2	冷蔵室温度設定値を設定し、設定状態を取得する。 0x81～0x7E(-127～126℃)	signed char	1 Byte	℃	Set/ Get			

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

冷凍室温度設定値	0xE3	冷凍室温度設定値を設定し、設定状態を取得する。 0x81～0x7E(-127～126℃)	signed char	1 Byte	℃	Set/ Get			
氷温室温度設定値	0xE4	氷温室温度設定値を設定し、設定状態を取得する。 0x81～0x7E(-127～126℃)	signed char	1 Byte	℃	Set/ Get			
野菜室温度設定値	0xE5	野菜室温度設定値を設定し、設定状態を取得する。 0x81～0x7E(-127～126℃)	signed char	1 Byte	℃	Set/ Get			
切換室温度設定値	0xE6	切換室温度設定値を設定し、設定状態を取得する。 0x81～0x7E(-127～126℃)	signed char	1 Byte	℃	Set/ Get			
冷蔵室温度レベル設定	0xE9	冷蔵室温度レベルを設定し、設定状態を取得する。 0x01～設定可能温度レベル最大値 (弱～強)	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
冷凍室温度レベル設定	0xEA	冷凍室温度レベルを設定し、設定状態を取得する。 0x01～設定可能温度レベル最大値 (弱～強)	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
氷温室温度レベル設定	0xEB	氷温室温度レベルを設定し、設定状態を取得する。 0x01～設定可能温度レベル最大値 (弱～強)	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
野菜室温度レベル設定	0xEC	野菜室温度レベルを設定し、設定状態を取得する。 0x01～設定可能温度レベル最大値 (弱～強)	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
切換室温度レベル設定	0xED	切換室温度レベルを設定し、設定状態を取得する。 0x01～設定可能温度レベル最大値 (弱～強)	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
冷蔵室温度計測値	0xD1	冷蔵室温度計測値を取得する。 0x81～0x7E(-127～126℃)	signed char	1 Byte	℃	Get			
冷凍室温度計測値	0xD2	冷凍室温度計測値を取得する。 0x81～0x7E(-127～126℃)	signed char	1 Byte	℃	Get			
氷温室温度計測値	0xD3	氷温室温度計測値を取得する。 0x81～0x7E(-127～126℃)	signed char	1 Byte	℃	Get			
野菜室温度計測値	0xD4	野菜室温度計測値を取得する。 0x81 ～ 0x7E （－ 127 ～ 126℃)	signed char	1 Byte	℃	Get			
切換室温度計測値	0xD5	切換室温度計測値を取得する。 0x81～0x7E(-127～126℃)	signed char	1 Byte	℃	Get			

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

圧縮機回転数レベル	0xD8	圧縮機の回転数レベルを取得する。 1Byte 目：最大回転数レベル L 0x01～0xFF(1～255) 2Byte 目：回転数レベル 0x00～L(停止、弱～強)	unsigned char	2 Byte	－	Get			
消費電流計測値	0xDA	消費電流計測値を取得する。 0x81 ～ 0x7E （－ 127 ～ 126℃)	unsigned short	2 Byte	0.1A	Get			
定格消費電力値	0xDC	定格消費電力を取得する。 0x0000 ～ 0xFFFD(0 ～ 65533W)	unsigned short	2 Byte	W	Get			
急速冷凍動作設定	0xA0	急速冷凍の動作を設定し、設定状態を取得する。 通常冷凍=0x41 急速冷凍=0x42 急速冷凍待機=0x43	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
急速冷蔵動作設定	0xA1	急速冷蔵の動作を設定し、設定状態を取得する。 通常冷蔵=0x41 急速冷蔵=0x42 急速冷蔵待機=0x43	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
製氷許可設定	0xA4	製氷機能の製氷許可を設定し、設定状態を取得する。 製氷許可=0x41, 製氷禁止=0x42 製氷一定時間禁止=0x43	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
製氷動作状態	0xA5	製氷機能の動作状態を取得する。 運転中=0x41,停止中=0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get			
製氷用給水タンク状態	0xA6	製氷用給水タンクの水あり/タンクなし or 水なしの状態を取得する。 タンク水あり=0x41, タンクなし or 水なし=0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get			
冷蔵室加湿動作設定	0xA8	冷蔵室加湿機能の動作を設定し、設定状態を取得する。 加湿 ON=0x41, 加湿 OFF=0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
野菜室加湿動作設定	0xA9	野菜室加湿機能の動作を設定し、設定状態を取得する。 加湿 ON=0x41, 加湿 OFF=0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
脱臭動作設定	0xAD	脱臭機能の動作を設定し、設定状態を取得する。 脱臭 ON=0x41, 脱臭 OFF=0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			

注1） 状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1) 動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）

冷凍冷蔵庫の稼動／非稼動(ON/OFF)を設定し、動作状態を取得する。本クラスを搭載するノード

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

において、ノードの動作開始とともに、冷凍冷蔵庫の機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2) ドア開閉状態

ドアの開閉状態を取得する。ドア開状態は、0x41。ドア閉状態は、0x42 を用いるものとする。なお冷蔵庫に複数のドアが存在する場合には、検知可能なドアのうち、いずれかのドアが開いていればドア開状態である。ここでいうドアとは、引出しも含めるものである。「モバイルサービス」に対応する場合、本プロパティの搭載は必須とする。

(3) ドア開放警告状態

ドア開放警告の状態（有／無）を取得する。ドア開放警告状態有りは、0x41。ドア開放警告状態無しは、0x42 を用いるものとする。

(4) 冷蔵室ドア開閉状態

冷蔵室ドアの開閉状態を取得する。ドア開状態は、0x41。　ドア閉状態は、0x42 を用いるものとする。なお冷蔵室に複数のドアが存在する場合には、いずれか 1 つでもドアが開いていればドア開状態である。ここでいうドアとは、引出しも含めるものである。

(5) 冷凍室ドア開閉状態

冷凍室ドアの開閉状態を取得する。ドア開状態は、0x41。　ドア閉状態は、0x42 を用いるものとする。なお冷凍室に複数のドアが存在する場合には、いずれか 1 つでもドアが開いていればドア開状態である。ここでいうドアとは、引出しも含めるものである。

(6) 氷温室ドア開閉状態

氷温室ドアの開閉状態を取得する。ドア開状態は、0x41。　ドア閉状態は、0x42 を用いるものとする。なお氷温室に複数のドアが存在する場合には、いずれか 1 つでもドアが開いていればドア開状態である。ここでいうドアとは、引出しも含めるものである。

(7) 野菜室ドア開閉状態

野菜室ドアの開閉状態を取得する。ドア開状態は、0x41。　ドア閉状態は、0x42 を用いるものとする。なお野菜室に複数のドアが存在する場合には、いずれか 1 つでもドアが開いていればドア開状態である。ここでいうドアとは、引出しも含めるものである。

(8) 切換室ドア開閉状態

切換室ドアの開閉状態を取得する。ドア開状態は、0x41。　ドア閉状態は、0x42 を用いるものとする。なお切換室に複数のドアが存在する場合には、いずれか 1 つでもドアが開いていればドア開

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

状態である。ここでいうドアとは、引出しも含めるものである。

(9) 設定可能温度レベル最大値

冷蔵庫各室の設定可能温度レベル最大値を取得する。本プロパティのデータサイズは 8Byte で、各室の設定可能温度レベル最大値をそれぞれ 1Byte、255 段階（0x01～0xFF）で表現する。8Byte のうち、1Byte 目～5Byte 目は、それぞれ、冷蔵室、冷凍室、氷温室、野菜室、切換室の設定可能温度レベルを表し、6Byte 目～8Byte 目を for future reserved とする。なお、搭載していない室の設定可能温度レベル最大値は、0x00 とする。

(10) 冷蔵室温度設定値

冷蔵室の温度設定値（℃）を設定し、設定状態を取得する。プロパティの値域は、0x81～0x7E（-127～126℃）とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0x7F、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0x80 を用いるものとする。　プロパティ値のとる値については、本クラスを実装する実機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。　本プロパティと「冷蔵室温度レベル設定」（EPC=0xE9）とを実装する場合は、両者の値を互いに関連付けなければならない。

(11) 冷凍室温度設定値

冷凍室の温度設定値（℃）を設定し、設定状態を取得する。プロパティの値域は、0x81～0x7E（-127～126℃）とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0x7F、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0x80 を用いるものとする。　プロパティ値のとる値については、本クラスを実装する実機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。本プロパティと「冷凍室温度レベル設定」（EPC=0xEA）とを実装する場合は、両者の値を互いに関連付けなければならない。

(12) 氷温室温度設定値

氷温室の温度設定値（℃）を設定し、設定状態を取得する。プロパティ値のとる値については、本クラスを実装する実機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。プロパティの値域は、0x81～0x7E（-127～126℃）とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0x7F、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0x80 を用いるものとする。　本プロパティと「氷温室温度レベル設定」（EPC=0xEB）とを実装する場合は、両者の値を互いに関連付けなければならない。

(13) 野菜室温度設定値

野菜室の温度設定値（℃）を設定し、設定状態を取得する。プロパティの値域は、0x81～0x7E（-127

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

～126℃）とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコー

ド 0x7F、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0x80 を用いるものとする。プロパティ値のとる値については、本クラスを実装する実機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。　本プロパティと「野菜室温度レベル設定」（EPC=0xEC）とを実装する場合は、両者の値を互いに関連付けなければならない。

(14) 切換室温度設定値

切換室の温度設定値（℃）を設定し、設定状態を取得する。プロパティの値域は、0x81～0x7E（-127～126℃）とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0x7F、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0x80 を用いるものとする。　プロパティ値のとる値については、本クラスを実装する実機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。本プロパティと「切換室温度レベル設定」（EPC=0xED）とを実装する場合は、両者の値を互いに関連付けなければならない。

(15) 冷蔵室温度レベル設定

冷蔵室の温度レベルを設定し、設定状態を取得する。設定可能な温度レベルの最大値は EPC=0xE0「設定可能温度レベル最大値」で取得する。温度レベルの具体的な値は規定しないが、レベル設定値が小さいほど、冷却能力が弱い（庫内温度が高い）状態となる。プロパティ値のとる値については、本クラスを実装する実機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。本プロパティと「冷蔵室温度設定値」（EPC=0xE2）とを実装する場合は、両者の値を互いに関連付けなければならない。また、本プロパティを実装する場合は、設定可能温度レベル最大値（0xE0）を実装することを必須とする。

(16) 冷凍室温度レベル設定

冷凍室の温度レベルを設定し、設定状態を取得する。設定可能な温度レベルの最大値は EPC=0xE0「設定可能温度レベル最大値」で取得する。温度レベルの具体的な値は規定しないが、レベル設定値が小さいほど、冷却能力が弱い（庫内温度が高い）状態となる。プロパティ値のとる値については、本クラスを実装する実機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。

本プロパティと「冷凍室温度設定値」（EPC=0xE3）とを実装する場合は、両者の値を互いに関連付けなければならない。また、本プロパティを実装する場合は、設定可能温度レベル最大値（0xE0）を実装することを必須とする。

(17) 氷温室温度レベル設定

氷温室の温度レベルを設定し、設定状態を取得する。設定可能な温度レベルの最大値は EPC=0xE0

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

「設定可能温度レベル最大値」で取得する。温度レベルの具体的な値は規定しないが、レベル設定値が小さいほど、冷却能力が弱い（庫内温度が高い）状態となる。プロパティ値のとる値については、本クラスを実装する実機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。

本プロパティと「氷温室温度温度設定値」（EPC=0xE4）とを実装する場合は、両者の値を互いに関連付けなければならない。また、本プロパティを実装する場合は、設定可能温度レベル最大値（0xE0）を実装することを必須とする。

(18) 野菜室温度レベル設定

野菜室の温度レベルを設定し、設定状態を取得する。設定可能な温度レベルの最大値は EPC=0xE0「設定可能温度レベル最大値」で取得する。温度レベルの具体的な値は規定しないが、レベル設定値が小さいほど、冷却能力が弱い（庫内温度が高い）状態となる。プロパティ値のとる値については、本クラスを実装する実機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。

本プロパティと「野菜室温度温度設定値」（EPC=0xE5）とを実装する場合は、両者の値を互いに関連付けなければならない。また、本プロパティを実装する場合は、設定可能温度レベル最大値（0xE0）を実装することを必須とする。

(19) 切換室温度レベル設定

切換室の温度レベルを設定し、設定状態を取得する。設定可能な温度レベルの最大値は EPC=0xE0「設定可能温度レベル最大値」で取得する。温度レベルの具体的な値は規定しないが、レベル設定値が小さいほど、冷却能力が弱い（庫内温度が高い）状態となる。プロパティ値のとる値については、本クラスを実装する実機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。

本プロパティと「切換室温度設定値」（EPC=0xE6）とを実装する場合は、両者の値を互いに関連付けなければならない。また、本プロパティを実装する場合は、設定可能温度レベル最大値（0xE0）を実装することを必須とする。

(20) 冷蔵室温度計測値

冷蔵室の温度設定値（℃）を取得する。プロパティの値域は、0x81～0x7E（-127～126℃）とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0x7F、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0x80 を用いるものとする。

(21) 冷凍室温度計測値

冷凍室の温度設定値（℃）を取得する。プロパティの値域は、0x81～0x7E（-127～126℃）とし、

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0x7F、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0x80 を用いるものとする。

(22) 氷温室温度計測値

氷温室の温度設定値（℃）を取得する。プロパティの値域は、0x81～0x7E（-127～126℃）とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0x7F、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0x80 を用いるものとする。

(23) 野菜室温度計測値

野菜室の温度設定値（℃）を取得する。プロパティの値域は、0x81～0x7E（-127～126℃）とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0x7F、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0x80 を用いるものとする。

(24) 切換室温度計測値

切換室の温度設定値（℃）を取得する。プロパティの値域は、0x81～0x7E（-127～126℃）とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0x7F、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0x80 を用いるものとする。

(25) 圧縮機回転数レベル

圧縮機の回転数レベルを取得する。 1 Byte 目は取得可能な圧縮機の最大回転数レベルを、2Byte 目は圧縮機の回転数レベルを表す。回転数レベルの具体的な値は規定しないが、回転数レベルが小さいほど、圧縮機の回転数が低い状態となり、0x00 の時は圧縮機停止を示す。　なお、本プロパティ値は（1Byte 目の値）≧（2Byte 目の値）となる。

(26) 消費電流計測値

冷凍冷蔵庫の現在の消費電流計測値（0.1A）を取得する。対象となる電流が交流の場合は、実効値を示す。ものとする。プロパティ値は、0x0000～0xFFFD(0～6553.3A)とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFFFF、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0xFFFE を用いるものとする。

(28) 定格消費電力値

定格消費電力（W、カタログ値）を取得する。プロパティ値は、0x0000～0xFFFD(0～65533W)

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

とする。

(29) 急速冷凍動作設定

冷蔵庫の急速冷凍機能の動作を設定し、設定状態を取得する。プロパティ値は、通常運転は 0x41、急速冷凍動作は 0x42、急速冷凍動作待機は 0x43 を用いるものとする。なお、0x43：急速冷凍動作待機とは、霜取り中等で急速冷凍動作を待機している状態のことであり、霜取り完了などの条件を満足すると 0x42：急速冷凍動作に遷移する。また、急速冷凍動作が終了すると、本プロパティ値は 0x41 に遷移する。　なお、本プロパティに 0x43 が Set された場合は、これを無視しても良い。プロパティ値のとる値については、本クラスを実装する実機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。

(30) 急速冷蔵動作設定

冷蔵庫の急速冷蔵機能の動作を設定し、設定状態を取得する。プロパティ値は、通常運転は 0x41、急速冷蔵動作は 0x42、急速冷蔵動作待機は 0x43 を用いるものとする。なお、0x43：急速冷蔵動作待機とは、霜取り中等で急速冷蔵動作を待機している状態のことであり、霜取り完了などの条件を満足すると 0x42：急速冷蔵動作に遷移する。また、急速冷蔵動作が終了すると、本プロパティ値は 0x41 に遷移する。なお、本プロパティに 0x43 が Set された場合は、これを無視しても良い。プロパティ値のとる値については、本クラスを実装する実機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。

(31) 製氷許可設定

冷蔵庫の自動製氷機の製氷を許可するか否かを設定し、設定状態を取得する。製氷許可設定は 0x41、製氷禁止設定は 0x42、製氷一定時間禁止設定は 0x43 を用いるものとする。なお、製氷許可設定とは氷を作っても良い設定、製氷禁止設定とは氷を作ってはならない設定である。また、製氷一定時間禁止とは、夜間や長期不在などに一定時間製氷を禁止する設定であり、製氷禁止時間及び禁止から許可に復帰する条件は特に規定せず、実装依存とする。プロパティ値のとる値については、本クラスを実装する実機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。

(32) 製氷動作状態

冷蔵庫の自動製氷機の製氷動作状態を取得する。製氷動作中は 0x41、製氷停止中は 0x42 を用いるものとする。

(33) 製氷用給水タンク状態

冷蔵庫に搭載されている自動製氷機の給水タンクの水あり／なし状態を取得する。プロパティ値は、給水タンクに水がある場合は 0x41、水がない場合または給水タンクが冷蔵庫内に正しくセットされていない場合は 0x42 を用いるものとする。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

(34) 冷蔵室加湿動作設定

冷蔵室の加湿機能動作（ON/OFF）を設定し、設定状態を取得する。加湿 ON を 0x41、加湿 OFF を 0x42 とする。

(35) 野菜室加湿動作設定

野菜室の加湿機能動作（ON/OFF）を設定し、設定状態を取得する。加湿 ON を 0x41、加湿 OFF を 0x42 とする。

(36) 脱臭動作設定

冷蔵庫に搭載されている脱臭機能動作（ON/OFF）を設定し、設定状態を取得する。プロパティ値は、脱臭ＯＮを 0x4１、脱臭 OFF を 0x42 とする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．４．３ オーブンレンジクラス規定

クラスグループコード　：　0x03
クラスコード　　：0xB8
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域（10 進表記）	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時 ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
ドア開閉状態	0xB0	ドア開／閉状態を取得する。 ドア開＝0x41，ドア閉＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get			
加熱状態	0xB1	加熱動作の状態を取得する。 初期状態=0x40、運転中=0x41、 一時停止中=0x42、 完了報知中=0x43 設定中=0x44、予熱中=0x45、 予熱完了保温中=0x46 加熱途中報知一時停止中=0x47	unsigned char	1 Byte	－	Get			
加熱設定	0xB2	加熱動作を設定し､現在状態を取得する。 加熱開始・再開＝0x41, 加熱一時停止＝0x42, 加熱停止＝0x43	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
加熱モード設定	0xE0	加熱モードを設定し､加熱モード設定の現在の状態を取得する。 電子レンジ加熱=0x41 解凍=0x42、オーブン=0x43、 グリル=0x44、トースト=0x45、 発酵=0x46、煮込み=0x47、 スチーム加熱=0x48、 電子レンジ２段加熱=0x51 未設定=0xFF	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
自動加熱設定	0xE1	自動加熱／マニュアル加熱を設定し､自動加熱設定の現在の状態を取得する。 自動＝0x41，マニュアル＝0x42 未設定＝0xFF	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
自動加熱レベル設定	0xE2	自動加熱温度レベルを 5 段階で設定し､自動加熱レベル設定の現在の状態を取得する。 0x31～0x35（弱～強） 未設定＝0Xff	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

自動メニューコース設定	0xD0	自動メニューコースを設定し、自動メニューコース設定の現在の状態を取得する。 0～0xFE:自動メニューコースｺｰﾄﾞ プロパティの詳細説明に、定義されたコードを示す。 未設定=0xFF	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
オーブンモード設定	0xD1	オーブンモードを設定し、オーブンモード設定の現在の状態を取得する。 0x40:自動選択モード 0x41:対流オーブンモード 0x42:熱風オーブンモード 0x43:複合オーブンモード 0xFF:未設定	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
オーブン予熱設定	0xD5	オーブン加熱の予熱の有無を設定し、オーブン予熱設定の現在の状態を取得する。 予熱あり＝0x41 予熱なし＝0x42 未設定＝0xFF	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
発酵モード設定	0xD6	発酵モードを設定し、発酵モード設定の現在の状態を取得する。 0x40:自動選択モード 0x41:対流発酵モード 0x42:熱風発酵モード 0x43:複合発酵モード 0x51:電子レンジ発酵モード 0xFF:未設定	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
庫内温度設定値	0xE3	庫内温度設定値を(0.1℃単位で)設定し、庫内温度設定値の現在の状態を取得する。 0xF554～0x7FFE(－2732～32766) (-273.2～3276.6℃) 0x8001:自動設定 0x8002:未設定	signed short	2 Byte	℃	Set/ Get			
仕上がり温度設定値	0xE4	仕上がり温度設定値を(0.1℃単位で)設定し、仕上がり温度設定値の現在の状態を取得する。 0xF554～0x7FFE(－2732～32766) (－273.2～3276.6℃) 未設定=0x8002	signed short	2 Byte	℃	Set/ Get			
加熱時間設定値	0xE5	加熱時間を HH:MM:SS で設定し、加熱時間設定値の現在の状態を取得する。 0～0x17: 0～0x3B : 0～0x3B (=0～23): (0～59): (0～59)	unsigned char ×3	3 Byte	－	Set/ Get			
加熱残時間設定値	0xE6	加熱残時間をHH:MM:SSで設定し、現在の加熱残時間を取得する。 0～0X17: 0～0X3B : 0～0X3B (=0～23): (0～59): (0～59)	unsigned char ×3	3 Byte	－	Set/ Get			

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

電子レンジ加熱出力設定値	0xE7	電子レンジの加熱出力（1W 単位）を設定し、電子レンジ加熱出力設定値の現在の状態を取得する。 0x0000～0xFFFD（0～65533） （0～65533W）	unsigned short	2 Byte	W	Set/ Get			
途中報知パターン設定	0xE8	途中報知時の報知内容と時間（加熱時間の 1%単位）を４ヶ所設定し、途中報知パターン設定値の現在の状態を取得する。 1Byte 目：報知内容 プロパティの詳細説明に定義されたコードを示す。 2Byte 目：報知時間 0～0x64(=0～100%)	unsigned char ×2 ×4	8 Byte	－	Set/ Get			
付属品設定	0xE9	付属品を設定し、付属品設定値の現在の状態を取得する。 使用する付属品の組み合わせを 2 バイトのビットマップで示す。使用する付属品に対応するビットパターンを１とする。 プロパティの詳細説明に各付属品に対応するビットマップパターンを示す。	unsigned short	2 Byte	－	Set/ Get			
表示文字列設定	0xEA	機器の表示器に表示する文字列を設定する。（２０文字） ShiftJIS コード×20	unsigned short ×20	40 Byte	－	Set			
電子レンジ２段加熱時間設定値	0xEB	電子レンジ２段加熱時の、第一段目と第二段目の加熱時間を HH:MM:SS で設定し、加熱時間設定値の現在の状態を取得する。 始めの３バイトで１段目の加熱時間を示し、次の３バイトで２段目の加熱時間を示す。 １段目の加熱時間（１～３Byte）： 0～0x17：0～0x3B ： 0～0x3B (=0～23)：(=0～59)：(=0～59) ２段目の加熱時間（４～６Byte）： 0～0x17：0～0x3B ： 0～0x3B (=0～23)：(=0～59)：(=0～59)	unsigned char ×3 ×2	6 Byte	－	Set/ Get			
電子レンジ２段加熱出力設定値	0xEC	電子レンジ２段加熱時の、第一段目と第二段目の電子レンジの加熱出力（1W 単位）を設定し、電子レンジ加熱出力設定値の現在の状態を取得する。 始めの２バイトで１段目の加熱出力を示し、次の２バイトで２段目の加熱出力を示す。 １段目の加熱出力（１～２Byte）： 0x0000～0xFFFD（0～65533） （0～65533W） ２段目の加熱出力（３～４Byte）： 0x0000～0xFFFD（0～65533） （0～65533W）	unsigned short ×2	4 Byte	W	Set/ Get			

注）状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

(1) 動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）

本プロパティの Set では、オーブンレンジが、加熱運転可能状態(加熱運転操作待ち受け状態・加熱動作状態を含む)であるか否か(ON/OFF)を設定する。

本プロパティを Get した場合は、加熱運転可能状態(加熱運転操作待ち受け状態・加熱動作状態を含む)であるか否か(ON/OFF)の現在の状態を取得する。本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、オーブンレンジの機能が、加熱運転可能である状態となる場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2) ドア開閉状態

オーブンレンジのドア（扉）の開閉状態を取得する。ドア開状態は 0x41、ドア閉状態は 0x42 を用いるものとする。

(3) 加熱状態

本プロパティを Get した場合は、オーブンレンジの加熱動作の詳細な状態を取得する。プロパティの値は、初期状態（何も設定／動作していない状態）は 0x40、運転中は 0x41、一時停止中（運転中に加熱を一時停止している状態）は 0x42、完了報知中（調理が完了してから初期状態に遷移するまでの状態）は 0x43、設定中（加熱モード、時間、加熱温度などを設定している状態）は 0x44、予熱中（オーブン調理において予熱運転をしている状態）は 0x45、予熱完了保温中（オーブン調理において予熱が完了し、予熱温度を保持している状態）は 0x46、加熱途中報知一時停止中（調理中に、裏返しやかき混ぜ等を指示するための途中報知をするために加熱を一時停止している状態）は 0x47、を用いる。

本プロパティは、「加熱設定」(EPC＝0xB2）にて Get したときに得られる動作状態の更に詳細な状態を取得するためのプロパティであり、「加熱設定」(EPC＝0xB2）にて Get したときに得られる値との関係を次の表に示す。

本プロパティ	関連するプロパティ
「加熱状態」 (EPC＝0xB1）の Get による取得値	「加熱設定」 (EPC＝0xB2）の Get による取得値
運転中　0x41	加熱開始・再開（動作中）0x41
予熱中　0x45	
予熱完了保温中　0x46	
一時停止中　0x42	加熱一時停止（一時停止中）0x42
加熱途中報知一時停止中　0x47	
初期状態　0x40	加熱停止（停止中）0x43
完了報知中　0x43	
設定中　0x44	

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

(4) 加熱設定

本プロパティの Set により、オーブンレンジの加熱動作を設定する。プロパティ値としては、加熱開始・再開は 0x41、加熱一時停止は 0x42、加熱停止は 0x43 を用いる。

本プロパティを Get した場合は、現在の動作状態を取得する。取得するプロパティ値としては、動作中は 0x41、一時停止中は 0x42、停止中は 0x43 を用いる。

(5) 加熱モード設定

本プロパティの Set により、オーブンレンジの加熱モードを設定する。

本プロパティを Get した場合は、加熱モード設定の現在の状態を取得する。

プロパティ値としては、電子レンジ加熱＝0x41／解凍（解凍を目的とした加熱モード）＝0x42／オーブン＝0x43／グリル＝0x44／トースト＝0x45／発酵＝0x46／煮込み（煮込みを目的とした加熱モード）＝0x47／スチーム加熱（蒸すことを目的とした加熱モード）＝0x48／電子レンジ２段加熱（２つの電子レンジ加熱モードを続けて行なう加熱モード）＝0x51　を用いる。　プロパティ値 0xFF は、未設定を表す。

プロパティ値のとる値については、本クラスを搭載する実機器が、その機能として持つ機能に対応するプロパティ値のみを実装すればよいものとする。例えば、本クラスを搭載する実機器が、オーブン機能をその機能として搭載していない場合は、オーブンに対応する 0x43 を実装する必要はない。

なお、本プロパティと「自動加熱設定」（EPC＝0xE1）を両方実装している場合に、本プロパティを Set した場合は、「自動加熱設定」（EPC＝0xE1）はマニュアル（0x42）とされなければならない。

また、本プロパティを Set した場合、「自動メニューコース設定」（EPC＝0xD0）を未設定（0xFF）とすることを推奨する。

(6) 自動加熱設定

本プロパティの Set により、オーブンレンジの自動加熱／マニュアル加熱のモードを設定する。自動加熱とは、「自動メニューコース設定」により設定された自動メニューコースによって動作する調理モードのことである。

自動加熱の場合 0x41 とし、マニュアル加熱の場合は 0x42 とする。

プロパティ値 0xFF は、未設定を表す。

本プロパティを Get した場合は、オーブンレンジの自動加熱／マニュアル加熱の設定の現在の状態を取得する。

本プロパティと「加熱モード設定」（EPC＝0xE0）を両方実装している場合に、「加熱モード設定」（EPC＝0xE0）が設定された場合は、本プロパティのプロパティ値はマニュアル（0x42）とされなければならない。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

本プロパティと「自動メニューコース設定」(EPC＝0xD0) を両方実装している場合に、「自動メニューコース設定」(EPC＝0xD0) が設定された場合は、本プロパティのプロパティ値は自動加熱 (0x41) とされなければならない。

以下のプロパティが 設定 (Set) された場合	本プロパティ 「自動加熱設定」(EPC＝0xE1) のプロパティ値のとるべき値
「加熱モード設定」(EPC＝0xE0) が設定された場合	マニュアル (0x42)　とする
「自動メニューコース設定」(EPC＝0xD0) が設定された場合	自動加熱 (0x41)　とする

(7) 自動加熱レベル設定

本プロパティの Set により、自動メニューコース実行時の自動加熱レベルを 5 段階で設定する。
各レベルの具体的な状態は規定しないが、0x33 を標準レベルとし、0x31 を最も加熱温度の低い状態とし、0x35 を最も加熱温度の高い状態とする。
プロパティ値 0xFF は、未設定を表す。
本プロパティを Get した場合は、自動加熱レベル設定の現在の状態を取得する。

(8) 自動メニューコース設定値

本プロパティの Set により、自動加熱時の自動メニューコースを設定する。
プロパティの領域は、0x00～0xFF(0～255)とし、自動メニューコースコード番号で表現するものとする。
本プロパティを Get した場合は、自動メニューコース設定値の現在の状態を取得する。
以下に自動メニューコースコードを定義する。
プロパティ値 0xFF は、未設定を表す。

自動メニューコースコードの定義

自動メニューコースコード	自動メニューコース名称	コース内容説明
0x00	全自動	自動メニューコースを機器が自動的に判断して決定する全自動コース
0x01	ごはんあたため	レンジ加熱で、ごはんをあたためます
0x02	おかずあたため	レンジ加熱で、おかず等をあたためます
0x03	お酒	レンジ加熱で、お酒をあたためます
0x04	牛乳	レンジ加熱で、牛乳をあたためます
0x05	ゆで葉菜	葉菜を、レンジ加熱でゆでます
0x06	ゆで果花菜	果花菜を、レンジ加熱でゆでます

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

0x07	ゆで根菜	根菜を、レンジ加熱でゆでます
0x08～0x1F	（For future reserved）	
0x20	肉解凍	冷凍肉等を解凍します
0x21	さしみ解凍	冷凍さしみ等を解凍します
0x22～0x2F	（For future reserved）	
0x30	ハンバーグ	ハンバーグを焼き上げます
0x31	グラタン	グラタンを焼き上げます
0x32	茶碗蒸	茶碗蒸をつくります
0x33	炊飯	ごはんを炊きあげます
0x34	揚げ物再加熱	調理済みのフライや揚げ物を再加熱します
0x35	フライ	フライや揚げ物をつくります
0x36～0x5F	（For future reserved）	
0x60	スポンジケーキ	スポンジケーキを焼き上げます
0x61	シフォンケーキ	シフォンケーキを焼き上げます
0x62	クッキー	クッキーを焼き上げます
0x63	シュー皮	シュー皮を焼き上げます
0x64	ロールパン	ロールパンを焼き上げます
0x65	食パン	食パンを焼き上げます
0x66～0x7F	（For future reserved）	
0x80～0xFE	ユーザ定義領域	
0xFF	未設定	

プロパティのとる値については、本クラスを搭載する実機器が、その機能として持つ機能に対応するプロパティ値のみを実装すればよいものとする。
なお、本プロパティーで定義された自動メニューコースを実装する実機器は、本定義コードを実装するものとする。
なお、本プロパティと「自動加熱設定」（EPC＝0xE1）を両方実装している場合に、本プロパティを Set した場合は、「自動加熱設定」（EPC＝0xE1）は自動加熱（0x41）とされなければならない。
また、本プロパティを Set した場合、「加熱モード設定」（EPC＝0xE0）を未設定（0xFF）とすることを推奨する。

(9) オーブンモード設定
本プロパティの Set によって、オーブンモードを設定する。
本プロパティを Get した場合は、オーブンモード設定の現在の状態を取得する。
本プロパティは、「加熱モード設定」（EPC＝0xE0）をオーブン（0x43）とした場合の、より詳細なモード設定を規定したプロパティである。プロパティ値として、対流オーブンモード（熱風を強制的に循環させることなく、自然対流によって庫内を加熱したり、食品を加熱する方式）は０ｘ４１、熱風オーブンモード（熱風を、ファン等によって、強制的に庫内に循環させて、庫内を加熱したり、食品を加熱する方式）は０ｘ４2、複合オーブンモード（対流オーブンモードと熱風オーブンモードを組み合わせて使用する方式）は 0x43、自動選択モード（実機器の判断によって選択されるオーブンモード）は 0x40、を用いるものとする。プロパティ値 0xFF は、未設定を表す。本クラスを搭載する実機器が、その機能として持つ機能に対応するプロパティ値のみを実装すればよいものとする。例えば、本クラスを搭載する実機器が、熱風オーブンモードをその機能として搭載していない場合は、熱風オ

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

ーブンモードに対応する 0x42 を実装する必要はない。

(10) オーブン予熱設定

本プロパティの Set によって、オーブン調理時の予熱の有無を設定する。本プロパティは、「加熱モード設定」(EPC＝0xE0) をオーブン (0x43) とした場合の、より詳細なモード設定を規定したプロパティである。プロパティ値として、予熱ありは０ｘ４１、予熱なしは０ｘ４２を用いるものとする。

プロパティ値 0xFF は、未設定を表す。本プロパティを Get した場合は、オーブン予熱設定の現在の状態を取得する。

本プロパティにより予熱設定を指定しない場合に、機器がどちらのモードで動作するかは実装依存となる。

(11) 発酵モード設定

本プロパティの Set によって、発酵モードを設定する。本プロパティを Get した場合は、発酵モード設定の現在の状態を取得する。本プロパティは、「加熱モード設定」(EPC＝0xE0) を発酵 (0x46) とした場合の、より詳細なモード設定を規定したプロパティである。

プロパティ値として、対流発酵モード（熱風を強制的に循環させることなく、自然対流によって庫内を加熱して食品を発酵させる方式）は０ｘ４１、熱風発酵モード（熱風を、ファン等によって、強制的に庫内に循環させて、庫内を加熱して食品を発酵させる方式）は０ｘ４2、複合発酵モード（対流発酵モードと熱風発酵モードを組み合わせて使用して、庫内を加熱して食品を発酵させる方式）は 0x43、電子レンジ発酵モード（レンジ加熱によって食品を発酵させる方式）は 0x51、自動選択モード（実機器の判断により選択される発酵モード）は 0x40、を用いるものとする。プロパティ値 0xFF は、未設定を表す。

本クラスを搭載する実機器が、その機能として持つ機能に対応するプロパティ値のみを実装すればよいものとする。例えば、本クラスを搭載する実機器が、熱風発酵モードをその機能として搭載していない場合は、熱風発酵モードに対応する 0x42 を実装する必要はない。

(12) 庫内温度設定値

本プロパティの Set によって、庫内温度設定値を 0.1℃の単位で設定する。本プロパティを Get した場合は、庫内温度設定値の現在の状態を取得する。

本プロパティは、「加熱モード設定」(EPC＝0xE0) をオーブン (0x43) もしくは発酵 (0x46) とした場合の、より詳細なモード設定を規定したプロパティである。

プロパティの値域は、0xF554～0x7FFE(－273.2℃～3276.6℃)とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0x7FFF、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0x8000 を用いるものとする。

発酵モードなどで庫内温度設定値が実機器において自動設定である場合は 0x8001 を用いるものとする。未設定の場合は 0x8002 を用いるものとする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

本クラスを搭載する実機器がとり得るプロパティ値域が、本プロパティで定義されたプロパティ値域よりも小さい場合に、実機がとり得ないプロパティ値を設定した場合においての実機の対応については実装依存とする。

(13) 仕上がり温度設定値

本プロパティの Set によって、加熱対象物の仕上がり温度設定値を、0.1℃の単位で設定する。本プロパティを Get した場合は、仕上がり温度設定値の現在の状態を取得する。
プロパティの値域は、0xF554～0x7FFE(－273.2℃～3276.6℃)とし、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0x7FFF、実機器のプロパティ値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0x8000 を用いるものとする。
プロパティ値 0x8002 は未設定を表す。

本クラスを搭載する実機器がとり得るプロパティ値域が、本プロパティで定義されたプロパティ値域よりも小さい場合に、実機がとり得ないプロパティ値を設定した場合においての実機の対応については実装依存とする。

また、本プロパティが設定されることによって、「加熱時間設定値」(EPC=E5) プロパティに影響を与える場合には、適切な値が「加熱時間設定値」(EPC=E5) プロパティに反映されなければならない。

(14) 加熱時間設定値

本プロパティの Set により、加熱時間を、時 : 0x00～0x17(0～23)、分 : 0x00～0x3B(0～59)、秒 : 0x00～0x3B(0～59)で設定する。
本プロパティを Get した場合は、加熱時間設定値の現在の状態を取得する。時、分、秒の順に上位バイトからプロパティ値とする。なお、自動メニューコースなど加熱時間が不明である場合は、プロパティ値として 0xFDFDFD をとるものとする。本プロパティの設定は、加熱開始前に設定するものとする。プロパティ値 0x000000 は、加熱時間設定値が未設定であることを表す。

本クラスを搭載する実機器がとり得るプロパティ値域が、本プロパティで定義されたプロパティ値域よりも小さい場合に、実機がとり得ないプロパティ値を設定した場合においての実機の対応については実装依存とする。

また、本プロパティが設定されることによって、「仕上がり温度設定値」(EPC=E4) プロパティに影響を与える場合には、適切な値が「仕上がり温度設定値」(EPC=E4) プロパティに反映されなければならない。

(15) 加熱残時間設定値

本プロパティの Set によって、加熱残時間を、時 : 0x00～0x17(0～23)、分 : 0x00～0x3B(0～59)、秒 : 0x00～0x3B(0～59)で設定する。本プロパティを Get した場合は、現在の加熱残時間を取得する。時、分、秒の順に上位バイトからプロパティ値とする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

なお、自動メニューコースなど加熱残時間が不明である場合は、プロパティ値として 0xFDFDFD をとるものとする。プロパティ値 0x000000 は、加熱残時間設定値が未設定であることを表す。本プロパティの設定は、加熱残時間の変更を意味し、加熱開始後に設定するものとする。

(16) 電子レンジ加熱出力設定値

本プロパティの Set によって、電子レンジ加熱調理出力設定値を１W 単位で設定する。本プロパティは、「加熱モード設定」(EPC＝0xE0) を電子レンジ加熱 (0x41) もしくは解凍 (0x42) もしくは煮込み (0x47) もしくはスチーム加熱 (0x48) もしくは、「加熱モード設定」(EPC＝0xE0) を発酵 (0x46) とし「発酵モード設定」(EPC=0xD6)を電子レンジ発酵モード (0x51) とした場合の、より詳細なモード設定を規定したプロパティである。

本プロパティを Get した場合は、電子レンジ加熱出力設定値の現在の状態を取得する。プロパティの値域は、0x0000～0xFFFD(0～65533W)とし、実機器のとる値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFFFF、実機器のとる値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0xFFFE を用いるものとする。

本プロパティで設定された値を機器が実現できない場合の電子レンジ加熱調理出力設定値に関しては、実装依存とする。プロパティ値 0x0000 は、電子レンジ加熱出力設定値が未設定を表す。

(17) 途中報知パターン設定

本プロパティの Set によって、オーブンレンジの加熱途中における裏返しやかき混ぜ等を指示するための途中報知が必要な場合、その報知内容 （報知内容コード）と報知時間（１％単位）を設定する。本プロパティを Get した場合は、途中報知パターン設定値の現在の状態を取得する。

プロパティの値域は、１Byte 目に報知内容を 0x00～0xFF(0～255)の番号で示し、２Ｂｙｔｅ目に報知する時点を、調理開始時からの経過時間で表現し、全体の調理時間に対する時間割合 (%) : 0x00～0x64(0～100%)で示す。２Byte を１セットで、８Byte（４ヶ所分）設定する。プロパティ値は、報知する順番に上位バイトから詰めて記述する。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

報知内容コードを以下に定義する。

報知内容コードの定義

報知内容コード	報知内容
0x00	報知なし
0x01	かき混ぜてください
0x02	泡立て器でかき混ぜてください
0x03	全体を軽くかき混ぜてください
0x04	練り混ぜてください
0x05	裏返してください
0x06	アクをとってください
0x07～0x1F	（For future reserved）
0x20	アルミホイルをかぶせて、さらに調理を続けてください。
0x21	ラップをかぶせて、さらに調理を続けてください。
0x22	ふたをして、さらに調理を続けてください。
0x23～0x2F	（For future reserved）
0x30	アルミホイルを取り、さらに調理を続けてください。
0x31	ラップを取り、さらに調理を続けてください。
0x32	ふたを取り、さらに調理を続けてください。
0x33～0x3F	（For future reserved）
0x40	材料を加えてください
0x41	塩・こしょうをふってください
0x42～0x4F	（For future reserved）
0x50	予熱が終了しました
0x51～0x7F	（For future reserved）
0x80～0xFF	ユーザ定義領域

プロパティのとる値については、本クラスを搭載する実機器が、その機能として持つ機能に対応するプロパティ値のみを実装すればよいものとする。
なお、本プロパティーで定義された報知内容を実装する実機器は、本定義コードを実装するものとする。

例えば、全体の調理時間が１０分で、調理開始後２分経過した時点（全体の 20%（20%＝0x14）経過時点）で、“裏返してください”（0x05）という報知をするように設定する場合は、本プロパティ値は、0x05 14 00 00 00 00 00 00　となる。

(18) 付属品設定

本プロパティの Set によって、オーブンレンジで使用する付属品を設定する。本プロパティを Get した場合は、付属品設定の現在の状態を取得する。

プロパティ値としては、使用する付属品の組み合わせを２バイトのビットマップを用いて示す。使用する付属品（設置位置情報も含む）に対応するビットパターンを 1、使用しない付属品のビットパ

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

ターンを０とすることで、使用する付属品の組み合わせを示す。

第 15 ビットが“1”の場合、第０～14 ビットに設定された付属品を全て利用することを意味する。一方、第 15 ビットが“0”の場合は、第０～14 ビットに設定された付属品の中から任意のものを利用することを意味する。

以下に、各付属品に対応するビットマップを定義する。

各付属品の対応ビットマップの定義（２バイト）

付属品に対応したビット	付属品名	付属品の説明
第０ビット	セラミック製　回転皿	（回転網に載せること等によって回転する）セラミック製の丸皿
第１ビット	ガラス製　回転皿	（回転網に載せること等によって回転する）ガラス製の丸皿
第２ビット	金属製　回転皿	（回転網に載せること等によって回転する）金属製の丸皿
第３ビット	回転網	回転駆動する網やプレート
第４ビット	回転焼網	回転皿に載せる金属製の焼網
第５ビット	下から３段目の棚板位置に設置するセラミック製角皿	（３段の棚板位置を有する機器において） 下から３段目の棚板位置に設置されるセラミック製角皿
第６ビット	下から３段目の棚板位置に設置する金属製角皿	（３段の棚板位置を有する機器において） 下から３段目の棚板位置に設置される金属製角皿
第７ビット	下から３段目の棚板位置に設置する焼網	（３段の棚板位置を有する機器において） 下から３段目の棚板位置に設置される角皿に載せる焼網
第８ビット	下から２段目の棚板位置に設置するセラミック製角皿	（２段以上の棚板位置を有する機器において） 下から２段目の棚板位置に設置されるセラミック製角皿
第９ビット	下から２段目の棚板位置に設置する金属製角皿	（２段以上の棚板位置を有する機器において） 下から２段目の棚板位置に設置される金属製角皿
第 10 ビット	下から２段目の棚板位置に設置する焼網	（２段以上の棚板位置を有する機器において） 下から２段目の棚板位置に設置される角皿に載せる焼網
第 11 ビット	下から１段目の棚板位置に設置するセラミック製角皿	下から１段目の棚板位置に設置されるセラミック製角皿
第 12 ビット	下から１段目の棚板位置に設置する金属製角皿	下から１段目の棚板位置に設置される金属製角皿
第 13 ビット	下から１段目の棚板位置に設置する焼網	下から１段目の棚板位置に設置される角皿に載せる焼網
第 14 ビット	ユーザ定義領域	
第 15 ビット	使用付属品判別ビット	第 15 ビット＝“1”の場合、第０～14 ビットに設定された付属品を全て利用することを意味する。 第 15 ビット＝“0”の場合、第０～14 ビットに設定された付属品の中で任意のものを利用することを意味する。

いずれの付属品も使用してはならない場合は、第０～14 ビットを“０”にして、第 15 ビットを”1”とし、プロパティ値は 0x8000 とする。未設定時もしくは使用する付属品が不明の場合は、第０～14

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

ビットを“０”にして、第 15 ビットを”0”とし、プロパティ値は 0x0000 とする。プロパティのとる値については、本クラスを搭載する実機器が、その機能として持つ機能に対応するプロパティ値のみを実装すればよいものとする。

(19) 表示文字列設定

本プロパティの Set によって、機器の表示器に表示する文字列（２０文字）を設定する。文字コードは、Shift - JIS コード（２バイト／１文字）を用いるものとする。有効文字列長が２０文字未満の場合は、プロパティ値の先頭から有効文字列の文字コードを記載し、２０文字に至る残りの文字コードは Shift - JIS スペースコード（0x8140）を用いるものとする。

例えば、１５文字分の文字列情報を設定する場合は、１６文字目から２０文字目までは、Shift - JIS スペースコード（0x8140）とする。

(20) 電子レンジ２段加熱時間設定値

本プロパティの Set によって、電子レンジ２段加熱時の、第一段目と第二段目の加熱時間を、時：0x00～0x17(0～23)、分：0x00～0x3B(0～59)、秒：0x00～0x3B(0～59)で、それぞれ設定する。始めの３バイト（１～３バイト目）に第一段目の加熱時間を、次の３バイト（４～６バイト目）に第２段目の加熱時間を、続けて表現する。

本プロパティは、「加熱モード設定」(EPC＝0xE0) を電子レンジ 2 段加熱（0x51）とした場合の、より詳細なモード設定を規定したプロパティである。本プロパティを Get した場合は、電子レンジ２段加熱時間設定値の現在の状態を取得する。各段ともに、時、分、秒の順に上位バイトからプロパティ値とする。プロパティ値 0x000000 000000 は電子レンジ２段加熱時間設定値が未設定を表す。
本プロパティの設定は、加熱開始前に設定するものとする。

加熱時間設定プロパティ（EPC＝0xE5）とは別個に機能するものであり、相互の関連性を保つ必要は無い。

本クラスを搭載する実機器がとり得るプロパティ値域が、本プロパティで定義されたプロパティ値域よりも小さい場合に、実機がとり得ないプロパティ値を設定した場合においての実機の対応については実装依存とする。

(21) 電子レンジ２段加熱出力設定値

本プロパティの Set によって、電子レンジ２段加熱時の、第一段目と第二段目の電子レンジ加熱調理出力設定値を１Ｗ単位で設定する。始めの２バイト（１～２バイト目）に第一段目の加熱出力値を、次の２バイト（３～４バイト目）に第２段目の加熱出力値を、続けて表現する。

本プロパティは、「加熱モード設定」(EPC＝0xE0) を電子レンジ 2 段加熱（0x51）とした場合の、より詳細なモード設定を規定したプロパティである。本プロパティを Get した場合は、電子レンジ２段加熱出力設定値の現在の状態を取得する。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

プロパティの値域は、第１段目、第２段目ともに、0x0000～0xFFFD(0～65533W)とし、実機器のとる値が、プロパティの値域を超える場合は、オーバーフローコード 0xFFFF、実機器のとる値が、プロパティの値域未満の場合は、アンダーフローコード 0xFFFE を用いるものとする

本プロパティで設定された値を機器が実現できない場合の電子レンジ加熱調理出力設定値に関しては、実装依存とする。

プロパティ値 0x0000 0000 は、電子レンジ２段加熱出力設定値が未設定を表す。電子レンジ加熱出力設定プロパティ（EPC＝0xE7）とは別個に機能するものであり、相互の関連性を保つ必要は無い。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．４．４ クッキングヒータクラス規定

クラスグループコード　：0x03
クラスコード　　：0xB9
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時アナウンス	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ON＝0x30 、 OFF=0x31	unsigned char	1byte	－	Set Get	 ○	○	
加熱状態	0xB1	左コンロ加熱状態:右コンロ加熱状態:奥コンロ加熱状態:ロースタ加熱状態 待機中:0x40 運転中:0x41 一時停止中:0x42 加熱禁止状態:0x50 不明:0xFF	unsigned char ×4	1byte ×4	－	Get	○		
加熱設定	0xB2	左コンロ設定:右コンロ設定:奥コンロ設定:ロースタ設定 加熱停止：0x40 加熱開始・再開：0x41 加熱一時停止：0x42 設定なし：0xFF	unsigned char ×4	1byte ×4	－	Set/ Get			
一括停止設定	0xB3	左コンロ／右コンロ／奥コンロ／ロースタのすべての加熱停止を設定する。 一括加熱停止：0x40	unsigned char	1byte	－	Set	Ⓜ		
加熱出力設定	0xE7	左コンロ加熱出力:右コンロ加熱出力:奥コンロ加熱出力:ロースタ加熱出力 ・出力設定形式(0～10000W) :0x0000～0x2710 ・レベル設定形式(17段階) :0x3000～0x3010 ・状態表現形式: とろ火:0x4002 弱火:0x4004 中火:0x4006 強火:0x4008 ハイパワー:0x400a ・未設定:0xFFFF	unsigned short ×4	2byte ×4	W or 段階 or -	Set/ Get			

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時アナウンス	備考
加熱温度設定値	0xE3	左コンロ設定温度:右コンロ設定温度:奥コンロ設定温度 設定温度（50～250℃） ：0x32～0xFA 設定なし：0xFF	unsigned char ×3	1byte ×3	℃	Set/ Get			
コンロ加熱モード設定	0xE0	左コンロ加熱モード:右コンロ加熱モード:奥コンロ加熱モード 加熱出力制御モード：0x41 天ぷら（揚げ物）：0x42 湯沸し：0x43 炊飯：0x44 炒め物：0x45 設定なし：0xFF	unsigned char ×3	1byte ×3	－	Set/ Get			
切タイマ相対時間設定値	0x96	左コンロ切タイマ時間:右コンロ切タイマ時間:奥コンロ切タイマ時間:ロースタ切タイマ時間 切タイマ時間設定値を HH:MM:SS で設定し切タイマを動作させ、更新された現在の切タイマ相対時間設定値を取得する。 0～0X17:0～0X3B:0～0X3B ×4 (=0～23):(=0～59):(=0～59) 設定なし:0XFFFFFF	unsigned char ×3 ×4	1byte ×3 ×4	－	Set/ Get			
チャイルドロック設定	0xA1	チャイルドロック ON／OFF 設定 チャイルドロック OFF ： 0x40 チャイルドロック ON ： 0x41	unsigned char	1byte	－	Set/ Get			
ラジエントヒータロック設定	0xA2	ラジエントヒータロック ON／OFF ラジエントヒータロック OFF:0x40 ラジエントヒータロック ON:0x41	unsigned char	1byte	－	Set/ Get			

注1） 状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1) 動作状態(機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承)

本オブジェクトが、制御受付が可能な状態（ON 状態）であるか否か（OFF 状態）を示す。ON 状態には 0x30 を、OFF 状態には 0x31 を対応させる。本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスが制御受付可能状態になる場合は、本プロパティを固定値 0x30 で実装することも可能である。

(2) 加熱状態

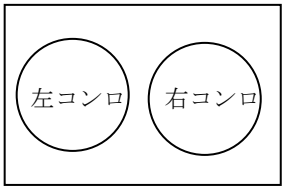
本プロパティを Get した場合は、クッキングヒータの加熱動作の詳細な状態を取得する。

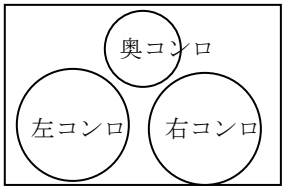
プロパティの値は、

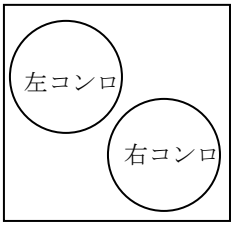
© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

待機中（動作していない状態）は 0x40、　運転中は 0x41、
一時停止中（運転中に加熱を一時停止している状態）は 0x42、
加熱禁止状態（運転開始が禁止されている状態）は 0x50、
不明（状態がわからない状態）は 0xFF
にそれぞれ対応させる。
正面から向かって左コンロの加熱状態、右コンロの加熱状態、奥コンロの加熱状態、ロースタの加熱状態の順に 4 byte で表現する。例えば、左コンロが運転中で、右コンロと奥コンロとロースタが待機中の場合のプロパティ値は、0x41404040　となる。

左コンロ、右コンロ、奥コンロ　の　各コンロの配置例は下記を参照のこと。







(3) 加熱設定
本プロパティの Set により、本クッキングヒータの加熱動作を設定する。プロパティ値としては、加熱停止 0x40、加熱開始・再開は 0x41、加熱一時停止は 0x42、設定なしは 0xFF を用いる。
本プロパティを Get した場合は、現在の設定状態を取得する。
正面から向かって左コンロの加熱状態、右コンロの加熱状態、奥コンロの加熱状態、ロースタの加熱状態の順に 4 byte で表現する。例えば、左コンロのみの運転開始を Set する場合のプロパティ値は、0x41FFFFFF　となる。　また本プロパティを Get した場合、0xFF 以外で設定され次に 0xFF で設定された場合の取得値は 0xFF 設定前の値となる。例えば 0x41FFFFFF で設定され、0xFF41FFFF と設定された場合、Get 値は、0x4141FFFF となる。

(4) 一括停止設定
本プロパティの Set により、本クッキングヒータの各コンロの加熱動作を一括停止設定する。プロパティ値としては、一括加熱停止設定は 0x40 を用いる。
「モバイルサービス」に対応する場合、本プロパティの搭載は必須とする。

(5) 加熱出力設定
本プロパティの Set によって、本クッキングヒータの各コンロおよびロースタの加熱出力設定値を設定する。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

加熱出力を出力電力量（１W 単位）で設定する場合は、プロパティ値は 0x0000～0x2710（0W～10000W）を用いる。

加熱出力を出力レベルで設定する場合は、出力レベルを１７段階で設定する。プロパティ値は 0x3000～0x3010 を用いる。各レベルの具体的な状態は規定しないが、0x3000 を最も加熱出力の低い状態とし、0x3010 を最も加熱出力の高い状態とする。なお、0x3000 の場合の加熱出力は 0 ではなく、最も加熱出力の低い状態である。

加熱出力を火力で設定する場合は、とろ火 : 0x4002、弱火 : 0x4004、中火 : 0x4006、強火 : 0x4008、ハイパワー : 0x400A とする。

また、設定なしの場合は、0xFFFF を用いる。正面から向かって左コンロの加熱出力、右コンロの加熱出力、奥コンロの加熱出力、ロースタの加熱出力の順に８byte で表現する。例えば、左コンロを強火に、右コンロをとろ火に、奥コンロとロースタを設定しない場合のプロパティ値は、0x4008 4002 FFFF FFFF　となる。

本プロパティを Get した場合は、本クッキングヒータの加熱出力設定値の現在の状態を取得する。本プロパティで設定された値を機器が実現できない場合のクッキングヒータの加熱出力設定値に関しては、実装依存とする。

(6) 加熱温度設定値

本プロパティの Set によって、本クッキングヒータの各コンロの加熱温度設定値を１℃の単位で設定する。本プロパティを Get した場合は、各コンロの加熱温度設定値の現在の状態を取得する。プロパティの値域は、0x32～0xFA(50℃～250℃)とする。プロパティ値 0xFF は設定なしを表す。　本クラスを搭載する実機器がとり得ないプロパティ値を設定した場合においての実機の対応については実装依存とする。

正面から向かって左コンロの加熱温度設定、右コンロの加熱温度設定、奥コンロの加熱温度設定、の順に３byte で表現する。例えば、左コンロの加熱温度設定値を 180℃に、右コンロと奥コンロを設定しない場合のプロパティ値は、0xB4FFFF　となる。

(7) コンロ加熱モード設定

本プロパティの Set により、本クッキングヒータの正面から向かって左コンロ、右コンロ、奥コンロのの加熱モードを設定する。

本プロパティを Get した場合は、各コンロの加熱モード設定の現在の状態を取得する。
プロパティ値としては、以下にそれぞれ対応する。

加熱出力制御モード（EPC 0xE7　にて設定可能な加熱出力値を用いて運転制御するモード）: 0x41

天ぷら（揚げ物）（EPC 0xE3　にて設定可能な加熱温度設定値を用いて天ぷら調理を行うモード）: 0x42

湯沸し : 0x43、炊飯 : 0x44、炒め物 : 0x45（炒め物調理に適した加熱モード）、

設定なし : 0xFF

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

正面から向かって左コンロの加熱モード設定、右コンロの加熱モード設定、奥コンロの加熱モード設定、の順に３byte で表現する。例えば、左コンロと右コンロの加熱モード設定値を加熱出力制御モードに、奥コンロを設定しない場合のプロパティ値は、0x4141FF　となる。

(8)　切タイマ相対時間設定値

本プロパティの Set により、本クッキングヒータの各コンロおよびロースタの切タイマの相対時間を設定する。

本プロパティを Get した場合は、各コンロおよびロースタの切タイマ時間の更新された値を取得する。プロパティ値は、時：0x00～0x17(0～23)、分：0x00～0x3B(0～59)、秒：0x00～0x3B(0～59)でそれぞれ設定する。

正面から向かって左コンロの切タイマ設定時間、右コンロの切タイマ設定時間、奥コンロの切タイマ設定時間、ロースタの切タイマ設定時間の順に 12byte で表現する。例えば、左コンロの切タイマ時間設定値を１時間１０分に設定する場合のプロパティ値は、 0x01 0A 00 FF FF FF FF FF FF FF FF FF となる。

なお、本クラスを搭載する実機器の切タイマ設定値の上限値を超えるプロパティ値を設定した場合など、本クラスを搭載する実機器がとり得ないプロパティ値を設定した場合においての実機の対応については実装依存とする。

(9)　チャイルドロック設定

本プロパティの Set により、本クッキングヒータのチャイルドロックを設定する。

本プロパティを Get した場合は、本クッキングヒータのチャイルドロック設定の現在の状態を取得する。プロパティ値としては、チャイルドロック設定 OFF(解除)は 0x40、チャイルドロック設定 ON は 0x4１を用いる。

(10)　ラジエントヒータロック設定

本プロパティの Set により、本クッキングヒータのラジエントヒータロックを設定する。

本プロパティを Get した場合は、本クッキングヒータのラジエントヒータロック設定の現在の状態を取得する。プロパティ値としては、ラジエントヒータロック設定 OFF(解除)は 0x40、ラジエントヒータロック設定 ON は 0x4１を用いる。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

３．４．５ 炊飯器クラス規定

クラスグループコード　：　0x03
クラスコード　　：0xBB
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
蓋開閉状態	0xB0	蓋開／閉状態を示す。 蓋開＝0x41，蓋閉＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get			
炊飯状態	0xB1	炊飯状態を示す。 停止＝0x41、予熱＝0x42、 炊飯＝0x43、蒸らし＝0x44、 炊飯完了＝0x45	unsigned char	1 Byte	－	Get	○		
炊飯制御設定	0xB2	炊飯制御設定を示す。 炊飯開始・炊飯再開＝0x41， 炊飯一時停止＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get	Ⓗa		
保温設定	0xE1	保温設定の有無を示す。 保温有＝0x41，保温無＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
内なべ取り外し状態	0xE5	内なべ取り外しの有無を示す。 取り外し有＝0x41， 取り外し無＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get			
蓋取り外し状態	0xE6	蓋取り外しの有無を示す。 取り外し有＝0x41，取り外し無＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get			
炊飯予約設定	0x90	炊飯予約の有無を示す。 予約有＝0x41，予約無＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
炊飯予約設定 時刻設定値	0x91	タイマ値 HH:MM 0～0x17: 0～0x3B (=0～23):(=0～59)	unsigned char ×2	2 Byte	－	Set/ Get			
炊飯予約設定 相対時間設定値	0x92	タイマ値 HH:MM 0～0x17: 0～0x3B (=0～23):(=0～59)	unsigned char ×2	2 Byte	－	Set/ Get			

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)　動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）
本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。
尚、本クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、本クラスの機能が、稼動を開始する場合は、本プロパティを固定値 0x30（動作状態 ON）で実装することも可能である。

(2)　蓋開閉状態

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

炊飯器の蓋の開閉状態を示す。
蓋開状態は、0x41。蓋閉状態は、0x42 を用いるものとする。

(3) 炊飯状態
炊飯器の炊飯遷移状態を示す。
炊飯の停止は、0x41、予熱は、0x42、炊飯は、0x43、蒸らしは、0x44、炊飯完了＝0x45 を用いるものとする。

(4) 炊飯制御設定
炊飯制御設定を、炊飯開始・再開、炊飯一時停止で示す。
プロパティ値としては、炊飯開始・再開は、0x41。炊飯一時停止は、0x42 を用いるものとする。。「快適生活支援サービス」に対応する場合、本プロパティの搭載は必須とする。

(5) 保温設定
保温の設定状態を示す。
保温設定がされた状態は、0x41。保温設定がされていない状態は、0x42 を用いるものとする。

(6) 内なべ取り外し状態
内なべ取り外しの状態を示す。内なべ取り外しの操作がされた状態は、0x41。
内なべ取り外しの操作がされていない状態は、0x42 を用いるものとする。

(7) 蓋取り外し状態
蓋取り外しの状態を示す。蓋取り外し状態とは、取り外し可能で、取り外し状態の検知が可能な蓋の少なくとも一部分が取り外された状態をいう。
蓋取り外しの操作がされた状態は、0x41。蓋取り外しの操作がされていない状態は、0x42 を用いるものとする。

(8) 炊飯予約設定
炊飯予約の状態を示す。
炊飯予約がされた状態は 0x41、炊飯予約がされていない状態は 0x42 を用いるものとする。

(9) 炊飯予約設定時刻設定値
「炊飯予約設定」がされた場合(0x41)に、「炊飯制御設定」を炊飯開始する時刻、もしくは、「炊飯状態」が炊飯完了となる時刻を時：0x00～0x17(0～23)、分：0x00～0x3B(0～59)で示す。時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

(10) 炊飯予約設定相対時間設定値

「炊飯予約設定」がされた場合(0x41)に、「炊飯制御設定」を炊飯開始する時刻、もしくは、「炊飯状態」が炊飯完了となる時刻を現在時刻からの相対時間で示す。データ形式は、時：0x00～0x17(0～23)、分：0x00～0x3B(0～59)とし、時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．４．６ 洗濯機クラス規定

クラスグループコード　：　0x03
クラスコード　　：0xC5
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時アナウンス	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
扉・蓋開閉状態	0xB0	扉・蓋開／閉状態を示す。 扉・蓋開＝0x41, 扉・蓋閉＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get			
洗濯設定	0xB2	洗濯設定 洗濯開始・再開＝0x41, 洗濯一時停止＝0x42, 洗濯停止＝0x43	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
洗濯遷移状態	0xE1	洗濯遷移状態 洗い＝0x41, すすぎ＝0x42, 脱水＝0x43, 一時停止＝0x44, 洗濯完了・停止＝0x45	unsigned char	1 Byte	－	Get			
洗濯残り時間	0xE6	洗濯残り時間を HH:MM:SS で示す。 0～0x17: 0～0x3B : 0～0x3B (=0～23):(=0～59):(=0～59)	unsigned char ×3	3 Byte	－	Get			
ON タイマ予約設定	0x90	予約入／予約切 予約入＝0x41、予約切＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
ON タイマ時刻設定値	0x91	タイマ値 HH:MM 0～0x17: 0～0x3B (=0～23):(=0～59)	unsigned char ×２	2 Byte	－	Set/ Get			
ON タイマ相対時間設定値	0x92	タイマ値 HH:MM 0～0x17: 0～0x3B (=0～23):(=0～59)	unsigned char ×２	2 Byte	－	Set/ Get			

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)　動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）

洗濯機が、制御受付が可能な状態（ON 状態）であるか否か（OFF 状態）を示す。ON 状態には 0x30 を、OFF 状態には 0x31 を対応させる。洗濯機クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、洗濯機が制御受付可能状態になる場合は、本プロパティを固定値 0x30 で実装することも可能である。

(2)　扉・蓋開閉状態

洗濯機の扉・蓋の開閉状態を示す。

扉・蓋開状態は、0x41。　扉・蓋閉状態は、0x42 を用いるものとする。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

(3) 洗濯設定

洗濯機の、洗濯開始・再開、洗濯一時停止、洗濯停止状態を設定する。プロパティ値としては、それぞれ 0x41, 0x42, 0x43 が対応するものとする。

(4) 洗濯遷移状態

洗濯遷移状態を、洗い、すすぎ、脱水、一時停止、洗濯完了・停止状態で示す。プロパティ値としては、それぞれ 0x41, 0x42, 0x43, 0x44, 0x45 が対応するものとする。

(5) 洗濯残り時間

洗濯残り時間を、時：0x00～0x17(0～23)、分：0x00～0x3B(0～59)、秒：0x00～0x3B(0～59)で示す。時、分、秒の順に上位バイトからプロパティ値とする。

(6) ON タイマ予約設定

洗濯の予約の入、切を設定する。本プロパティは、「ON タイマ時刻設定値」もしくは、「ON タイマ相対時間設定値」と関連する。予約入=0x41、予約切=0x42

(7) ON タイマ時刻設定値

「ON タイマ予約設定」が入の場合に、洗濯開始設定が洗濯開始になる時刻もしくは洗濯遷移状態が洗濯完了になる時刻を時：0x00～0x17(0～23)、分：0x00～0x3B(0～59)で示す。時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。

(8) ON タイマ相対時間設定値

「ON タイマ予約設定」が入の場合に、洗濯開始設定が洗濯開始になる時刻もしくは洗濯遷移状態が洗濯完了になる時間を現在時刻からの相対時間で示す。データ形式は、時：0x00～0x17(0～23)、分：0x00～0x3B(0～59)とし、時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．４．７ 衣類乾燥機クラス規定

クラスグループコード　：　0x03
クラスコード　　：0xC６
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
扉・蓋開閉状態	0xB0	扉・蓋開／閉状態を示す。 扉・蓋開＝0x41, 扉・蓋閉＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get			
乾燥設定	0xB2	乾燥設定 乾燥開始・再開＝0x41, 乾燥一時停止＝0x42, 乾燥停止＝0x43	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
乾燥遷移状態	0xE1	乾燥遷移状態 乾燥＝0x41, 一時停止＝0x42, 乾燥完了・停止＝0x43	unsigned char	1 Byte	－	Get			
乾燥残り時間	0xE6	乾燥残り時間を HH:MM:SS で示す。 0～0x17: 0～0x3B：0～0x3B (=0～23):(=0～59):(=0～59)	unsigned char ×3	3 Byte	－	Get			
ON タイマ予約設定	0x90	予約入／予約切 予約入＝0x41、予約切＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
ON タイマ時刻設定値	0x91	タイマ値 HH:MM 0～0x17: 0～0x3B (=0～23):(=0～59)	unsigned char ×２	2 Byte	－	Set/ Get			
ON タイマ相対時間設定値	0x92	タイマ値 HH:MM 0～0x17: 0～0x3B (=0～23):(=0～59)	unsigned char ×２	2 Byte	－	Set/ Get			

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）

乾燥機が、制御受付が可能な状態（ON 状態）であるか否か（OFF 状態）を示す。ON 状態には 0x30 を、OFF 状態には 0x31 を対応させる。乾燥機クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、乾燥機が制御受付可能状態になる場合は、本プロパティを固定値 0x30 で実装することも可能である。

(2)扉・蓋開閉状態

乾燥機の扉・蓋の開閉状態を示す。

扉・蓋開状態は、0x41。　扉・蓋閉状態は、0x42 を用いるものとする。

(3)乾燥設定

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

乾燥機の、乾燥開始・再開、乾燥一時停止、乾燥停止状態を設定する。プロパティ値としては、それぞれ 0x41, 0x42, 0x43 が対応するものとする。

(4)乾燥遷移状態

乾燥遷移状態を、乾燥、一時停止、乾燥完了・停止状態で示す。プロパティ値としては、それぞれ 0x41, 0x42, 0x43 が対応するものとする。

(5)乾燥残り時間

乾燥残り時間を、時：0x00～0x17(0～23)、分：0x00～0x3B(0～59)、秒：0x00～0x3B(0～59)で示す。時、分、秒の順に上位バイトからプロパティ値とする。

(9) ON タイマ予約設定

乾燥の予約の入、切を設定する。本プロパティは、「ON タイマ時刻設定値」もしくは、「ON タイマ相対時間設定値」と関連する。予約入=0x41、予約切=0x42

(10) ON タイマ時刻設定値

「ON タイマ予約設定」が入の場合に、乾燥開始設定が乾燥開始になる時刻もしくは乾燥遷移状態が乾燥完了になる時刻を時：0x00～0x17(0～23)、分：0x00～0x3B(0～59)で示す。時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。

(11) ON タイマ相対時間設定値

「ON タイマ予約設定」が入の場合に、乾燥開始設定が乾燥開始になる時刻もしくは乾燥遷移状態が乾燥完了になる時間を現在時刻からの相対時間で示す。データ形式は、時：0x00～0x17(0～23)、分：0x00～0x3B(0～59)とし、時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．４．８ 洗濯乾燥機クラス規定

クラスグループコード　：　0x03
クラスコード　　：0xD3
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
扉・蓋開閉状態	0xB0	扉・蓋開／閉状態を取得する。 扉・蓋開＝0x41, 扉・蓋閉＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Get			
洗濯・乾燥設定	0xB2	洗濯乾燥機の動作運転開始･停止を設定し、運転状態を取得する。 洗濯乾燥開始･再開／洗濯乾燥運転中＝0x41, 洗濯乾燥一時停止＝0x42, 洗濯乾燥停止＝0x43	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

洗濯乾燥コース設定１ 注１）	0xD0	洗濯乾燥／洗濯／乾燥のコースを設定し、設定状態を取得する。各コース設定に、以下の範囲の領域を割り当てる 洗濯乾燥コース：0x21～0x3F 洗濯乾燥コースメーカオリジナルコード　0ｘ40～0ｘ4Ｆ 洗濯コース：0x61～0x7F 洗濯コースメーカオリジナルコード　0ｘ80～0ｘ8Ｆ 乾燥コース：0xA1～0xBF 乾燥コースメーカオリジナルコード　0ｘC0～0ｘCＦ ＜洗濯乾燥コース＞ 標準=0x21、静音=0x22 汚れ大=0x23、 しつこい汚れ=0x24、 つけおき=0x25、毛布=0x26、 ソフト=0x27、ドライ=0x28、 清潔すすぎ=0x29、 アイロン／Ｙシャツ=0x2A、 吊り干し=0x2B、厚物=0x2C、 除菌=0x2D、油汚れ=0x2E、 メモリー=0x2F、省洗剤=0x30、 汚れ少=0x31、少量短時間=0x32 洗濯乾燥コース／メーカオリジナルコース＝0x40～0x4F ＜洗濯コース＞ 標準=0x61、静音=0x62 汚れ大=0x63、 しつこい汚れ=0x64 つけおき=0x65、毛布=0x66、 ソフト=0x67、ドライ=0x68、 清潔すすぎ=0x69、除菌=0x6A、 油汚れ=0x6B、メモリ=0x6C、 省洗剤=0x6D、汚れ少=0x6E、 少量短時間=0x6F、槽洗浄=0x7F 洗濯コース／メーカオリジナルコース＝0x80～0x8F ＜乾燥コース＞ 標準=0xA1、毛布=0xA2、 ソフト=0xA3、ドライ=0xA4、 アイロン／Ｙシャツ=0xA5、 吊り干し=0xA6、厚物=0xA7、 除菌=0xA8、縮み低減=0xA9、 仕上げ=0xAA、静止乾燥=0xAB、 時間指定=0xAC、 衣類あたため=0xAD、 槽乾燥=0xBF 乾燥コース／メーカオリジナルコース＝0xC0～0xCF	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			注１ 注２

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

洗濯乾燥コース設定２[注1)]	0xD1	洗濯乾燥コースを設定し、設定状態を取得する。なお、乾燥方法の指定は、乾燥方法設定（EPC＝0xD2）を使用する。 メーカオリジナルコード＝0xE0～0xEF 洗濯なし=0x20、 標準=0x21、静音=0x22、 汚れ大=0x23、 しつこい汚れ=0x24、 つけおき=0x25、毛布=0x26、 ソフト=0x27、ドライ=0x28、 清潔すすぎ=0x29、除菌=0x2D、 油汚れ=0x2E、メモリー=0x2F、 省洗剤=0x30、汚れ少=0x31、 少量短時間=0x32、槽洗浄=0x3F メーカオリジナルコース＝0xE0～0xEF	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			注１ 注２
乾燥方法設定[注1)]	0xD2	乾燥方法を設定し、設定状態を取得する。なお、洗濯乾燥コースの指定は、洗濯乾燥コース設定２（EPC＝0xD1）を使用する。 メーカオリジナルコード＝0xE0～0xEF 乾燥なし=0xA0、 標準=0xA1、毛布=0xA2、 ソフト=0xA3、ドライ=0xA4、 アイロン／Y シャツ=0xA5、 吊り干し=0xA6、 厚物=0xA7、除菌=0xA8、 縮み低減=0xA9、仕上げ=0xAA、 静止乾燥=0xAB、 時間指定=0xAC、 衣類あたため=0xAD、 ヒータ入力制限=0xAE 槽乾燥=0xBF メーカオリジナルコース＝0xE0～0xEF	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			注１ 注２
設定可能コース情報１	0xD3	洗濯乾燥コース設定１で、設定可能なコースをビットマップで取得する。 ビットが１の場合、対応するコースの設定が可能なことを、0 の場合は不可能なことを示す。ビットとコースの関係は詳細を参照のこと。	unsigned char ×12,	12 Byte	－	Get			

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

設定可能コース情報２	0xD4	洗濯乾燥コース設定２で、設定可能なコースをビットマップで取得する。 ビットが１の場合、対応するコースの設定が可能なことを、0 の場合は不可能なことを示す。ビットとコースの関係は詳細を参照のこと。	unsigned char ×4,	4 Byte	－	Get			
設定可能コース情報３	0xD5	乾燥方法設定で、設定可能なコースをビットマップで取得する。 ビットが１の場合、対応するコースの設定が可能なことを、0 の場合は不可能なことを示す。ビットとコースの関係は詳細を参照のこと。	unsigned char ×4,	4 Byte	－	Get			
水流設定	0xD6	水流を段階で設定し、設定状態を取得する。 ＜絶対値指定＞ ・0x31～0x40(16 段階) ※最も弱い水流に 0x31、最も強い水流に 0x40 を割当てる ＜自動からの相対指定＞ ・自動設定 0xFF ・プラス相対指定 0xA0～0xA7：1～8 段階 ・マイナス相対指定 0xC0～0xC7：1～8 段階	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
脱水回転数設定値	0xD7	脱水回転数を r/min 単位で設定し、設定状態を取得する。 ＜絶対値指定＞ ・0x0000～0x0FFF (0～4095 r/min) ＜自動からの相対指定＞ ・自動設定 0xFFFF ・プラス相対指定 0xA000～0xA7FF 1～2048r/min ・マイナス相対指定 0xC000～0xC7FF 1～2048r/min	unsigned short	2 Byte	－	Set/ Get			

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

乾燥度設定	0xD8	乾燥度を 16 段階で設定し、設定状態を取得する。 ＜絶対値指定＞ ・0x31～0x40(16 段階) ※最も低い乾燥度に 0x31、最も高い乾燥度に 0x40 を割当てる ＜自動からの相対指定＞ ・自動設定 0xFF ・プラス相対指定 0xA0～0xA7：1～8 段階 ・マイナス相対指定 0xC0～0xC7：1～8 段階	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
洗濯残り時間	0xDB	洗濯残り時間を HH:MM で取得する。 0～0xFE：0～0x3B (=0～254)時間：(=0～59)分 残り時間不明=0xFF：0xFF	unsigned char ×2	2 Byte	－	Get			
乾燥残り時間	0xDC	乾燥残り時間を HH:MM で取得する。 0～0xFE：0～0x3B (=0～254)時間：(=0～59)分 残り時間不明=0xFF：0xFF	unsigned char ×2	2 Byte	－	Get			
ON タイマ経過時間	0xDF	ON タイマ予約の経過時間を取得する。 0～0xFF：0～0x3B (=0～255)：(=0～59)	unsigned char ×2	2 Byte	－	Get			
つけおき行程時間設定値	0xE1	つけおき行程時間を設定し、設定状態を取得する。 ＜絶対値指定＞ ・0x00～0x17:0x00～0x3B (0～23 時間 0～59 分) ＜自動からの相対指定＞ ・自動設定 0xFF:0xFF ・プラス相対指定 0xA000～0xA03B：1～60 分 ・マイナス相対指定 0xC000～0xC03B：1～60 分	unsigned char ×2	2 Byte	時間 分	Set/ Get			

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

洗濯乾燥遷移状態	0xE2	洗濯乾燥遷移状態を取得する。 洗い=0x41 すすぎ=0x42 脱水=0x43 一時停止=0x44, 洗濯完了=0x45 洗濯／乾燥（ソフトキープなし）完了=0x51 乾燥=0x52, ソフトキープ=0x53, 乾燥（ソフトキープあり）完了=0x54 運転前待機中＝0x61 第 1 すすぎ=0x71 第 2 すすぎ=0x72 第 3 すすぎ=0x73 第 4 すすぎ=0x74 第 5 すすぎ=0x75 第 6 すすぎ=0x76 第 7 すすぎ=0x77 第 8 すすぎ=0x78 第 1 脱水=0x81 第 2 脱水=0x82 第 3 脱水=0x83 第 4 脱水=0x84 第 5 脱水=0x85 第 6 脱水=0x86 第 7 脱水=0x87 第 8 脱水=0x88 プリヒート脱水=0x91 メーカオリジナルコード＝0xE0～0xEF	unsigned char	1 Byte	－	Get			注 2
水量設定 1	0xE3	水量をﾘｯﾄﾙ単位で設定し、設定状態を取得する。 ＜絶対値指定＞ ・0x00～0x7F(0～127 ﾘｯﾄﾙ) ＜自動からの相対指定＞ ・自動設定 0xFF ・プラス相対指定 0xA0～0xBF：1～32 ﾘｯﾄﾙ ・マイナス相対指定 0xC0～0xDF：1～32 ﾘｯﾄﾙ	unsigned char	1 Byte	ﾘｯﾄﾙ	Set/ Get			
水量設定 2	0xE4	水量を段階で設定し、設定状態を取得する。 ＜絶対値指定＞ ・0x31～0x40(16 段階) ・最も低い水位に 0x31、最も高い水位に 0x40 を割当てる ＜自動からの相対指定＞ ・自動設定 0xFF ・プラス相対指定 0xA0～0xA7：1～8 段階 ・マイナス相対指定 0xC0～0xC7：1～8 段階	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

洗い時間設定値	0xE5	洗い時間を設定し、設定状態を取得する。 ＜絶対値指定＞ ・0x00～0x17:0x00～0x3B (0～23 時間 0～59 分) ＜自動からの相対指定＞ ・自動設定 0xFF ・プラス相対指定 0xA000～0xA03B：1～60 分 ・マイナス相対指定 0xC000～0xC03B：1～60 分	unsigned char ×2	2 Byte	時間分	Set/ Get			
すすぎ回数設定値	0xE6	すすぎ回数を設定し、設定状態を取得する。 0～8 回（0x00～0x08） 自動=0xFF	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
すすぎモード設定	0xE7	すすぎモードをビットマップで設定し、設定状態を取得する。ビットとすすぎ回数の関係を以下に示す。 0,1,2,3 ビット：第 1 すすぎ 4,5,6,7 ビット：第 2 すすぎ 8,9,10,11 ビット：第 3 すすぎ 12,13,14,15 ビット：第 4 すすぎ 16,17,18,19 ビット：第 5 すすぎ 20,21,22,23 ビット：第 6 すすぎ 24,25,26,27 ビット：第 7 すすぎ 28,29,30,31 ビット：第 8 すすぎ 0000：モード自動設定 0001：溜めすすぎ 0010：流水すすぎ 0011：シャワーすすぎ	unsigned char ×4	4 Byte	－	Set/ Get			
脱水時間設定値	0xE8	脱水時間を分単位で設定し、設定状態を取得する。 ＜絶対値指定＞ ・0x00～0x3B(0～59 分) ＜自動からの相対指定＞ ・自動設定 0xFF ・プラス相対指定 0xA0～0xBF：1～32 分 ・マイナス相対指定 0xC0～0xDF：1～32 分	unsigned char	1 Byte	分	Set/ Get			
乾燥時間設定値	0xE9	乾燥時間を設定し、設定状態を取得する ＜絶対値指定＞ ・0x00～0x17:0x00～0x3B (0～23 時間 0～59 分) ＜自動からの相対指定＞ ・自動設定 0xFF：0xFF ・プラス相対指定 0xA000～0xA03B：1～60 分 ・マイナス相対指定 0xC000～0xC03B：1～60 分	unsigned char ×2	2 Byte	時間分	Set/ Get			

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

洗い温水設定値	0xEA	洗い時の水温を℃単位で設定し、設定状態を取得する。 0～100℃（0x00～0x64） 温水不使用=0xFE 温度自動設定=0xFF	unsigned char	1 Byte	℃	Set/ Get			
風呂水設定	0xEB	風呂水給水を行うタイミングを設定し、設定状態を取得する。 風呂水給水なし　：0x40 洗いのみ　：0x41 すすぎのみ（除く最終すすぎ） ：0x42 全すすぎ　：0x43 洗い+すすぎ（除く最終すすぎ） ：0x44 洗い＋全すすぎ　：0x45	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
ソフトキープ設定	0xEC	ソフトキープを行うか否かを設定し、設定状態を取得する。 ソフトキープ入り：0x41 ソフトキープ切り：0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
洗濯乾燥残り時間	0xED	洗濯乾燥残り時間を HH:MM で取得する。 0～0xFE：0～0x3B (=0～254)時間：(=0～59)分 残り時間不明=0xFF：0xFF	unsigned char ×2	2 Byte	－	Get			
運転中扉･蓋ロック設定	0xEE	運転中の扉・蓋のロック、アンロックを設定し、設定状態を取得する。 ロック：0x41 アンロック：0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

洗濯乾燥行程情報	0xEF	現在設定されている行程を取得する。 第 1,2 バイト： 有効な表示項目をビットマップで示す。 第 3 バイト：つけおき行程 つけおき行程あり：0x41 つけおき行程なし：0x42 第 4,5 バイト：洗い時間 値は洗い時間設定値を参照 第 6 バイト：すすぎ回数 値はすすぎ回数設定値を参照 第 7～10 バイト：すすぎモード 値はすすぎモード設定を参照 第 11 バイト：脱水時間 値は脱水時間設定値を参照 第 12、13 バイト：乾燥時間 値は乾燥時間設定値を参照 第 14 バイト：温水設定 値は温水設定を参照 第 15 バイト：水量設定 1 値は水量設定 1 を参照 第 16 バイト：水量設定 2 値は水量設定 2 を参照 第 17 バイト：風呂水設定 値は風呂水設定を参照 第 18 バイト：水流設定 値は水流設定を参照 第 19,20 バイト：脱水回転数設定 値は脱水回転数設定値を参照 第 21 バイト：乾燥度設定 値は乾燥度設定を参照 第 22,23 バイト：つけおき行程時間設定 値はつけおき行程時間設定を参照 第 24 バイト：ソフトキープ設定 値はソフトキープ設定を参照	unsigned char ×24	24 Byte	－	Get			
ON タイマ予約設定	0x90	ON タイマ予約を設定し、ON タイマ予約状態を取得する。 予約入＝0x41、予約切＝0x42	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
ON タイマ時刻設定値	0x91	ON タイマ時刻を設定し、設定状態を取得する。 0～0x17: 0～0x3B (=0～23):(=0～59)	unsigned char ×2	2 Byte	－	Set/ Get			
ON タイマ相対時間設定値	0x92	ON タイマ相対時間を設定し、予約残時間を取得する。 0～0xFF: 0～0x3B (=0～255):(=0～59)	unsigned char ×2	2 Byte	－	Set/ Get			

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

注１） 洗濯･乾燥のコース設定は洗濯乾燥コース設定１プロパティ（EPC＝0xD0）によって行うか、あるいは洗濯乾燥コース設定２プロパティ（EPC＝0xD1）と乾燥コース設定プロパティ（EPC＝0xD2）の組み合わせによって行う。機器には、どちらか一方のみを実装することとし、もう一方は実装してはならない。
　なお、上記プロパティにより設定された洗濯乾燥コースの行程を変更／追加することが可能である。行程の変更／追加には、下記プロパティを利用する。
・つけおき行程時間設定（EPC=0xE1）
・水量設定１（EPC=0xE3）
・水量設定２（EPC=0xE4）
・洗い時間設定値（EPC=0xE5）
・すすぎ回数設定値（EPC=0xE6）
・すすぎモード設定（EPC=0xE7）
・脱水時間設定値（EPC=0xE8）
・乾燥時間設定値（EPC=0xE9）
・洗い温水設定値（EPC=0xEA）
・風呂水設定（EPC=0xEB）
・ソフトキープ設定（EPC=0xEC）
・水流設定（EPC=0xD6）
・脱水回転数設定値（EPC=0xD7）
・乾燥度設定（EPC=0xD8）

注２） メーカオリジナルコードは、エコーネットオブジェクト規格のプロパティ内容（コード）として規定されていないプロパティ内容に対して用いることとする。
メーカオリジナルコード内のコード設定はメーカごとに個々におこない、メーカオリジナルコード内のコードの追加／削除／変更についてもメーカごとの判断でおこなうこととする。
メーカオリジナルコードに設定した内容について、公表するか否かについては、メーカごとの判断とする。

注３） 状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1) 動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）

洗濯乾燥機が、制御受付が可能な状態（ON 状態）であるか否か（OFF 状態）を示す。ON 状態には 0x30 を、OFF 状態には 0x31 を対応させる。洗濯乾燥機クラスを搭載するノードにおいて、ノードの動作開始とともに、洗濯乾燥機が制御受付可能状態になる場合は、本プロパティを固定値 0x30 で実装することも可能である。

(2) 扉･蓋開閉状態

扉・蓋の開閉状態を取得する。

扉・蓋開状態は、0x41。扉・蓋閉状態は、0x42 を用いるものとする。

(3) 洗濯乾燥設定

洗濯乾燥運転を設定し、洗濯乾燥運転状態を取得する。プロパティ値としては、洗濯乾燥開始・再開／運転中を 0x41、洗濯乾燥一時停止を 0x42、洗濯乾燥停止を 0x43 とする。なお、本プロパティを

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

取得する値（Get 値）は、「洗濯乾燥遷移状態」（EPC=0xE2）を取得する値（Get 値）と下表の関係がある。

本プロパティの Get 値	「洗濯乾燥遷移状態」(EPC=0xE2)の Get 値
0x41:洗濯乾燥運転中	下記以外
0x42:洗濯乾燥一時停止	0x44:一時停止
0x43:洗濯乾燥停止	0x45:洗濯完了 0x51:洗濯完了／乾燥(ソフトキープなし)完了 0x54:乾燥(ソフトキープあり)完了 0x61:運転前待機中

(4) 洗濯乾燥コース設定1

洗濯乾燥コースを設定し、設定状態を取得する。設定は、洗濯乾燥を通して行う場合、洗濯のみを行う場合、乾燥のみを行う場合に分類して行う。

洗濯乾燥を通して行う場合の設定(洗濯乾燥設定)を 0x21～0x4F(この内 メーカオリジナルコース＝0x40～0x4F)、洗濯のみを行う場合の設定(洗濯設定)を 0x61～0x8F(この内 メーカオリジナルコース＝0x80～0x8F)、乾燥のみを行う場合の設定(乾燥設定)を 0xA1～0xCF(この内 メーカオリジナルコース＝0xC0～0xCF)で示す。 メーカオリジナルコースとは、メーカが独自で定義したコースである。

プロパティ値のとる値については、本クラスを実装する実機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。以下に各設定の詳細を示す。

＜洗濯乾燥設定＞

①標準(0x21):
　本機の最も標準的な洗濯乾燥行程。

②静音(0x22):
　標準よりも運転音が低くなることに重点をおいた洗濯乾燥行程。

③汚れ大(0x23):
　ひどい汚れを落とすことに重点をおいた洗濯乾燥行程。汚れの度合いに応じて、2 種類の行程が存在する場合は、本行程を汚れの程度が軽いものを対象とした行程として定義する。

④しつこい汚れ(0x24)
　ひどい汚れを落とすことに重点をおいた洗濯乾燥行程。汚れの度合いに応じて、2 種類の行程が存在する場合は、本行程を汚れの程度が重いものを対象とした行程として定義する。ひどい汚れのための行程が1つしか存在しない場合は、本行程で定義してはならない。

⑤つけおき(0x25)
　洗濯行程開始前に、つけおきを行う洗濯乾燥行程。

⑥毛布(0x26)
　毛布を洗うことに重点をおいた洗濯乾燥行程。

⑦ソフト(0x27)
　型崩れしやすいものなど、デリケートな衣類を洗うことに重点をおいた洗濯乾燥行程。

⑧ドライ(0x28)
　ドライマーク衣類、あるいは型崩れしやすいものなど、デリケートな衣類を洗うことに重点をおいた洗濯乾燥行程。

⑨清潔すすぎ(0x29)
　きれいにすすぎを行うことに重点をおいた洗濯乾燥行程。

⑩アイロン／Y シャツ(0x2A)

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

行程終了時にアイロンがけが行える程度の湿り気を残しておく洗濯乾燥行程。

⑪吊り干し(0x2B)

行程終了時に吊り干しを行える程度の湿り気を残しておく洗濯乾燥行程。

⑫厚物(0x2C)

乾きにくい衣類を乾燥させることに重点をおいた洗濯乾燥行程。

⑬除菌(0x2D)

雑菌を除くことに重点をおいた洗濯乾燥行程。

⑭油汚れ(0x2E)

油汚れを落とすことに重点をおいた洗濯乾燥行程。

⑮メモリー(0x2F)

ユーザーにより記憶されている行程を行う洗濯乾燥行程。

⑯省洗剤(0x30)

少ない洗剤使用量で洗濯を行うことに重点をおいた洗濯乾燥行程。

⑰汚れ少(0x31)

軽い汚れの衣類を短い時間で洗濯することに重点をおいた洗濯乾燥行程。

⑱少量短時間(0x32)

少量の衣類を短い時間で洗濯することに重点をおいた洗濯乾燥行程

⑲洗濯乾燥設定／メーカオリジナルコース(0x0x40～0x4F)

メーカが独自に定義した洗濯乾燥工程。

＜洗濯設定＞

①標準(0x61):

本機の最も標準的な洗濯行程。

②静音(0x62):

標準よりも運転音が低くなることに重点をおいた洗濯行程。

③汚れ大(0x63):

ひどい汚れを落とすことに重点をおいた洗濯行程。汚れの度合いに応じて、2 種類の行程が存在する場合は、本行程を汚れの程度が軽いものを対象とした行程として定義する。

④しつこい汚れ(0x64)

ひどい汚れを落とすことに重点をおいた洗濯行程。汚れの度合いに応じて、2 種類の行程が存在する場合は、本行程を汚れの程度が重いものを対象とした行程として定義する。ひどい汚れのための行程が1つしか存在しない場合は、本行程で定義してはならない。

⑤つけおき(0x65)

洗濯行程開始前に、つけおきを行う洗濯行程。

⑥毛布(0x66)

毛布を洗うことに重点をおいた洗濯行程。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

⑦ソフト（0x67）

型崩れしやすいものなど、デリケートな衣類を洗うことに重点をおいた洗濯行程。

⑧ドライ（0x68）

ドライマーク衣類、あるいは型崩れしやすいものなど、デリケートな衣類を洗うことに重点をおいた洗濯行程。

⑨清潔すすぎ（0x69）

きれいにすすぎを行うことに重点をおいた洗濯行程。

⑩除菌（0x6A）

雑菌を除くことに重点をおいた洗濯行程。

⑪油汚れ（0x6B）

油汚れを落とすことに重点をおいた洗濯行程。

⑫メモリー（0x6C）

ユーザーにより記憶されている行程を行う洗濯行程。

⑬省洗剤（0x6D）

少ない洗剤使用量で洗濯を行うことに重点をおいた洗濯行程。

⑭汚れ少（0x6E）

軽い汚れの衣類を短い時間で洗濯することに重点をおいた洗濯行程。

⑮少量短時間（0x6F）

少量の衣類を短い時間で洗濯することに重点をおいた洗濯乾燥行程

⑯槽洗浄（0x7F）

洗濯槽を洗浄するための行程。

⑰洗濯設定／メーカオリジナルコース（0x80～0x8F）

メーカが独自に定義した洗濯工程。

＜乾燥設定＞

①標準（0xA1）:

本機の最も標準的な乾燥行程。

②毛布（0xA2）

毛布を洗うことに重点をおいた乾燥行程。

③ソフト（0xA3）

型崩れしやすいものなど、デリケートな衣類を洗うことに重点をおいた乾燥行程。

④ドライ（0xA4）

ドライマーク衣類や型崩れしやすいものなど、デリケートな衣類を洗うことに重点をおいた乾燥行程。

⑤アイロン／Y シャツ（0xA5）

行程終了時にアイロンがけが行える程度の湿り気を残しておく乾燥行程。

⑥吊り干し（0xA6）

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

行程終了時に吊り干しを行える程度の湿り気を残しておく乾燥行程。

⑦厚物（0xA7）

乾きにくい衣類を乾燥させることに重点をおいた乾燥行程。

⑧除菌（0xA8）

雑菌を除くことに重点をおいた乾燥行程。

⑨縮み低減（0xA9）

衣類のちぢみを抑えることに重点をおいた乾燥行程。

⑩仕上げ（0xAA）

生乾きの衣類を乾燥させることに重点をおいた乾燥行程。

⑪静止乾燥（0xAB）

ドラム、あるいは槽の回転を停止した状態で乾燥を行う乾燥行程。

⑫時間指定（0xAC）

指定された時間だけ乾燥を行う乾燥行程。

⑬衣類温め（0xAD）

衣類を温めるための行程。

⑭槽乾燥（0xBF）

洗濯槽を乾燥させるための行程。

⑮乾燥設定／メーカオリジナルコース（0xC0～0xCF）

メーカが独自に定義した乾燥工程。

(5) 洗濯乾燥コース設定2

洗濯乾燥コースを設定し、設定状態を取得する。「乾燥方法設定」（EPC=0xD2）と組み合わせて、全体の行程を設定する。プロパティ値のとる値については、本クラスを実装する実機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。

①洗濯なし（0x20）

洗濯行程を行わない設定。

②標準（0x21）:

本機の最も標準的な洗濯乾燥行程。

③静音（0x22）:

標準よりも運転音が低くなることに重点をおいた洗濯乾燥行程。

④汚れ大（0x23）:

ひどい汚れを落とすことに重点をおいた洗濯乾燥行程。汚れの度合いに応じて、2 種類の行程が存在する場合は、本行程を汚れの程度が軽いものを対象とした行程として定義する。

⑤しつこい汚れ（0x24）

ひどい汚れを落とすことに重点をおいた洗濯乾燥行程。汚れの度合いに応じて、2 種類の行程が存在す

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

る場合は、本行程を汚れの程度が重いものを対象とした行程として定義する。ひどい汚れのための行程が1つしか存在しない場合は、本行程で定義してはならない。

⑥つけおき（0x25）

洗濯行程開始前に、つけおきを行う洗濯乾燥行程。

⑦毛布（0x26）

毛布を洗うことに重点をおいた洗濯乾燥行程。

⑧ソフト（0x27）

型崩れしやすいものなど、デリケートな衣類を洗うことに重点をおいた洗濯乾燥行程。

⑨ドライ（0x28）

ドライマーク衣類、あるいは型崩れしやすいものなど、デリケートな衣類を洗うことに重点をおいた洗濯乾燥行程。

⑩清潔すすぎ（0x29）

きれいにすすぎを行うことに重点をおいた洗濯乾燥行程。

⑪除菌（0x2D）

雑菌を除くことに重点をおいた洗濯乾燥行程。

⑫油汚れ（0x2E）

油汚れを落とすことに重点をおいた洗濯乾燥行程。

⑬メモリー（0x2F）

ユーザーにより記憶されている行程を行う洗濯乾燥行程。

⑭省洗剤（0x30）

少ない洗剤使用量で洗濯を行うことに重点をおいた洗濯乾燥行程。

⑮汚れ少（0x31）

軽い汚れの衣類を短い時間で洗濯することに重点をおいた洗濯乾燥行程。

⑯少量短時間（0x32）

少量の衣類を短い時間で洗濯することに重点をおいた洗濯乾燥行程。

⑰槽洗浄（0x3F）

洗濯槽を洗浄するための行程。

⑱メーカオリジナルコース（0xE0～0xEF）

メーカが独自に定義した洗濯乾燥工程。

(6) 乾燥方法設定

洗濯乾燥機の乾燥方法を設定し、設定状態を取得する。「洗濯乾燥コース設定２」（EPC=0xD1）と組み合わせて、全体の行程を設定する。プロパティ値のとる値については、本クラスを実装する実機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。

①乾燥なし(0xA0)

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

乾燥を行わない設定。

②標準（0xA1）:

本機の最も標準的な乾燥方法。

③毛布（0xA2）

毛布を洗うことに重点をおいた乾燥方法。

④ソフト（0xA3）

型崩れしやすいものなど、デリケートな衣類を洗うことに重点をおいた乾燥方法。

⑤ドライ（0xA4）

ドライマーク衣類、あるいは型崩れしやすいものなど、デリケートな衣類を洗うことに重点をおいた乾燥方法。

⑥アイロン／Y シャツ（0xA5）

行程終了時にアイロンがけが行える程度の湿り気を残しておく乾燥方法。

⑦吊り干し（0xA6）

行程終了時に吊り干しを行える程度の湿り気を残しておく乾燥方法。

⑧厚物（0xA7）

乾きにくい衣類を乾燥させることに重点をおいた乾燥方法。

⑨除菌（0xA8）

雑菌を除くことに重点をおいた乾燥方法。

⑩縮み低減（0xA9）

衣類のちぢみを抑えることに重点をおいた乾燥方法。

⑪仕上げ（0xAA）

生乾きの衣類を乾燥させることに重点をおいた乾燥方法。

⑫静止乾燥（0xAB）

ドラム、あるいは槽の回転を停止した状態で乾燥を行う乾燥方法。

⑬時間指定（0xAC）

指定された時間だけ乾燥を行う乾燥方法。

⑭衣類温め （0xAD）

衣類を温めるための行程。

⑮ヒータ入力制限 （0xAE）

ヒータに入力する電流を制限して行う乾燥方法。

⑯槽乾燥（0xBF）

洗濯槽を乾燥させるための行程。

⑰メーカオリジナルコース（0xE0～0xEF）

メーカが独自に定義した乾燥方法。

（7）設定可能コース表示1

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

洗濯乾燥コース設定１（0xD0）において、機器が実行可能なコースをビットマップで取得する。下表において、存在するコースに該当するビットを 1 に、存在しないコースに該当するビットを 0 とする。

	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
第 1 バイト	0x27	0x26	0x25	0x24	0x23	0x22	0x21	0x20
第 2 バイト	0x2F	0x2E	0x2D	0x2C	0x2B	0x2A	0x29	0x28
第 3 バイト	0x37	0x36	0x35	0x34	0x33	0x32	0x31	0x30
第 4 バイト	0x3F	0x3E	0x3D	0x3C	0x3B	0x3A	0x39	0x38
第 5 バイト	0x67	0x66	0x65	0x64	0x63	0x62	0x61	0x60
第 6 バイト	0x6F	0x6E	0x6D	0x6C	0x6B	0x6A	0x69	0x68
第 7 バイト	0x77	0x76	0x75	0x74	0x73	0x72	0x71	0x70
第 8 バイト	0x7F	0x7E	0x7D	0x7C	0x7B	0x7A	0x79	0x78
第 9 バイト	0xA7	0xA6	0xA5	0xA4	0xA3	0xA2	0xA1	0xA0
第 10 バイト	0xAF	0xAE	0xAD	0xAC	0xAB	0xAA	0xA9	0xA8
第 11 バイト	0xB7	0xB6	0xB5	0xB4	0xB3	0xB2	0xB1	0xB0
第 12 バイト	0xBF	0xBE	0xBD	0xBC	0xBB	0xBA	0xB9	0xB8

(8) 設定可能コース表示2

洗濯乾燥コース設定２（0xD1）において、機器が実行可能なコースをビットマップで取得する。下表において、存在するコースに該当するビットを 1 に、存在しないコースに該当するビットを 0 とする。

	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
第 1 バイト	0xA7	0xA6	0xA5	0xA4	0xA3	0xA2	0xA1	0xA0
第 2 バイト	0xAF	0xAE	0xAD	0xAC	0xAB	0xAA	0xA9	0xA8
第 3 バイト	0xB7	0xB6	0xB5	0xB4	0xB3	0xB2	0xB1	0xB0
第 4 バイト	0xBF	0xBE	0xBD	0xBC	0xBB	0xBA	0xB9	0xB8

(9) 設定可能コース表示3

乾燥方法設定（0xD2）において、機器が実行可能なコースをビットマップで示す。下表において、存在するコースに該当するビットを 1 に、存在しないコースに該当するビットを 0 とする。

	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
第 1 バイト	0xA7	0xA6	0xA5	0xA4	0xA3	0xA2	0xA1	0xA0
第 2 バイト	0xAF	0xAE	0xAD	0xAC	0xAB	0xAA	0xA9	0xA8
第 3 バイト	0xB7	0xB6	0xB5	0xB4	0xB3	0xB2	0xB1	0xB0
第 4 バイト	0xBF	0xBE	0xBD	0xBC	0xBB	0xBA	0xB9	0xB8

(10)　水流設定

「洗濯乾燥コース設定１」（EPC＝0xD0）、または「洗濯乾燥コース設定２」（EPC＝0xD1）と「乾燥方法設定」（EPC＝0xD2）で設定された洗濯乾燥コースにおける水流を段階で設定・変更し、設定状態を取得する。絶対値設定、自動設定および自動からの相対指定が可能である。設定された値で動

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

作することが不可能な場合の設定段位は実装依存とする。

＜絶対値設定＞

設定／取得可能な値の範囲は 0x31～0x40（水流弱～強）の 16 段階とする。

＜自動設定および自動からの相対設定＞

自動設定を 0xFF とする。

プラス相対指定で設定可能な値の範囲は、0xA0～0xA7:1～8 段階とする。

マイナス相対指定で設定可能な値の範囲は、0xC0～0xC7:1～8 段階とする。

（11） 脱水回転数設定

「洗濯乾燥コース設定１」（EPC＝0xD0）、または「洗濯乾燥コース設定２」（EPC＝0xD1）と「乾燥方法設定」（EPC＝0xD2）で設定された洗濯乾燥コースにおける脱水回転数を r/min で設定・変更し、設定状態を取得する。絶対値設定、自動設定および自動からの相対指定が可能である。設定された値で動作することが不可能な場合の脱水回転数は実装依存とする。

＜絶対値設定＞

設定／取得可能な値の範囲は 0x0000～0x0FFF：0～4095r/min とする。

＜自動設定および自動からの相対設定＞

自動設定を 0xFFFF とする。

プラス相対指定で設定可能な値の範囲は、0xA000～0xA7FF:1～2048r/min とする。

マイナス相対指定で設定可能な値の範囲は、0xC000～0xC7FF:1～2048r/min とする。

＜自動設定および自動からの相対設定＞

自動設定を 0xFF とする。

プラス相対指定で設定可能な値の範囲は、0xA0～0xA7:1～8 段階とする。

マイナス相対指定で設定可能な値の範囲は、0xC0～0xC7:1～8 段階とする。

（12） 乾燥度設定

「洗濯乾燥コース設定１」（EPC＝0xD0）、または「洗濯乾燥コース設定２」（EPC＝0xD1）と「乾燥方法設定」（EPC＝0xD2）で設定された洗濯乾燥コースにおける乾燥度を段階で設定・変更し、設定状態を取得する。絶対値設定、自動設定および自動からの相対指定が可能である。設定された値で動作することが不可能な場合の乾燥度は実装依存とする。

＜絶対値設定＞

設定／取得可能な値の範囲は 0x31～0x40（乾燥度低～高）の 16 段階とする。

＜自動設定および自動からの相対設定＞

自動設定を 0xFF とする。

プラス相対指定で設定可能な値の範囲は、0xA0～0xA7:1～8 段階とする。

マイナス相対指定で設定可能な値の範囲は、0xC0～0xC7:1～8 段階とする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

（13） 洗濯残り時間

洗濯残り時間を、時：0x00～0xFE(0～254)、分：0x00～0x3B(0～59)で取得する。時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。残り時間が不明で、表示が不可能な場合は、値として、0xFF：0xFF をとること。

（14） 乾燥残り時間

乾燥残り時間を、時：0x00～0xFE(0～254)、分：0x00～0x3B(0～59)で取得する。時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。残り時間が不明で、表示が不可能な場合は、値として、0xFF：0xFF をとること。

（15） ON タイマ経過時間

「ON タイマ予約設定」が入の場合に、ON タイマ予約の経過時間を取得する。データ形式は、時：0x00～0xFF(0～255)、分：0x00～0x3B(0～59)とする。

（16） つけおき行程時間設定

「洗濯乾燥コース設定１」（EPC＝0xD0）、または「洗濯乾燥コース設定２」（EPC＝0xD1）と「乾燥方法設定」（EPC＝0xD2）で設定された洗濯乾燥コースにおけるつけおき行程時間を設定･変更し、設定状態を取得する。絶対値設定、自動設定および自動からの相対指定が可能である。プロパティ値のとる値については、本クラスを実装する実機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。

＜絶対値設定＞

時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。

設定／取得可能な値の範囲は 0x00:0x00～0x17:0x3B(0 分～23 時間 59 分)とする。0 分とした場合は

つけおき行程が行われない。

＜自動設定および自動からの相対設定＞

自動設定を 0xFF:0xFF とする。

プラス相対指定で設定可能な値の範囲は、0xA000～0xA03B:1～60 分とする。

マイナス相対指定で設定可能な値の範囲は、0xC000～0xC03B:1～60 分とする。

（17） 洗濯乾燥遷移状態

現在実行している状態を取得する。取得する状態の種類は、洗い、すすぎ、脱水、一時停止、洗濯完了、洗濯／乾燥（ソフトキープなし）完了、乾燥、ソフトキープ、乾燥（ソフトキープあり）完了、運転前待機中、第 1 すすぎ、第 2 すすぎ、第 3 すすぎ、第 4 すすぎ、第 5 すすぎ、第 6 すすぎ、第 7 すすぎ、第 8 すすぎ、第 1 脱水、第 2 脱水、第 3 脱水、第 4 脱水、第 5 脱水、第 6 脱水、第 7 脱水、第 8 脱水、プリヒート脱水である。プロパティ値としては、それぞれ 0x41、0x42、0x43、0x44、0x45、

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

0x51、0x52、0x53、0x54、0x61、0x71、x72、0x73、0x74、0x75、0x76、0x77、0x78、0x81、0x82、0x83、0x84、0x85、0x86、0x87、0x88、0x91 が対応する。なお、すすぎ状態を何番目のすすぎであるか区別して表現する場合は、0x71～0x78 を使用し、区別しない場合は、0x42 を使用しなくてはならない。また、脱水状態を何番目の脱水であるか区別して表現する場合は、0x81～0x88 を使用し、区別しない場合は、0x43 を使用しなくてはならない。温風をいれながら脱水を行う行程を区別する場合は、0x91 を使用しなくてはならない。また、運転前待機中には、ON タイマ予約入状態を含む。

0xE0～0xEF はメーカオリジナルコードであり、メーカが独自に定義した遷移状態を示す。

なお、本プロパティの取得する値（Get 値）は、「洗濯乾燥設定」(EPC＝0xB2)の取得する値（Get 値）と下表のような関連がある。

本プロパティの Get 値	「洗濯乾燥設定」(EPC＝0xB2)の Get 値
下記以外	0x41:洗濯乾燥運転中
0x44:一時停止	0x42:洗濯乾燥一時停止
0x45:洗濯完了 0x51:洗濯完了／乾燥(ソフトキープなし)完了 0x54:乾燥(ソフトキープあり)完了 0x61:運転前待機中	0x43:洗濯乾燥停止
0xE0～EF:メーカオリジナルコード	メーカが独自に定義した洗濯乾燥遷移状態における、現在の洗濯乾燥運転状態

（18） 水量設定1

「洗濯乾燥コース設定１」（EPC＝0xD0）、または「洗濯乾燥コース設定２」（EPC＝0xD1）と「乾燥方法設定」（EPC＝0xD2）で設定された洗濯乾燥コースで使用する水量をﾘｯﾄﾙ単位で設定・変更し、設定状態を取得する。絶対値設定、自動設定および自動からの相対指定が可能である。設定された値で動作することが不可能な場合の水量は実装依存とする。

＜絶対値設定＞

設定／取得可能な値の範囲は 0x00～0x7F(0～127 ﾘｯﾄﾙ)とする。

＜自動設定および自動からの相対設定＞

自動設定を 0xFF とする。

プラス相対指定で設定可能な値の範囲は、0xA0～0xBF:1～32 ﾘｯﾄﾙとする。

マイナス相対指定で設定可能な値の範囲、は 0xC0～0xDF:1～32 ﾘｯﾄﾙとする。

なお、本プロパティと「水量設定２」とを実装する場合には、両者の値を互いに関連付けなければならない。

（19） 水量設定2

「洗濯乾燥コース設定１」（EPC＝0xD0）、または「洗濯乾燥コース設定２」（EPC＝0xD1）と「乾

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

燥方法設定」（EPC＝0xD2）で設定された洗濯乾燥コースで使用する水量を段階で設定・変更し、設定状態を取得する。絶対値設定、自動設定および自動からの相対指定が可能である。設定された値で動作することが不可能な場合の設定段位は実装依存とする。プロパティ値のとる値については、本クラスを実装する実機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。

＜絶対値設定＞

設定／取得可能な値の範囲は 0x31～0x40（水量低～高）の 16 段階とする。

＜自動設定および自動からの相対設定＞

自動設定を 0xFF とする。

プラス相対指定で設定可能な値の範囲は、0xA0～0xA7:1～8 段階とする。

マイナス相対指定で設定可能な値の範囲は、0xC0～0xC7:1～8 段階とする。

なお、本プロパティと「水量設定２」とを実装する場合には、両者の値を互いに関連付けなければならない。

（20） 洗い時間設定値

「洗濯乾燥コース設定１」（EPC＝0xD0）、または「洗濯乾燥コース設定２」（EPC＝0xD1）と「乾燥方法設定」（EPC＝0xD2）で設定された洗濯乾燥コースにおける洗い時間を設定・変更し、設定状態を取得する。絶対値設定、自動設定および自動からの相対指定が可能である。プロパティ値のとる値については、本クラスを実装する実機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。

＜絶対値設定＞

時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。

設定／取得可能な値の範囲は 0x00:0x00～0x17:0x3B(0 分～23 時間 59 分)とする。0 分とした場合は洗いが行われない。

＜自動設定および自動からの相対設定＞

自動設定を 0xFF:0xFF とする。

プラス相対指定で設定可能な値の範囲は、0xA000～0xA03B:1～60 分とする。

マイナス相対指定で設定可能な値の範囲は、0xC000～0xC03B:1～60 分とする。

（21） すすぎ回数設定

「洗濯乾燥コース設定１」（EPC＝0xD0）、または「洗濯乾燥コース設定２」（EPC＝0xD1）と「乾燥方法設定」（EPC＝0xD2）で設定された洗濯乾燥コースにおけるすすぎ回数を設定・変更し、設定状態を取得する。設定可能な範囲は 0 回から 8 回で、0 回とした場合はすすぎが行われないことを意味する。また、すすぎ回数が機器によって自動的に決められる場合は、0xFF をプロパティ値とする。プロパティ値のとる値については、本クラスを実装する実機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

(22)　すずぎモード設定

「洗濯乾燥コース設定１」(EPC＝0xD0)、または「洗濯乾燥コース設定２」(EPC＝0xD1）と「乾燥方法設定」(EPC＝0xD2）で設定された洗濯乾燥コースにおけるすすぎモードを設定・変更し、設定状態を取得する。各すすぎに対応するモードは 4 ビットで示される。プロパティ値のとる値については、本クラスを実装する実機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。

ビットと対応するすすぎの関係は以下の通りである。

0～3 ビット:第 1 すすぎ　4～7 ビット:第 2 すすぎ　8～11 ビット:第 3 すすぎ
12～15 ビット:第 4 すすぎ　16～19 ビット:第 5 すすぎ　20～23 ビット:第 6 すすぎ
24～27 ビット:第 7 すすぎ　28～31 ビット:第 8 すすぎ

また、ビットマップとモードの関係は以下の通りである。

0000：モード指定なし　0001：溜めすすぎ
0010：流水すすぎ　0011：シャワーすすぎ

なお、1 バイト目の MSB が第 31 ビット、4 バイト目の LSB が第 0 ビットとする。

(23)　脱水時間設定

「洗濯乾燥コース設定１」(EPC＝0xD0)、または「洗濯乾燥コース設定２」(EPC＝0xD1）と「乾燥方法設定」(EPC＝0xD2）で設定された洗濯乾燥コースにおける脱水時間を設定・変更し、設定状態を取得する。絶対値設定、自動設定および自動からの相対指定が可能である。プロパティ値のとる値については、本クラスを実装する実機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。

＜絶対値設定＞

設定／取得可能な値の範囲は 0x00～0x3B(0～59 分)とする。

＜自動設定および自動からの相対設定＞

自動設定を 0xFF とする。

プラス相対指定で設定可能な値の範囲は、0xA0～0xBF:1～32 分とする。

マイナス相対指定で設定可能な値の範囲、は 0xC0～0xDF:1～32 分とする。

(24)　乾燥時間設定

「洗濯乾燥コース設定１」(EPC＝0xD0)、または「洗濯乾燥コース設定２」(EPC＝0xD1）と「乾燥方法設定」(EPC＝0xD2）で設定された洗濯乾燥コースにおける乾燥時間を設定・変更し、設定状態を取得する。絶対値設定、自動設定および自動からの相対指定が可能である。プロパティ値のとる値については、本クラスを実装する実機器が、その機能として取りうるプロパティ値のみを実装すればよいものとする。

＜絶対値設定＞

時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

設定／取得可能な値の範囲は 0x00:0x00～0x17:0x3B(0 分～23 時間 59 分)とする。0 分とした場合は

乾燥が行われない。

＜自動設定および自動からの相対設定＞

自動設定を 0xFF:0xFF とする。

プラス相対指定で設定可能な値の範囲は、0xA000～0xA03B:1～60 分とする。

マイナス相対指定で設定可能な値の範囲は、0xC000～0xC03B:1～60 分とする。

(25)　洗い温水設定

「洗濯乾燥コース設定１」(EPC＝0xD0)、または「洗濯乾燥コース設定２」(EPC＝0xD1) と「乾燥方法設定」(EPC＝0xD2) で設定された洗濯乾燥コースにおいて、洗い時に使用する水に温水を使用するか否か、使用する場合はその温度を設定・変更し、設定状態を取得する。設定可能範囲 0～100℃とし、0xFE が設定されている場合は、温水を使用しないことを、0xFF が設定されている場合は、温水温度が自動に設定されていることを示す。本プロパティにより設定された温度の温水を機器が実現できない場合の温水温度設定に関しては、実装依存とする。

(26)　風呂水設定

「洗濯乾燥コース設定１」(EPC＝0xD0)、または「洗濯乾燥コース設定２」(EPC＝0xD1) と「乾燥方法設定」(EPC＝0xD2) で設定された洗濯乾燥コースにおいて、風呂水の使用を行うか否か、行う場合はどの行程で使用するかを設定・変更し、設定状態を取得する。風呂水を使用しない場合は 0x40、洗いのみに使用する場合は 0x41、最終すすぎを除くすすぎで使用する場合は 0x42、全てのすすぎで使用する場合は 0x43、洗いと最終すすぎを除くすすぎで使用する場合は 0x44、洗いと全すすぎで使用する場合は 0x45 がプロパティ値として対応する。

(27)　ソフトキープ設定

「洗濯乾燥コース設定１」(EPC＝0xD0)、または「洗濯乾燥コース設定２」(EPC＝0xD1) と「乾燥方法設定」(EPC＝0xD2) で設定された洗濯乾燥コースにおいて、乾燥行程終了後、ソフトキープを行うか否かを設定・変更し、設定状態を取得する。ソフトキープを行う場合は 0x41 が、行わない場合は 0x42 がプロパティ値として対応する。

(28)　洗濯乾燥残り時間

洗濯乾燥残り時間を、時：0x00～0xFE(0～254)、分：0x00～0x3B(0～59)で取得する。時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。残り時間が不明で、表示が不可能な場合は、値として、0xFF : 0xFF をとること。

(29)　運転中扉・蓋ロック設定

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

運転中の扉・蓋のロック、アンロックを設定し、設定状態を取得する。運転中、蓋・扉のロックは 0x41 が、扉・蓋のアンロックは 0x42 がプロパティ値として対応する。

（30） 洗濯乾燥工程

「洗濯乾燥コース設定１」（EPC＝0xD0）、または「洗濯乾燥コース設定２」（EPC＝0xD1）と「乾燥方法設定」（EPC＝0xD2）で設定された洗濯乾燥コースに、「つけおき行程時間設定」（EPC＝0xE1）、「水量設定１」（EPC＝0xE3）、「水量設定２」（EPC＝0xE4）、「洗い時間設定」（EPC＝0xE5）、「すすぎ回数設定」（EPC＝0xE6）、「すすぎモード設定」（EPC＝0xE7）、「脱水時間設定」（EPC＝0xE8）、「乾燥時間設定」（EPC＝0xE9）、「洗い温水設定」（EPC＝0xEA）、「風呂水設定」（EPC＝0xEB）、「ソフトキープ設定」（EPC＝0xEC）、「水流設定」（EPC＝0xD6）、「脱水回転数設定」（EPC＝0xD7）、「乾燥度設定」（EPC＝0xD8）の各プロパティの設定を反映した洗濯乾燥行程を取得する。

第 1,2 バイト目は、ビットマップで本プロパティが表示を行っている項目を示す。ビットが 1 の場合、対応する表示が有効であることを示す。

ビット 0：つけおき行程	ビット 1：洗い時間設定
ビット 2：すすぎ回数設定	ビット 3：すすぎモード設定
ビット 4：脱水時間設定	ビット 5：乾燥時間設定
ビット 6：洗い温水設定	ビット 7：水量設定１
ビット 8：水量設定２	ビット 9：風呂水設定
ビット 10：水流設定	ビット 11：脱水回転数設定
ビット 12：乾燥度設定	ビット 13：つけおき行程時間設定
ビット 14：ソフトキープ設定	ビット 15：for future reserved

第 3 バイトはつけおき行程の有り無しを、設定ありを 0x41 で、設定なしを 0x42 で示す。なお、設定ありの場合で、第 1,2 バイト目のビット 13 が有効の場合は、第 22,23 バイトに適切な値を反映させなければならない。

第 4,5 バイトは設定されている洗い時間を示す。値は洗い時間設定プロパティに従う。

第 6 バイトは設定されているすすぎ回数を示す。値はすすぎ回数設定プロパティに従う。

第 7～10 バイトは設定されているすすぎモードを示す。値はすすぎモード設定プロパティに従う。

第 11 バイトは設定されている脱水時間を示す。値は脱水時間設定プロパティに従う。

第 12,13 バイトは設定されている乾燥時間を示す。値は乾燥時間設定プロパティに従う。

第 14 バイトは設定されている洗い温水を示す。値は洗い温水設定プロパティに従う。

第 15 バイトは設定されている水量１を示す。値は水量設定１プロパティに従う。

第 16 バイトは設定されている水量２を示す。値は水量設定２プロパティに従う。

第 17 バイトは設定されている風呂水を示す。値は風呂水設定プロパティに従う。

第 18 バイトは設定されている水流を示す。値は水流設定プロパティに従う。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

第 19,20 バイトは設定されている脱水回転数を示す。値は脱水回転数設定プロパティに従う。
第 21 バイトは設定されている乾燥度を示す。値は乾燥度設定プロパティに従う。
第 22,23 バイトは設定されているつけおき行程時間を示す。値はつけおき行程時間設定プロパティに従う。なお、つけおき行程時間設定が有効の場合で、第 1,2 バイト目のビット 0 が有効の場合は、第 3 バイトに適切な値を反映させなければならない。
第 24 バイトは設定されているソフトキープを示す。値はソフトキープ設定プロパティに従う。

（31） ON タイマ予約設定
洗濯乾燥の ON タイマ予約の入、切を設定し、設定状態を取得する。本プロパティは、「ON タイマ時刻設定値」もしくは、「ON タイマ相対時間設定値」と関連する。

（32） ON タイマ時刻設定値
「ON タイマ予約設定」が入の場合に、「洗濯・乾燥設定」（EPC=0xB2）が洗濯乾燥開始：0x41 になる時間、または「洗濯乾燥遷移状態」（EPC=0xE2）が洗濯完了：0x45、または洗濯／乾燥（ソフトキープなし）完了：0x51、または乾燥（ソフトキープあり）完了：0x54 となる時刻を、時：0x00～0x17(0～23)、分：0x00～0x3B(0～59)で設定し、設定状態を取得する。時、分の順に上位バイトからプロパティ値とする。

（33） ON タイマ相対時間設定値
「ON タイマ予約設定」が入の場合に、「洗濯・乾燥設定」（EPC=0xB2）が洗濯乾燥開始：0x41 になる時間、または「洗濯乾燥遷移状態」（EPC=0xE2）が洗濯完了：0x45、または洗濯／乾燥（ソフトキープなし）完了：0x51、または乾燥（ソフトキープあり）完了：0x54 になる時間を現在時刻からの相対時間で設定し、更新された時間を取得する。データ形式は、時：0x00～0xFF(0～255)、分：0x00～0x3B(0～59)とする

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．５ 健康関連機器クラスグループ

本節では、機器オブジェクトの内、健康関連機器クラスグループ（クラスグループ指定コード X1=0x04）に属する ECHONET オブジェクト毎に、コードやプロパティの詳細を規定する。本節で詳細を規定するクラスの一覧を、表９に示し、各クラス毎の詳細を項を設けて規定を示す。クラス規定において、「必須」の記述のあるものは、各クラスを搭載する機器には、そのプロパティとサービスの組み合わせの実装が必須であることを示す。

表９　健康関連機器クラスグループのオブジェクト一覧表

クラスグループコード	クラスコード	クラス名	詳細規定の有無	備考
0x04	0x00	For　future　reserved		
	0x01	体重計	○	
	0x02	体温計		
	0x03	血圧計		
	0x04	血糖値計		
	0x05	体脂肪計		
	0x06～0xFF	For　future　reserved		

注）○：APPENDIX でプロパティ構成を含めた詳細を規定。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

３．５．１ 体重計クラス規定

クラスグループコード　：　0x04
クラスコード　　：0x01
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域（10 進表記）	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。 ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	 ○	○	
体重計測値	0xE0	体重計測値を 0.1kg 単位で示す。 0x0000～0xFFFD (0～6553.3kg)	unsigned short	2 Byte	0.1 kg	Get	○		
体脂肪計測値	0xE1	体脂肪計測値を 0.1%単位で示す。 0x0000～0x03E8 (0～100.0%)	unsigned short	2 Byte	0.1 %	Get			

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）
体重計の動作入／切を示す。

(2)体重計測値
体重計測値を、0.1k g 単位で示す。

(3)体脂肪計測値
体脂肪計測値を、0.1%単位で示す。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

３．６ 管理・操作関連機器クラスグループ

本節では、機器オブジェクトの内、管理・操作関連機器クラスグループ（クラスグループ指定コード X1=0x05）に属する ECHONET オブジェクト毎に、コードやプロパティの詳細を規定する。本節で詳細を規定するクラスの一覧を、表１０に示し､各クラス毎の詳細を項を設けて規定を示す｡クラス規定において、「必須」の記述のあるものは、各クラスを搭載する機器には、そのプロパティとサービスの組み合わせの実装が必須であることを示す。

表１０　管理・操作関連機器クラスグループのオブジェクト一覧表

クラスグループコード	クラスコード	クラス名	詳細規定の有無	備考
0x05	0x00～0xFB	For future reserved		
	0xFC	セキュア通信用共有鍵設定ノード	●	
	0xFD	スイッチ（JEMA/HA 端子対応）	○	
	0xFE	携帯端末		
	0xFF	コントローラ		

注）●：ECHONET 規格 第 2 部でプロパティ構成を含めた詳細を規定。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．６．１ スイッチクラス（JEM-A / HA 端子対応）規定

クラスグループコード　：0x05
クラスコード　　：0xFD
インスタンスコード　：0x01～0x7F (0x00：全インスタンス指定コード)

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時アナウンス	備考
動作状態	0x80	ON／OFF の状態を示す。	unsigned char	1 Byte	－	Set	○	○	
		ＯＮ＝0x30，ＯＦＦ＝0x31				Get	○		
接続機器	0xE0	接続先の機器名	unsigned char	12 Byte	－	Set			
		機器の形名を保持する				Get			

注）状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1) 動作状態（機器オブジェクトスーパークラスのプロパティを継承）
本クラス固有の機能が、稼動状態であるか否か(ON/OFF)を示す。具体的には Get 時には HA 端子のM信号の状態を反映する。また、Set 時に Set された値と HA 端子のM信号の値を比較し、異なっていた場合は、HA 端子の C 信号に規定のパルスを出力する。

(2) 接続機器
接続する機器の型名をアスキーコードで保持する。この値は不揮発メモリーに保持する。
（商品コードプロパティ参照）

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．７ ＡＶ関連機器クラスグループ

本節では、機器オブジェクトの内、ＡＶ関連機器クラスグループ（クラスグループ指定コード X1=0x06）に属する ECHONET オブジェクト毎に、コードやプロパティの詳細を規定する。本節で詳細を規定するクラスの一覧を、表１１に示し、各クラス毎の詳細を項を設けて規定を示す。クラス規定において、「必須」の記述のあるものは、各クラスを搭載する機器には、そのプロパティとサービスの組み合わせの実装が必須であることを示す。

表１１　ＡＶ関連機器クラスグループのオブジェクト一覧表

クラスグループコード	クラスコード	クラス名	詳細規定の有無	備考
0x06	0x00	For future reserved		
	0x01	ディスプレー	○	
	0x02	テレビ	○	
	0x03～0xFF	For future reserved		

注）○：APPENDIX でプロパティ構成を含めた詳細を規定。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．７．１ ディスプレークラス規定

クラスグループコード　：0x06
クラスコード　　：0x01

本クラスは AV 関連機器クラスグループとしてディスプレー機器の文字ディスプレー機能部(表示、表示制御、表示データバッファリング等々)、または任意のクラスグループに属しディスプレー機能を有する機器上の文字ディスプレー機能部に適用する。他の文字ディスプレー機能用プロパティ(表示文字属性〈書体、サイズ、色等〉,ディスプレー上での表示方法、表示位置等々)は必要に応じて追加する。

本クラスは、具体的には文字表示用専用ディスプレーやクラス全般の文字ディスプレー部(液晶表示部)などに適用する。

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時アナウンス	備考
動作状態	0x80	ON/OFF 状態を表す ON=0x30, OFF=0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	Ⓔ ○	○	
表示制御設定	0xB0	文字表示・非表示を設定し、設定状態を取得する 表示=0x30, 非表示=0x31	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
文字列設定受付可能状態	0xB1	伝達文字列を受付けられる状態にあるか否かを示す レディ=0x30, ビジー=0x31	unsigned char	1 Byte	－	Get	○	○	
表示可能文字コード	0xB2	表示可能文字コードをビットマップで示す。 ビット 0　ANSI X3.4 搭載 1 非搭載　0 ビット 1　Shift –JIS 搭載 1 非搭載　0 ビット 2　JIS 搭載 1 非搭載　0 ビット 3　日本語 EUC 搭載 1 非搭載　0 ビット 4　UCS-4 搭載 1 非搭載　0 ビット 5　UCS-2 搭載 1 非搭載　0 ビット 6　Latin -1 搭載 1 非搭載　0 ビット 7　UTF-8 搭載 1 非搭載　0 ビット 8 以上: for future reserved　0	unsigned char × 2	2 Byte	－	Get	○		

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

伝達文字列設定	0xB3	ユーザに伝達するべき文字列、その伝達文字列長及び使用文字コードを設定し、設定保持値を取得する。伝達文字バイト列データ長を最上位バイトに、次バイトに使用文字コード、次バイトは 0x00(for future reserved),次に伝達文字列先頭バイト、伝達文字列末尾バイトを最下位バイトに設定する。 1 バイト目：伝達文字バイトコード列データ長の 16 進換算値 2 バイト目：使用文字コード 3 バイト目：for future reserved 4 バイト目以降：Max244Byte 分の伝達文字列バイトコード列 文字コードは以下のコードを使用する。 ANSI X3.4=0x01 Shift –JIS=0x02 JIS =0x03 日本語 EUC=0x04 UCS-4 =0x05 UCS-2 =0x06 Latin -1=0x07 UTF-8=0x08 0x09 以上=for future reserved	unsigned char × Max 247	Max 247 Byte	－	Set Get	○		
受付け伝達文字列長	0xB4	設定された伝達文字列で最新の保持文字列の総バイト数を示す。 1 バイト目：0x00-0xF4 2 バイト目： 0x00(for future reserved)	unsigned char	2Byte	－	Get	○		

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)動作状態（スーパークラスのプロパティを継承）
ディスプレーの ON／OFF を設定し、動作状態を取得する。ON／OFF にそれぞれ、0x30/0x31 のプロパティ値が対応するものとする。エネルギーサービスに対応する場合、本プロパティの「Set」の搭載は必須とする。

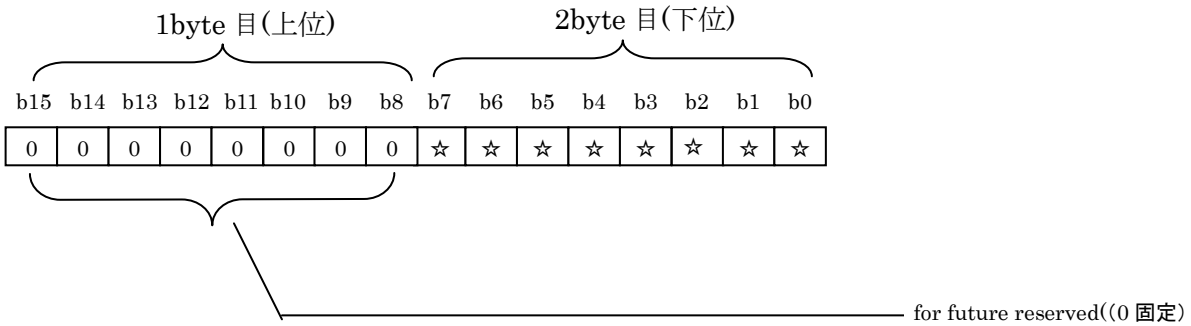
(2) 表示制御設定
本プロパティの Set により、本クラスの文字表示・非表示を設定し、Get により設定状態を取得する。0x30/0x31 のプロパティ値がそれぞれ文字表示／非表示に対応するものとする。なお、本プロパティは表示／非表示のみを切り替える機能であり、本プロパティが非表示(0x31)の場合においても、文字列設定受付可能状態プロパティが 0x30 の場合は、伝達文字列設定プロパティの Set を有効としなければならない。
(3) 文字列設定受付可能状態
本プロパティの Get により、本クラスが伝達文字列設定プロパティ設定を受付けられるか否かの状態

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

を示す。0x30/0x31 のプロパティ値がそれぞれ受け付け可能状態(レディ)／受け付け不可状態(ビジー)に対応するものとする。

(4) 表示可能文字コード

本プロパティの Set により、本クラスとして表示可能な文字コード(符号化文字集合)の搭載有無一覧をビットマップで示す。ビットが 0 の場合は当該実現方法が搭載されていないことを、1 の場合は搭載されていることを示す。



各ビットの意味は以下の通りである。

ビット 0 ANSI X3.4 搭載 1 非搭載　0
ビット 1 Shift - JIS 搭載 1 非搭載　0
ビット 2 JIS 搭載 1 非搭載　0
ビット 3 日本語 EUC 搭載 1 非搭載　0
ビット 4 UCS-4 搭載 1 非搭載　0
ビット 5 UCS-2 搭載 1 非搭載　0
ビット 6 Latin -1 搭載 1 非搭載　0
ビット 7 UTF-8 搭載 1 非搭載 0
ビット 8-15:for future reserved として 0 で固定する。

各文字コード詳細規定は以下の規格を参照のこと。

・ANSI X3.4：American National Standards Institute, ″Coded character set -- 7-bit American national standard code for information interchange″, ANSI X3.4-1986.(ASCII)

・Shift-JIS ：JIS X 0208:1997 「7 ビット及び 8 ビットの 2 バイト情報交換用符号化漢字集合」

・JIS ：ISO/IEC 2022 :1994 Information technology -- Character code structure and extension techniques, ISO-2022-JP (JIS X 0208:1997)

・日本語 EUC：ISO/IEC 2022 :1994 Information technology -- Character code structure and extension techniques, ISO-2022-JP (JIS X 0208:1997)

・UCS-4 ,UCS-2：ISO/IEC 10646-1:2000 Information technology -- Universal Multiple-Octet Coded Character Set (UCS) -- Part 1: Architecture and Basic Multilingual Plane

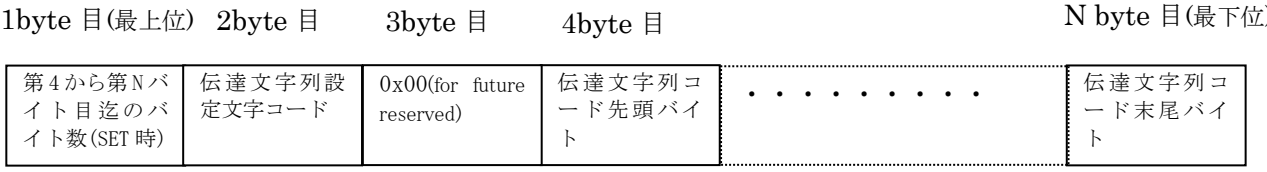
・Latin-1 : ISO/IEC 8859-1:1998 Information technology -- 8-bit single-byte coded graphic character sets -- Part 1: Latin alphabet No. 1

・UTF-8：RFC 3629 「UTF-8,a transformation format of ISO 10646」

(5)伝達文字列設定

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

本プロパティの Set により、本クラスのユーザに伝達するべき文字列とその文字列長およびその文字コードを設定する。文字列設定受付可能状態プロパティが 0x30 の時は、本プロパティの Set を有効としなければならない。プロパティ内容は伝達文字列のバイトコード列長の 16 進換算値を最上位バイトに、2 バイト目に伝達文字列の文字コード，3 バイト目 0x00(for future reserved),4 バイト目に伝達文字列先頭バイトコードを、伝達文字列末尾バイトコードを最下位バイトとする。伝達文字列には制御コードも含んでよい。本プロパティの Get により、1 バイト目に本プロパティに Set された伝達文字列バイトコード列長 16 進換算値，2 バイト目に Set された伝達文字列文字コード，3 バイト目 0x00(for future reserved)および４バイト目以降に設定に成功した伝達文字列バイトコード列が取得できる。文字コードプロパティ内容は、ANSI X3.4=0x01,Shift - JIS=0x02, JIS =0x03,日本語 EUC=0x04,UCS-4 =0x05, UCS-2 =0x06, Latin-1=0x07,UTF-8=0x08 を表す。本クラスは受信した伝達文字列を、本プロパティの文字コード設定値を文字コードとして処理する。動作状態プロパティ（0x80）が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。本プロパティのバイトオーダは下図に従う。



本プロパティの具体例を以下に示す。

伝達文字列「ECHONET」を ANSI X3.4 で Set する場合

- 0x0701004543484F4E4554 をプロパティ内容とする。

その後 Get した値は,

- 通常成功時:0x0701004543484F4E4554
- 失敗時:0x070100454348４F4E(メモリ不足などにより末尾 2 バイト分書き込み失敗)
- 成功時:0x04020031323334(別ノードが 0x04020031323334 を追加 Set)

等。

(6)受付け伝達文字列長

本プロパティの Get により、第 1 バイトとして本クラスの伝達文字列設定により保持されている最新の伝達文字列のデータ長が取得できる。伝達文字列設定プロパティを Get して得られる第 1 バイト(バイトコード列長のバイト値)とは必ずしも一致しない。また、本プロパティ内容は伝達文字列設定プロパティに連動して更新されるものとする。本プロパティの第2バイト目は0x00(for future reserved)とする。なお、書き込む動作状態プロパティ（0x80）が OFF(0x31)の場合であっても、本プロパティの有効性は保証されるものとする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

３．７．２ テレビクラス規定

クラスグループコード　：0x06
クラスコード　　：0x02

本クラスはテレビ受像機全般に適用する。本クラス固有の機能は必要に応じて追加する。

プロパティ名称	EPC	プロパティ内容 値域(10 進表記)	データ型	データサイズ	単位	アクセスルール	必須	状変時ｱﾅｳﾝｽ	備考
動作状態	0x80	クラスグループコード 0x 06, クラスコード 0x 01,ディスプレークラス参照	unsigned char	1 Byte	－	Set Get	Ⓔ ○	○	
表示制御設定	0xB0	クラスグループコード 0x 06, クラスコード 0x 01,ディスプレークラス参照	unsigned char	1 Byte	－	Set/ Get			
文字列設定受付可能状態	0xB1	クラスグループコード 0x 06, クラスコード 0x 01,ディスプレークラス参照	unsigned char	1 Byte	－	Get	(Ha) Ⓢ	○	
表示可能文字コード	0xB2	クラスグループコード 0x 06, クラスコード 0x 01,ディスプレークラス参照	unsigned char× 2	2 Byte	－	Get	(Ha) Ⓢ		
伝達文字列設定	0xB3	クラスグループコード 0x 06, クラスコード 0x 01,ディスプレークラス参照	unsigned char× Max 247	Max 247 Byte	－	Set Get	○		
受付け伝達文字列長	0xB4	クラスグループコード 0x 06, クラスコード 0x 01,ディスプレークラス参照	unsigned char	2Byte	－	Get	(Ha) Ⓢ		

注1)　状態変化時（状変時）アナウンスの○は、プロパティ実装時には、処理必須を示す。

(1)動作状態（スーパークラスを継承）

TV 受像機の ON／OFF を設定し、動作状態を取得する。ON／OFF にそれぞれ、0x30/0x31 のプロパティ値が対応するものとする。エネルギーサービスに対応する場合、本プロパティの「Set」の搭載は必須とする。

(2) 表示制御設定

説明はクラスグループコード 0x 06, クラスコード 0x 01,ディスプレークラス参照。

(3) 文字列設定受付可能状態

説明はクラスグループコード 0x 06, クラスコード 0x 01,ディスプレークラス参照。
快適支援サービスとセキュリティサービスに対応する場合、本プロパティの搭載は必須とする。

(4) 表示可能文字コード

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

説明はクラスグループコード 0x 06, クラスコード 0x 01, ディスプレークラス参照。
快適支援サービスとセキュリティサービスに対応する場合、本プロパティの搭載は必須とする。

(5)伝達文字列設定

説明はクラスグループコード 0x 06, クラスコード 0x 01, ディスプレークラス参照。
本プロパティの「Set」の搭載は必須とする。

(6) 受付け伝達文字列長

説明はクラスグループコード 0x 06, クラスコード 0x 01, ディスプレークラス参照。
快適支援サービスとセキュリティサービスに対応する場合、本プロパティの搭載は必須とする。

© 2000（2013） ECHONET CONSORTIUM ALL RIGHTS RESERVED

付録１　プロパティマップ記述形式

プロパティの数が、16 より少ない場合には下記（1）の記述形式に従い、16 以上の場合には下記（2）の記述形式に従うものとする。

記述形式（1）

1 バイト目　　：プロパティの数。バイナリ表示。

2 バイト目以降　　：プロパティのコード（1 バイトコード）をそのまま列挙する。

スイッチクラス(0x05FD)を搭載している ECHONET ノードを例にしてプロパティマップ記述形式（１）の例を示す

NO	プロパティ名称	EPC
1	動作状態	0x80
2	設置場所	0x81
3	規格 Version 情報	0x82
4	識別番号	0x83
5	異常発生状態	0x88
6	メーカコード	0x8A
7	状変ｱﾅｳﾝｽプロパティマップ	0x9D
8	Set プロパティマップ	0x9E
9	Get プロパティマップ	0x9F
10	接続機器	0xE0

1 バイト目はプロパティの数が 10 個であるので 0x0A、2 バイト目以降は上記 EPC そのまま列挙するため、

「0x0A，0x80，0x81，0x82，0x83，0x88，0x8A，0x9D，0x9E，0x9F，0xE0」のようになる。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

記述形式（2）

1 バイト目　　：プロパティの数。バイナリ表示。

2～17 バイト目　　：下図の 16 バイトのテーブルにおいて、存在するプロパティコードを示すビット位置に 1 をセットして 2 バイト目から順に列挙する。

	ビット 7 (上位)	ビット 6	ビット 5	ビット 4	ビット 3	ビット 2	ビット 1	ビット 0 (下位)
2 バイト目	0xF0	0xE0	0xD0	0xC0	0xB0	0xA0	0x90	0x80
3 バイト目	0xF1	0xE1	0xD1	0xC1	0xB1	0xA1	0x91	0x81
4 バイト目	0xF2	0xE2	0xD2	0xC2	0xB2	0xA2	0x92	0x82
5 バイト目	0xF3	0xE3	0xD3	0xC3	0xB3	0xA3	0x93	0x83
6 バイト目	0xF4	0xE4	0xD4	0xC4	0xB4	0xA4	0x94	0x84
7 バイト目	0xF5	0xE5	0xD5	0xC5	0xB5	0xA5	0x95	0x85
8 バイト目	0xF6	0xE6	0xD6	0xC6	0xB6	0xA6	0x96	0x86
9 バイト目	0xF7	0xE7	0xD7	0xC7	0xB7	0xA7	0x97	0x87
10 バイト目	0xF8	0xE8	0xD8	0xC8	0xB8	0xA8	0x98	0x88
11 バイト目	0xF9	0xE9	0xD9	0xC9	0xB9	0xA9	0x99	0x89
12 バイト目	0xFA	0xEA	0xDA	0xCA	0xBA	0xAA	0x9A	0x8A
13 バイト目	0xFB	0xEB	0xDB	0xCB	0xBB	0xAB	0x9B	0x8B
14 バイト目	0xFC	0xEC	0xDC	0xCC	0xBC	0xAC	0x9C	0x8C
15 バイト目	0xFD	0xED	0xDD	0xCD	0xBD	0xAD	0x9D	0x8D
16 バイト目	0xFE	0xEE	0xDE	0xCE	0xBE	0xAE	0x9E	0x8E
17 バイト目	0xFF	0xEF	0xDF	0xCF	0xBF	0xAF	0x9F	0x8F

注）各ビット値＝0：プロパティ無し、＝1：プロパティ有りを示す。

家庭用エアコンクラス (0x0130)を搭載している ECHONET ノードを例にしてプロパティマップ記述形式（2）の例を示す。

NO	プロパティ名称	EPC	対応するプロパティマップのビット
1	動作状態	0x80	2 バイト目のビット 0
2	設置場所	0x81	3 バイト目のビット 0
3	規格 Version 情報	0x82	4 バイト目のビット 0
4	識別番号	0x83	5 バイト目のビット 0
5	電流制限設定	0x87	9 バイト目のビット 0
6	異常発生状態	0x88	10 バイト目のビット 0
7	異常内容	0x89	11 バイト目のビット 0
8	メーカコード	0x8A	12 バイト目のビット 0
9	事業場コード	0x8B	13 バイト目のビット 0
10	商品コード	0x8C	14 バイト目のビット 0
11	製造番号	0x8D	15 バイト目のビット 0
12	製造年月日	0x8E	16 バイト目のビット 0
13	節電動作設定	0x8F	17 バイト目のビット 0

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED

14	ON タイマ予約設定	0x90	2 バイト目のビット 1
15	積算運転時間	0x9A	12 バイト目のビット 1
16	SetM プロパティマップ	0x9B	13 バイト目のビット 1
17	GetM プロパティマップ	0x9C	14 バイト目のビット 1
18	状変ｱﾅｳﾝｽプロパティマップ	0x9D	15 バイト目のビット 1
19	Set プロパティマップ	0x9E	16 バイト目のビット 1
20	Get プロパティマップ	0x9F	17 バイト目のビット 1
21	運転モード設定	0xB0	2 バイト目のビット 3
22	温度設定値	0xB3	5 バイト目のビット 3

上記のプロパティが ECHONET ノードで公開されている場合、

1 バイト目はプロパティの数が 22 個であるので 0x16、2 バイト目は 0x80, 0x90, 0xB0 のプロパティが公開されており、対応するビットは「ビット 0」「ビット 1」「ビット 3」となるので 0x0B =b'00001011'。3 バイト目、4 バイト目、9 バイト目、10 バイト目、11 バイト目は 0x81、0x82、0x87、0x88、0x89 のプロパティが公開されており、対応するビットは「ビット 0」となるので 0x01。5 バイト目は 0x83、0xB3 のプロパティが公開されており、対応するビットは「ビット 0」「ビット 3」となるので 0x09 =b'00001001'、12 バイト目～17 バイト目は 0x8A、0x9A、0x8B、0x9B、0x8C、0x9C、0x8D、0x9D、0x8E、0x9E、0x8F、0x9F のプロパティが公開されており、対応するビットは「ビット 0」「ビット 1」となるので 0x03=b'00000011'。

以上より、プロパティマップ記述形式は

「0x16, 0x0B, 0x01, 0x01, 0x09, 0x00, 0x00, 0x00, 0x01, 0x01, 0x01, 0x03, 0x03, 0x03, 0x03, 0x03, 0x03」となる。

© 2000（2013）　ECHONET CONSORTIUM　ALL RIGHTS RESERVED